

ごみ減量・リサイクルに関する区民アンケート調査

結果報告書

令和8年 3月

目次

内容

I. 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査方法	1
3. 調査項目	1
4. 実施時期	1
5. 調査結果をみる上での注意事項	1
6. 回収状況	2
II. 調査結果	3
1. 回答者の属性【ご自身のことについて】	3
問 17. あなたの年代(年齢)は次のうちどれですか(SA)	3
問 18. あなたのお住まいの地区はどこですか(SA)	4
問 19. お住まいの世帯は、あなたを含めて何人ですか	5
問 20. あなたのお住まいの住居形態は、次のうちどれですか	6
2. ご家庭での資源の出し方・処理方法について	7
問 1. 「雑がみ」、「プラスチック」、「古布」を主にどのように処分していますか	7
問 2. ごみ資源の分別の方法をどうやって調べたか教えてください	10
問 3. 町会・自治会等で行っている集団回収に参加していますか	13
問 4. 集団回収に参加しやすくするために、どのような点を改善する必要があると思いますか	15
問 5-1. あなたは、ご家庭で「食品ロス削減」に取り組んでいますか	18
問 5-2. 問 5-1 で「取り組んでいない」と回答した理由をご記入ください	24
問 6. 飲食店で取り組んでいる「食品ロス削減」対策を利用することがありますか	25
問 7. 「食品ロス削減」に取り組んでいる飲食店を、積極的に利用したいと思いますか	31
問 8-1. あなたがお住まいの地域では、どのようにごみ収集がされていますか	33
問 8-2. 今後どのようにごみ収集するのがよいと思いますか	35
問 8-3. 問 8-2 で回答した理由を記入してください	38
問 9. あなたは有料指定ごみ袋の導入についてどのように思いますか	49
問 10-1. 有料指定ごみ袋を導入で、特に優先して配慮してほしいことは何ですか	52
問 10-2. 有料指定ごみ袋の導入で収入が発生した場合は、何に使うと良いと思いますか	58
問 11. ご家庭でごみを減らすために行っていることはありますか	64
問 12. 区が行っている取り組みであなたが知っているものを選んでください	68
問 13. 北区のごみ集積所について知っていることはありますか	74
問 14-1. あなたは直近5年以内に北区でごみ集積所の管理をした経験がありますか	79
問 14-2. 集積所管理の経験で気になったことは何ですか	81
問 15. “ごみ集積所”を使うときに気をつけていることはありますか	84
問 16. ご意見や困っていることなどのご要望がございましたらご自由にご記入ください	87
3. まとめ	99
III. 別添資料（アンケート調査票）	103

I. 調査概要

1. 調査の目的

本調査は、北区民のごみ資源化に対する意識・意向の実態を調査・解析し、北区の清掃リサイクル事業に資することを目的とする。

2. 調査方法

調査対象： 18歳以上の区民から3,000人を無作為抽出(年代、地域別に抽出・外国籍の区民含む)
回収方法： 郵送およびWEBによる回収

3. 調査項目

設問番号	内容	回答方法
問1	「雑がみ」「プラスチック」「古布」の主な処分方法	(MA)
問2	ごみ・資源の分別方法を何から知ったのか	(MA)
問3	町会・自治会の集団回収に参加しているか	(SA)
問4	集団回収に参加しやすくするための改善点	(MA)
問5-1	「食品ロス削減」に取り組んでいるか	(SA)
問5-2	「食品ロス削減」に取り組んでいない理由	記述回答
問6	飲食店で取り組んでいる「食品ロス削減」を利用したことがあるか	(SA)
問7	「食品ロス削減」に取り組んでいる飲食店を利用したいか	(SA)
問8-1	居住する地域のごみ収集方法	(SA)
問8-2	今後の北区ごみ収集方法について好ましいと考える方法	(SA)
問8-3	問8-2の回答理由	記述回答
問9	有料指定ごみ袋について	(SA)
問10-1	有料指定ごみ袋が導入された場合、配慮して欲しいことは	(2つまで)
問10-2	有料指定ごみ袋が導入された場合、収入の使い道	(3つまで)
問11	ごみ減量について家庭で行っていること	(MA)
問12	北区の取り組み(ごみ減量・リサイクル)で知っているもの	(MA)
問13	北区のごみ集積所について知っていること	(MA)
問14-1	集積所管理の経験について	(SA)
問14-2	集積所管理で気になったこと	(MA)
問15	ごみ集積所を使う時に気をつけていること	(MA)
問16	ご意見・ご要望など	記述回答
問17	年代(年齢)	(SA)
問18	居住地区	(SA)
問19	世帯人数	(SA)
問20	住居形態	(SA)

(SA)・・・(Single Answer)は「単一回答」、(1つを選ぶ)

(MA)・・・(Multiple Answer)は「複数回答」、(いくつ選んでも可)

4. 実施時期

令和7年 7月11日(金)～令和7年 8月 4日(月)

5. 調査結果をみる上での注意事項

- 本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- 本文、表、グラフなどに使われる「累計(n)」は、各設問の選択肢に対する回答数である。
- 本文、表、グラフなどに使われる「(SA)」は「単一回答」(1つだけ選ぶ)設問である。
- 本文、表、グラフなどに使われる「(MA)」は「複数回答」(複数を選ぶことができる)設問である。
- 百分率(%)の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。そのため、四捨五入の影響で、100%にならない場合がある。
- 本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- 属性別のグラフにおいては、見やすさを考慮して、無回答の数値を非表示としている場合がある。
- 回答者数が10未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ本文中では触れていない場合がある。

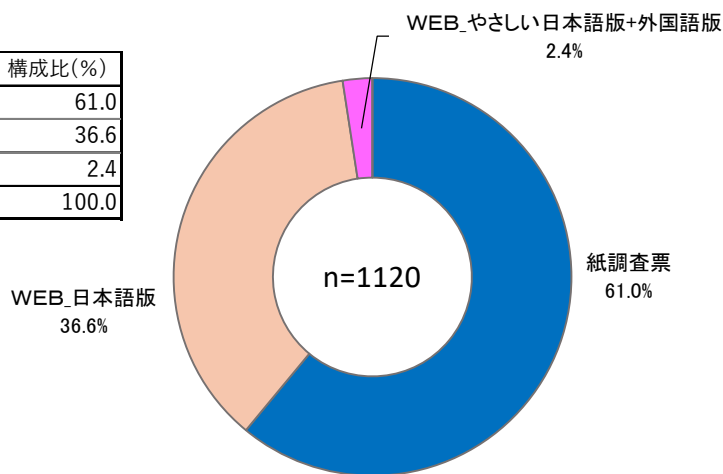
6. 回収状況

地域	発送数(票)	回答数(票)	うちWEB回答 (票 / 割合(%))	地区別回収割合
浮間	205	66	(24 / 36.4%)	32.2%
赤羽西	528	182	(84 / 46.2%)	34.5%
赤羽東	478	170	(60 / 35.3%)	35.6%
王子西	271	107	(39 / 36.4%)	39.5%
王子東	691	259	(106 / 40.9%)	37.5%
滝野川西	634	263	(103 / 39.2%)	41.5%
滝野川東	193	65	(21 / 32.3%)	33.7%
無回答	-	8	(- / -)	-
合計／平均	3000	1120	(437 / 39.0%)	37.3%

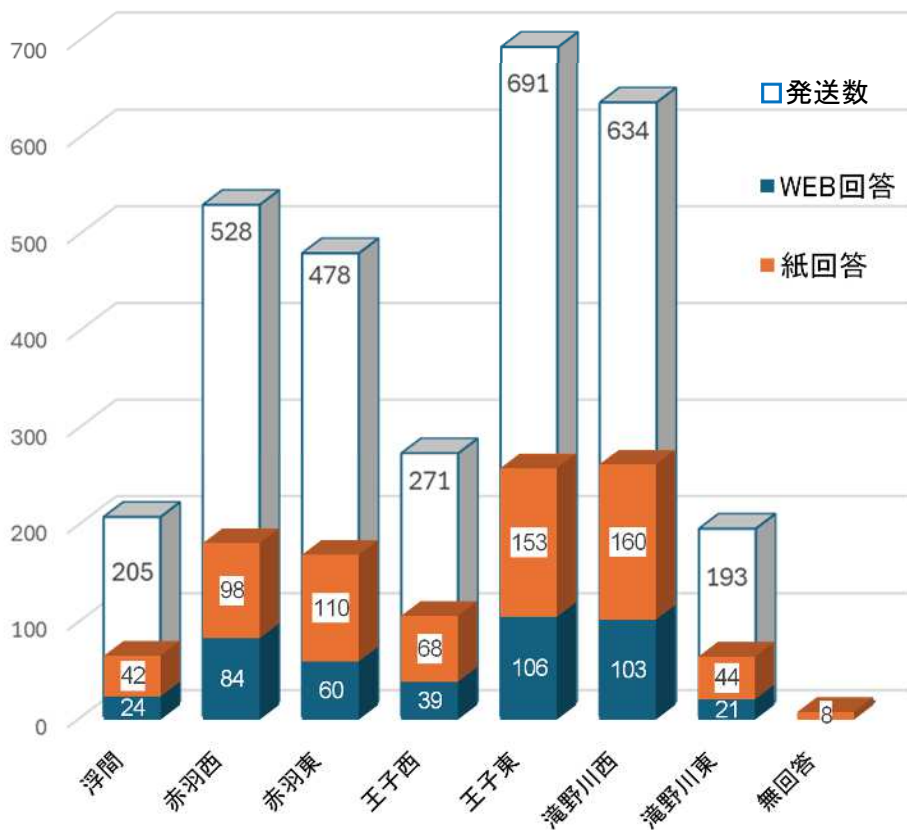
※発送数については、令和7年4月1日時点の地区別人口割合に基づき算出した

<WEB回答割合>

No.	回答区分	回答者数(人)	構成比(%)
1	紙調査票	683	61.0
2	WEB_日本語版	410	36.6
3	WEB_やさしい日本語版+外国語版	27	2.4
	全体	1120	100.0



<WEB回答割合(地区別)>



II. 調査結果

1. 回答者の属性【ご自身のことについて】

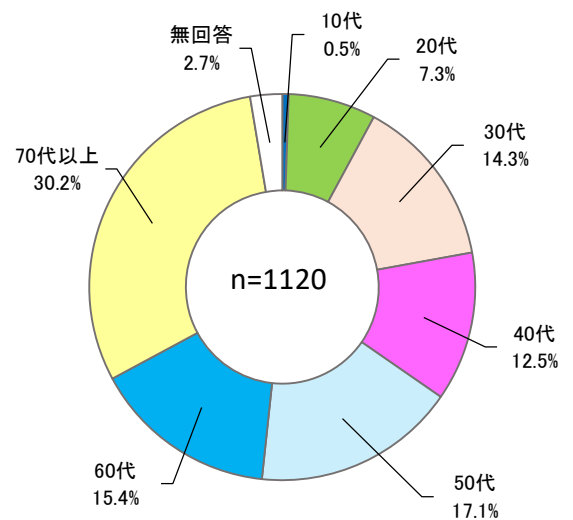
問 17. あなたの年代(年齢)は次のうちどれですか。(SA)

回答者を年代(年齢)別にみると「70代以上」が30.2%で最も割合が高く、次いで「50代」が17.1%、「60代」が15.4%の順となっている。

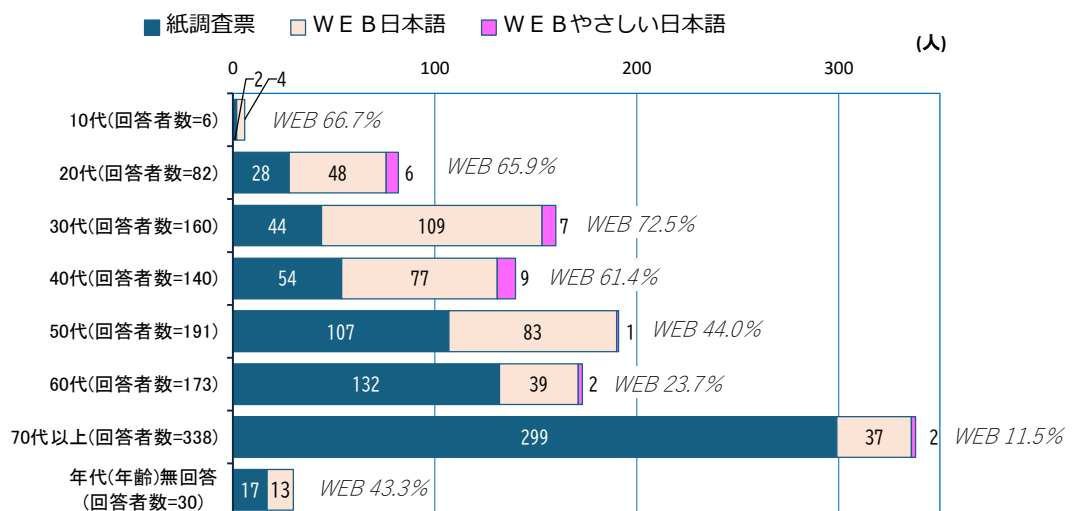
WEBでの回答割合は「30代」が72.5%で最も割合が高く、次いで「10代」が66.7%、「20代」が65.9%の順になっている。最もWEB回答の割合が低かったのは「70代以上」で11.5%だった。

なお、今回調査では、外国籍の区内居住者に向けて「やさしい日本語版」を用意した。「やさしい日本語版」の紙調査票による回答(郵送回答)は0件であったが、WEBでの回答は27件あった。そのうち13件が「20代」と「30代」からの回答であった。

No.	選択肢	回答者数(人)	構成比(%)
1	10代	6	0.5
2	20代	82	7.3
3	30代	160	14.3
4	40代	140	12.5
5	50代	191	17.1
6	60代	173	15.4
7	70代以上	338	30.2
8	年代(年齢)無回答	30	2.7
	全体	1120	100.0



<年代別—回答方法>



問 18. あなたのお住まいの地区はどこですか。(S A)

地区別に回収率（回答割合）をみると、「滝野川西地区」が41.5%と最も高い割合になっている。次いで「王子西地区」が39.5%となっている。

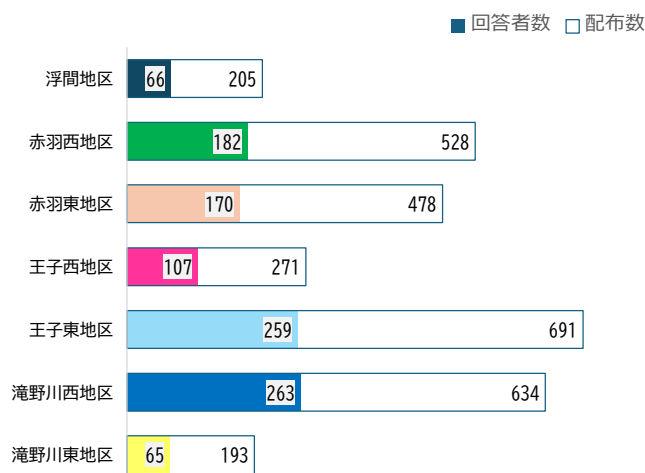
回収率（回答割合）が最も低かった地区は「浮間地区」で32.2%となっている。次いで「滝野川東地区」33.7%が低い割合になっている。

WEB回答の割合は、「赤羽西地区」が46.2%で最も高く、次いで「王子東地区」が40.9%となっている。

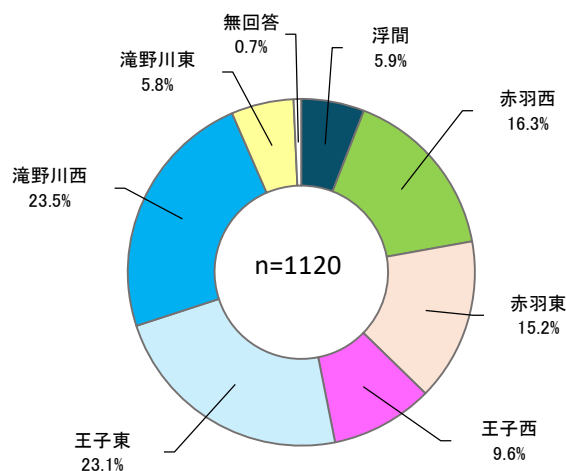
また、WEB「やさしい日本語版」（4か国語対応）での回答は、「赤羽西地区」が8件で最も多く、次いで「王子東地区」が6件となっている。

No.	地区	配布数	回答者数(人)	回収割合(%)	構成比(%)
1	浮間	205	66	32.2	5.9
2	赤羽西	528	182	34.5	16.3
3	赤羽東	478	170	35.6	15.2
4	王子西	271	107	39.5	9.6
5	王子東	691	259	37.5	23.1
6	滝野川西	634	263	41.5	23.5
7	滝野川東	193	65	33.7	5.8
	無回答	-	8	-	0.7
	全体	3000	1120	37.3	100.0

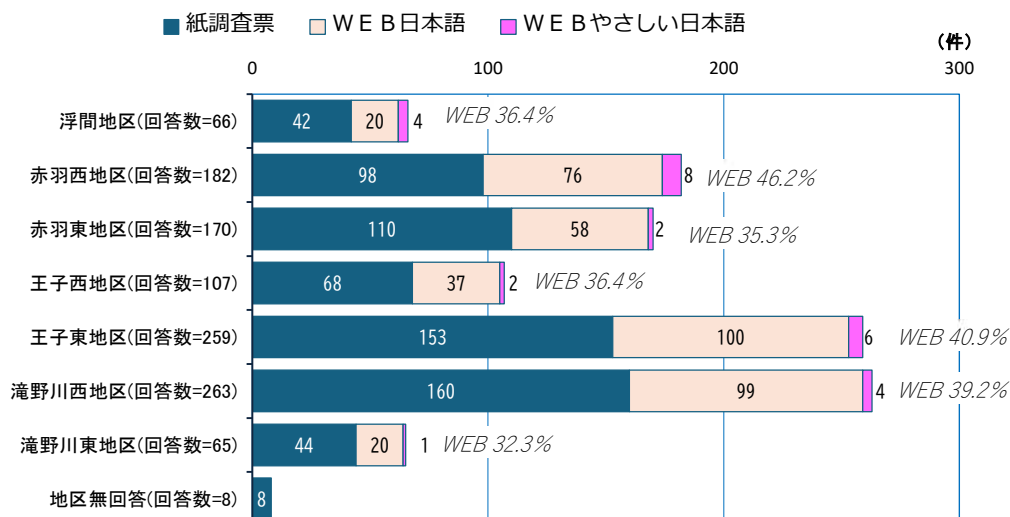
<地区別一回回収割合>



<地区別一回答者構成比>



<地区別一回答方法>



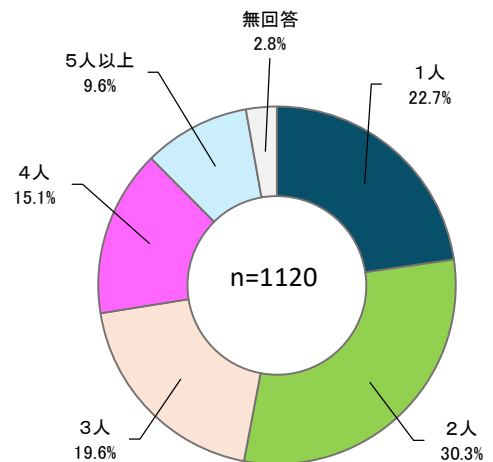
問 19. お住まいの世帯は、あなたを含めて何人ですか。

回答者を世帯人数別にみると、「2人」世帯が30.3%と最も高い割合になっている。次いで「1人」世帯が22.7%となっている。

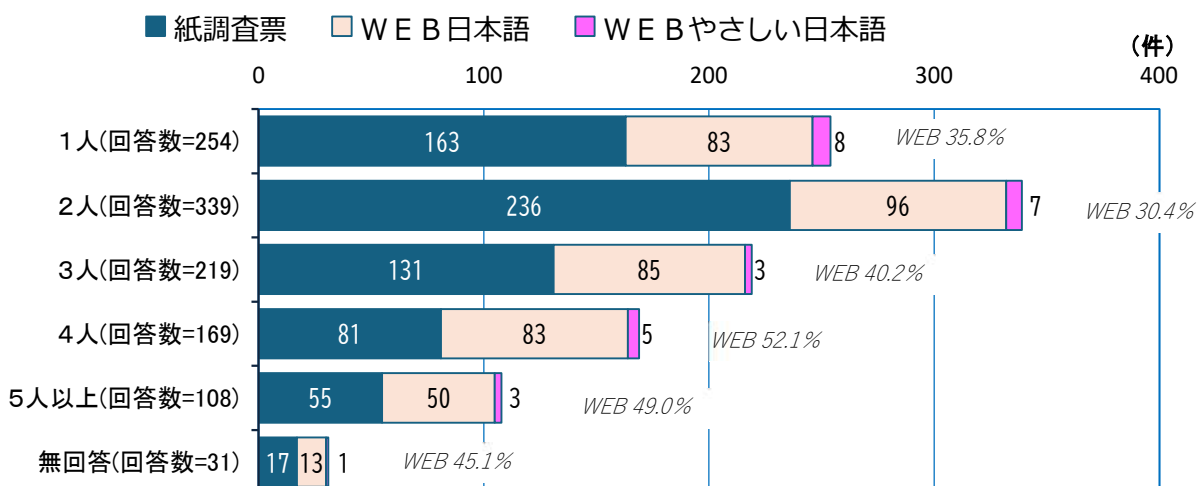
WEB回答の割合は、「4人」世帯が52.1%で最も高く、次いで「5人」世帯が49.0%となっている。

また、WEB「やさしい日本語版」(4か国語対応)からの回答は、「1人」世帯が8件で最も多く、次いで「2人」世帯が7件となっている。

No.	選択肢	回答者数(人)	構成比(%)
1	1人	254	22.7
2	2人	339	30.3
3	3人	219	19.6
4	4人	169	15.1
5	5人以上	108	9.6
	世帯人数無回答	31	2.8
	全体	1120	100.0



<世帯人数別—回答方法>



問 20. あなたのお住まいの住居形態は、次のうちどれですか。

回答者を住居形態別にみると、「戸建て住宅」が77.2%で最も高い割合になっている。次いで「集合住宅で専用のごみ置き場がある」が12.4%となっている。

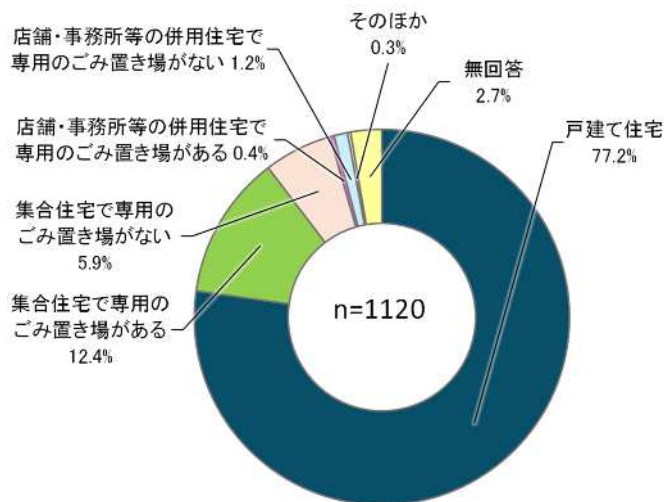
住居形態別のWEB回答の割合は、「戸建て住宅」が37.6%（325件）で、「集合住宅で専用ごみ置き場がある」と「集合住宅で専用のごみ置き場がない」をあわせた“集合住宅”が43.3%（89件）となっている。

WEBによる回答率でみると“集合住宅”が「戸建て住宅」より高くなっている。

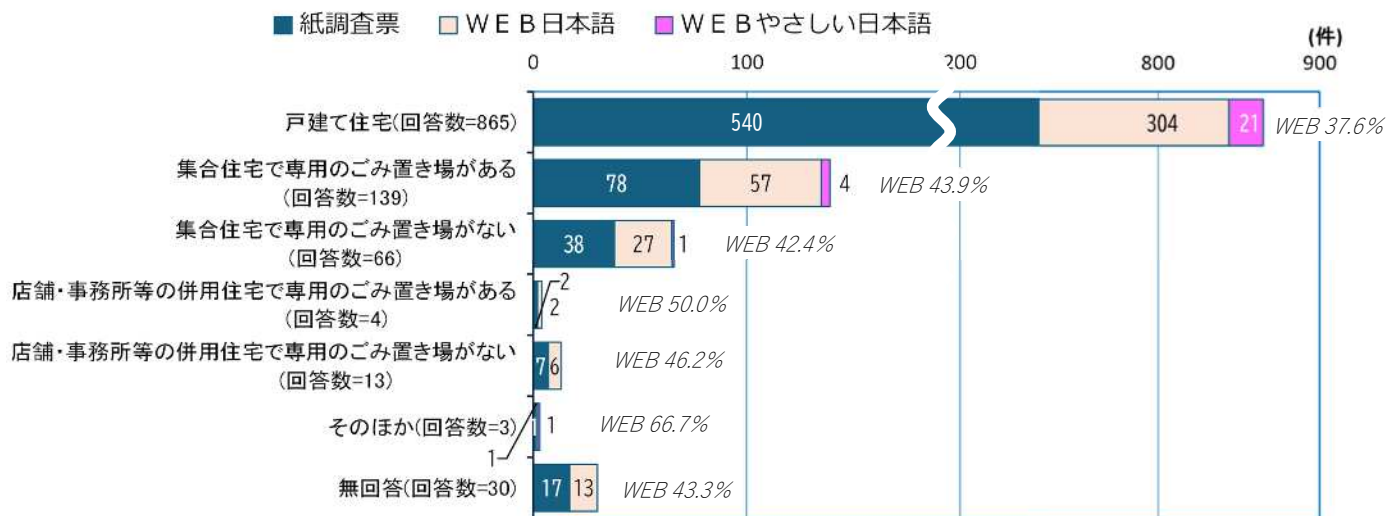
No.	選択肢	回答者数(人)	構成比(%)
1	戸建て住宅	865	77.2
2	集合住宅で専用のごみ置き場がある	139	12.4
3	集合住宅で専用のごみ置き場がない	66	5.9
4	店舗・事務所等の併用住宅で専用のごみ置き場がある	4	0.4
5	店舗・事務所等の併用住宅で専用のごみ置き場がない	13	1.2
6	そのほか	3	0.3
	無回答	30	2.7
	全体	1120	100.0

（そのほか）の内容

- ・教会
- ・団地



<住居形態別－回答方法>



2. ご家庭での資源の出し方・処理方法について

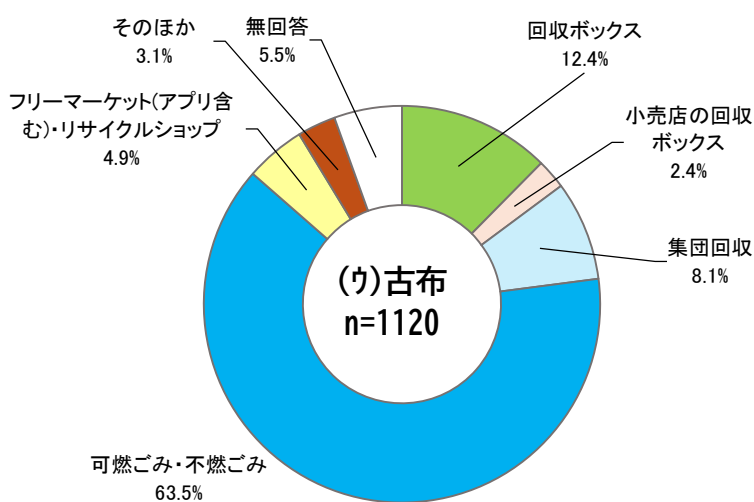
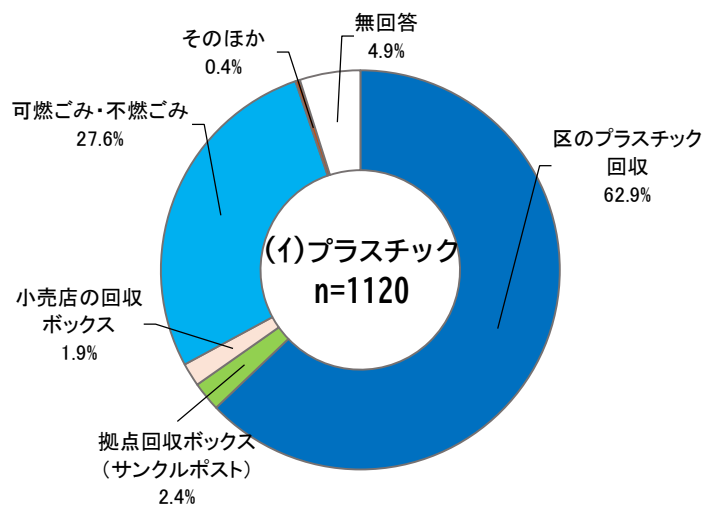
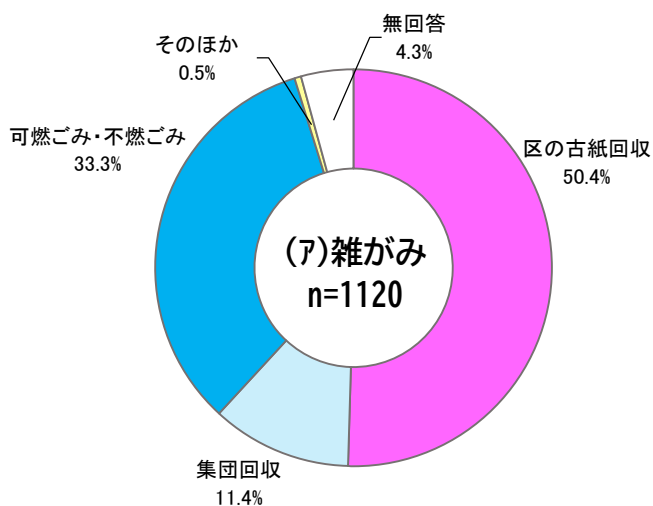
問1. あなたは、「雑がみ」、「プラスチック」、「古布」を主にどのように処分していますか。(SA)

「雑がみ」の処分の仕方では、「区古紙回収」が50.4%と最も高い割合になっている。次いで「可燃ごみ・不燃ごみ」が33.3%となっている。

「プラスチック」については、「区のプラスチック回収」が62.9%で最も高い割合で、次いで「可燃ごみ・不燃ごみ」が27.6%となっている。

「古布」については、「可燃ごみ・不燃ごみ」が63.5%で最も高い割合で、次いで「回収ボックス」が12.4%となっている。

No.	選択肢	(ア)雑がみ		(イ)プラスチック		(ウ)古布	
		回答者数(人)	構成比(%)	回答者数(人)	構成比(%)	回答者数(人)	構成比(%)
1	区のプラスチック回収			704	62.9		
2	拠点回収ボックス(サンクルポスト)			27	2.4	139	12.4
3	小売店の回収ボックス			21	1.9	27	2.4
4	区古紙回収	565	50.4				
5	集団回収	128	11.4			91	8.1
6	可燃ごみ・不燃ごみ	373	33.3	309	27.6	711	63.5
7	フリーマーケット(アプリ含む) リサイクルショップ					55	4.9
8	そのほか	6	0.5	4	0.4	35	3.1
	無回答	48	4.3	55	4.9	62	5.5
	全体	1120	100.0	1120	100.0	1120	100.0



(そのほか)の内容

(ア)雑がみ

- ・再利用
- ・足立区のスーパー
(他区のスーパーでは回収している)

(イ)プラスチック

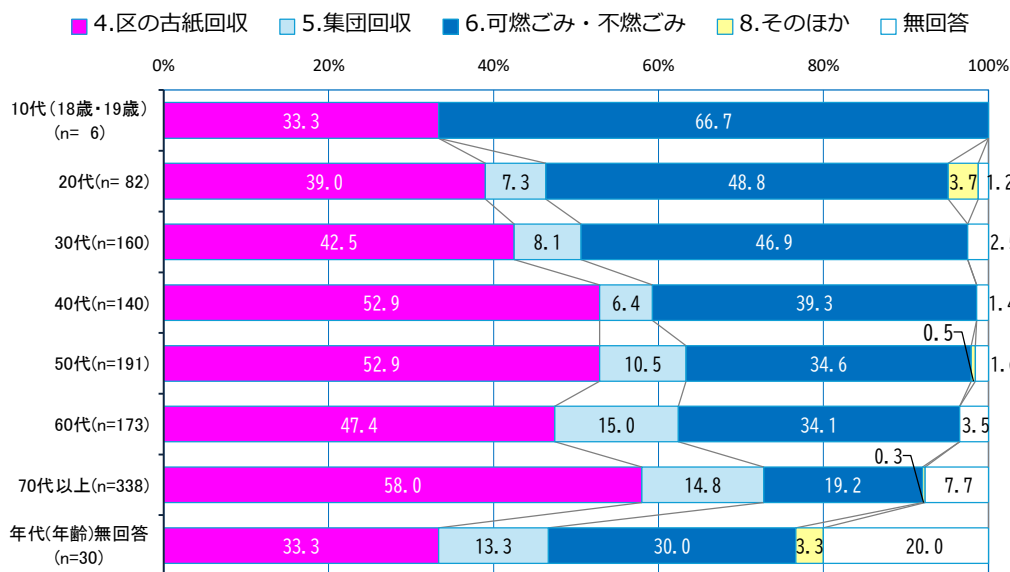
- ・未記入などで特筆するものなし

(ウ)古布

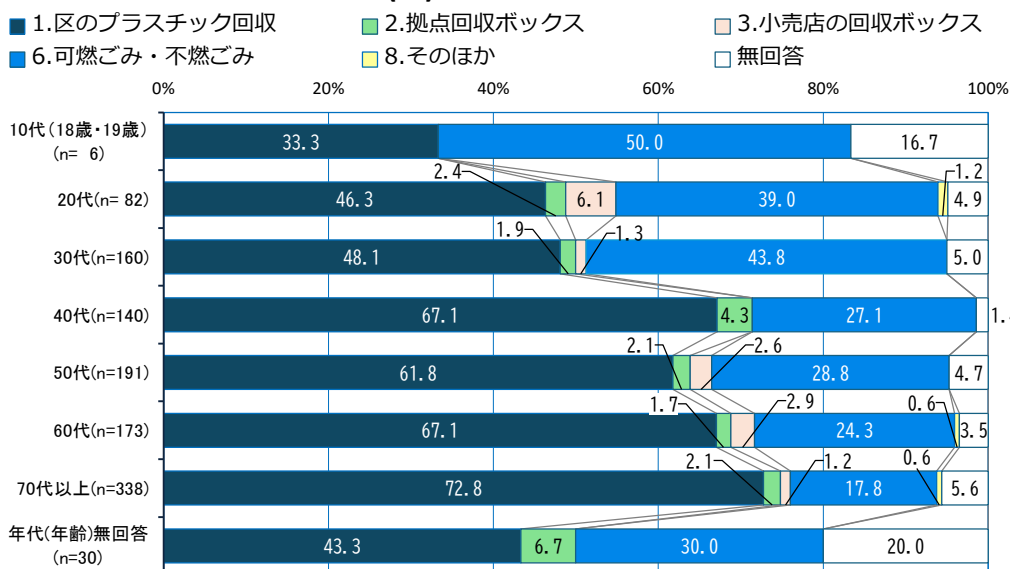
- ・清掃局に持込
- ・雑巾やウエスで再利用
- ・NPOに寄付
- ・知人にあげる
- ・妻の実家送っている

<年代別>

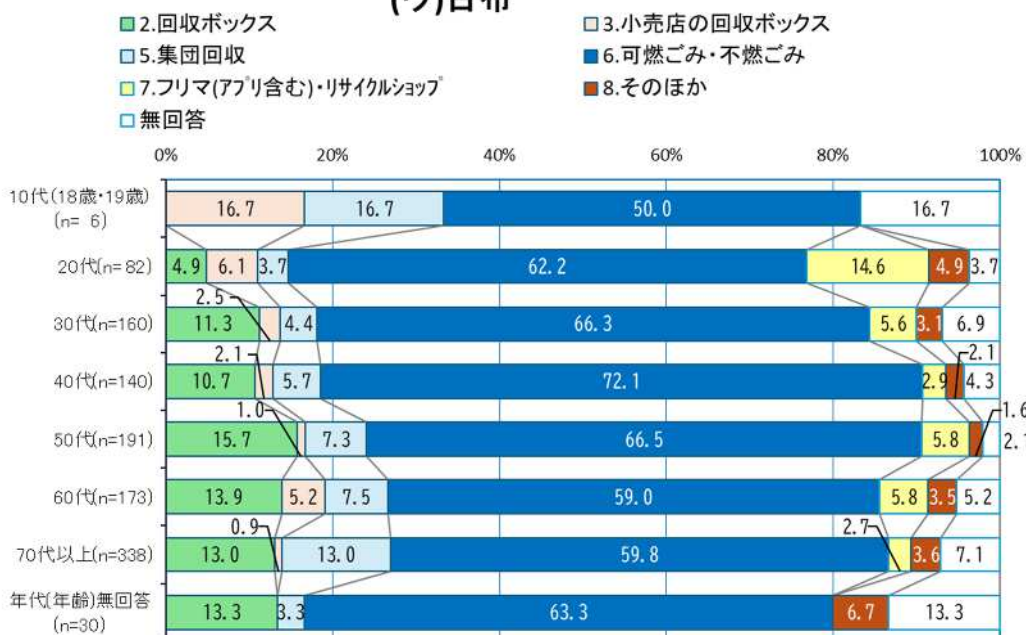
(ア)雑がみ



(イ)プラスチック

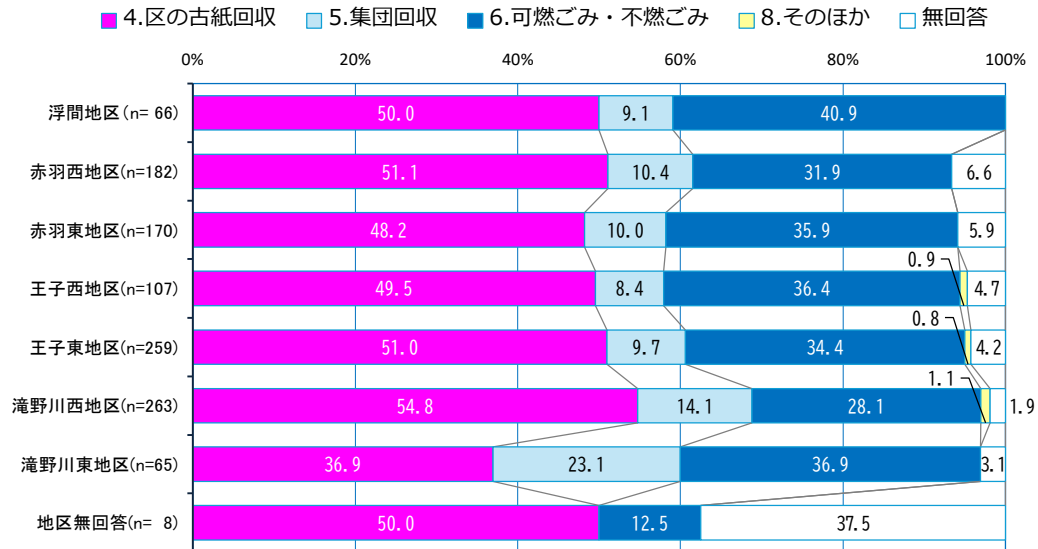


(ウ)古布

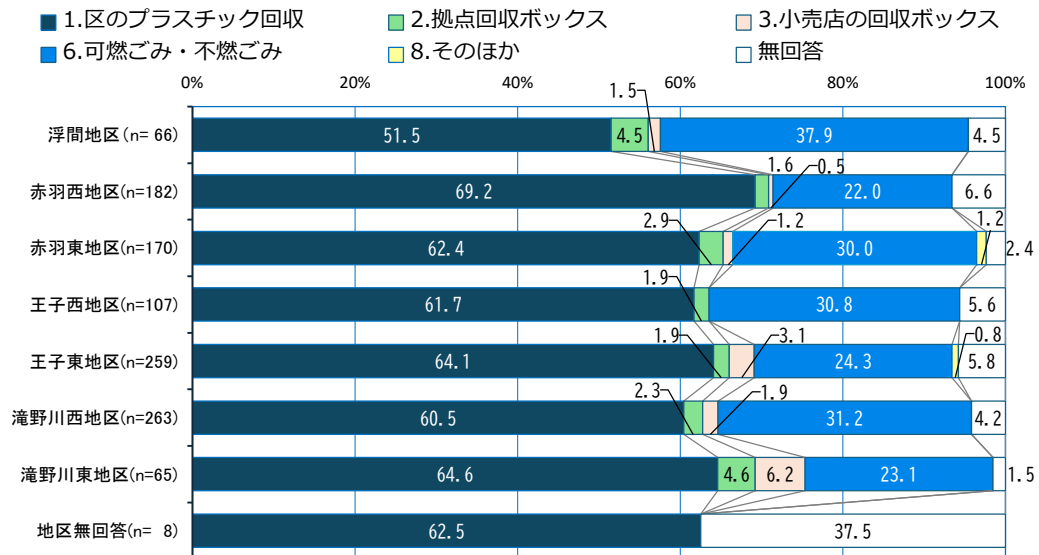


<地区別>

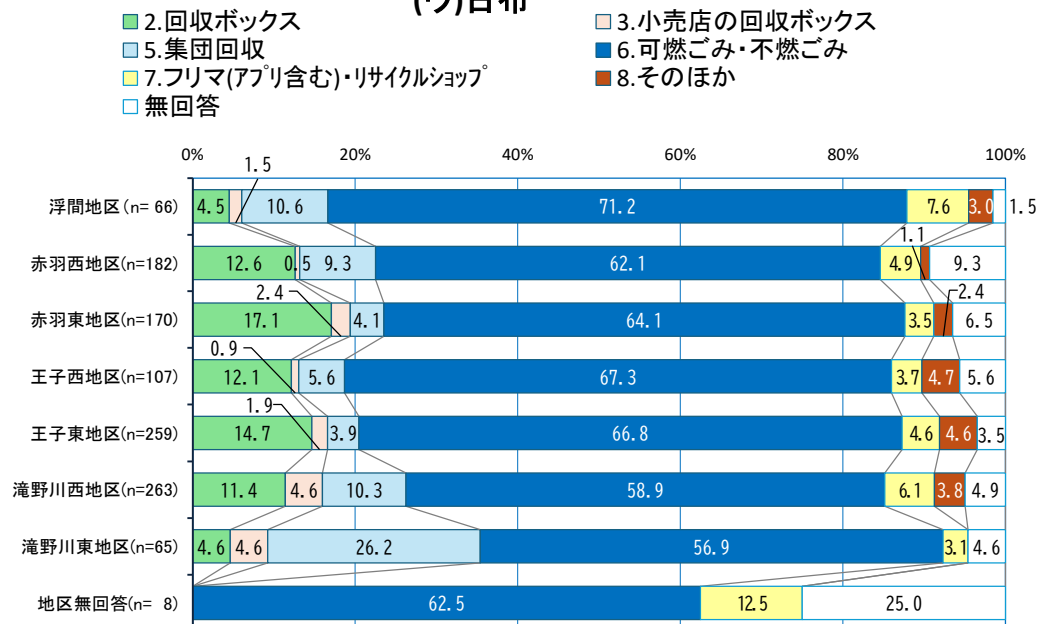
(ア)雑がみ



(イ)プラスチック



(ウ)古布



問2. あなたが、ごみ資源の分別の方法をどうやって調べたか教えてください。(MA)

ごみの分別方法を何で調べたかについては、「冊子(家庭ごみ・資源の分け方 出し方)」が57.1%で最も高い割合になっている。次いで「北区のチラシ」が51.5%となっている。

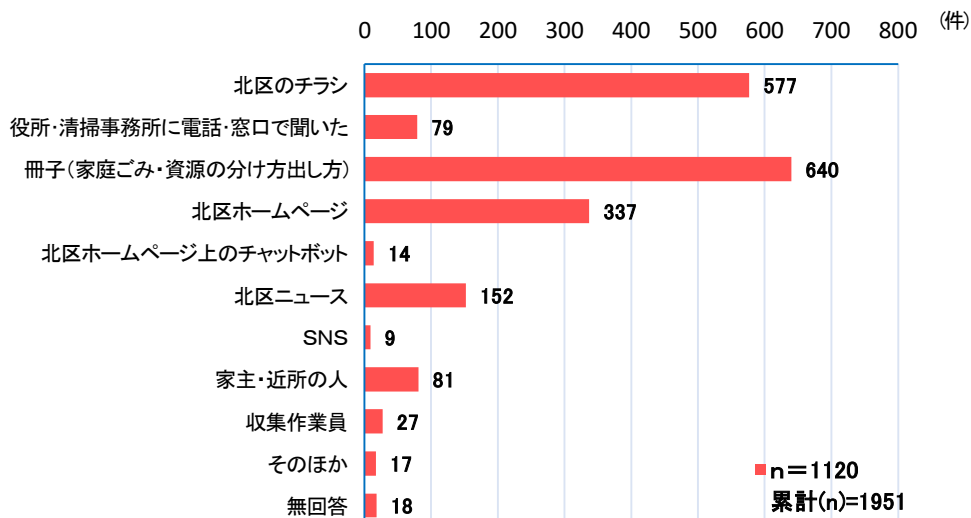
令和4年度の前回調査では「北区のチラシ」の54.2%が最も高い割合で、次いで「冊子(家庭ごみ・資源の分け方 出し方)」が53.5%となっている。

年代別にみると、どの年代でも「冊子(家庭ごみ・資源の分け方出し方)」と「北区のチラシ」が多く回答されているが、「30代」については「北区ホームページ」が2番目に高い割合になっている。また、「60代」「70代以上」では「北区ニュース」が他の年代に比べてやや高い割合になっている。

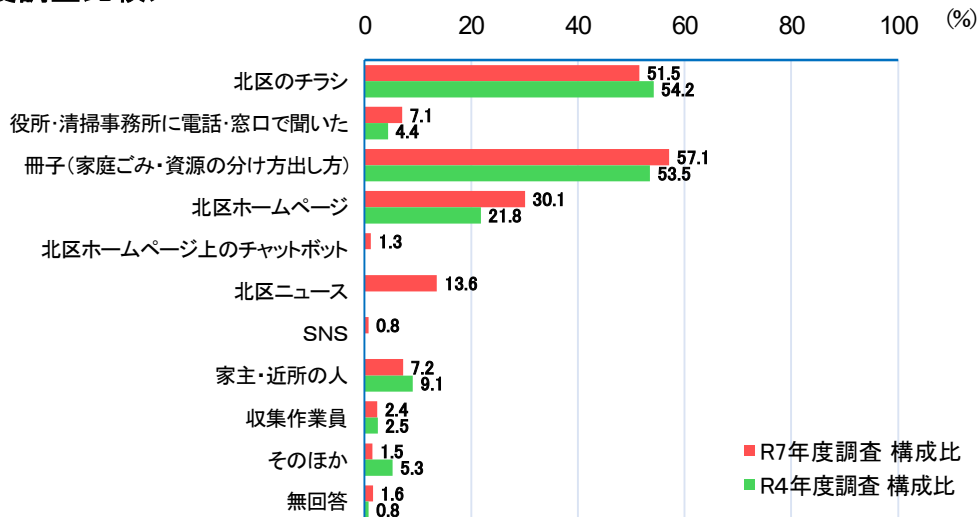
No.	選択肢	回答者数(件)	回答者率(%)
1	北区のチラシ	577	51.5
2	役所・清掃事務所に電話・窓口で聞いた	79	7.1
3	冊子(家庭ごみ・資源の分け方出し方)	640	57.1
4	北区ホームページ	337	30.1
5	北区ホームページ上のチャットボット	14	1.3
6	北区ニュース	152	13.6
7	SNS	9	0.8
8	家主・近所の人	81	7.2
9	収集作業員	27	2.4
10	そのほか	17	1.5
	無回答	18	1.6
	合計	1951	174.2

(そのほか)の内容

- ・町会の集まりで聞いた
- ・貼り紙を見た
- ・集積所の看板
- ・不動産管理業者
- ・以前に住んでいた自治体と同じだと思ってごみを出している。

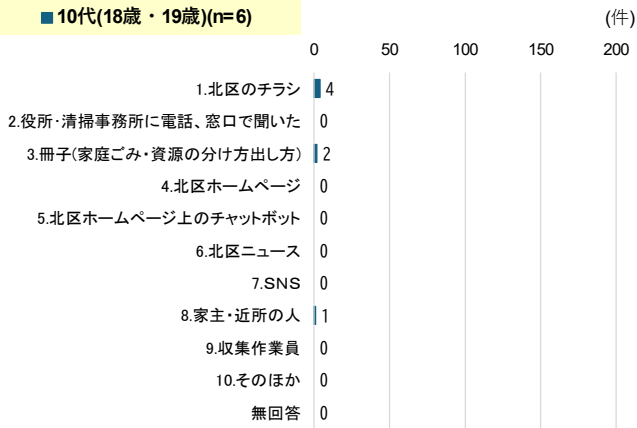


<令和4年度調査比較>

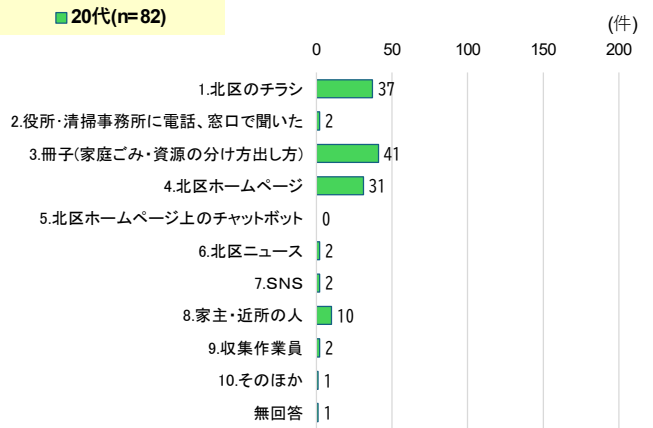


<年代別>

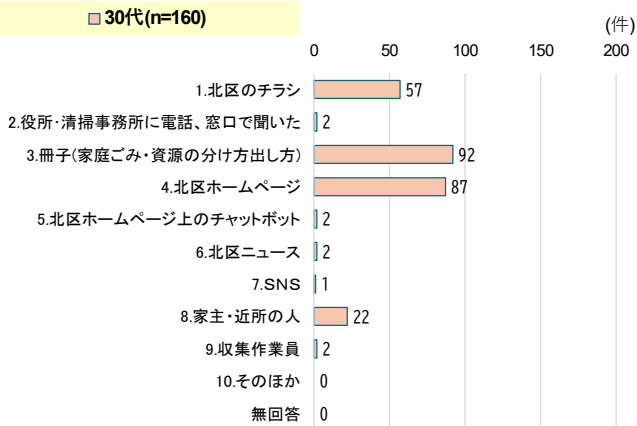
■ 10代(18歳・19歳)(n=6)



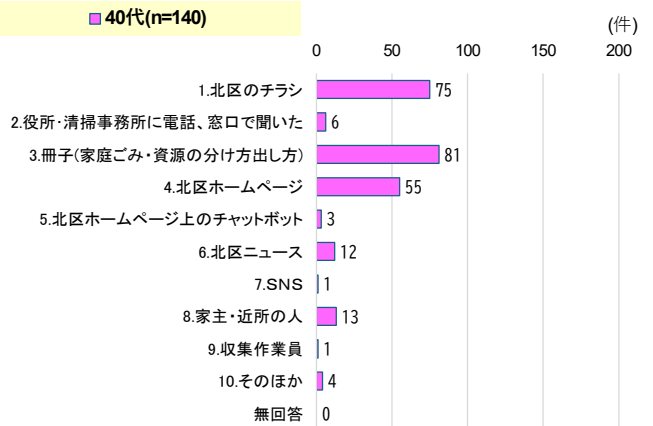
■ 20代(n=82)



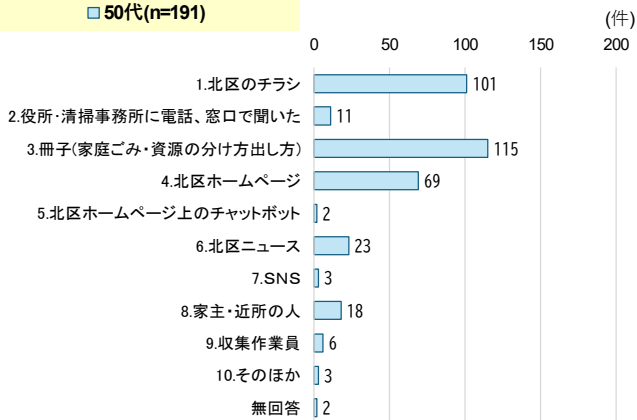
□ 30代(n=160)



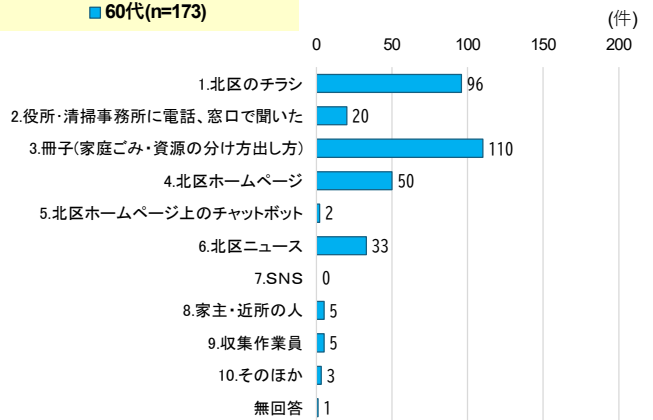
■ 40代(n=140)



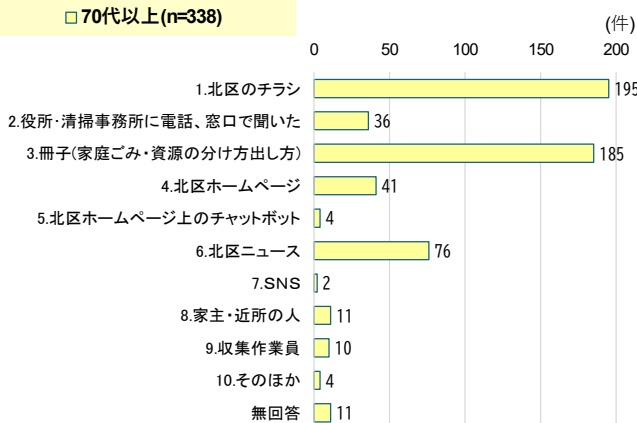
□ 50代(n=191)



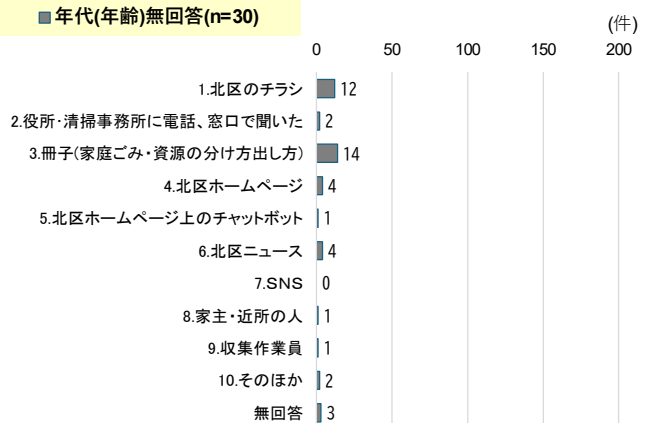
■ 60代(n=173)



□ 70代以上(n=338)

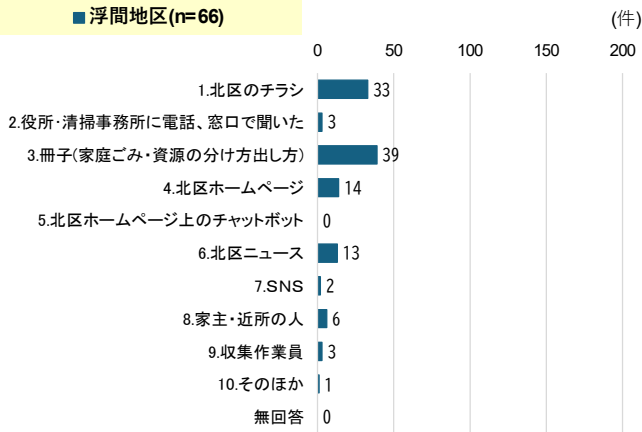


■ 年代(年齢)無回答(n=30)

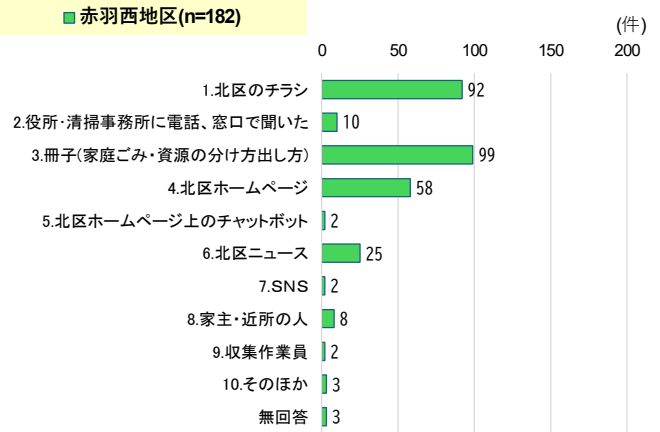


<地区別>

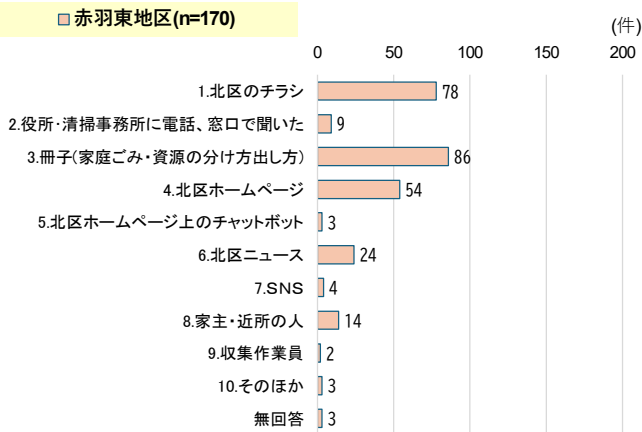
■ 浮間地区(n=66)



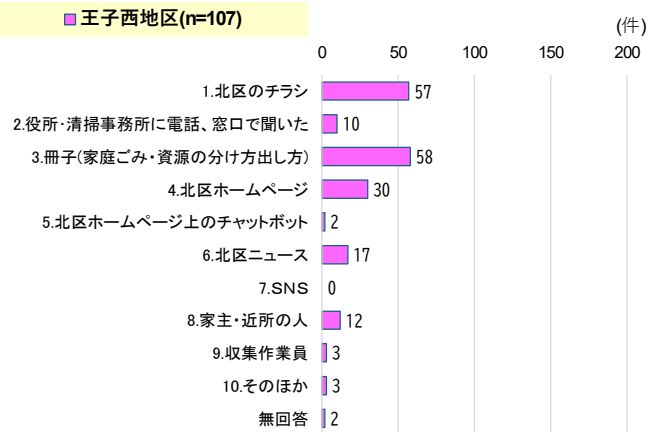
■ 赤羽西地区(n=182)



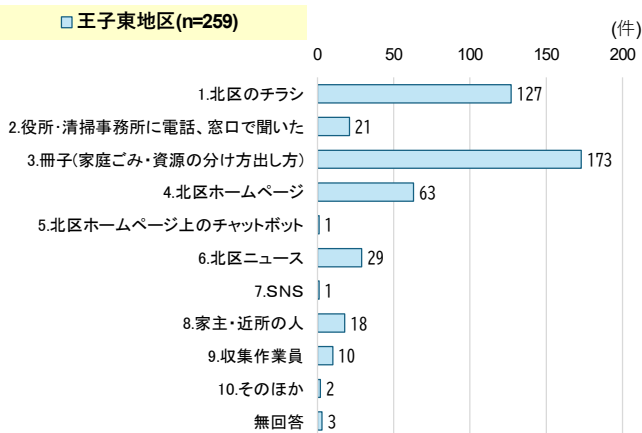
■ 赤羽東地区(n=170)



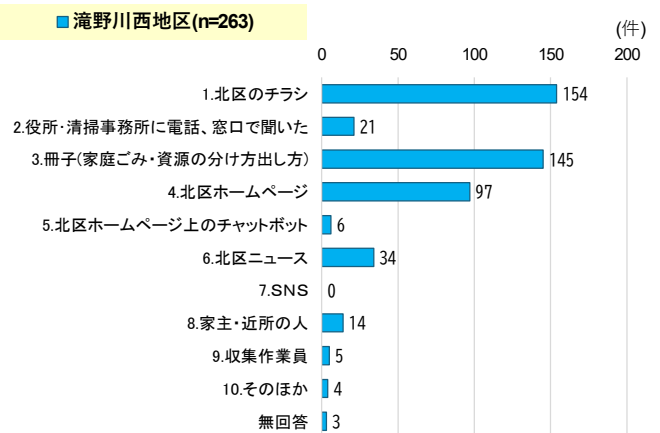
■ 王子西地区(n=107)



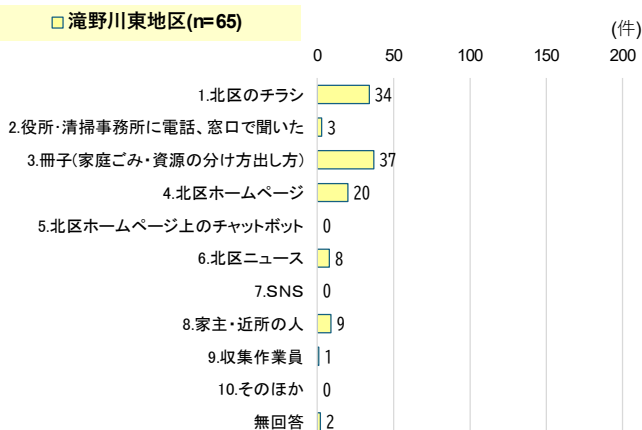
■ 王子東地区(n=259)



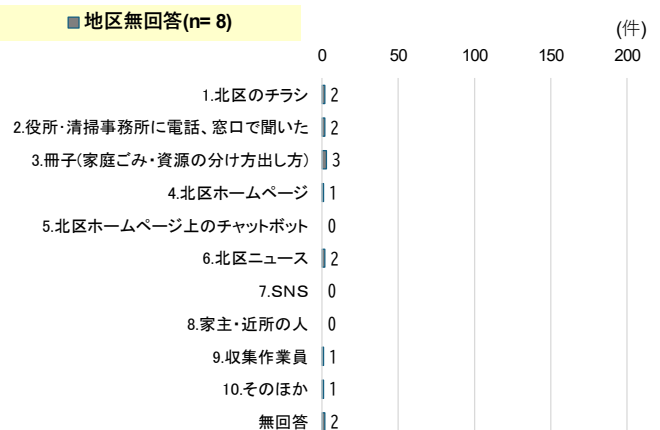
■ 滝野川西地区(n=263)



■ 滝野川東地区(n=65)



■ 地区無回答(n=8)



問3. あなたは、町会・自治会等で行っている集団回収に参加していますか。(S A)

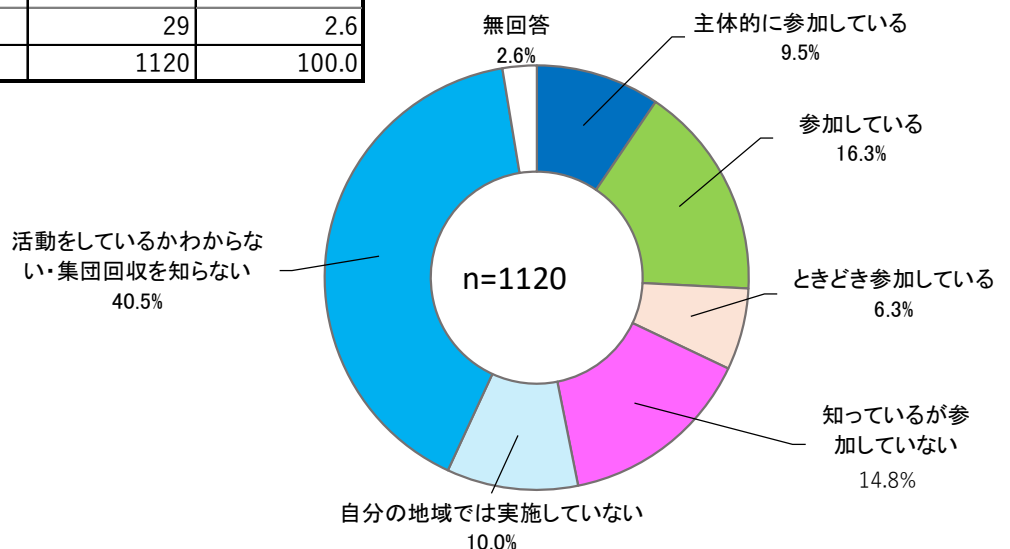
集団回収への参加について問う設問だが、「活動しているかわからない 集団回収を知らない」が40.5%で最も高い割合になっている。次いで「参加している」が16.3%となっている。

「主体的に参加している」、「参加している」、「ときどき参加している」を合わせた32.1%が“参加している”と回答している。

令和4年度の前回調査と比べると「知っているが参加していない」が19.9%から14.8%に減少しており、また「活動しているかわからない 集団回収を知らない」も48.7%から40.5%に減少している。一方、「主体的に参加している」と「参加している」と「ときどき参加している」を合わせた“参加している”の割合は22.1%から32.1%に上昇している。

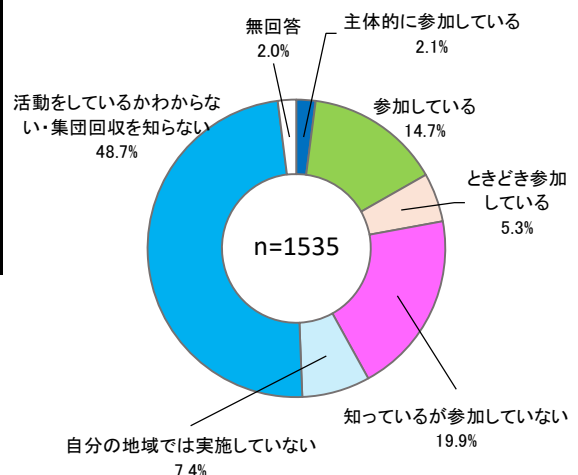
年代別にみると、年代が上がるごとに「主体的に参加している」と「参加している」と「ときどき参加している」を合わせた“参加している”の割合が高くなり、「活動しているかわからない 集団回収を知らない」の割合は低くなる傾向がある。

No.	選択肢	回答者数(人)	構成比(%)
1	主体的に参加している	106	9.5
2	参加している	183	16.3
3	ときどき参加している	70	6.3
4	知っているが参加していない	166	14.8
5	自分の地域では実施していない	112	10.0
6	活動をしているかわからない 集団回収を知らない	454	40.5
	無回答	29	2.6
	全体	1120	100.0



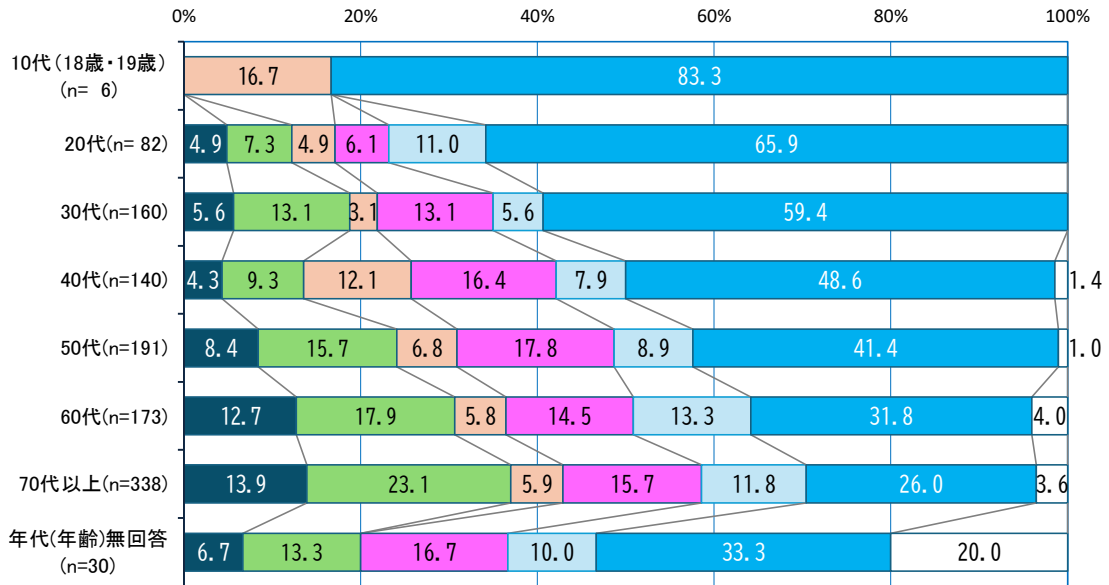
<令和4年度調査比較>

No.	選択肢	回答数	R4構成比
1	参加しており団体の活動に主体的に関わっている	32	2.1
2	参加している	225	14.7
3	ときどき参加している	81	5.3
4	知っているが参加していない	305	19.9
5	自分の地域では実施していない	113	7.4
6	活動を知らない	748	48.7
	無回答	31	2.0
	全体	1535	100.0



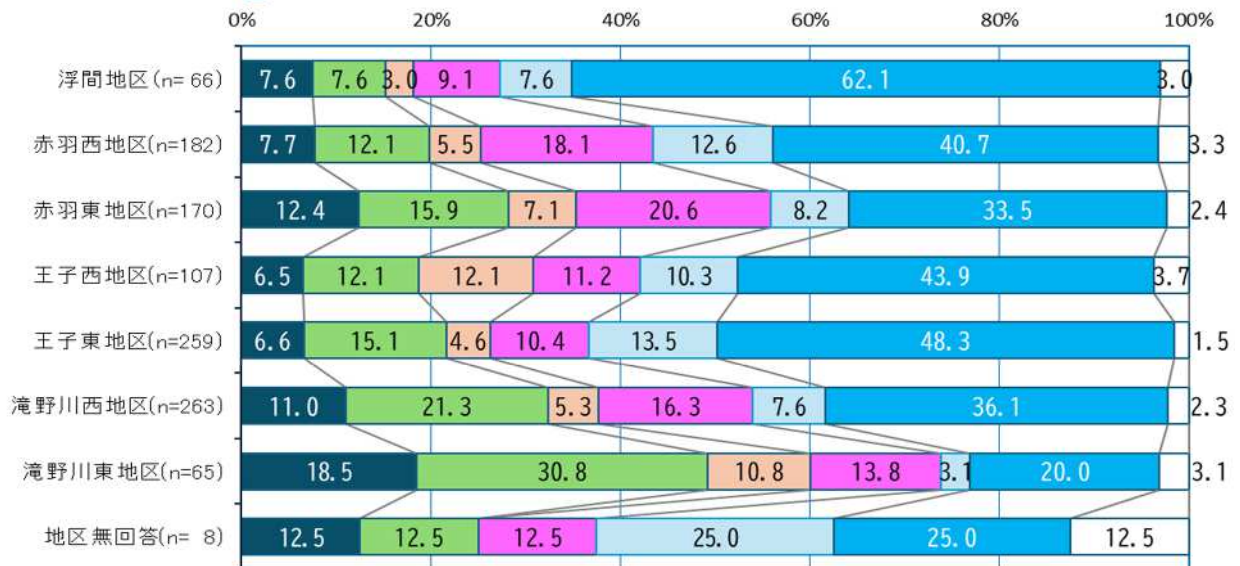
<年代別>

- 1.主体的に参加している
- 2.参加している
- 3.ときどき参加している
- 4.知っているが参加していない
- 5.自分の地域では実施していない
- 6.活動をしているかわからない・集団回収を知らない
- 無回答



<地区別>

- 1.主体的に参加している
- 2.参加している
- 3.ときどき参加している
- 4.知っているが参加していない
- 5.自分の地域では実施していない
- 6.活動をしているかわからない・集団回収を知らない
- 無回答



問4. 集団回収に参加しやすくするためには、どのような点を改善する必要がありますか。(MA)

集団回収に参加しやすくするための改善点については、「回収日等を知らせる活動を増やす」が34.6%で最も高い割合になっている。次いで「集団回収を知らない」32.3%、「回収“場所”を増やす」19.1%の順になっている。

令和4年度の前回調査では「回収日等を知らせる活動を増やす」が42.0%と最も多く回答されており、今回調査より7.4%高い割合で回答されていた。「回収“場所”を増やす」は12.3%で今回調査の19.1%より低い割合だった。なお、「集団回収を知らない」は令和4年度調査で選択肢を設けていなかった。

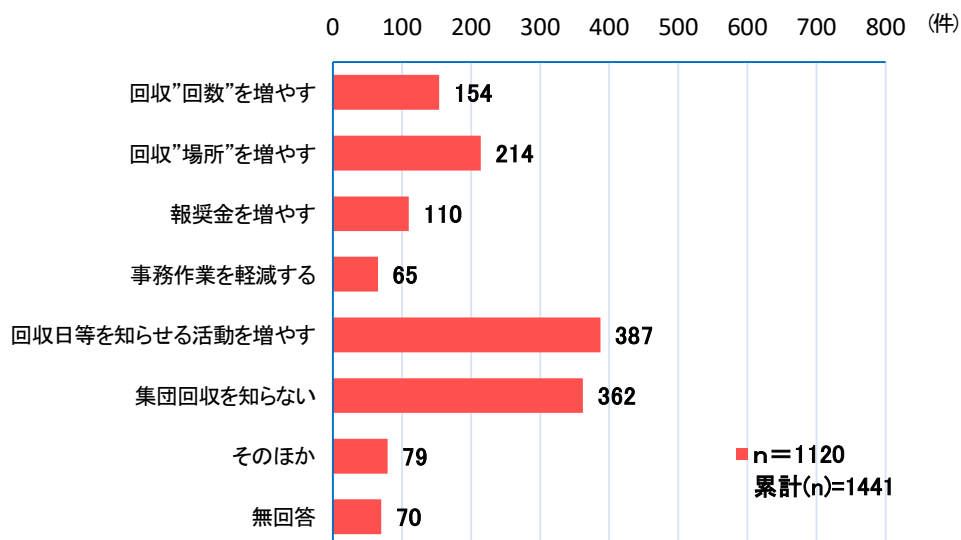
年代別にみると、「30代」以下の世代で「集団回収を知らない」が最も多く回答されている。

地区別では、「赤羽西地区」と「王子東地区」において、「集団回収を知らない」の回答が最も多い。浮間地区では「集団回収を知らない」と「回収日等を知らせる活動を増やす」が同率であるが、それ以外の4地区では「回収日等を知らせる活動を増やす」が最も多くなっている。

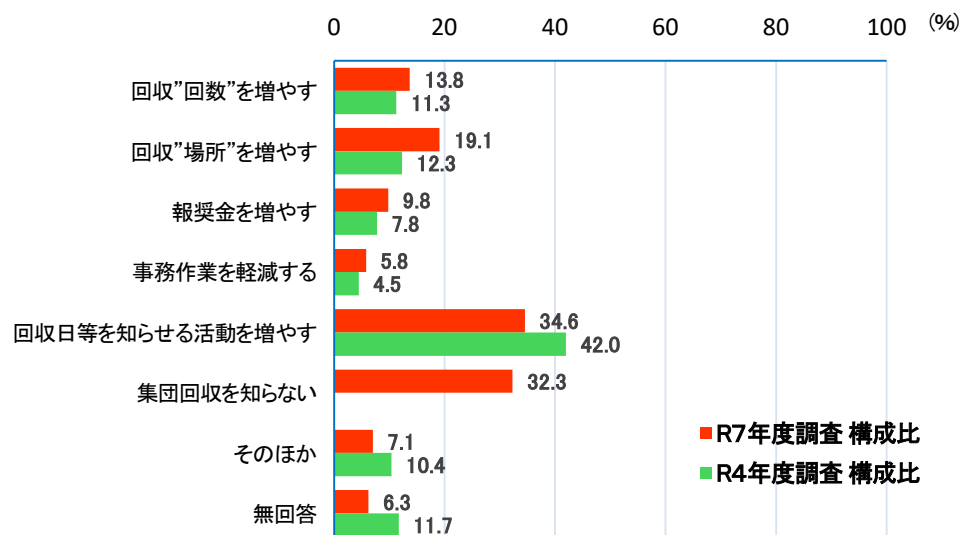
No.	選択肢	回答者数(件)	回答者率(%)
1	回収“回数”を増やす	154	13.8
2	回収“場所”を増やす	214	19.1
3	報奨金を増やす	110	9.8
4	事務作業を軽減する	65	5.8
5	回収日等を知らせる活動を増やす	387	34.6
6	集団回収を知らない	362	32.3
7	そのほか	79	7.1
	無回答	70	6.3
	合計	1441	128.7

(そのほか)の内容

- ・ 町会、自治会に入っていない人にも知らせる
- ・ 回収方法の周知・宣伝
- ・ 洗浄義務などを無くす
- ・ 毎週やる

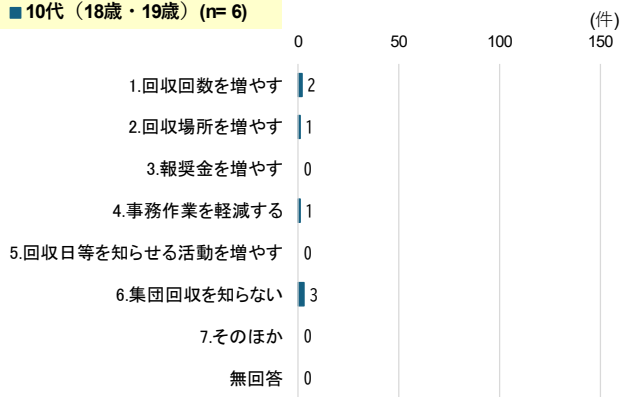


<令和4年度調査比較>

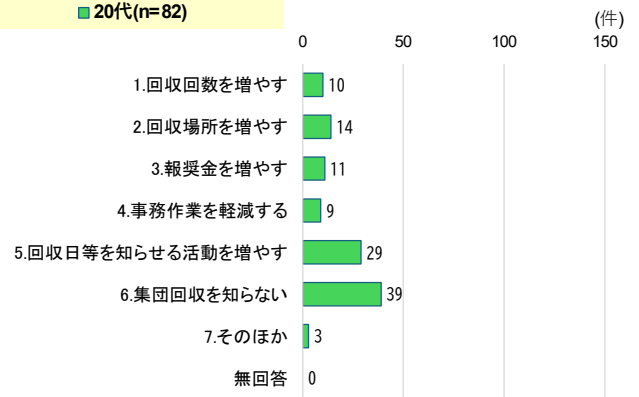


<年代別>

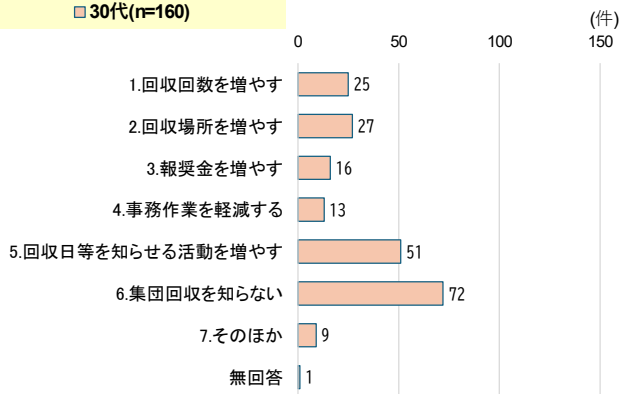
■ 10代 (18歳・19歳) (n=6)



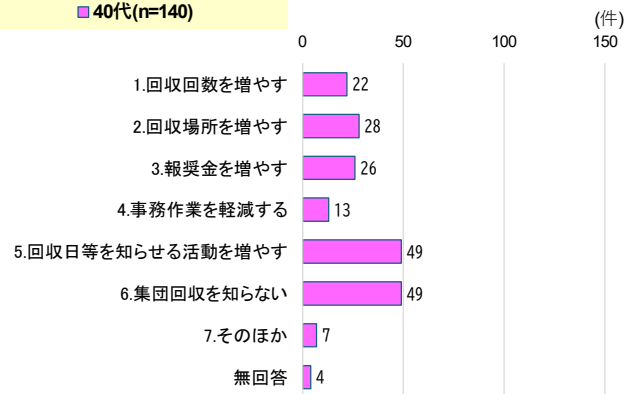
■ 20代(n=82)



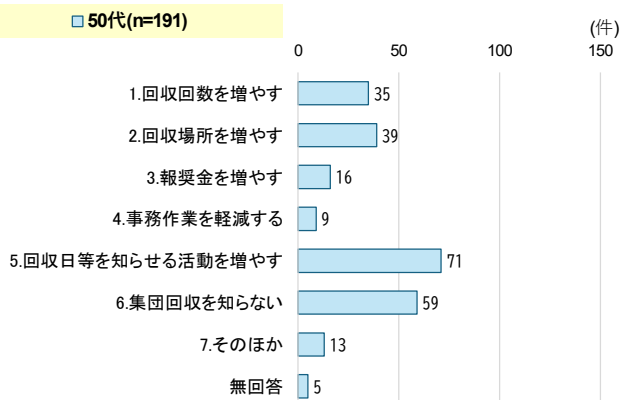
□ 30代(n=160)



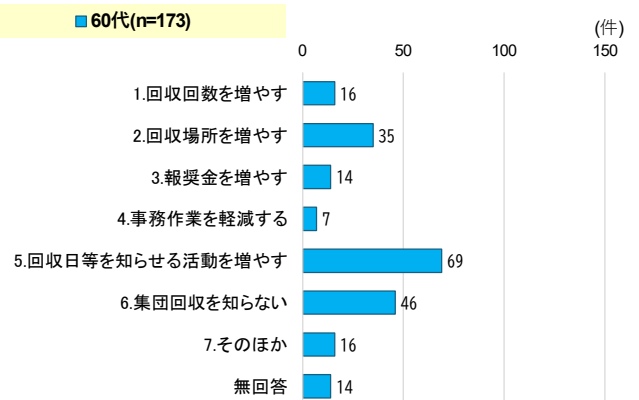
■ 40代(n=140)



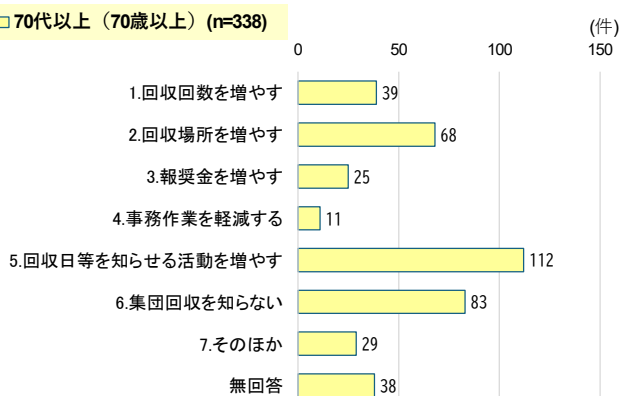
□ 50代(n=191)



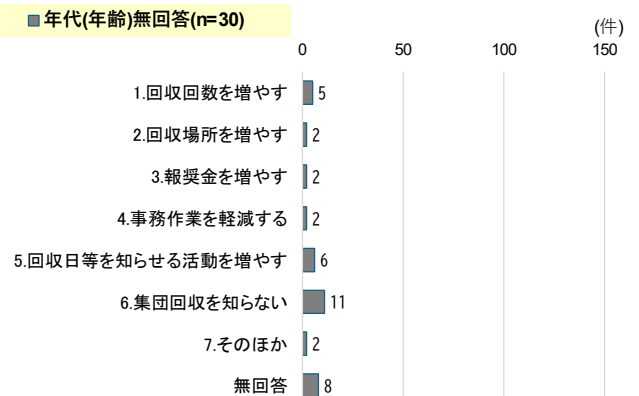
■ 60代(n=173)



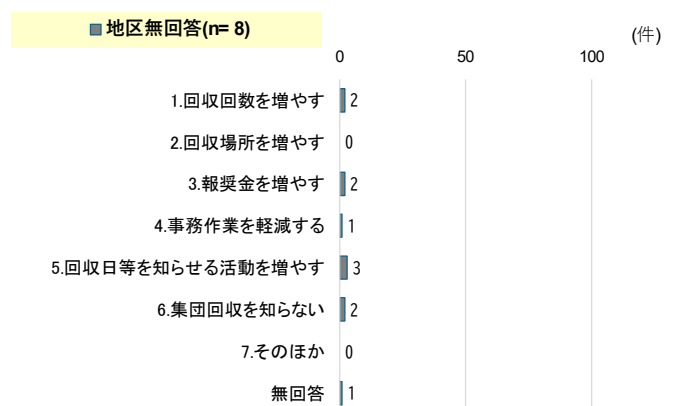
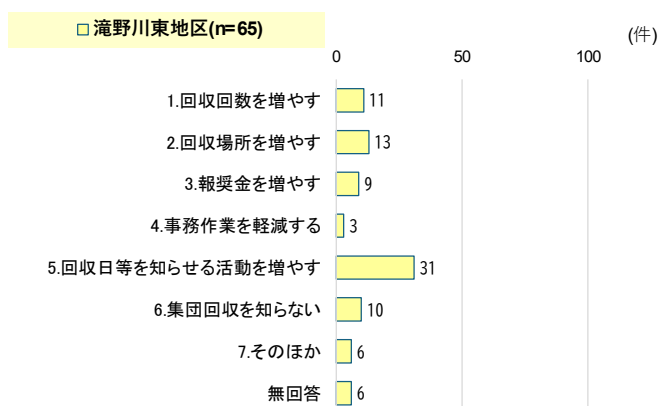
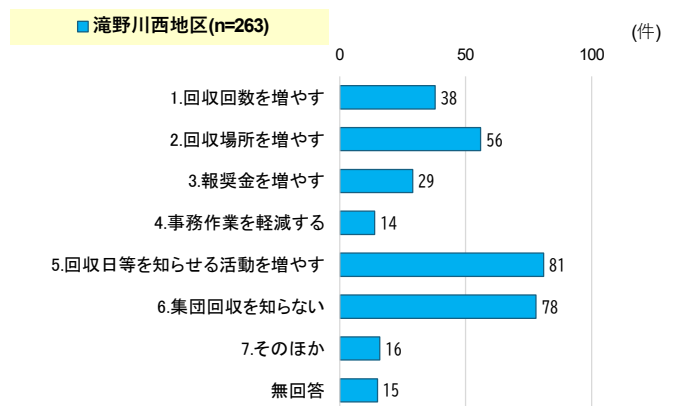
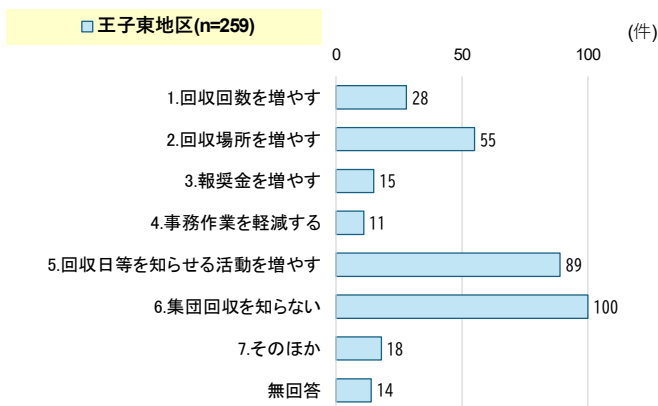
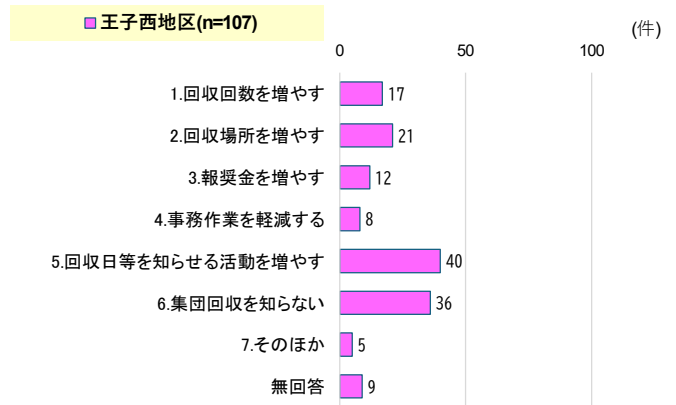
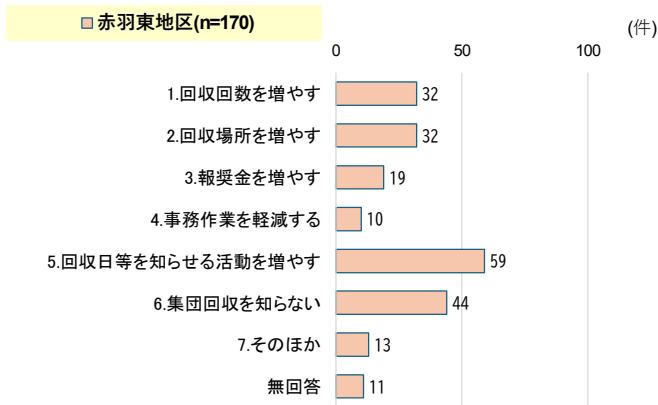
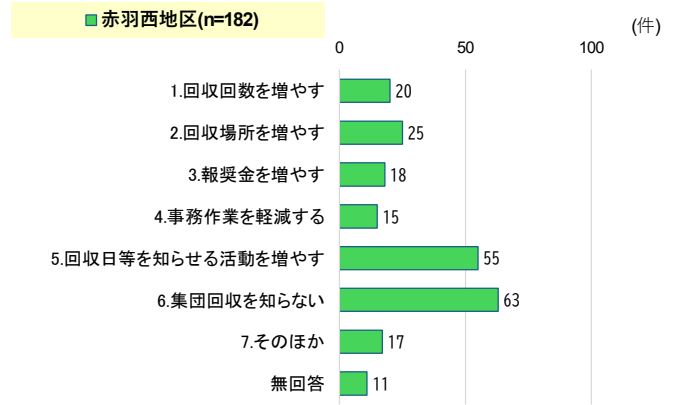
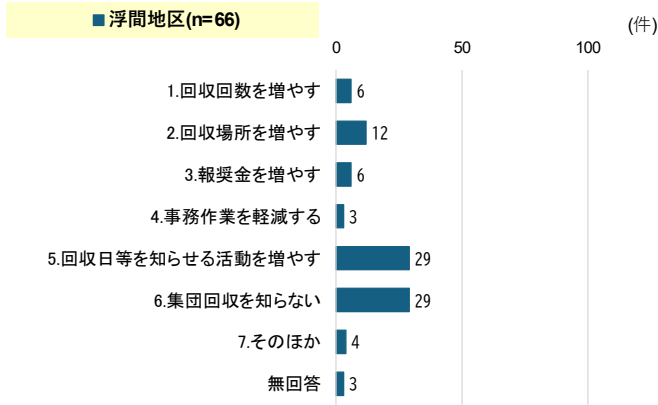
□ 70代以上 (70歳以上) (n=338)



■ 年代(年齢)無回答(n=30)



<地区別>



問5-1. あなたは、ご家庭で「食品ロス削減」に取り組んでいますか。(SA)

「食品ロス削減」の項目(ア)～(カ)に取り組んでいるか」については下記の回答内容となっている。

(ア)食べきれないほど買わない

- ・「取り組んでいる」と「時々取り組んでいる」を合わせて92.5%が“取り組んでいる”と回答している。
- ・年代別にみると“取り組んでいる”の割合が最も高いのは「10代」で100.0%となっている。最も割合が低いのは「20代」で90.3%となっている。
- ・世帯人数別にみると“取り組んでいる”の割合が最も高いのは「4人」世帯で96.4%となっている。最も割合が低いのは「1人」世帯で92.2%となっている。

(イ)買い物前に食品の在庫を調べる

- ・「取り組んでいる」と「時々取り組んでいる」を合わせて90.0%が“取り組んでいる”と回答している。
- ・年代別にみると“取り組んでいる”の割合が最も高いのは「10代」で100.0%となっている。次いで「30代」が94.4%となっている。最も割合が低いのは「20代」で87.9%となっている。
- ・世帯人数別にみると“取り組んでいる”の割合が最も高いのは「4人」世帯で93.5%となっている。最も割合が低いのは「1人」世帯で89.3%となっている。

(ウ)食材が長持ちする保存方法にしている

- ・「取り組んでいる」と「時々取り組んでいる」を合わせて82.2%が“取り組んでいる”と回答している。
- ・年代別にみると“取り組んでいる”の割合が最も高いのは「10代」で100.0%となっている。次いで「50代」が86.9%となっている。最も割合が低いのは「30代」で80.0%となっている。
- ・世帯人数別にみると“取り組んでいる”の割合が最も高いのは「3人」世帯で89.1%となっている。最も割合が低いのは「1人」世帯で71.6%となっている。

(エ)フードシェアリングサービス

- ・「取り組んでいる」と「時々取り組んでいる」を合わせた“取り組んでいる”は8.6%にとどまっている。「取り組んでいない」が52.6%で最も高い割合になっている。また、「わからない」も29.3%で高い割合になっている。
- ・年代別で“取り組んでいる”の割合が最も多いのは「10代」で16.7%である。次いで「年代(年齢)無回答」が13.3%、「20代」が12.2%の順になっている。最も割合が低いのは「60代」で6.4%となっている。
- ・世帯人数別にみると“取り組んでいる”の割合が最も高いのは「世帯人数無回答」で12.9%になっている。次いで「3人」世帯で12.3%となっている。

(オ)てまえどり(すぐ使う商品は手前のものをとる)

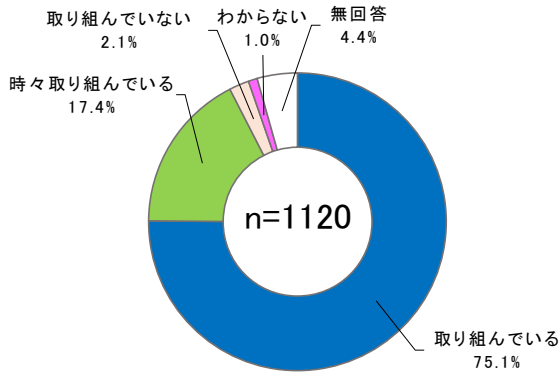
- ・「取り組んでいる」と「時々取り組んでいる」を合わせて68.9%が“取り組んでいる”と回答している。
- ・年代別にみると“取り組んでいる”の割合が最も高いのは「10代」で100.0%となっている。次いで「30代」が76.9%となっている。最も割合が低いのは「年代(年齢)無回答」の36.7%で、次いで「70代」が64.2%となっている。
- ・世帯人数別にみると“取り組んでいる”の割合が最も高いのは「5人以上」世帯で74.0%となっている。最も割合が低いのは「世帯人数無回答」の32.3%で、次いで「2人」世帯が67.2%となっている。

(カ)フードドライブ・フードバンクに寄付

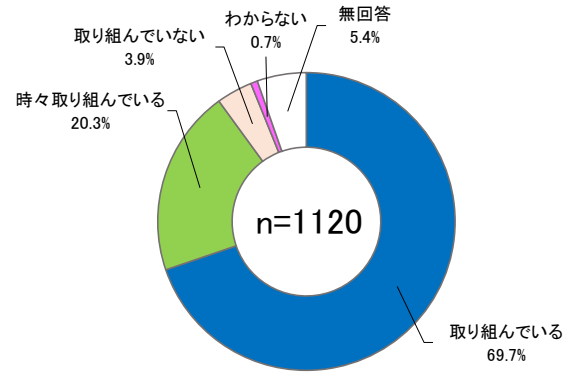
- ・「取り組んでいる」と「時々取り組んでいる」を合わせた“取り組んでいる”は5.1%にとどまっている。一方「取り組んでいない」が60.1%、「わからない」も25.5%と高い割合になっている。
- ・年代別にみると“取り組んでいる”の割合が最も高いのは「20代」で11.0%となっている。次いで「40代」が7.8%となっている。最も割合が低いのは「10代」で0.0%である。
- ・世帯人数別にみると“取り組んでいる”の割合が最も高いのは「世帯人数無回答」で6.5%、次いで「3人」世帯で6.0%となっている。最も割合が低いのは「5人以上」世帯で3.7%となっている。

No.	選択肢	(ア) 食べきれないほど買わない		(イ) 買い物前に食品の在庫を調べる		(ウ) 食材が長持ちする保存方法にしている		(エ) フードシェアリングサービスを利用		(オ) てまえどり		(カ) フードドライブ・フードバンクに寄付	
		回答者数 (人)	構成比 (%)	回答者数 (人)	構成比 (%)	回答者数 (人)	構成比 (%)	回答者数 (人)	構成比 (%)	回答者数 (人)	構成比 (%)	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	取り組んでいる	841	75.1	781	69.7	592	52.9	31	2.8	368	32.9	21	1.9
2	時々取り組んでいる	195	17.4	227	20.3	328	29.3	65	5.8	403	36.0	36	3.2
3	取り組んでいない	24	2.1	44	3.9	88	7.9	589	52.6	222	19.8	673	60.1
4	わからない	11	1.0	8	0.7	34	3.0	328	29.3	41	3.7	286	25.5
	無回答	49	4.4	60	5.4	78	7.0	107	9.6	86	7.7	104	9.3
	全体	1120	100.0	1120	100.0	1120	100.0	1120	100.0	1120	100.0	1120	100.0

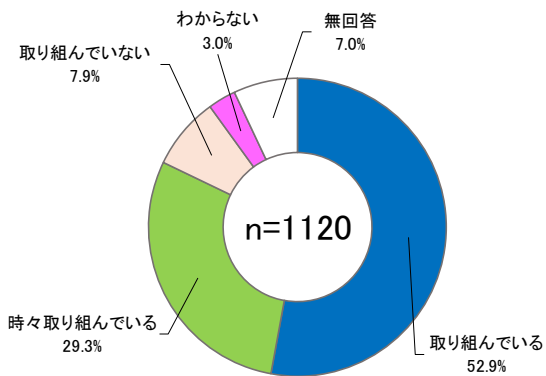
(ア) 食べきれないほど買わない



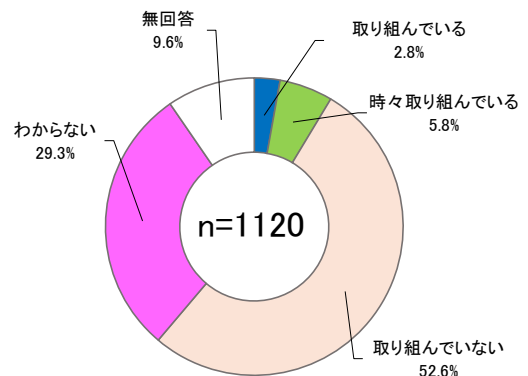
(イ) 買い物前に食品の在庫を調べる



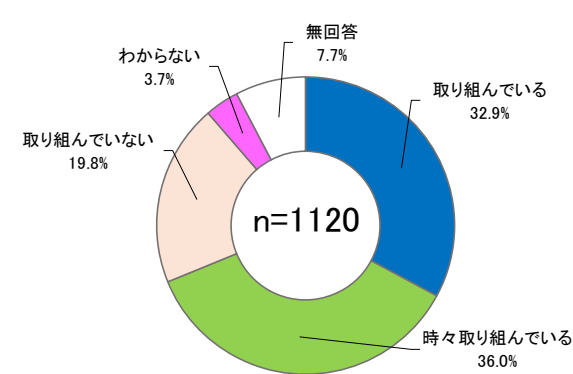
(ウ) 食材が長持ちする保存方法にしている



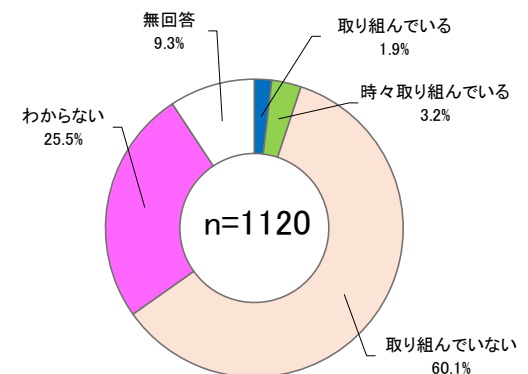
(エ) フードシェアリングサービスを利用



(カ) てまえどり(すぐ使う商品は手前のものをとる)



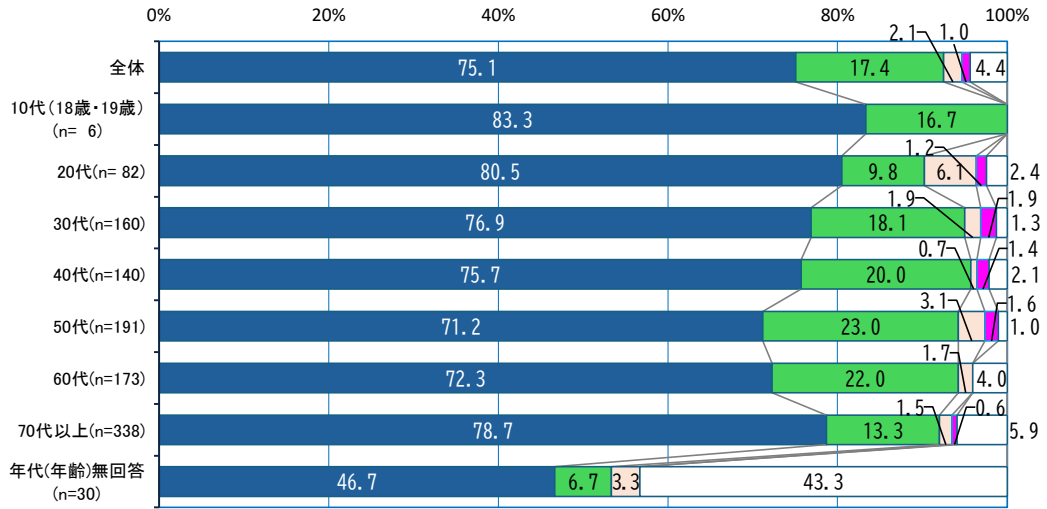
(キ) フードドライブ・フードバンクに寄付



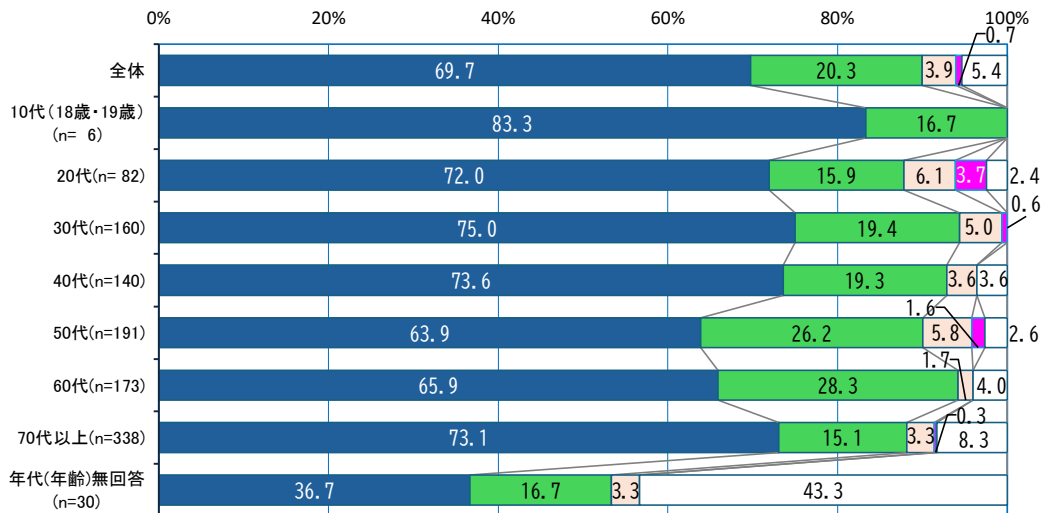
<年代別>

■ 1.取り組んでいる ■ 2.時々取り組んでいる ■ 3.取り組んでいない ■ 4.わからない □ 無回答

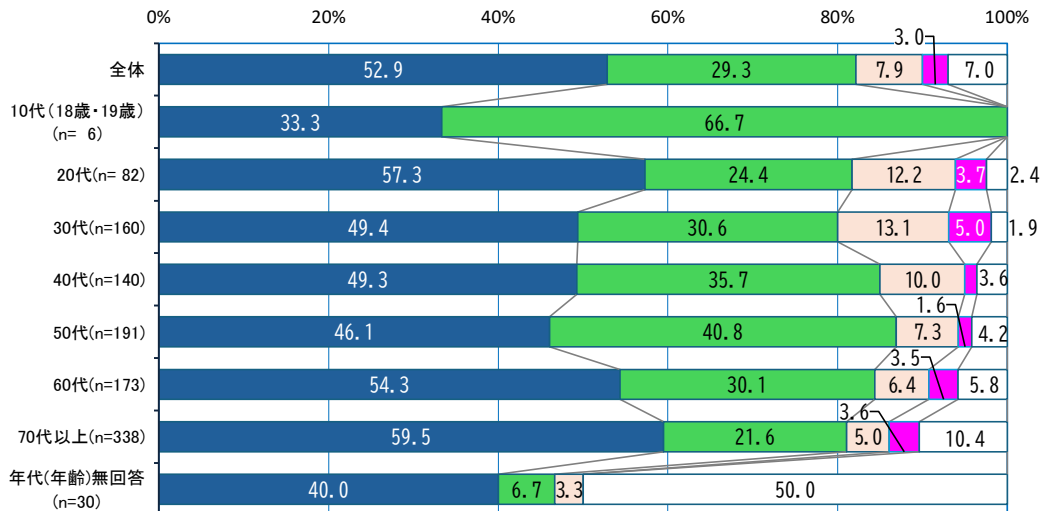
(ア) 食べきれないほど買わない



(イ) 買い物前に食品の在庫を調べる

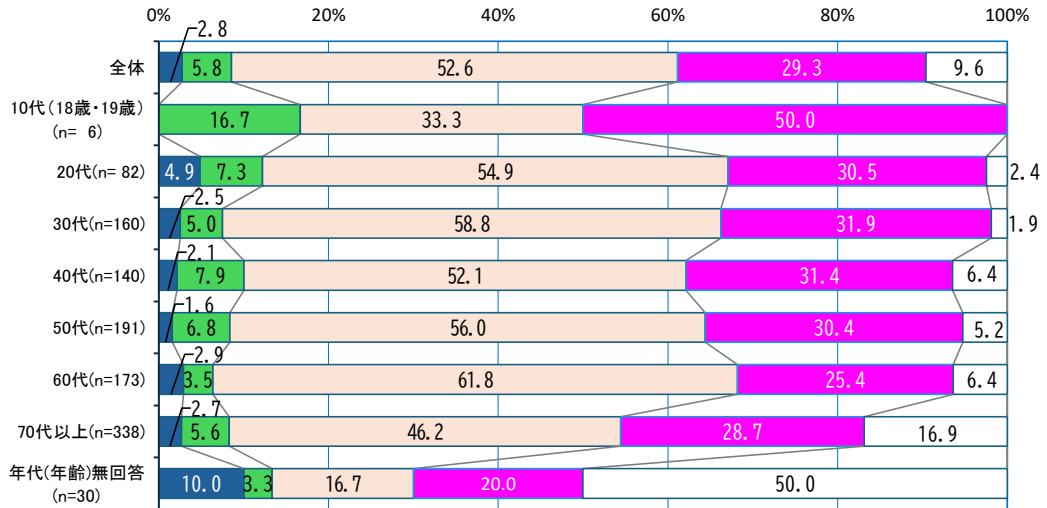


(ウ) 食材が長持ちする保存方法にしている

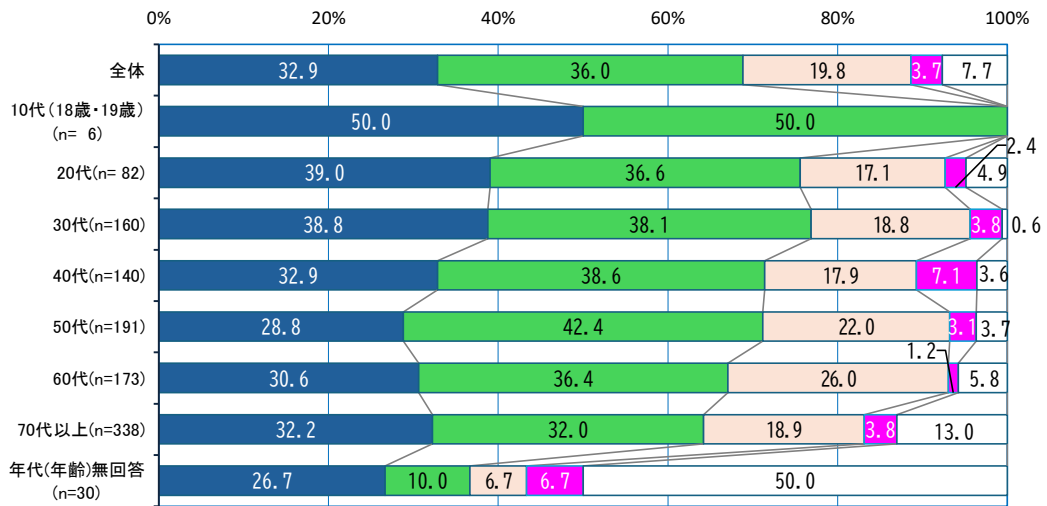


■ 1.取り組んでいる ■ 2.時々取り組んでいる ■ 3.取り組んでいない ■ 4.わからない □ 無回答

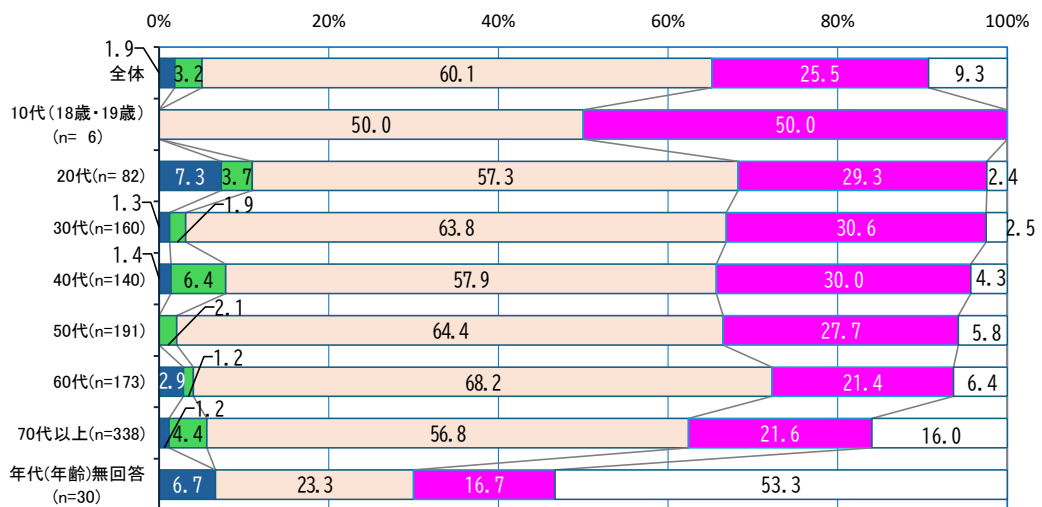
(エ) フードシェアリングサービスを利用



(オ) てまえどり(すぐ使う商品は手前のものをとる)



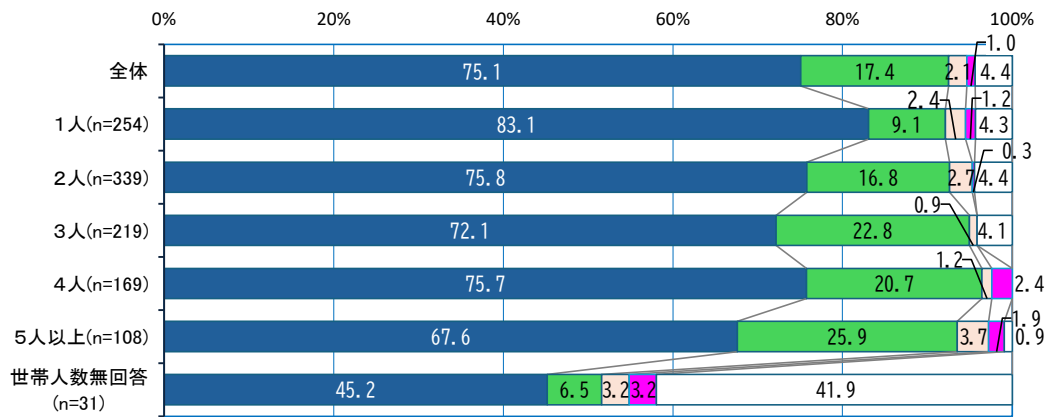
(カ) フードドライブ・フードバンクに寄付



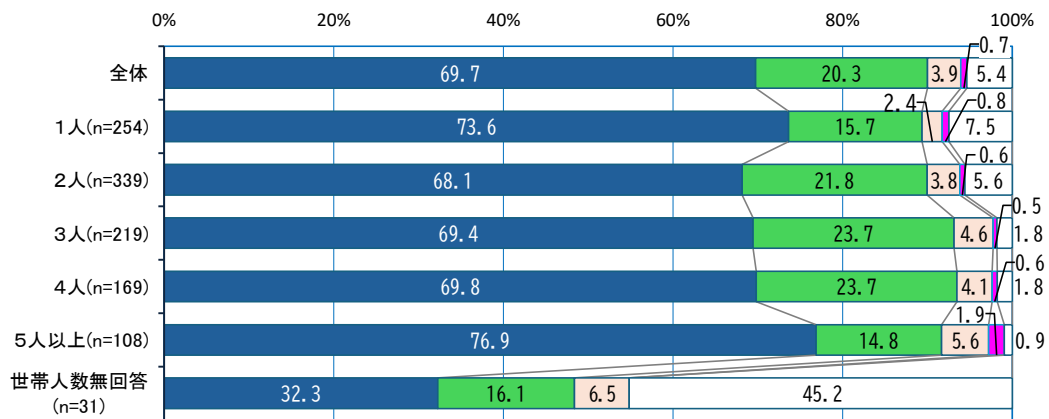
<世帯人数別>

■ 1.取り組んでいる ■ 2.時々取り組んでいる ■ 3.取り組んでいない ■ 4.わからない □ 無回答

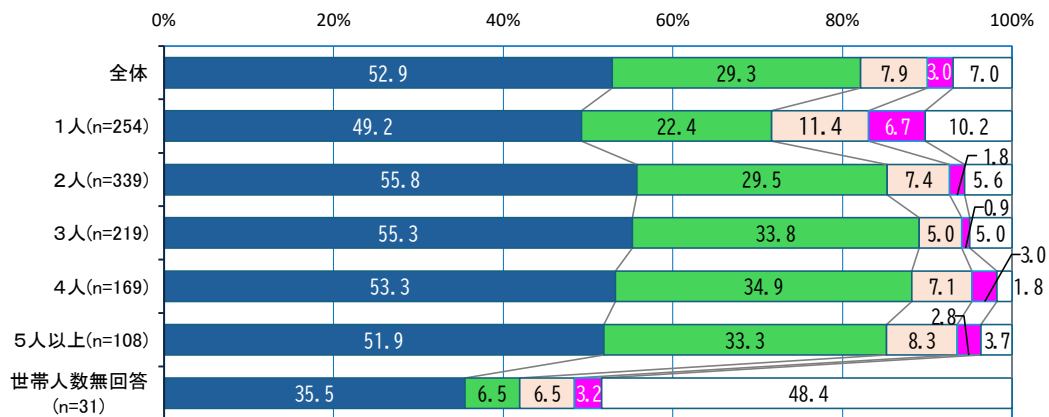
(ア) 食べきれないほど買わない



(イ) 買い物前に食品の在庫を調べる

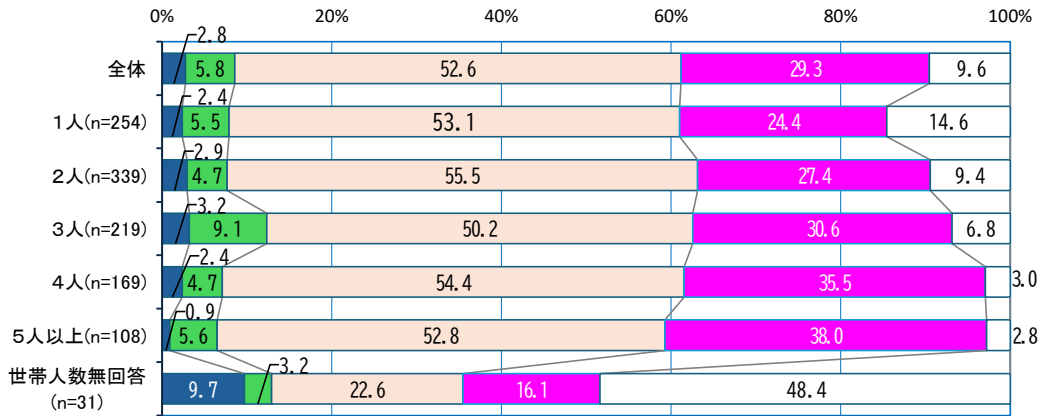


(ウ) 食材が長持ちする保存方法にしている

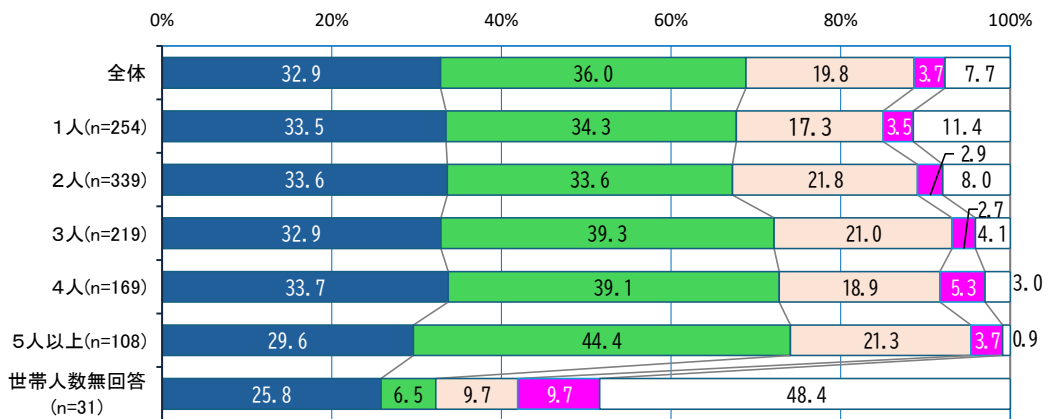


■ 1.取り組んでいる ■ 2.時々取り組んでいる ■ 3.取り組んでいない ■ 4.わからない □ 無回答

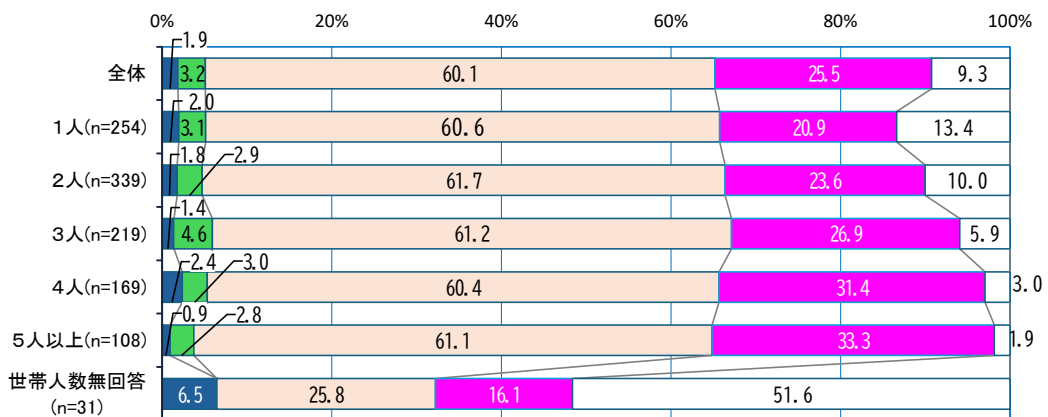
(エ) フードシェアリングサービスを利用



(オ) てまえどり(すぐ使う商品は手前のものをとる)



(カ) フードドライブ・フードバンクに寄付



問5-2. 問5-1で「取り組んでいない」と回答した方は、取り組んでいない理由をご記入ください。

『(ア)食べきれないほど買わない』や『(イ)買い物前に食品の在庫を調べる』では、「面倒」「時間の方が大切」などの回答が多くあった。

『(エ)フードシェアリングサービスを利用』や『(カ)フードドライブ・フードバンクに寄付』については、「知らない」「やり方がわからない」などの回答が多く認知度が低いことがうかがえる。

『(オ)てまえどり』については、“てまえどり”をしない方が家庭で「食べきれず廃棄する事が減る」などの回答があった。

(ア)食べきれないほど買わない

- ・食べきれないほど買う経済的余裕はない
- ・期限切れでも無理して食べるし飲む
- ・同居の祖母が食材を買っているのだから知らない
- ・食品ロスはかなり少ないので考えていない
- ・余計なことだと思いきにしらない事している
- ・めんどうくさい
- ・買い物に余分な時間を使わないようにしている
- ・忙しい為、ついつい多めに買ってしまう
- ・食品ロスより時間の方が大事

(イ)買い物前に食品の在庫を調べる

- ・忙しくてそんな時間が無い
- ・そう思っているけど忘れてしまう
- ・冷凍食品が発達したので調べる必要がない
- ・面倒くさい
- ・在庫が無くなってから行くので調べる必要は無い
- ・沢山買わないので意味がない

(ウ)食材が長持ちする保存方法にしている

- ・やり方が解らない
- ・食べきるから
- ・冷蔵庫が空になってから買うので必要ない
- ・期限が切れても食べるから
- ・食べる分しか買わないので保存の必要がない
- ・1人暮らしで食べる分しか買わない
- ・自炊をしないので保存はしない
- ・忙しいので余分なことはしない
- ・めんどうくさい
- ・長持ちさせる方法を知らない

(エ)フードシェアリングサービスを利用

- ・どんな仕組みか知らない
- ・やり方がわからない
- ・食材を余らせてもいらないので気にしていない
- ・必要だと思わない
- ・身近にサービスが実施されていない
- ・理由はない
- ・難しいことはしない
- ・食品ロスが出ないように生活しているので不要
- ・サービスも利用の仕方よく分からない
- ・聞いた事はあるが具体的な内容を知らない
- ・スマホもPCもないので、どこでやっているかわからない

(オ)てまえどり(すぐ使う商品は手前のものをとる)

- ・消費期限、賞味期限内に食べたいので
- ・それは消費期限順にしか買えない様に売側が規制するしかないと思う
- ・同じ金額なら新しいものが欲しいのはあたりまえ
- ・てまえどりをすると、期限内に食べきれないことが多く廃棄することになるから
- ・新しい物から買わないと使い切れず廃棄してしまうことになるから
- ・作りおきが多いので新しいものがよい。高くても新しいものがよい
- ・賞味期限や販売期限が近い商品は、それなりに商品が劣化している可能性があるため
- ・面倒で日付を気にしていないから意識はしていない

(カ)フードドライブ・フードバンクに寄付

- ・仕組みを知らない わからない
- ・関心がない
- ・実施している場所がわからない
- ・余らないので寄付はできない
- ・遠いので協力できない
- ・取組自体を知らない
- ・賞味期限や消費期限が過ぎても自分で食べるから
- ・やっている所がない
- ・あまりうまく機能していない様に感じる
- ・言葉の意味が分かりません
- ・余裕がありません
- ・寄付はしません

問6. あなたは飲食店で取り組んでいる「食品ロス削減」対策を利用して、「食品ロス削減」に取り組んだことがありますか。(SA)

(ア) 外食時に食べきれぬ量を注文する

- ・「取り組んでいる」と「時々取り組んでいる」を合わせて” 89.1%が“取り組んでいる”と回答している。
- ・年代別にみると“取り組んでいる”の割合が最も高いのは「10代」で100.0%となっている。次いで「20代」が95.1%となっている。最も割合が低いのは「年代(年齢)無回答」で43.3%、次いで「70代以上」で83.7%となっている。
- ・地区別にみると、“取り組んでいる”の割合が最も高い地区は「滝野川東地区」で92.4%、次いで「赤羽西地区」が90.6%となっている。
- ・世帯人数別にみると“取り組んでいる”の割合が最も高いのは「4人」世帯で93.5%となっている。最も割合が低いのは「世帯人数無回答」の45.2%となっている。
- ・住居形態別にみると「店舗・事務所等の併用住宅で専用のごみ置き場がある」と「店舗・事務所等の併用住宅で専用のごみ置き場がない」では“取り組んでいる”が100.0%となっている。

(イ) 食事会では“3010運動”を心掛けている

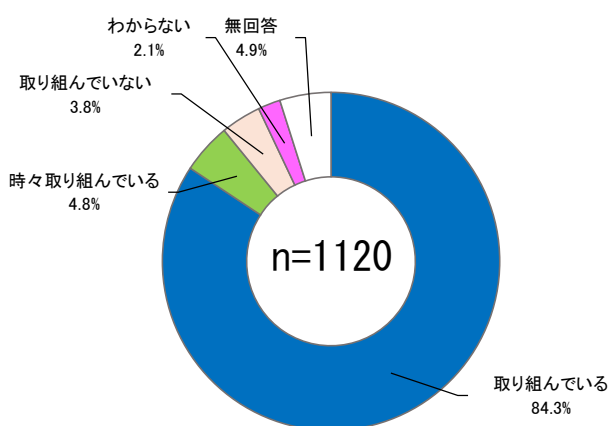
- ・「取り組んでいる」と「時々取り組んでいる」を合わせた“取り組んでいる”は21.2%にとどまっている。「取り組んでいない」が36.0%、「わからない」が33.5%で高い割合になっている。
- ・年代別にみると“取り組んでいる”の割合が最も高いのは「20代」で28.0%となっている。次いで「60代」が24.3%となっている。最も割合が低いのは「年代(年齢)無回答」で3.3%、次いで「30代」が16.3%となっている。
- ・地区別にみると、“取り組んでいる”の割合が最も高い地区は「赤羽西地区」で24.2%、次いで「赤羽東地区」が23.5%となっている。
- ・世帯人数別にみると“取り組んでいる”の割合が最も高いのは「2人」世帯で25.3%となっている。
- ・住居形態別にみると「店舗・事務所等の併用住宅で専用のごみ置き場がある」が50.0%、次いで「店舗・事務所等の併用住宅で専用のごみ置き場がない」が38.5%で高い割合になっている。

(ウ) あまったらできる限り持ち帰る

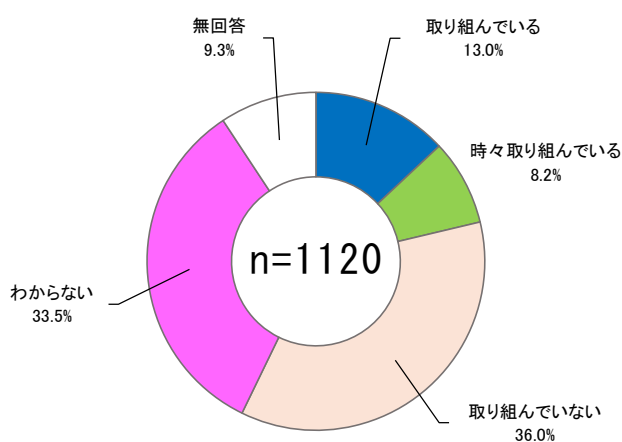
- ・「取り組んでいる」と「時々取り組んでいる」を合わせて” 51.7%が“取り組んでいる”と回答している。
- ・年代別にみると“取り組んでいる”の割合が最も高いのは「20代」で63.4%となっている。次いで「60代」が58.4%となっている。最も割合が低いのは「年代(年齢)無回答」で20.0%、次いで「70代以上」で44.4%となっている。
- ・地区別にみると、“取り組んでいる”の割合が最も高い地区は「浮間地区」で60.6%、次いで「赤羽東地区」が54.1%となっている。
- ・世帯人数別にみると“取り組んでいる”の割合が最も高いのは「5人以上」世帯で63.0%となっている。最も割合が低い「世帯人数無回答」の22.6%となっている。次いで割合が低いのは「1人」世帯で44.1%となっている。
- ・住居形態別にみると“取り組んでいる”が最も高い割合なのは「店舗・事務所等の併用住宅で専用のごみ置き場がない」で76.9%となっている。次いで「店舗・事務所等の併用住宅で専用のごみ置き場がある」が75.0%となっている。

No.	選択肢	(ア) 外食時に食べきれぬ量を注文する		(イ) 食事会では“3010運動”を心掛けている		(ウ) あまったらできる限り持ち帰る	
		回答者数 (人)	構成比 (%)	回答者数 (人)	構成比 (%)	回答者数 (人)	構成比 (%)
1	取り組んでいる	944	84.3	146	13.0	301	26.9
2	時々取り組んでいる	54	4.8	92	8.2	278	24.8
3	取り組んでいない	43	3.8	403	36.0	369	32.9
4	わからない	24	2.1	375	33.5	79	7.1
	無回答	55	4.9	104	9.3	93	8.3
	全体	1120	100.0	1120	100.0	1120	100.0

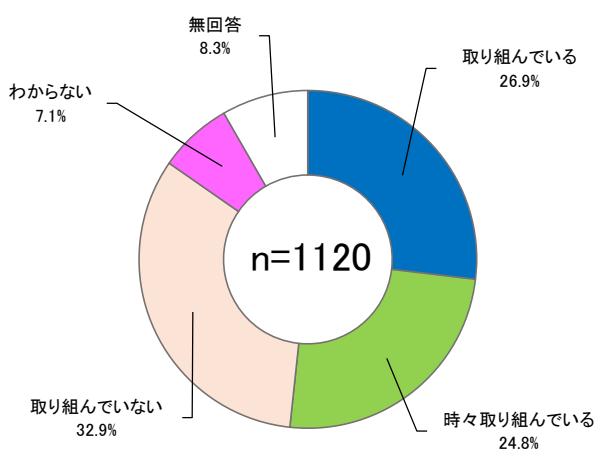
(ア) 外食時に食べきれぬ量を注文する



(イ) 食事会では“3010運動”を心掛けている

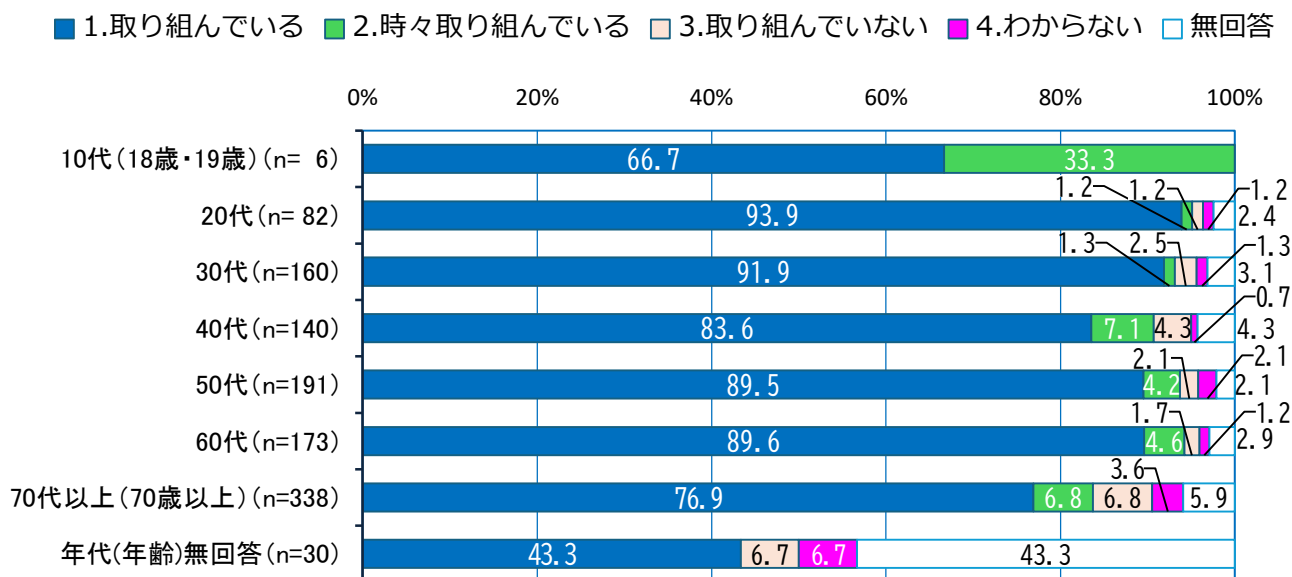


(ウ) あまったらできる限り持ち帰る

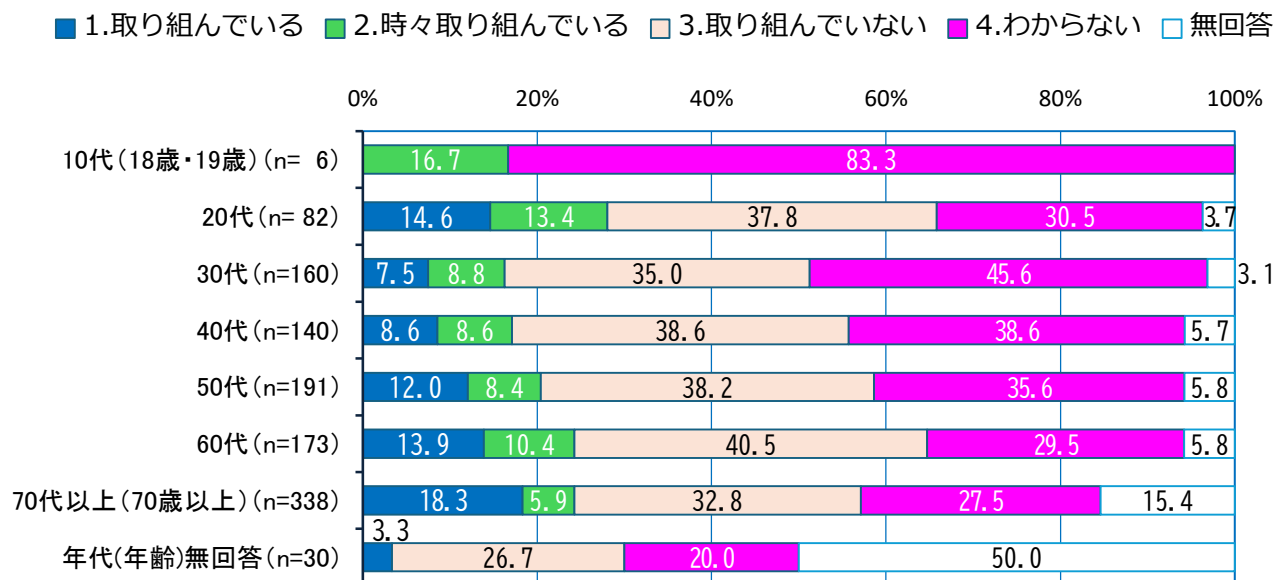


<年代別>

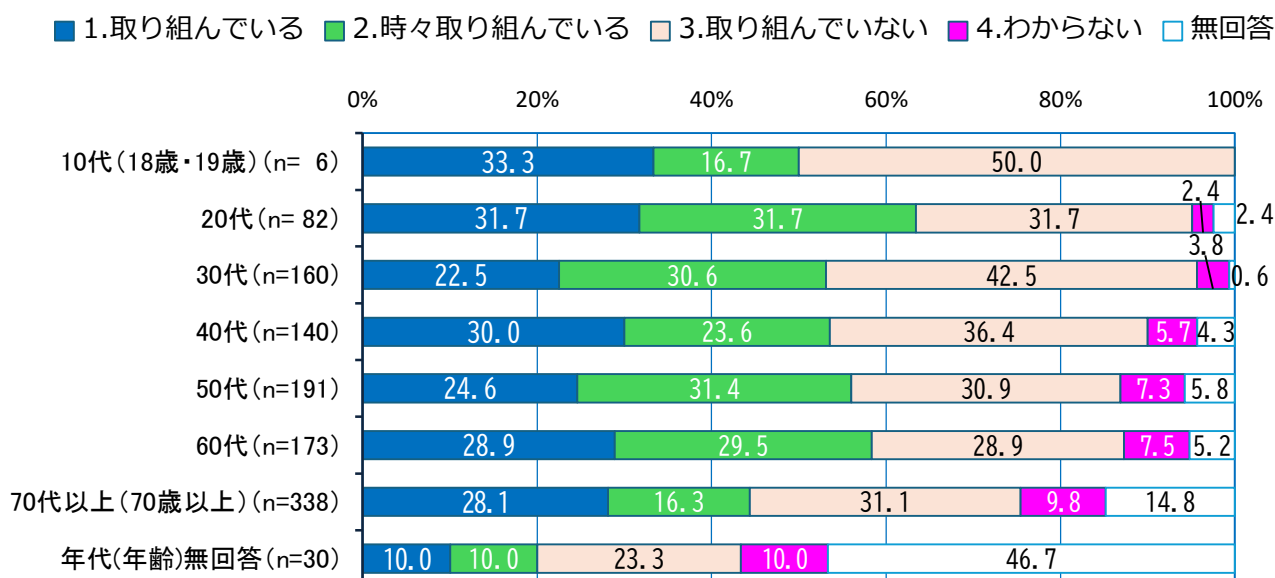
(ア) 外食時に食べきれる量を注文する



(イ) 食事会では“3010運動”を心掛けている

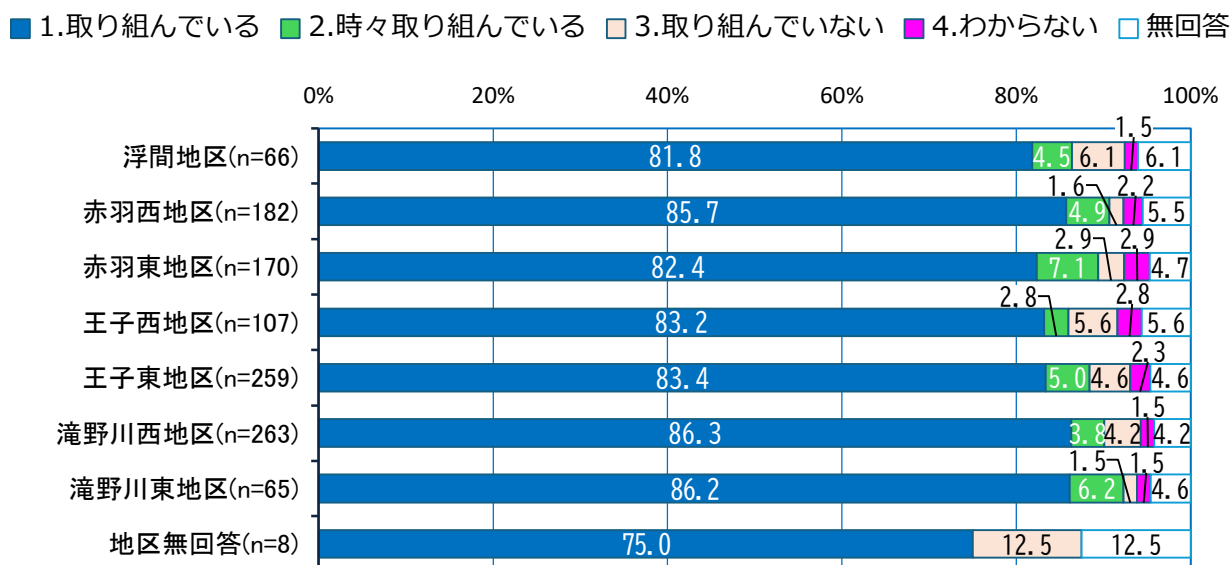


(ウ) あまったらできる限り持ち帰る

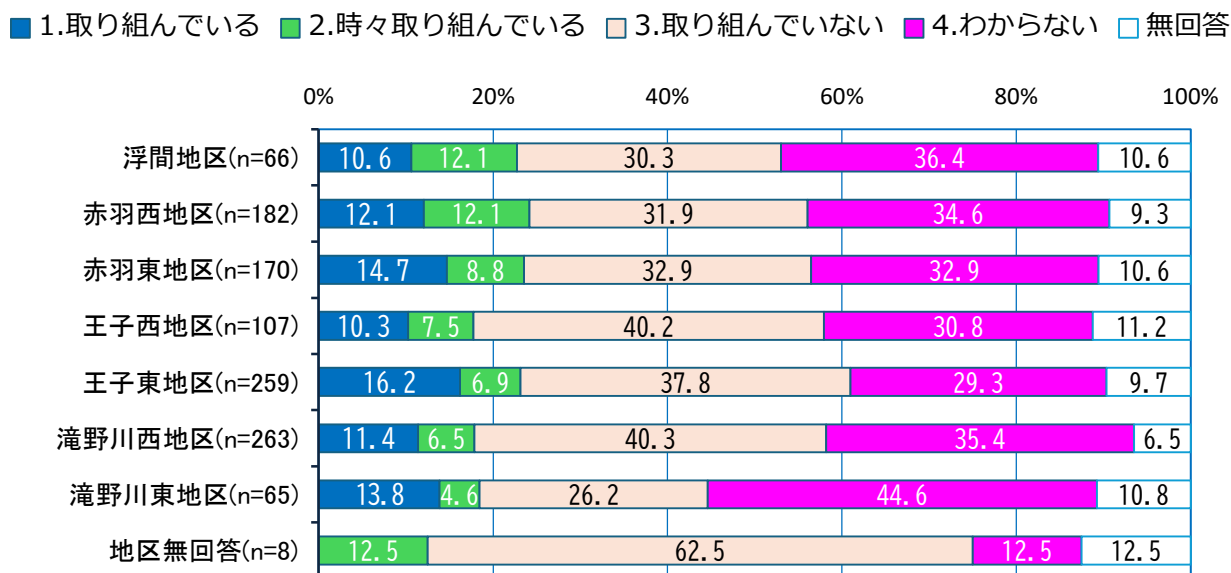


<地区別>

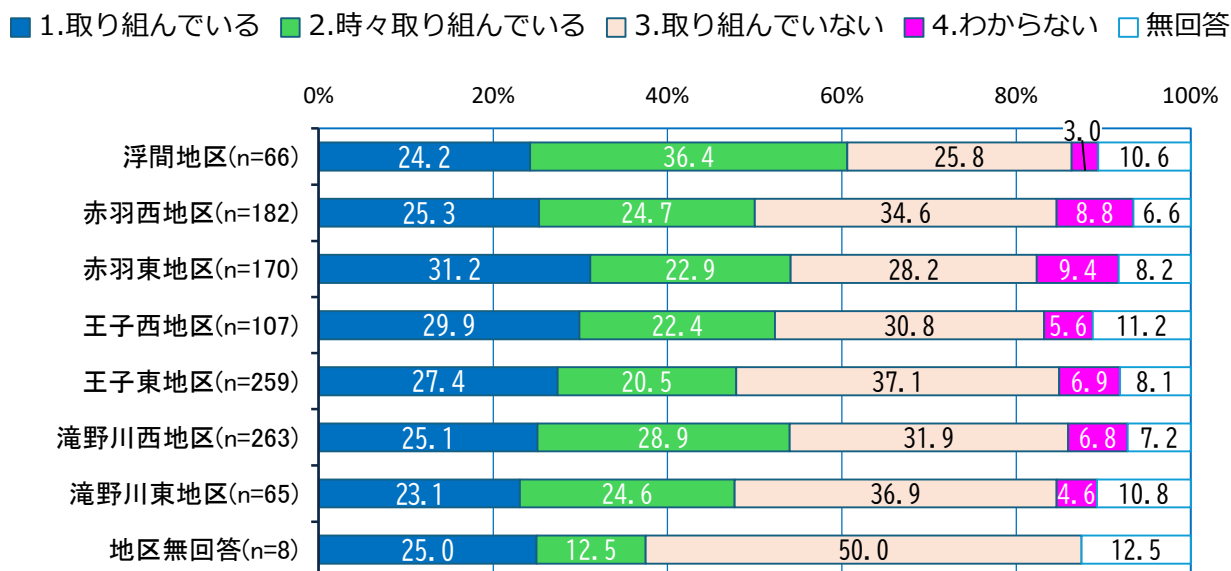
(ア) 外食時に食べきれる量を注文する



(イ) 食事会では“3010運動”を心掛けている



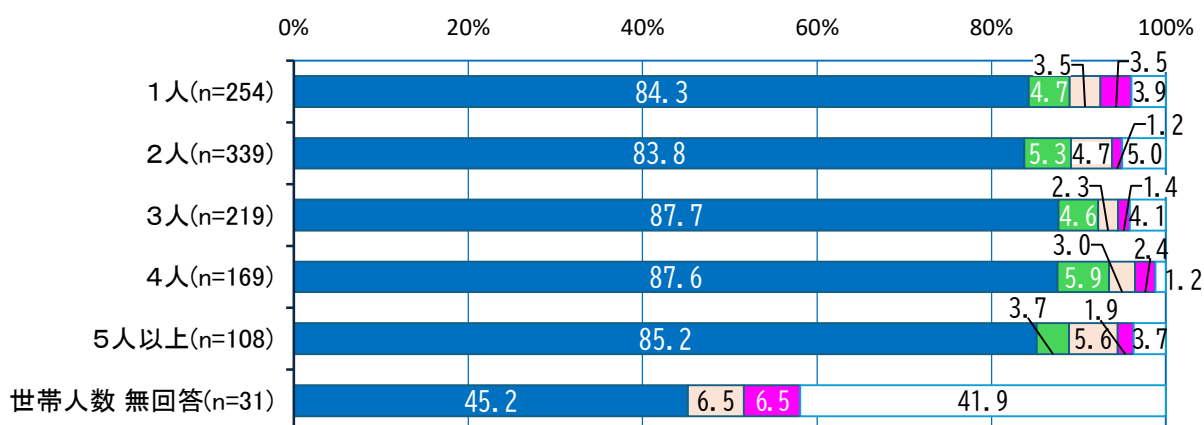
(ウ) あまったらできる限り持ち帰る



<世帯人数別>

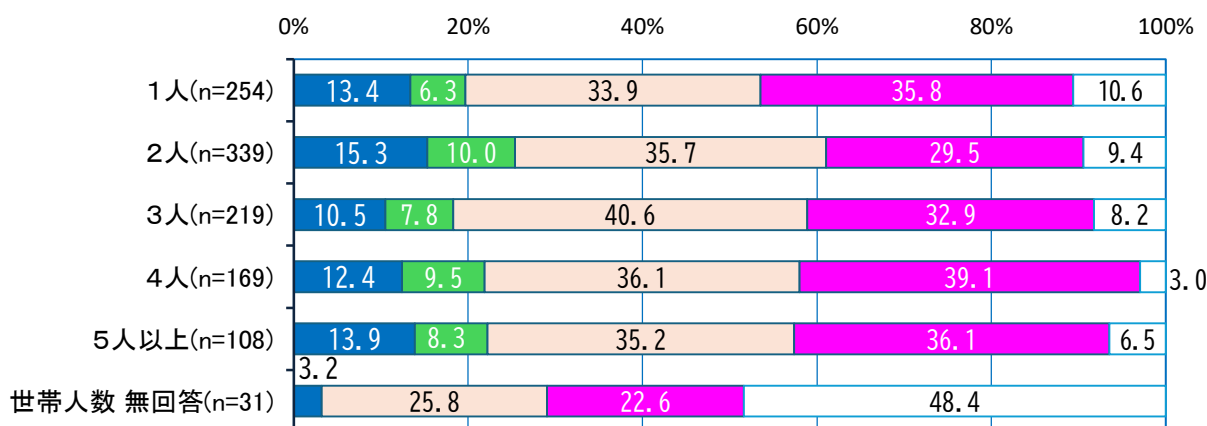
(ア) 外食時に食べきれる量を注文する

■ 1.取り組んでいる ■ 2.時々取り組んでいる □ 3.取り組んでいない ■ 4.わからない □ 無回答



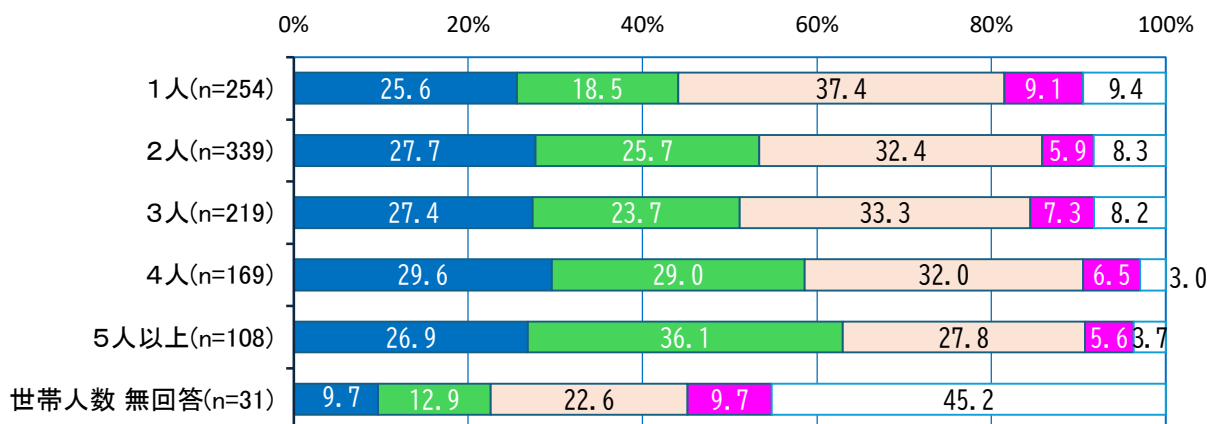
(イ) 食事会では“3010運動”を心掛けている

■ 1.取り組んでいる ■ 2.時々取り組んでいる □ 3.取り組んでいない ■ 4.わからない □ 無回答



(ウ) あまったらできる限り持ち帰る

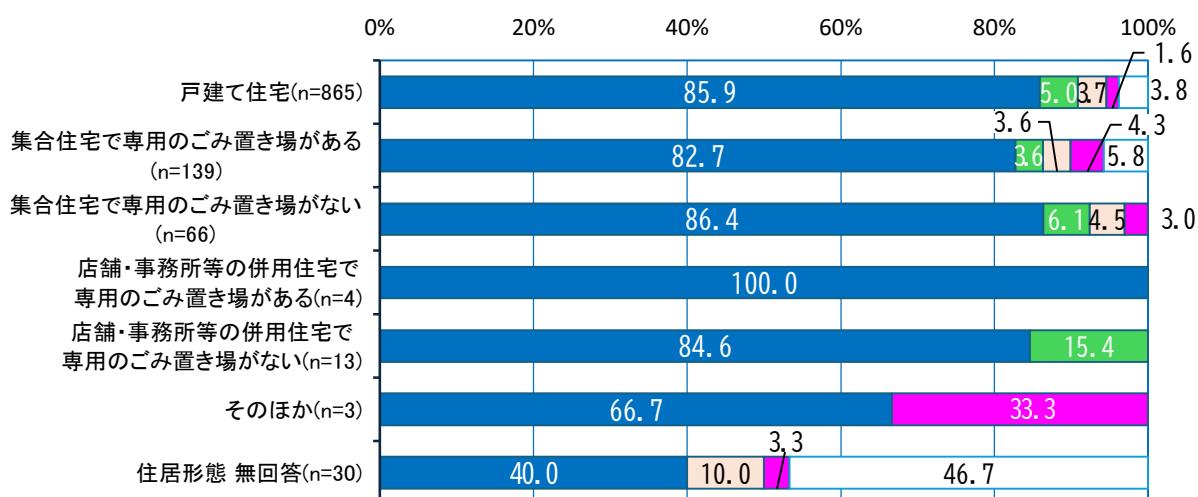
■ 1.取り組んでいる ■ 2.時々取り組んでいる □ 3.取り組んでいない ■ 4.わからない □ 無回答



<住居形態別>

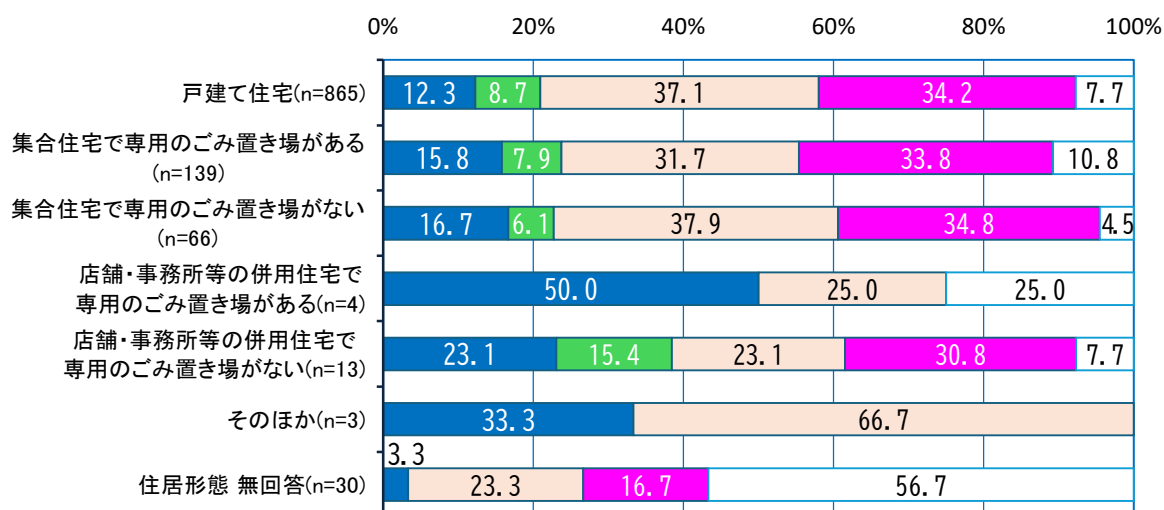
(ア) 外食時に食べきれる量を注文する

■ 1.取り組んでいる ■ 2.時々取り組んでいる □ 3.取り組んでいない ■ 4.わからない □ 無回答



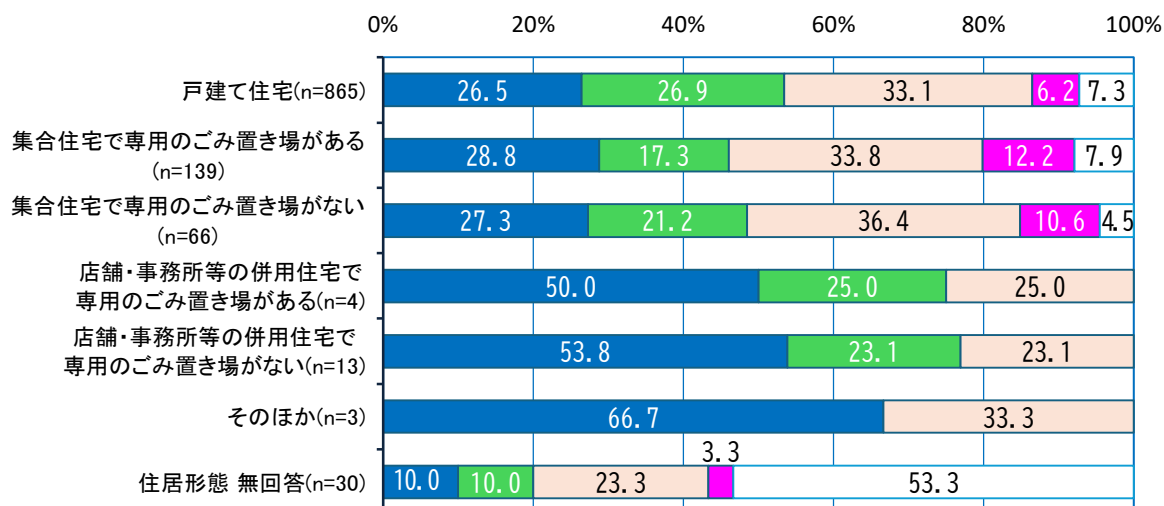
(イ) 食事会では“3010運動”を心掛けている

■ 1.取り組んでいる ■ 2.時々取り組んでいる □ 3.取り組んでいない ■ 4.わからない □ 無回答



(ウ) あまったらできる限り持ち帰る

■ 1.取り組んでいる ■ 2.時々取り組んでいる □ 3.取り組んでいない ■ 4.わからない □ 無回答



問7. あなたは「食品ロス削減」に取り組んでいる飲食店を、積極的に利用したいと思いますか。(S A)

『「食品ロス削減」に取り組んでいる飲食店を積極的に利用したいか』については、「特に意識はしない」が41.0%で最も高い割合になっている。次いで「積極的に利用したい」が23.8%、「金額が同じなら優先して利用する」が20.8%の順になっている。

一方、「これまでより金額がかかるなら利用したくない」と「利用するのが消極的になる」は合わせても7.2%にとどまっている。

年代別に“利用したい”の割合をみると、「20代」で「積極的に利用したい」と「金額が同じなら優先して利用する」を合わせた“利用したい”の割合が58.5%と高くなっている。

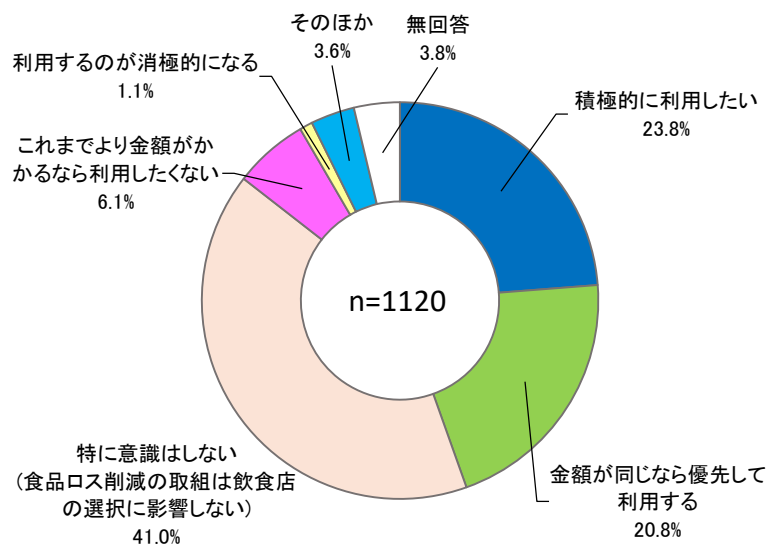
地区別に“利用したい”の割合をみると、「王子東地区」が47.1%と最も高く、次いで「滝野川西地区」が46.8%、「赤羽西地区」が45.6%となっている。

世帯人数別に“利用したい”の割合をみると、「5人以上」世帯が55.6%と最も高い割合で、「4人」世帯が49.7%、「2人」世帯が48.4%となっている。

No.	選択肢	回答者数(人)	構成比(%)
1	積極的に利用したい	266	23.8
2	金額が同じなら優先して利用する	233	20.8
3	特に意識はしない	459	41.0
4	これまでより金額がかかるなら利用したくない	68	6.1
5	利用するのが消極的になる	12	1.1
6	その他	40	3.6
	無回答	42	3.8
	全体	1120	100.0

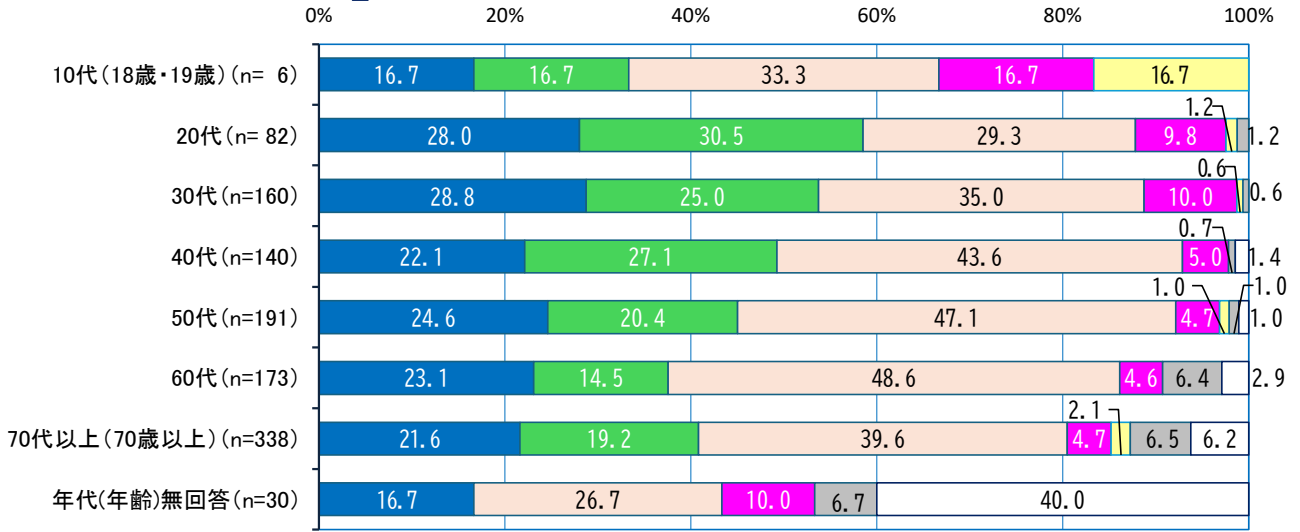
(そのほか)の内容

- ・外食をしない 外食ができない(21件)
- ・実施している店がわからない(8件)
- ・実施していることを知らない(4件)
- ・味や自分の好みを優先(3件)
- ・食べられる量のみ注文する(3件)
- ・その他(1件)

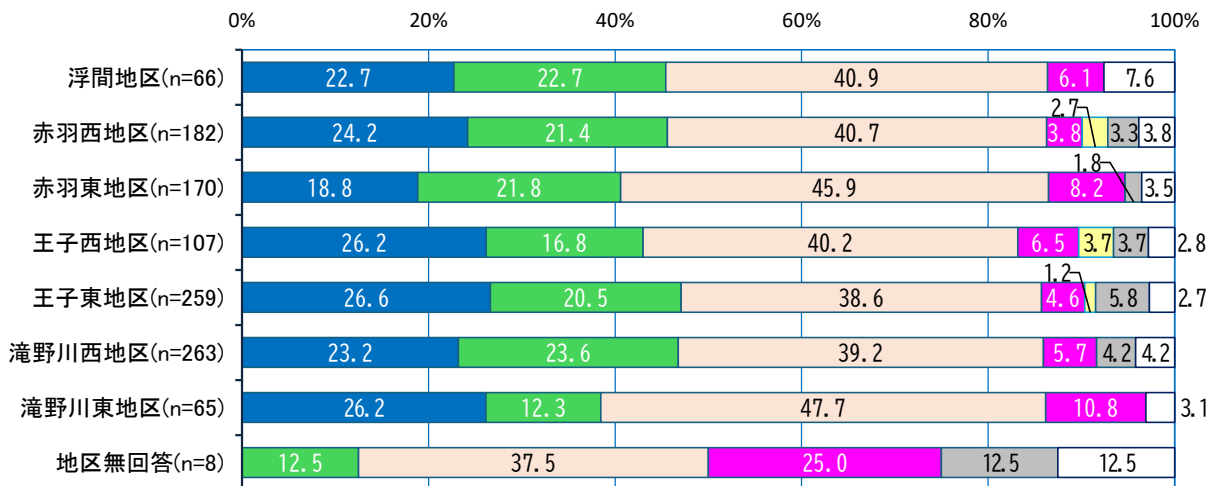


- 1.積極的に利用したい
- 2.金額が同じなら優先して利用する
- 3.特に意識はしない（食品ロス削減の取組は飲食店の選択に影響しない）
- 4.これまでより金額がかかるなら利用したくない
- 5.利用するのが消極的になる
- 6.そのほか
- 無回答

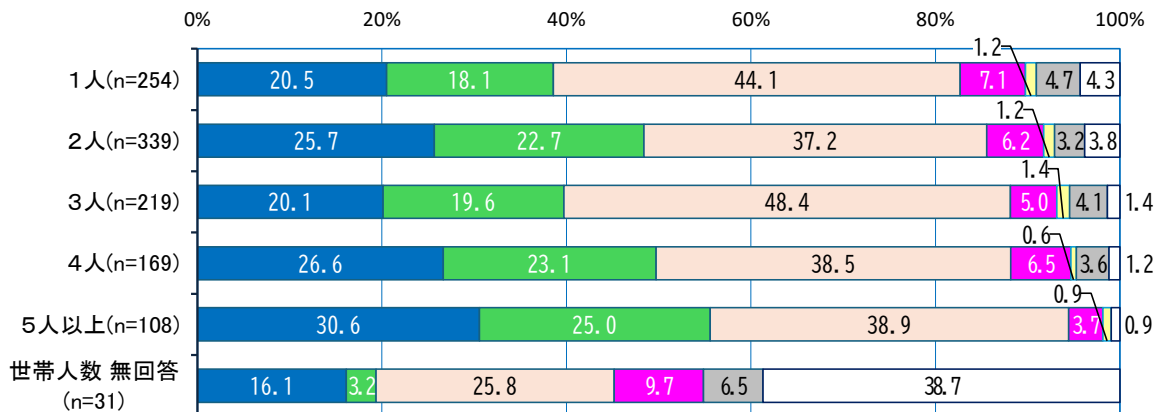
<年代別>



<地区別>



<世帯人数別>



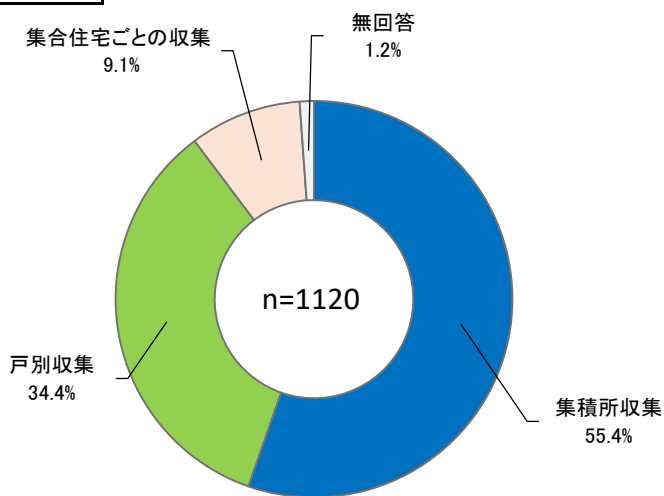
問8-1. あなたがお住まいの地域では、どのようにごみ収集がされていますか。(S A)

「お住まいの地域でどのようにごみ収集がされているか」については、「集積所収集」が55.4%で最も多く、次いで「戸別収集」が34.4%で、「集合住宅ごとの収集」は9.1%となった。

年代別にみると、20代では「集積所収集」が59.8%と最も高い割合になっている。

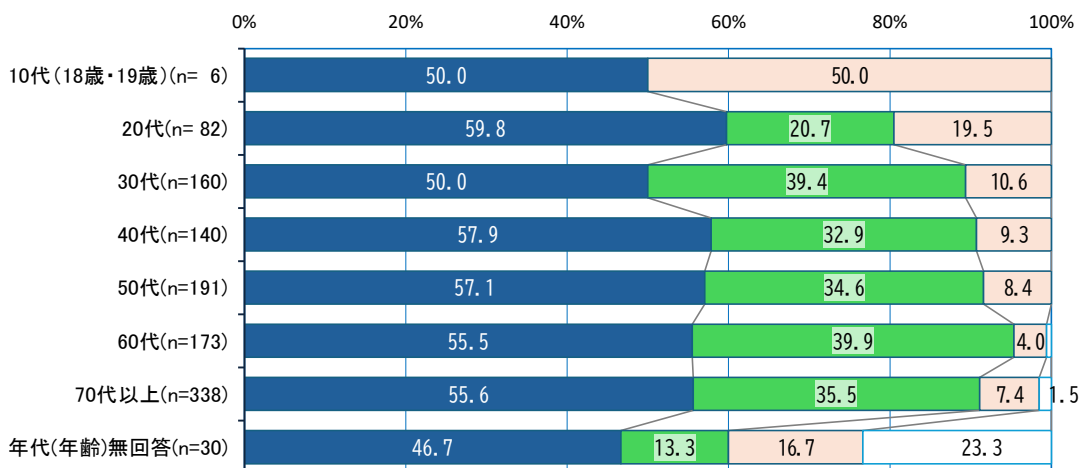
住居形態別にみると、回答者の8割近くを占める「戸建て住宅」居住者では全体の割合と近い回答割合になっている。「集合住宅で専用のごみ置き場がある」と回答している場合でも「集積所収集」27.3%や「戸別収集」6.5%とした回答もあった。「店舗・事務所等の併用住宅で専用のごみ置き場がある」で「集合住宅ごとの収集」が25.0%(1件)となっているがマンション等で住居兼事務所の場合などが考えられる。

No.	選択肢	回答者数(人)	構成比(%)
1	集積所収集	620	55.4
2	戸別収集	385	34.4
3	集合住宅ごとの収集	102	9.1
	無回答	13	1.2
	全体	1120	100.0



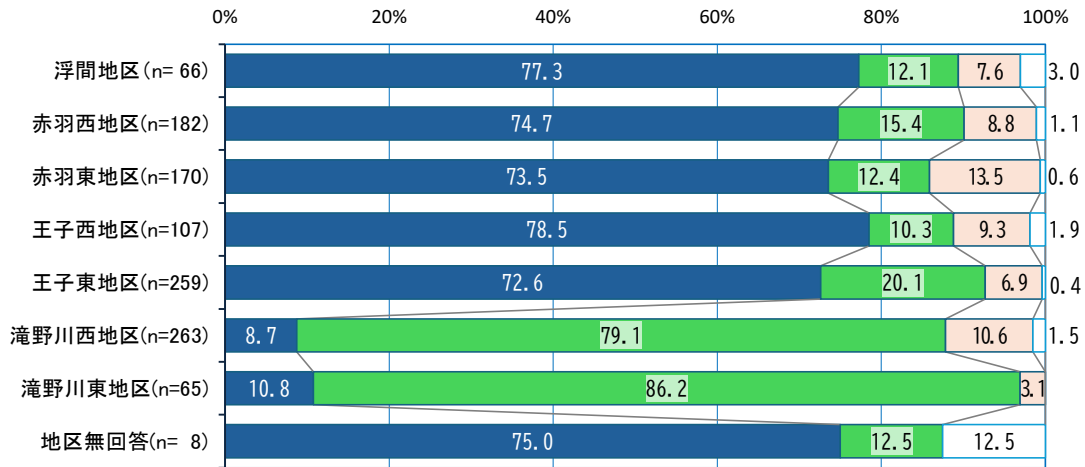
<年代別>

- 1.集積所収集 (家庭から出るごみを決められた場所(集積所)に出し、まとめて収集する方法)
- 2.戸別収集
- 3.集合住宅ごとの収集 (アパートやマンション専用のごみ置き場があり、集合住宅ごとに収集する方法)
- 無回答



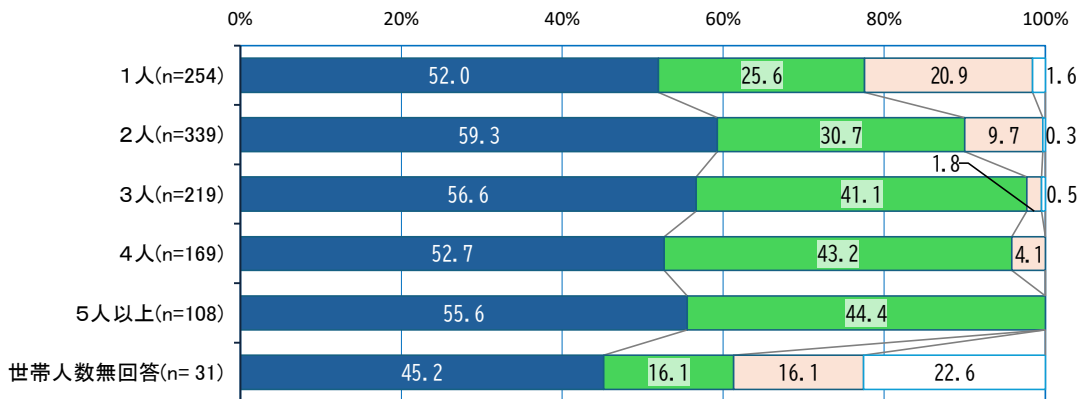
<地区別>

- 1.集積所収集（家庭から出るごみを決められた場所(集積所)に出し、まとめて収集する方法）
- 2.戸別収集
- 3.集合住宅ごとの収集（アパートやマンション専用のごみ置き場があり、集合住宅ごとに収集する方法）
- 無回答



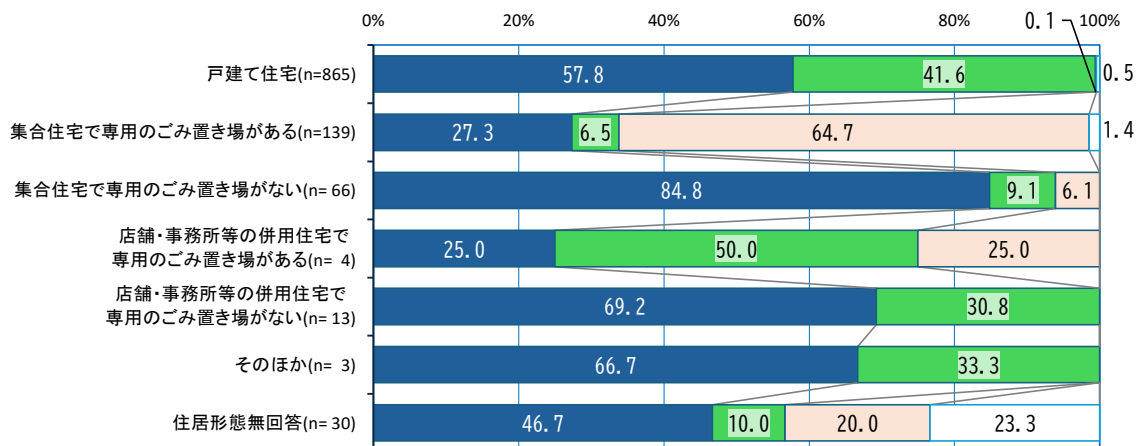
<世帯人数別>

- 1.集積所収集（家庭から出るごみを決められた場所(集積所)に出し、まとめて収集する方法）
- 2.戸別収集
- 3.集合住宅ごとの収集（アパートやマンション専用のごみ置き場があり、集合住宅ごとに収集する方法）
- 無回答



<住居形態別>

- 1.集積所収集（家庭から出るごみを決められた場所(集積所)に出し、まとめて収集する方法）
- 2.戸別収集
- 3.集合住宅ごとの収集（アパートやマンション専用のごみ置き場があり、集合住宅ごとに収集する方法）
- 無回答



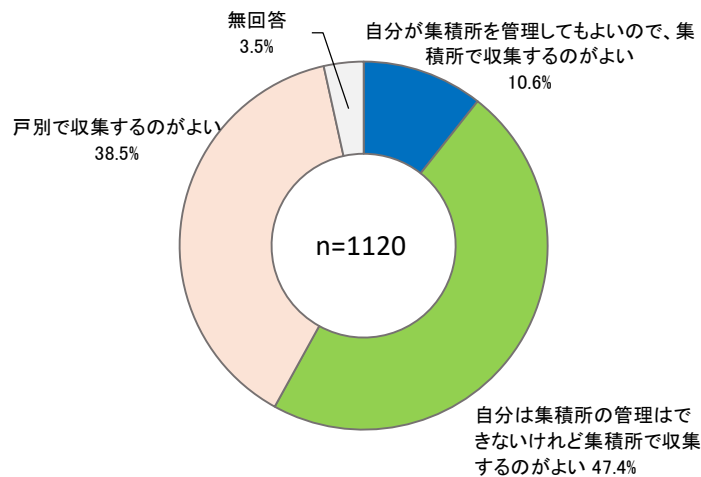
問 8-2 あなたの現在の収集方法を問わず、すべての方にお伺いします。あなたは、今後どのようにごみ収集するのがよいと思いますか。なお、ごみを出す場所の管理も想定して回答してください。(SA)

「自分が集積所を管理してもよいので集積所で収集するのがよい」と「自分が集積所の管理はできないけれど集積所で収集するのがよい」を合わせた“集積所収集がよい”が58.0%で「戸別で収集するのがよい」の38.5%より高い割合になっている。

地区別にみると、王子・赤羽地区での“集積所収集がよい”との回答が各地区で概ね7割前後となっている。また、滝野川地区では“戸別収集がよい”との回答が7割以上となっている。

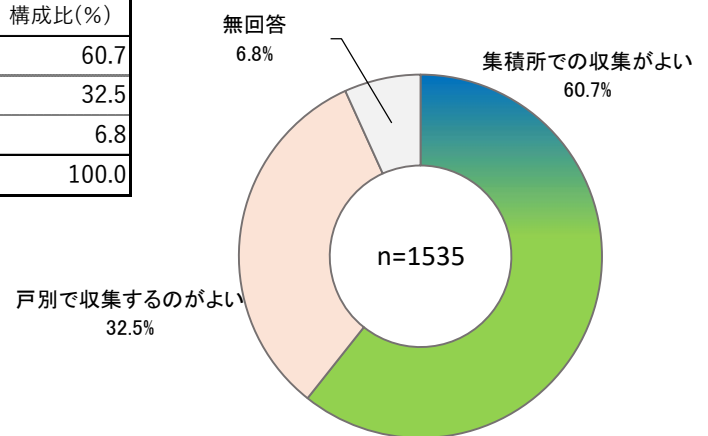
令和4年度の前回調査では「集積所管理の可否」を問う要素はなく、「集積所での収集がよい」と「戸別で収集するのがよい」の2択であったが、「集積所での収集がよい」が60.7%であり、今回調査の“集積所での収集がよい”は58.0%と前回調査と同様の割合となっている。

No.	選択肢	回答者数(人)	構成比(%)
1	自分が集積所を管理してもよいので、集積所で収集するのがよい	119	10.6
2	自分は集積所の管理はできないけれど集積所で収集するのがよい	531	47.4
3	戸別で収集するのがよい	431	38.5
	無回答	39	3.5
	全体	1120	100.0



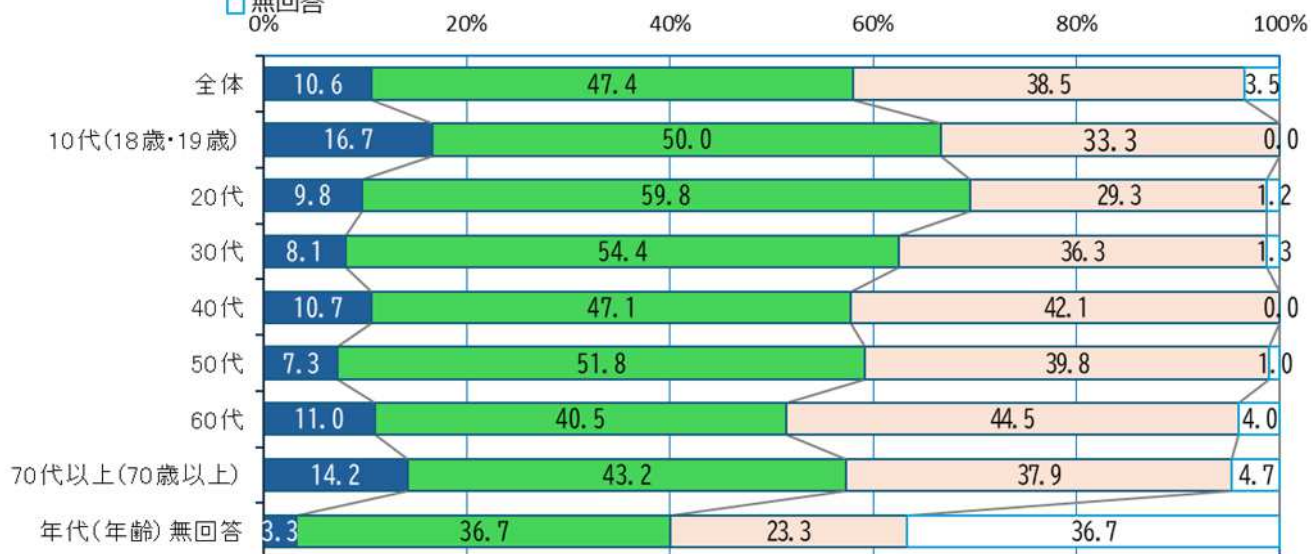
<令和4年度調査比較>

No.	選択肢	回答者数(人)	構成比(%)
1	集積所での収集がよい	931	60.7
2	戸別で収集するのがよい	499	32.5
	無回答	105	6.8
	全体	1535	100.0

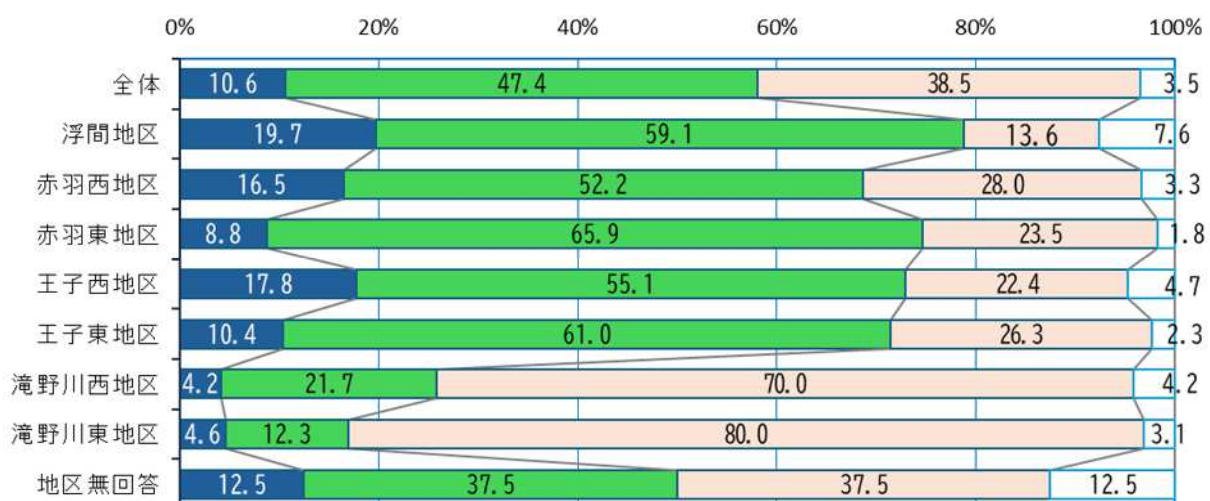


<年代別>

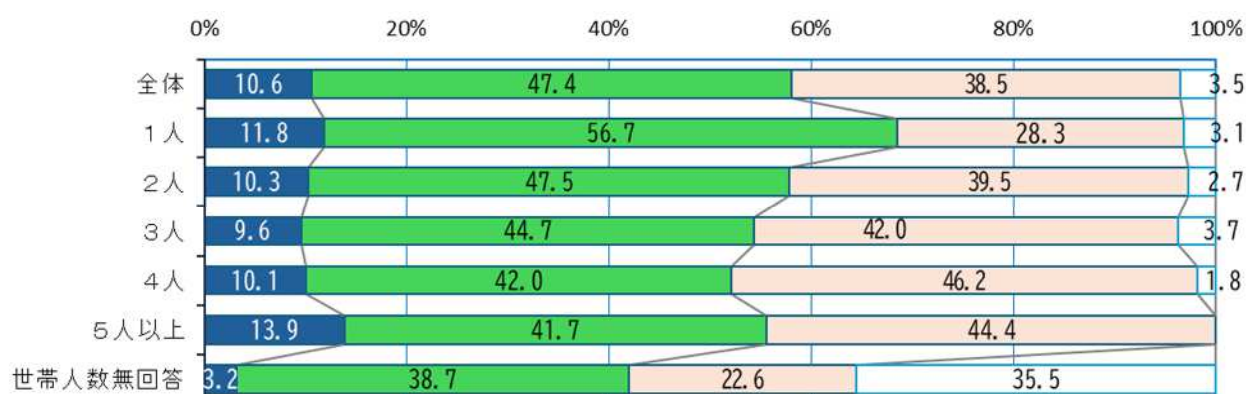
- 1.自分が集積所を管理してもよいので、集積所で収集するのがよい
- 2.自分は集積所の管理はできないけれど、集積所で収集するのがよい
- 3.自宅前の収集場所の届出と管理をしてもよいので、戸別で収集するのがよい
- 無回答



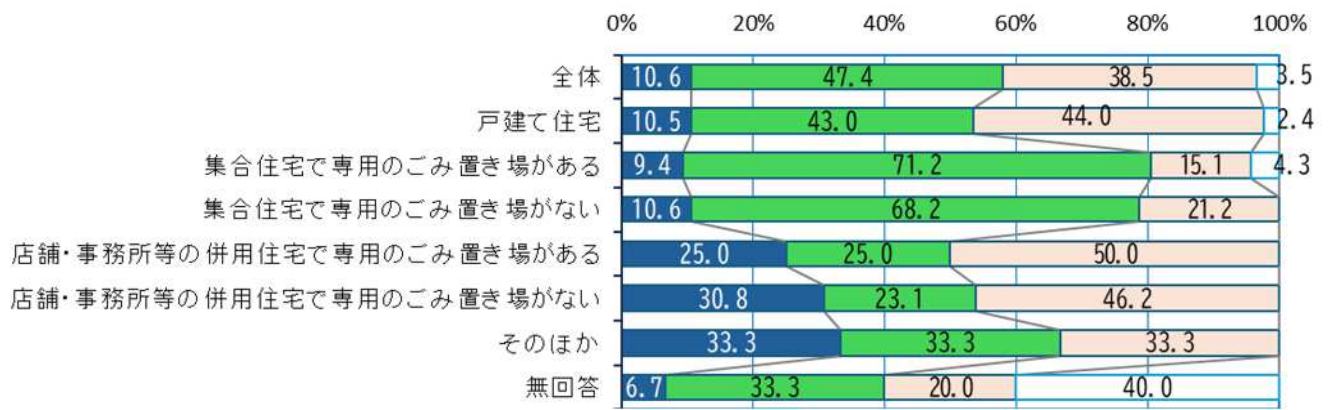
<地区別>



<世帯人数別>



<住居形態別>



問8-3 問8-2で回答した理由を記入してください。

問8-2で収集方法を選んだ理由の記述を求めていたが、集積所の管理ができない事情等の回答が多く見られた。そこで、収集方法の選択理由が記載されている計518件（集積所収集希望が248件、戸別収集希望が270件）について、記載内容を下記のとおり分類し、属性別に傾向を分析した。なお、記述内容の抜粋は42ページ以降に掲載している。

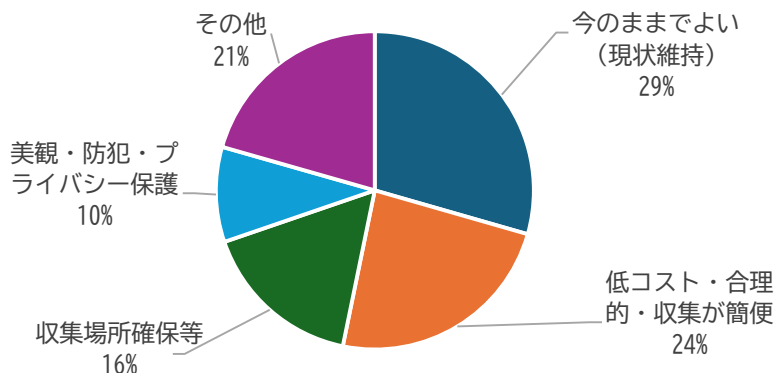
【「集積所収集に賛成」の分類項目（記載内容）】

- ・今のままでよい(現状維持)／慣れているから (73件)
- ・低コスト(収集コストが安い)／合理的／収集が簡便 (59件)
- ・収集場所の確保等(収集車が入れない進入路)(自宅前に場所がないなど) (41件)
- ・美観・防犯・プライバシー保護(誰のごみか解って情報が洩れるなど) (24件)
- ・その他 (51件)

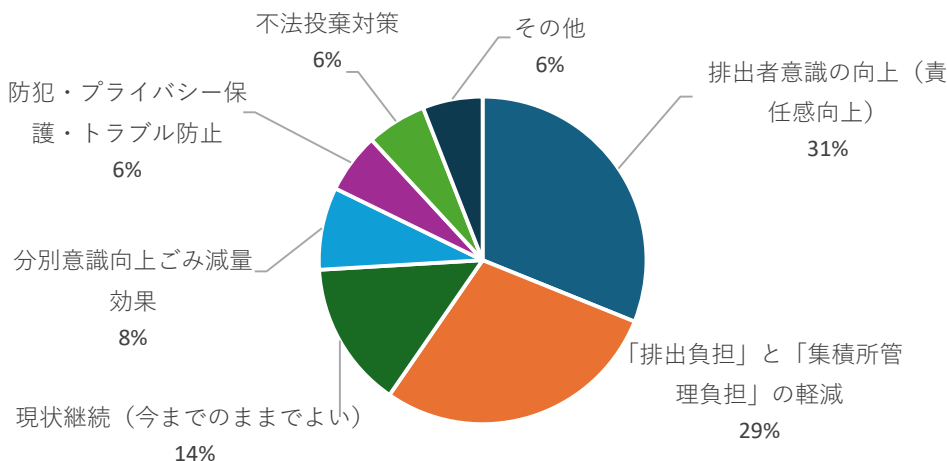
【「戸別収集に賛成」の分類項目（記載内容）】

- ・排出者意識の向上(責任を持つようになる) (84件)
- ・排出負担軽減(家の前に出せれば楽)と集積所管理負担の軽減 (77件)
- ・今までのままでよい(現状維持) (39件)
- ・分別意識向上とごみ減量効果 (22件)
- ・防犯／プライバシー保護／トラブル防止(隣家とのトラブル防止) (16件)
- ・不法投棄対策 (16件)
- ・その他 (16件)

集積所収集を選んだ理由 (n=248)



戸別収集を選んだ理由 (n=270)



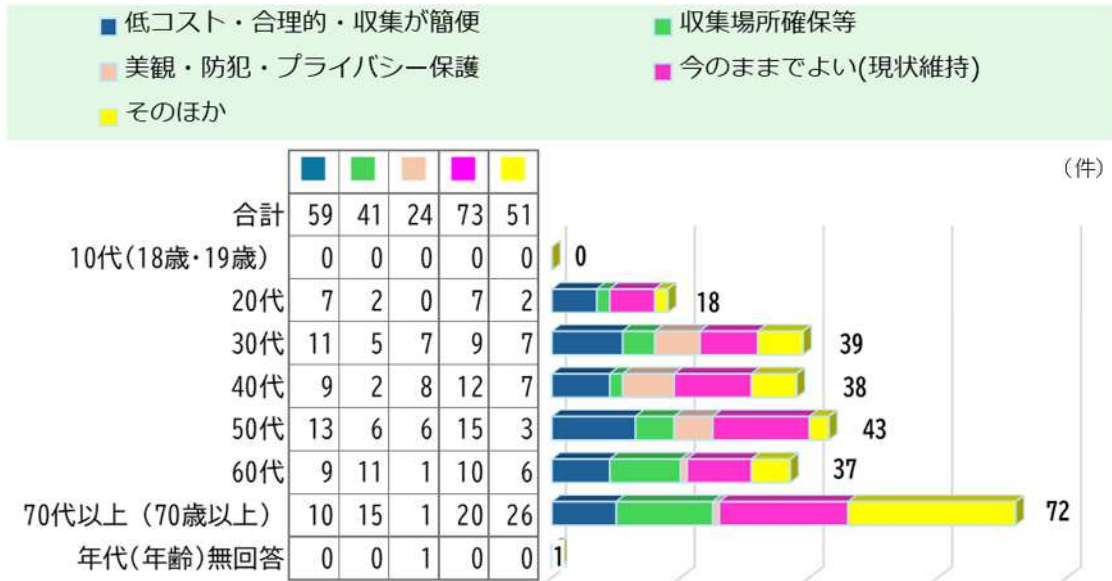
<年代別>

理由が記載されていた 518 件の記述について、年代別にみると、「20 代」と「40 代」で「集積所収集に賛成」が「戸別収集に賛成」より多くなっている。その他の「年代」では「戸別収集に賛成」の意見の方が多くなっている。

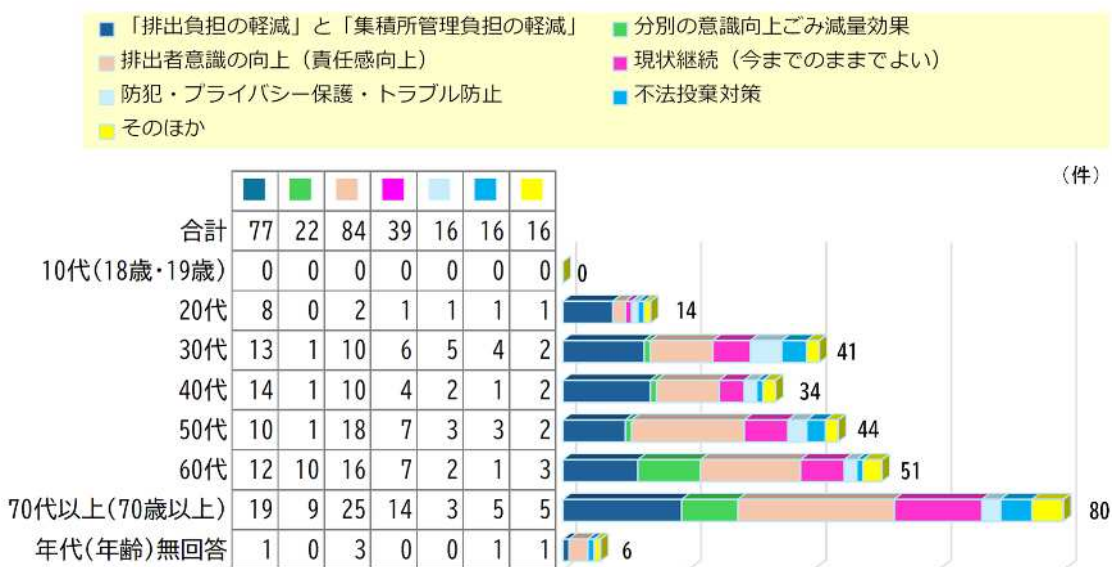
「集積所収集に賛成」の理由で最も多いのは「今のままでよい（現状維持）」（73 件）であり、20 代、40 代、50 代で比較的多く回答されている。「美観・防犯・プライバシー保護」が「30 代」「40 代」「50 代」で比較的多く回答されている。「収集場所確保等」は「60 代」「70 代以上」で多くなっている。

「戸別収集に賛成」の理由で最も多いのは「排出者意識の向上」（84 件）で特に「40 代」以上の世代で多く回答されている。「分別意識の向上」は「50 代」「60 代」で多くなっている。

<集積所収集に賛成一年代別>



<戸別収集に賛成一年代別>



<地区別>

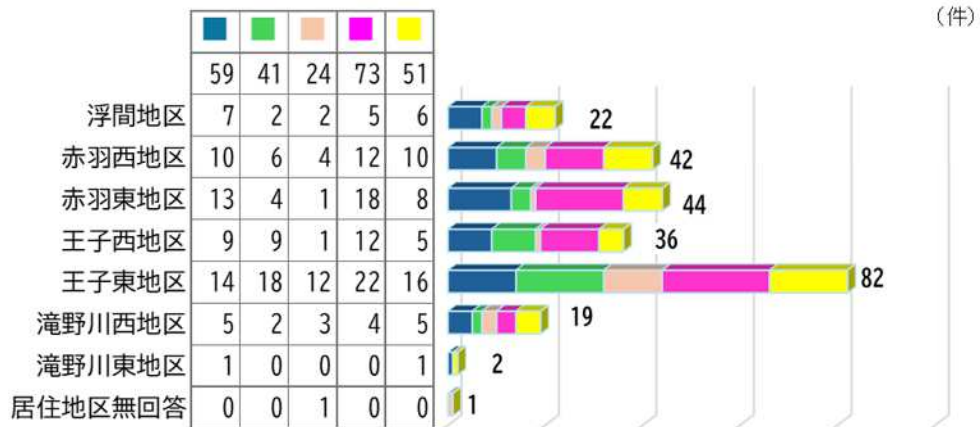
理由を記載した 518 件について、地区別にみると、「浮間地区」「赤羽西地区」「赤羽東地区」「王子西地区」「王子東地区」では、「集積所収集に賛成」が「戸別収集に賛成」より多く、「滝野川西地区」「滝野川東地区」では「戸別収集に賛成」が多くなっている。

「集積所収集に賛成」の理由として最も多い「今のままでよい（現状維持）」（73 件）は、「赤羽東地区」「王子西地区」で比較的多く回答されている。

「戸別収集に賛成」で最も多く回答されている「排出者意識の向上（責任感向上）」（84 件）は、「滝野川東地区」で多く回答されている。

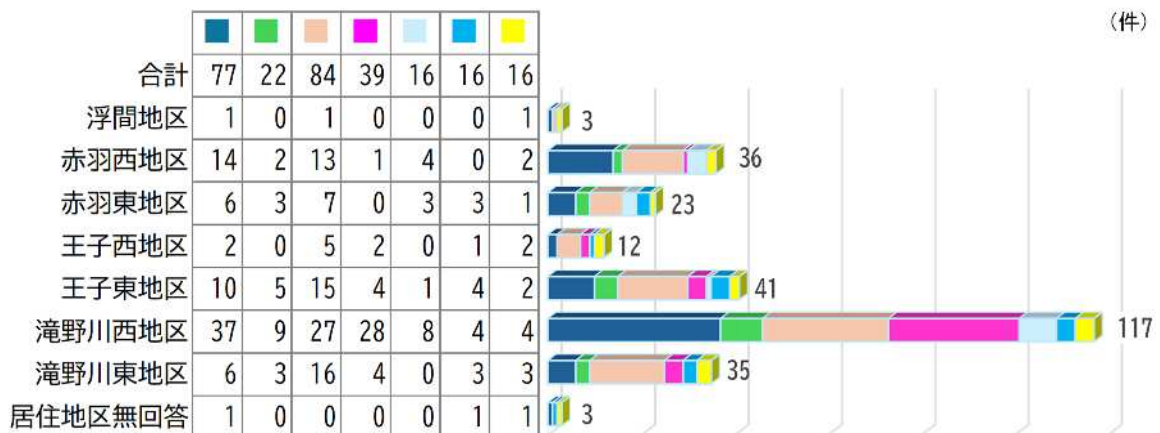
<集積所収集に賛成－地区別>

- 低コスト・合理的・収集が簡便
- 収集場所確保等
- 美観・防犯・プライバシー保護
- 今のままでよい(現状維持)
- そのほか



<戸別収集に賛成－地区別>

- 「排出負担」と「集積所管理負担」の軽減
- 分別の意識向上ごみ減量効果
- 排出者意識の向上（責任感向上）
- 現状継続（今までのままでよい）
- 防犯・プライバシー保護・トラブル防止
- 不法投棄対策
- そのほか



<世帯人数別>

理由が記載されていた518件の記述について、世帯人数別にみると、「集積所収集に賛成」は「2人」世帯で多く回答されている。「戸別収集に賛成」も「2人」世帯で多く回答されている。つまり、「2人」世帯から具体的理由が回答された意見が多いといえる。

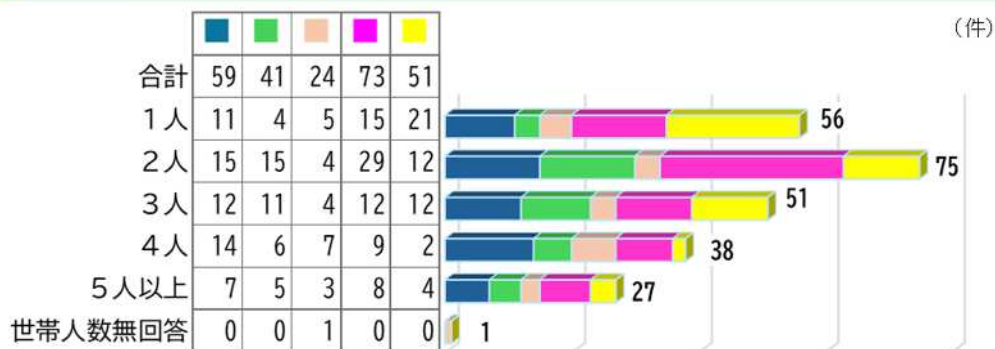
世帯人数別に分けた下記のグラフで「集積所収集に賛成」のグラフと「戸別収集に賛成」のグラフは、似たような形状になっており世帯人数によって「集積所収集」と「戸別収集」どちらに賛成かの違いは少ないといえる。

ただし、世帯人数ごとの問8-3有効回答の割合は世帯人数が増えるにしたがって高くなる傾向がある。

	回答者数	問8-3 有効回答数	有効回答 割合(率)
1人	254	107	42.1%
2人	339	157	46.3%
3人	219	105	47.9%
4人	169	84	49.7%
5人以上	108	58	53.7%
世帯人数無回答	31	7	22.6%

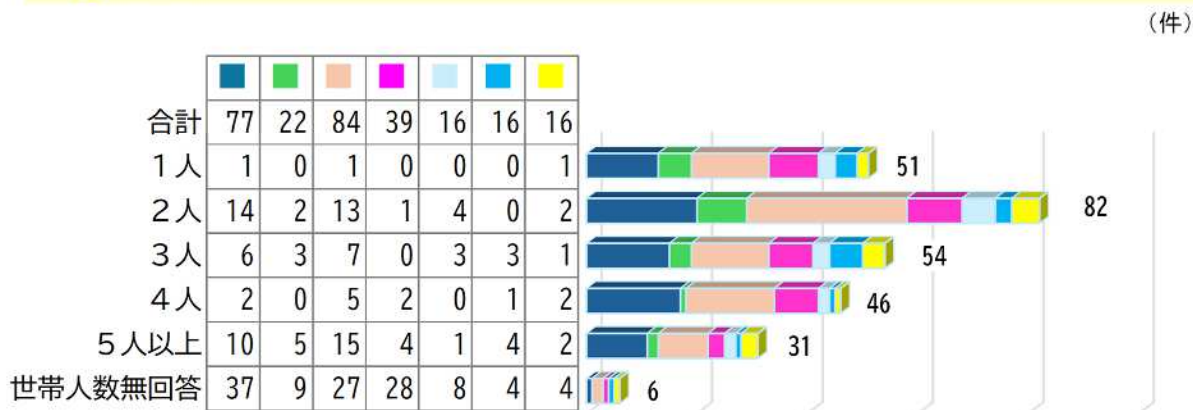
<集積所収集に賛成－世帯人数別>

- 低コスト・合理的・収集が簡便
- 収集場所確保等
- 美観・防犯・プライバシー保護
- 今のままでよい(現状維持)
- そのほか



<戸別収集に賛成－世帯人数別>

- 「排出負担」と「集積所管理負担」の軽減
- 分別の意識向上ごみ減量効果
- 排出者意識の向上(責任感向上)
- 現状継続(今までのままでよい)
- 防犯・プライバシー保護・トラブル防止
- 不法投棄対策
- そのほか



<集積所収集賛成の記述回答>

- ・「今のままでよい（73件） *同じ内容の回答は掲載を省略しているため（カッコ）内の件数と掲載件数は一致しない

回答した理由(要約)	年代	地区
習慣になっているから	70歳以上	王子東
町内会で集積所に集積しており、このままがよい	70歳以上	王子東
現在のままが、解りやすいから	40歳代	赤羽東
長い間、問題なく集積所収集なので方法を変えたくない	40歳代	浮間
地域で定着している方法だから	70歳以上	王子東
今までのやり方で十分なので特に変える必要はない	50歳代	赤羽東
集積所が家のすぐ近くにあるので、戸別収集の必要性を感じない	40歳代	王子西
集積所の管理を順番でやっていて、うまく回っていると思うので	60歳代	王子東
現状に不満が無いので	50歳代	王子東
今のやり方で不便ではない	70歳以上	王子東
現在集積所の収集ですが、皆さん協力的なのでこのままがよい	70歳以上	赤羽西
順番で当番制管理を50年以上前からやっていて苦にはならないので	70歳以上	王子東
現在の収集方法に満足	60歳代	王子西
今の集積所がごみを出しやすいから	50歳代	赤羽西
戸別収集は一軒一軒回るのが大変なので現状維持が良い	60歳代	王子東
町会で管理していて地域のつながりが出来ているのでこのままがよい	30歳代	赤羽西
戸別で回収するメリットがすぐには思いつかない	20歳代	赤羽西

- ・低コスト・合理的・収集が簡便（59件）

回答した理由(要約)	年代	地区
戸別収集は収集に時間や労力がかかり清掃員さんに負担がかかりすぎ	60歳代	浮間
戸別収集だと費用がかかるため	70歳以上	王子西
収集する人のご苦勞を思うと、一か所ですませた方がよい	70歳以上	赤羽東
決められた場所で収集する方が効率は良いと思うから	50歳代	赤羽東
戸別収集は収集車が1軒1軒止まらなければいけないので大変そう	50歳代	赤羽東
自宅前の回収は便利だが収集する方の負担が多い	50歳代	王子東
一ヶ所でまとまっている方が回収しやすい	70歳以上	王子東
集積所でないと、臭いので回収する業者が大変	30歳代	赤羽西
戸別収集は時間もかかり人手も必要となるため	70歳以上	王子東
戸別収集では費用が多くかかる	30歳代	王子東
ごみを一ヶ所に集めて管理すれば汚れが少ない	70歳以上	滝野川西
集積所で集めていただいたほうが助かる	60歳代	王子東
人手不足が加速する時代なので、戸別収集は大変だと考える	20歳代	赤羽西
一箇所に集めるのはごみの管理的にもよい	20歳代	王子東
住宅密集地なので、集積所に集めた方が効率的	30歳代	王子西
戸別回収より効率的だと考えているから	40歳代	浮間
なるべくまとまっていた方がごみ収集車の方がらく	50歳代	浮間
戸別では狭い路地など回収業者の方が大変	50歳代	赤羽西
戸別は作業員の方々の負担が増えそうなので集積所収集でよい	40歳代	王子東

・収集場所確保等（41件）

回答した理由(要約)	年代	地区
地域状況により戸別収集は難しい	70歳以上	王子東
自宅の前は狭いので集積所収集がいい	70歳以上	赤羽東
現在の集積所は前面道路が広いので置きやすい	70歳以上	王子東
私の自宅には集積所スペースはないので管理は出来ません	60歳代	滝野川西
自宅は路地なので車が入ってくるのは大変	60歳代	王子東
自宅前に収集する場所がないことがある	70歳以上	王子西
宅地が車の入らない奥地のため	70歳以上	王子東
現在の収集場所は近くの道路脇のガードレール内側なので良い場所だから	70歳以上	王子東
自宅の前は道路で、ごみを置く場所がありません	70歳以上	王子東
道に面していないので回収するのが難しい	60歳代	王子東
新築して駐車場をつくったので集積するスペースがない	50歳代	赤羽西
集積所がそばだから	70歳以上	王子東
自宅前は私道で狭いので申し訳ありません	70歳以上	滝野川西
戸別だと通行人のさまたげになる、場所不向き	70歳以上	赤羽西
自宅前の道路が狭いのでごみ収集車が入りにくい	60歳代	王子東
家の前に置く場所がないお家もあると思うし集積所の方が公平で良い	20歳代	王子東
自宅は狭い路地のためごみ収集車が入れない	30歳代	赤羽東
集積所家から近いからこのままでいい	30歳代	赤羽西
家が主要道路から見えにくいので、収集されない懸念がある	30歳代	赤羽西
住宅密集地であるので、戸別収集は現実的では無い	60歳代	王子西
自宅前は私道となっており、集積所として回収もしにくい場所のため	40歳代	赤羽西
置く場所がない家がかなりある	20歳代	赤羽東

・街の美観・防犯・プライバシー保護（24件）

回答した理由(要約)	年代	地区
戸別収集になると、街中がごみであふれてよくない	40歳代	王子東
戸別収集だと、いたずらされたり荒らされたりする不安と心配がある	40歳代	王子東
散在しているより見た目も良い。	50歳代	滝野川西
戸別収集は、ごみを特定されるリスクがあるため万が一特定の人物に不法投棄されたり、あさったりの被害や放火にあったら怖いので、集積所がよい	40歳代	浮間
集積所収集は近隣コミュニケーションの手段であるし、戸別収集では収集当日、道路にごみ団子が並んだ様な状態になるのでよくない	70歳以上	王子東
戸別収集だとごみにおいの広がりが懸念される	50歳代	滝野川西
戸別は分散され過ぎて時間帯もバラバラになり地域の見た目の悪さに繋がる	40歳代	赤羽東
自宅前に悪意の第三者にごみを出される恐れがある	50歳代	王子東
戸別収集だと、個人の生活がごみの出され方から他人に判明してしまうため	30歳代	王子東
自分以外の家庭ごみを捨てられるのは嫌だし放火されたら困るため	30歳代	王子東
現在、戸別収集ですが時々散らかっていたりするので、集積所収集希望	30歳代	王子東
戸別収集は、ごみの散らかしを防ぎ難い	50歳代	王子東
現在、戸別収集で、ネットを掛けているが収集後すぐに片付けられない	50歳代	滝野川西
ごみ袋の中身でプライベートの詮索が可能になるから集積所がよい	30歳代	浮間
戸別収集だと放火などの危険性あり	40歳代	赤羽西
集積所収集ならばごみをあさられても個人の特定は出来ないと思うので	30歳代	赤羽西
防犯上好ましくないし、少量過ぎて風で飛ばされたりする	無回答	無回答
戸別収集だと時間や曜日を守らない人がいて地域トラブルのもとになる	40歳代	赤羽西
戸別収集だとごみ袋の中身を見られたりしたら嫌	30歳代	王子東
自分の家に不法投棄される懸念がある	60歳代	赤羽西

・その他 (51 件)

回答した理由(要約)	年代	地区
集積所収集の方が各戸のライフスタイルやライフステージに左右されにくい	30 歳代	赤羽西
戸別収集ではネットなどの管理が面倒	40 歳代	浮間
ごみ管理がしやすい	70 歳以上	赤羽西
毎回ごみを出すとは限らないので戸別収集でなくてよい	60 歳代	王子東
管理は輪番制なら集積所収集でよい	60 歳代	赤羽西
誰かがなさなければならぬのであれば管理は私がする	60 歳代	王子東
集める時間には在宅していないので集積所での収集ありがたい	70 歳以上	赤羽西
現在、戸別収集、大型ごみをそのまま放置する人がいて困っている	40 歳代	王子東
一年交代で当番を決めて管理している 集積所収集でよい	70 歳以上	赤羽西
戸別収集では分別をしないで出す人もいるので管理が大変そう	70 歳以上	王子東
集積所にごみを出す作業は自分の日常生活の気づきにつながる 必要なものを購入し、たくさん買わない方がいい	70 歳以上	王子東
仕事で出張が多いので管理は出来ないが集積所に出したい	40 歳代	王子東
いつでもごみ出しができ、一括管理ができるから	20 歳代	赤羽西
戸別までは求めていない	50 歳代	王子西
仕事で家をあけているので、収集に来ていただいた後の管理ができないから	50 歳代	赤羽西
責任を持ってごみ出しするので集積所で良い	70 歳以上	赤羽西
仕事をしていて収集時間に家にいないので集積所収集がよい	70 歳以上	赤羽東
収集日に在宅を確約できない	60 歳代	王子東
ごみ出す一人一人が責任をもって規則を守り正しく出すのが大事	70 歳以上	赤羽西
ごみ収集の日を守らない人が多い	60 歳代	赤羽東
自分の身内が管理しているから	70 歳以上	王子西
仕事の関係で定期的な時間を確保できないので集積所で出せる方がよい	30 歳代	王子東
本当は戸別が良いと思うが、集積所のように、設備が整っていないから	40 歳代	王子東
集積所の方が地域で管理しやすい	70 歳以上	王子東
地域が根付く	30 歳代	王子西
管理することは難しいが、集積所にごみを出したい	30 歳代	赤羽東

<戸別収集賛成の記述内容>

・「排出する負担の軽減」と「集積所管理負担の軽減」(77件)

回答した理由(要約)	年代	地区
集積所収集は管理者が必要で負担がかかる	70歳以上	赤羽東
朝急いでいる時に戸別収集だとすぐ出せるから	20歳代	滝野川東
遠くまでゴミを持っていかなくて済むから	30歳代	王子東
高齢になってきたので集積所まで持って行くのが大変	70歳以上	滝野川西
自宅前はとても楽で有難い	70歳以上	滝野川西
高齢者が多いので、自宅以外(遠くなる)の場所へ持って行けない	50歳代	滝野川西
戸別収集の場合自分の都合が悪い時にはゴミを出さないですむから	70歳以上	赤羽西
家の前ならカギをかけず服装も気にならないので楽に出せる	60歳代	滝野川西
自宅前の収集の方が便利だから	50歳代	滝野川西
集積所は管理が一定の人をお願いするので負担がかかり大変そう 家の中にゴミをためる事も減ると思う	60歳代	赤羽西
集積所で収集する場合、遠くなるなど通勤経路から離れると面倒 戸別で収集すると、自分たち日にち曜日感覚を覚えやすい	20歳代	滝野川東
身体が不自由なので戸別で収集がいい	70歳以上	赤羽西
集積所の管理について利用者の関心が薄く、清掃が不十分なので	40歳代	赤羽東
集積所に持って行くのは負担がかかる	20歳代	滝野川西
現在、戸別収集の為、集積所まで持って行くのが手間 自宅前に自分の家のごみだけなので問題となりにくい	40歳代	赤羽西
集積所収集だと誰が出したかわからない、まちがえた出し方のごみがたまにあるのでそれを片付けるのが大変	50歳代	赤羽西
町会に入らないと集積所を使わせないとされることもあるから	70歳以上	赤羽西
散らかったら自分の家も前は片付けするが、集団だと気持ちが悪いので	40歳代	滝野川西
集積所が家の前にあり該当の曜日に出さない人がいると、一時回収して自宅敷地内に置くことがある	60歳代	無回答
高齢者となり、ゴミ出しにも身体的負担を感じるようになった	70歳以上	滝野川西
通りすがりの人が出すのが嫌だから	70歳以上	滝野川東
ゴミ当番が大変だから	30歳代	赤羽西
集積所が区道にあり、不法投棄や遠方の住民がゴミ出し(投げ捨てる)集積所が荒れる、管理者の方が大変	60歳代	赤羽東
自宅前が集積所で他人のゴミで自宅前が汚れ掃除をするはめになって不平等	40歳代	王子東
仕事で集積所の管理が出来ず近所の方をお願いしているから申し訳ない	50歳代	王子東
集積管理は近隣との協力が必要なので面倒くさい	40歳代	王子東
少しの距離でもゴミを出しに行くのは面倒なため自宅前が良い	40歳代	滝野川西
朝は忙しいので、自宅まで来てくれると助かる	30歳代	滝野川西

・ 分別意識向上ごみ減量効果（22 件）

回答した理由(要約)	年代	地区
戸別なら分類・分別もちゃんとやるだろう	70 歳以上	滝野川西
分別出来ない人を明確にして、ごみ減量化を進めるべきだ	60 歳代	王子東
ごみの減量化に有効となるし、責任感も出ると思う	60 歳代	滝野川西
戸別だと不適切な出し方が無くなると思う	70 歳以上	滝野川西
ごみの量が少なく散らからない	70 歳以上	王子東
第一に分別の意識が高まる	70 歳以上	滝野川西
ごみ分別に対する意識が高まるため	70 歳以上	赤羽東
現在戸別収集で、出し方や分別がちゃんとされていないと分かるし、汚したくないので綺麗に出すと思う	30 歳代	滝野川東
ごみの削減に有効	60 歳代	滝野川東
分別しないと持って行ってくれないならやるだろう	40 歳代	赤羽西
戸別だとルールが守られ、ごみも減る	50 歳代	滝野川西
戸建ての場合は戸別収集が分別、排出抑制に効果大だと思う	60 歳代	赤羽東
各々の家庭がごみの分別をしっかりとやるようになると思う	40 歳代	赤羽西
ごみが少なくなった時はうれしい気持ちになるので、一戸ずつごみの軽量化の成果を出せる戸別収集は良いと思う	60 歳代	滝野川西
戸別収集の方がごみの分別が守られる	70 歳以上	滝野川西
ごみの散乱が酷くて分別がされていないから戸別収集するべき	60 歳代	滝野川東

・ 現状継続（今までのままでよい）（39 件）

回答した理由(要約)	年代	地区
すでにプラのごみ箱を持っている。(捨てたくない)	60 歳代	滝野川西
現在のまま戸別収集が希望	70 歳以上	滝野川西
現在、戸別収集で助かっている	70 歳以上	滝野川西
今のままで良い	60 歳代	滝野川西
数年前まで我家の前が集積所で、どこよりも世帯数が多く夏場の臭い、年末年始の大量排出に不快感や車の出し入れに不便だった。	60 歳代	王子東
特に不便がないため	50 歳代	滝野川西
自宅前収集はごみを出すものにとって、とても便利	70 歳以上	滝野川西
戸別収集して頂いていますのでたすかっています	70 歳以上	王子東
現状維持希望 集積所だと誰もがルール通りにやるとは限らない	60 歳代	滝野川東
個々の責任なので間違っている場合、未回収で良い	60 歳代	滝野川西
現在戸別収集で、不便さを感じない	50 歳代	滝野川西
年をとってくると集積所まで持って行くのが大変になるのでいままでとおり	70 歳以上	滝野川西
10 年以上前に地元住民とごみ収集の方達と話し合い自宅前に出すと決まった	50 歳代	王子西
今まではほぼ自宅前の収集をしていただいていたとても助かっておりますので	60 歳代	滝野川東
以前は集積場所に出していましたが清掃当番とかまわらなくなり、いつも同じ人が行う様になったため戸別収集になった 清掃も自己責任で安心です	70 歳以上	滝野川東
またこの地域で集積場所を新たに作るのはむずかしい	50 歳代	滝野川西
今が戸別収集で慣れているから	30 歳代	滝野川西

・排出者意識の向上（責任感向上）（84件）

回答した理由(要約)	年代	地区
海外の人が分別をしないので、一緒にされたくない	30歳代	赤羽東
個人でしっかり管理した方が最終的にはコスト減にもつながると思う	40歳代	赤羽東
自分のごみは自分で責任を持つ	70歳以上	赤羽東
集積所の管理は、お互い様では出来ないと思うから	40歳代	滝野川東
自分の敷地のため各自が責任をもってごみをきれいにしている	50歳代	王子東
集積所だといいかげんに出す人が多い。自分の家だと責任を持ってくれる	60歳代	滝野川西
戸別収集の方が責任をもってごみを出すため	50歳代	滝野川西
自分で出すごみに対する責任感がわきやすい	50歳代	浮間
マナーの悪い方がいるので、誰が出したごみかを分かるようにした方がよい	50歳代	王子東
無責任に集積所に置かれて回収されないごみがない事は地域にとって良い	30歳代	滝野川西
自分の家の物は自分の責任で出せるから	40歳代	王子東
近隣トラブルでどこへも出せず、やむを得ず自宅前の回収にしてもらっている。自己責任で片付け（カラス等の）もできるのでとても良い。	60歳代	王子東
集積所の場合、出してしまうと誰が出したか不明で無責任なごみを出す方が、全員ではないが、一部の方が出す事があると思う。	60歳代	滝野川東
袋の中身に責任が持てる	70歳以上	滝野川西
分別違反者の特定が出来る	無回答	赤羽西
戸別なら自分が汚したのだから必ず掃除する	50歳代	滝野川東
自分が出したごみの管理に責任を持つようになる	60歳代	王子東
以前集積所の時は無関係のごみがあるので分別するのに手間取った	70歳以上	滝野川西
だらしない人がいるので集積所は使いたくない	50歳代	滝野川西
自分で出したごみは自分で管理する	60歳代	王子東
自分の出すごみの責任意識が持てる	無回答	赤羽西
自宅前なら誰でもキレイにしておきたい	60歳代	滝野川西
ごみ出しの自己責任の向上。戸別収集作業は大変かも知れないが、将来的にはごみの自宅焼却を進めれば負担は軽くなると思う	70歳以上	赤羽西
各自責任をもってごみを出した方がよい	40歳代	王子東
集積所に捨てていますが、近所に外国の方が増えたせいか、マナーの悪い捨て方が目立つ、集積所になっているお宅が気の毒、自宅前に出すしかない	40歳代	王子東
ルールを守らない家庭が分かるから	70歳以上	滝野川東
戸別収集になって長い期間が経過するが困ったことは起きていない	70歳以上	滝野川西
集団だとマナーを守らない家庭があるから	30歳代	滝野川東
自宅前の方なら管理が容易で、責任の所在がはっきりする	30歳代	滝野川東
自宅前の方が責任を持てるため	50歳代	滝野川西
現在、集積所収集だが、分別ルールを守らない方がおられるようなので、戸別収集で各世帯に責任をもったごみ出し徹底させるようにしたほうが良い	60歳代	王子西

・防犯・プライバシー保護・トラブル防止（16件）

回答した理由(要約)	年代	地区
近所とのトラブルの基を無くす事ができると思う	20歳代	赤羽東
この辺りは以前放火騒ぎあったので気になる アパートの方々には各アパート収集して欲しく戸別収集希望です	70歳以上	赤羽西
プライバシーの観点からよそ様のごみを触りたくない	70歳以上	滝野川西
近隣トラブルをさける為	60歳代	赤羽西
費用が掛かってもお金で解決できるなら、揉め事が減ったほうがよい	70歳以上	赤羽東
ごみ出し中の空き巣など聞くので自宅前がよい	30歳代	滝野川西
近所の面倒くさいおじさんとの関わりが難しいと思った事があったから	50歳代	王子東
越権的ルール押し付けや自治が巻き起こる可能性があるため、可能な限り個人のごみは個人で管理したい	30歳代	滝野川西
集積所での回収は住民トラブルが起きる可能性が高まる	30歳代	滝野川西
以前、ルール違いで回収されなかったごみを当番が自宅に引き取らなければならない地区に住んでいてとても嫌だった 清掃当番などでめめたくない	50歳代	滝野川西
「最近問題となっている危険物混入（リチウムイオン電池等の混入）」が減少すると思う 戸別回収は誰が出したか分かるからよい	30歳代	滝野川西
ごみ捨てが原因で傷害事件も年に数回起きています。特に外国の方が増えてからはトラブルも増加しており、問題が起こるたびに110番通報している	40歳代	赤羽西
15年集積所の管理をしていた。理由が「若いから」との事。次の管理者は自分で探す様にとも言われ交代するのに10年かかった 戸別収集がいい	50歳代	赤羽東
近所と付き合いたくない	30歳代	赤羽西

・不法投棄対策（16件）

回答した理由(要約)	年代	地区
コンビニが近い為車で来て集積所について捨てていく人がいるので	70歳以上	王子東
責任を持って廃棄する仕組みにすることで不法に町内へ投棄される物を減らし住みやすくした方が安心できるため	30歳代	王子西
集積所は各々が自分のごみに責任をもたず、出し方が汚いうえ、通りかかっただけの人が持っているごみを捨てたりするのであまりよくないと思う	50歳代	滝野川東
以前集積所の清掃をしていましたが分別をしない人が多く駅に近いと出がけに投げ捨てて行く人に悩まされた	70歳以上	滝野川西
不法投棄の対策になる	60歳代	滝野川西
戸別収集は衛生面やごみの不法投棄の防止などメリットがあると思う	70歳以上	王子東
集積所は無くした方が不法投棄対策に良い	30歳代	王子東
集積所だと知らない人が勝手に捨てていく	30歳代	王子東
集積所の場合、関係ない人がごみを捨てていく可能性が考えられる	40歳代	滝野川東
集積所だと違法投棄が起こる確率があるので、戸別の方が良いかと。	50歳代	滝野川西
どの家から出たごみか解るので不法投棄の防止に有効	70歳以上	滝野川西
家の前が集積所で不法投棄に困っている	30歳代	赤羽東
集積所へのごみの不法投棄が目立つ	20歳代	赤羽東

・その他（16件）

回答した理由(要約)	年代	地区
戸別より集積所の方が収集の手間はからないと思うが戸別が良い	60歳代	滝野川西
現在集積所が狭いため	70歳以上	赤羽西
今は一人住まいのためそんなにごみは出ないが戸別収集を希望	無回答	無回答
他人のごみが家の前にあるのは耐え難いから戸別収集が良い	40歳代	王子東
自分を含め、70歳以上のため	70歳以上	王子東
高齢者なので	70歳以上	滝野川東
多くの家庭から大量のごみを一箇所に集めると、害虫が発生する	20歳代	滝野川東
他の自治体を見ると、今後ごみ集積所を管理しきれないと思う	50歳代	滝野川西
元々自宅前が集積所であるから	40歳代	赤羽西
細い路地を軽トラで収集してもらっており戸別に近い状態になっているから	60歳代	王子西

問9. あなたは有料指定ごみ袋の導入についてどのように思いますか。(SA)

有料指定ごみ袋の導入についてどのように思うかについては、「導入すべきでない」が36.4%で最も高い割合で回答されている。ただし「賛成」13.6%と「条件によっては賛成」35.4%を合わせた“導入に賛成”は49.0%となり、「導入すべきでない」よりも高い割合になる。(以下「賛成」と「条件によっては賛成」を合わせて“導入に賛成”とする)

令和4年度の前回調査と比べると、「導入すべきでない」が、前回36.3%、今回36.4%とほぼ同じ割合になっている。前回の“導入に賛成”は44.5%、今回は49.0%で前回より割合が上がっている。今回調査では「わからない」の割合が減って“導入に賛成”の割合が増えた結果になっている。

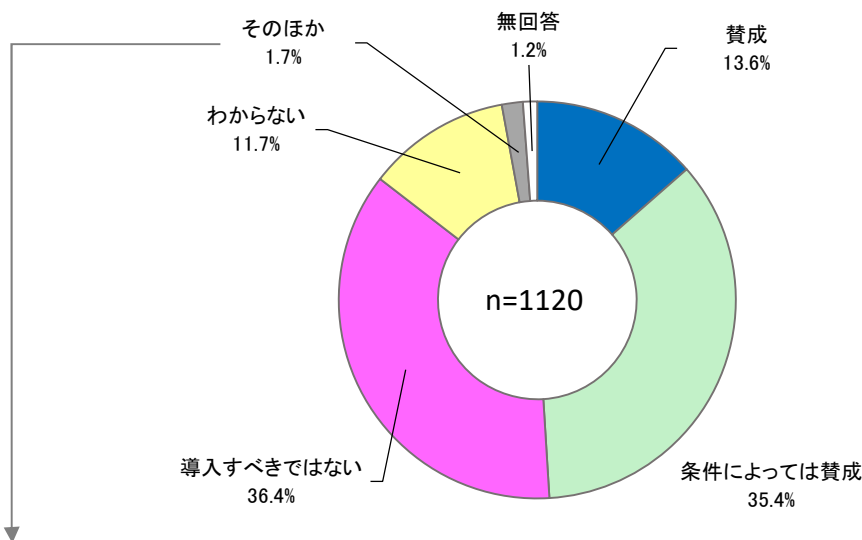
年代別にみると、“導入に賛成”は「10代」が66.7%で最も割合が高く、次いで「70代以上」の60.1%が高い割合になっている。一方「導入すべきでない」は「30代」が48.1%で最も割合が高く、次いで「40代」の47.9%が高い割合になっている。

地区別にみると、“導入に賛成”の割合は「滝野川東地区」で53.8%と最も高い。次いで「王子西地区」が52.4%、「赤羽東地区」が52.3%の順になっている。一方、「導入すべきでない」は「滝野川西地区」の39.2%が最も高い割合になっている。

世帯人数別にみると、“導入に賛成”は「2人」世帯が52.2%で最も高い割合で、次いで「3人」世帯が51.2%となっている。一方、「導入すべきでない」は「5人以上」世帯が45.4%で最も高い割合になっている。

住居形態別にみると、回答者の8割近くを占める「戸建て住宅」居住者は全体の割合と近い数値になっている。“集合住宅”については、「戸建て住宅」に比べて“導入に賛成”の割合が低く「導入すべきでない」の割合が高くなっている。

No.	選択肢	回答者数(人)	構成比(%)
1	賛成	152	13.6
2	条件によっては賛成	397	35.4
3	導入すべきではない	408	36.4
4	わからない	131	11.7
5	そのほか	19	1.7
	無回答	13	1.2
	全体	1120	100.0

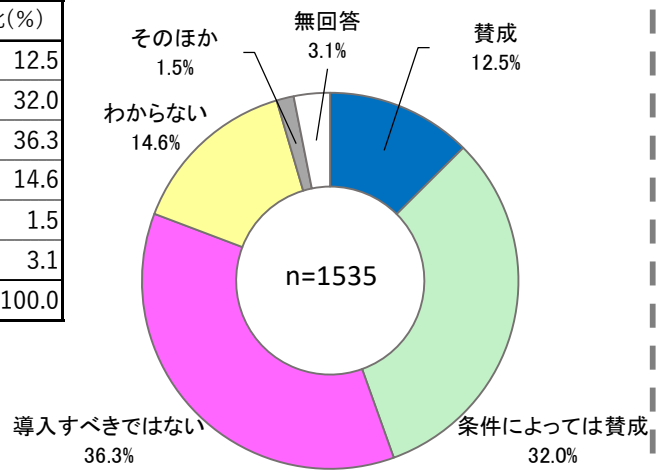


(そのほか)の内容

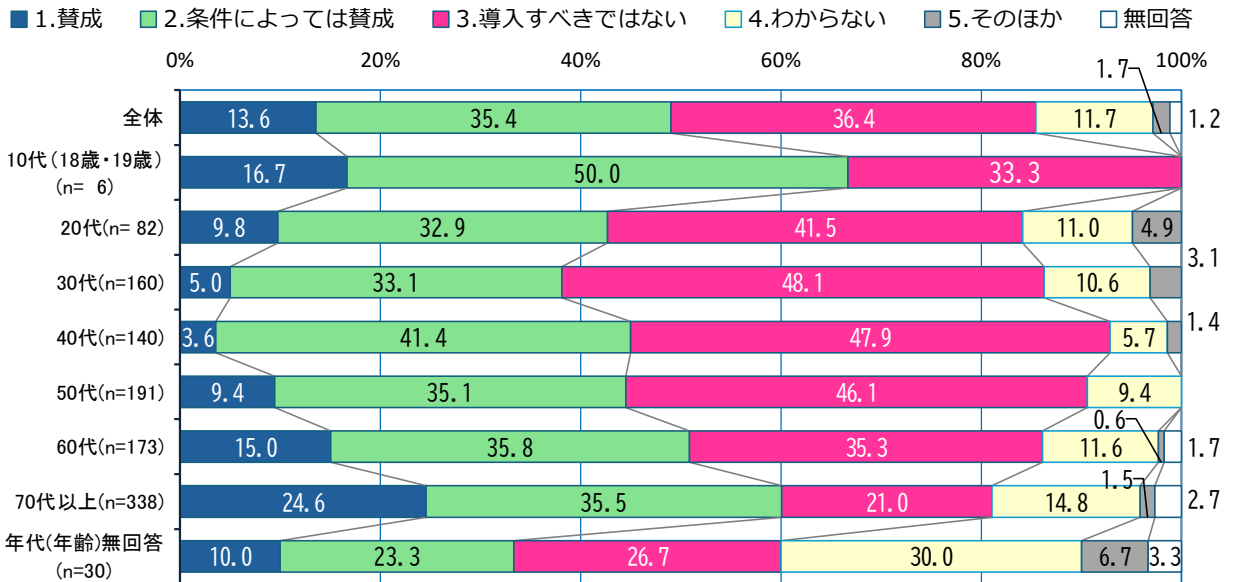
- ・現在、流通しているごみ袋も有料ごみ袋だと思っている。
- ・市販のビニール袋と同程度の額なら不満はない。
- ・家庭にあるビニール袋や紙袋も有効に使えるようにして欲しい。
- ・ルールを守るようになるならば賛成する。
- ・税金で賄い無料配布するならよい。
- ・導入しても実際にごみは減らないと思う。
- ・余計な手間がかかる外国人世帯に手間賃を取るべき。
- ・今も有料ゴミ袋を使用しているので質問の意味がよく分からない。(有料指定ごみ袋を知らない)
- ・既にスーパー等に有料で販売しているごみ袋を購入していますが、更に購入すると言うことでしょうか。(有料指定ごみ袋を知らない)
- ・ごみ袋有料化は不満が出るしごみ袋を指定されるのも嫌がる人はいらと思う。
- ・その仕組みを出す際に周知させる労力と仕組みを作るための資金を出すのは得策とは思えない。

<令和4年度調査比較>

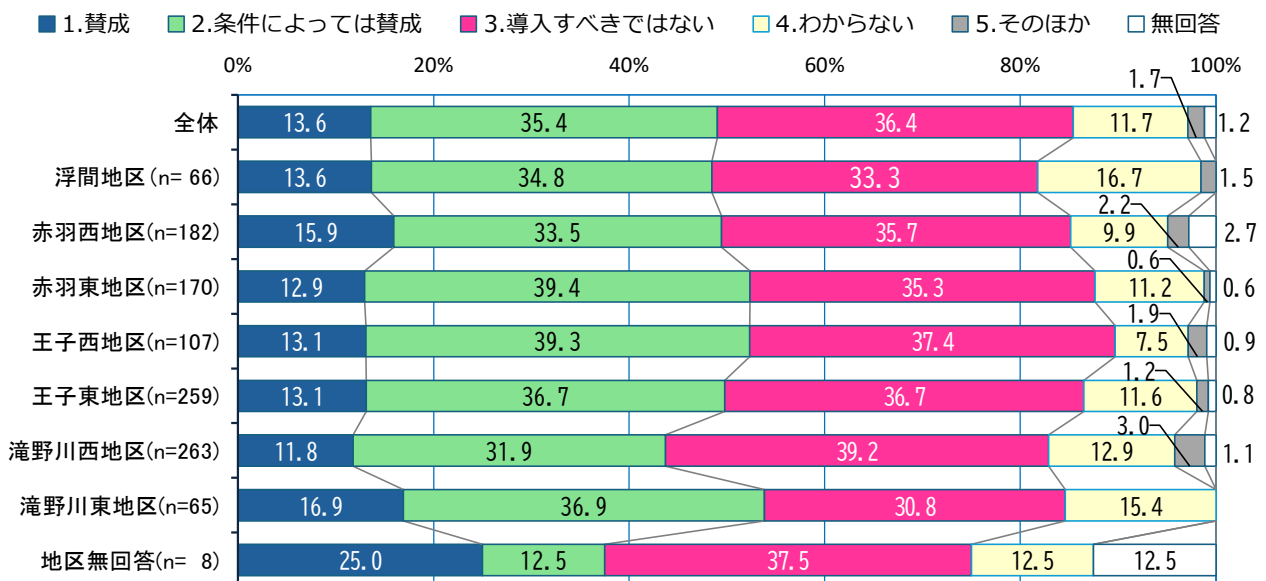
No.	選択肢	回答者数(人)	構成比(%)
1	賛成	192	12.5
2	条件によっては賛成	491	32.0
3	導入すべきではない	557	36.3
4	わからない	224	14.6
5	そのほか	23	1.5
	無回答	48	3.1
	全体	1535	100.0



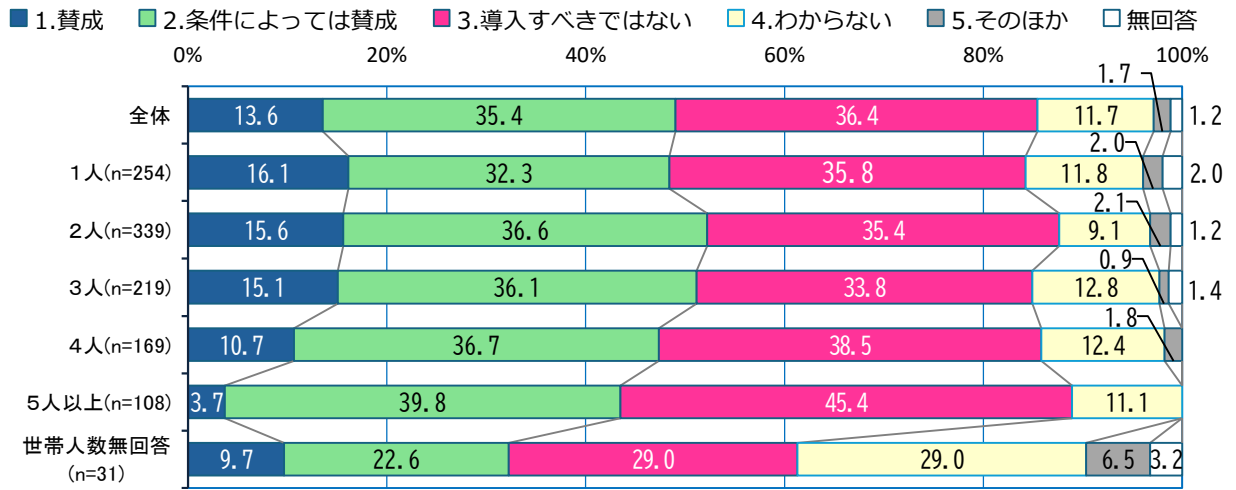
<年代別>



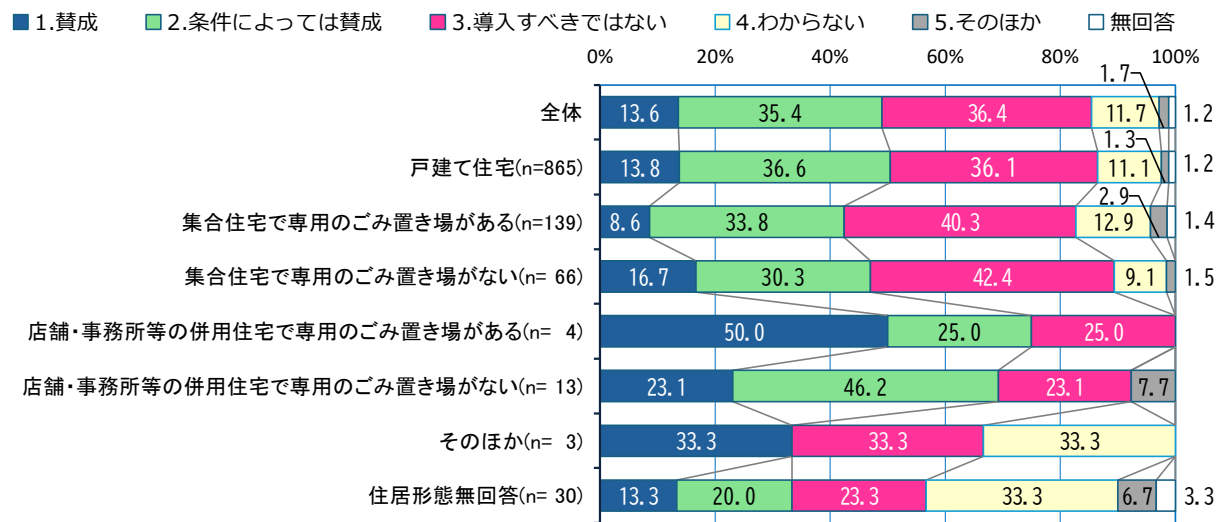
<地区別>



<世帯人数別>



<住居形態別>



問 10-1. 【問 9 で “導入に賛成”（1. または 2. の回答）を選択された方】 有料指定ごみ袋を導入するとしたら、特に優先して配慮してほしいことは何ですか。（MA）

問 9 で有料指定ごみ袋の“導入に賛成”（1. 賛成または 2. 条件によっては賛成）と回答した 549 人のうち 533 人が回答している。「2 つまで選ぶ」が回答条件で平均して 1 人あたり約 1.7 回答であった。

「量に応じた負担にする仕組みを作る」が最も高い割合で 49.7% (273 件) になっている。次いで「有料指定ごみ袋の導入による収入の使い道を明確にする」が 28.1% (154 件) になっている。

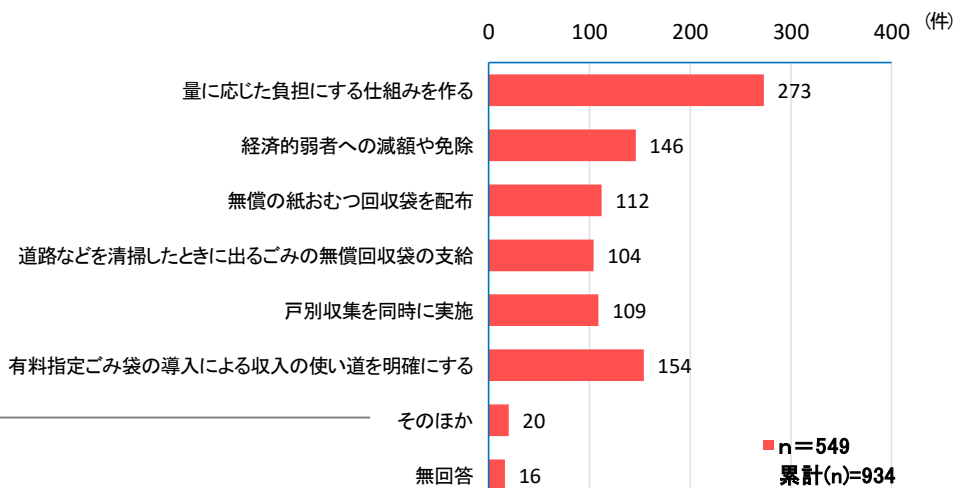
令和 4 年度の前回調査は「量に応じた負担にする仕組みを作る」が 55.6% で最も高い割合で、次いで「有料指定ごみ袋の導入による収入の使い道を明確にする」が 36.0% となっていた。設問上の選択肢が増えたため、前回調査に比べれば回答割合は減少傾向であるが「戸別収集を同時に実施」は 17.3% から 19.9% に回答割合が上昇している。

年代別にみると「量に応じた負担にする仕組みを作る」は、「60 代」以上で半数を超えて回答されている。「70 代以上」では「経済的弱者への減額や免除」が他の年代に比べて比較的多く回答されている。

地区別にみると「量に応じた負担にする仕組みを作る」は、「赤羽東地区」「滝野川西地区」「滝野川東地区」で半数以上が回答しており、「浮間地区」では比較的小さい回答割合になっている。

世帯人数別にみると「量に応じた負担にする仕組みを作る」は「2 人」世帯で多く回答がされていて、世帯人数が増えると回答が減少する傾向が見受けられる。

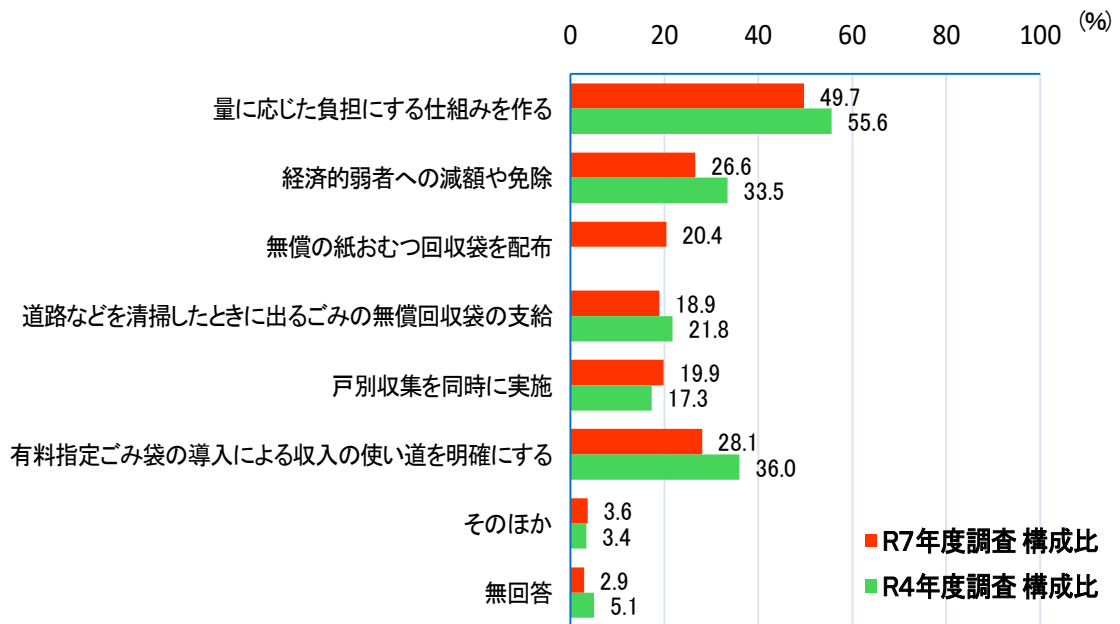
No.	選択肢	回答者数(件)	回答者率(%)
1	量に応じた負担にする仕組みを作る	273	49.7
2	経済的弱者への減額や免除	146	26.6
3	無償の紙おむつ回収袋を配布	112	20.4
4	道路などを清掃したときに出るごみの無償回収袋の支給	104	18.9
5	戸別収集を同時に実施	109	19.9
6	有料指定ごみ袋の導入による収入の使い道を明確にする	154	28.1
7	そのほか	20	3.6
	無回答	16	2.9
	合計	934	170.1



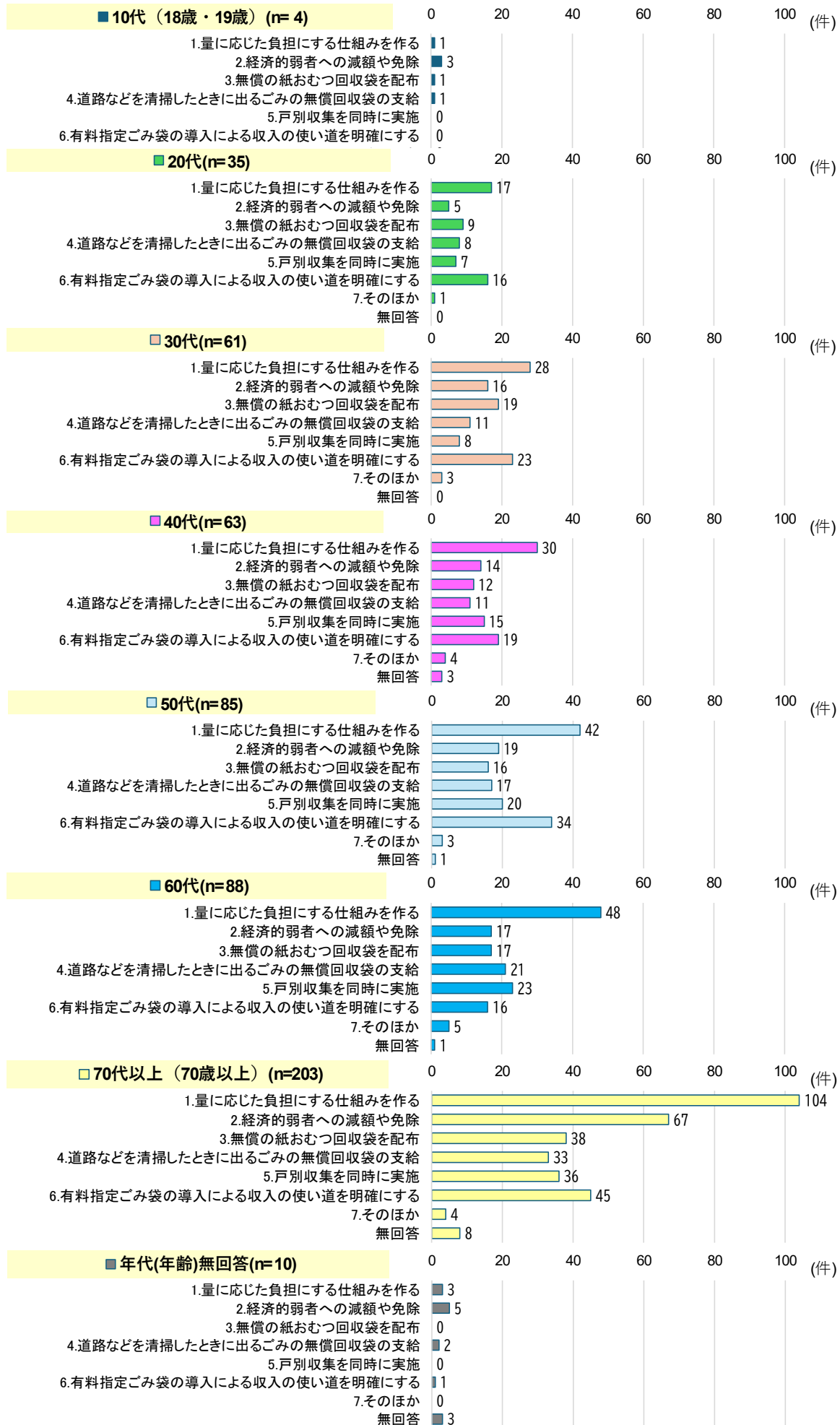
（そのほか）の内容

- ・有料ごみ袋を簡単に手に入るようにする。
- ・ごみ袋を 30L と 45L にしてほしい。
- ・有料指定ごみ袋を多種類そろえる。
- ・カラス対策をおねがいします。
- ・無視されて出たごみ回収の対策を検討してください。
- ・植木などの処理対策
- ・多様なごみ袋サイズの展開、小さい袋で多数出しても割高にならない仕組みを整えて欲しい。
- ・ごみ収集ボックスをもっと多く設置
- ・外国人など、ルールを守れない人を追跡してください。罰則規定が必要です。
- ・袋の素材もバイオベースマテリアルにしてほしい。

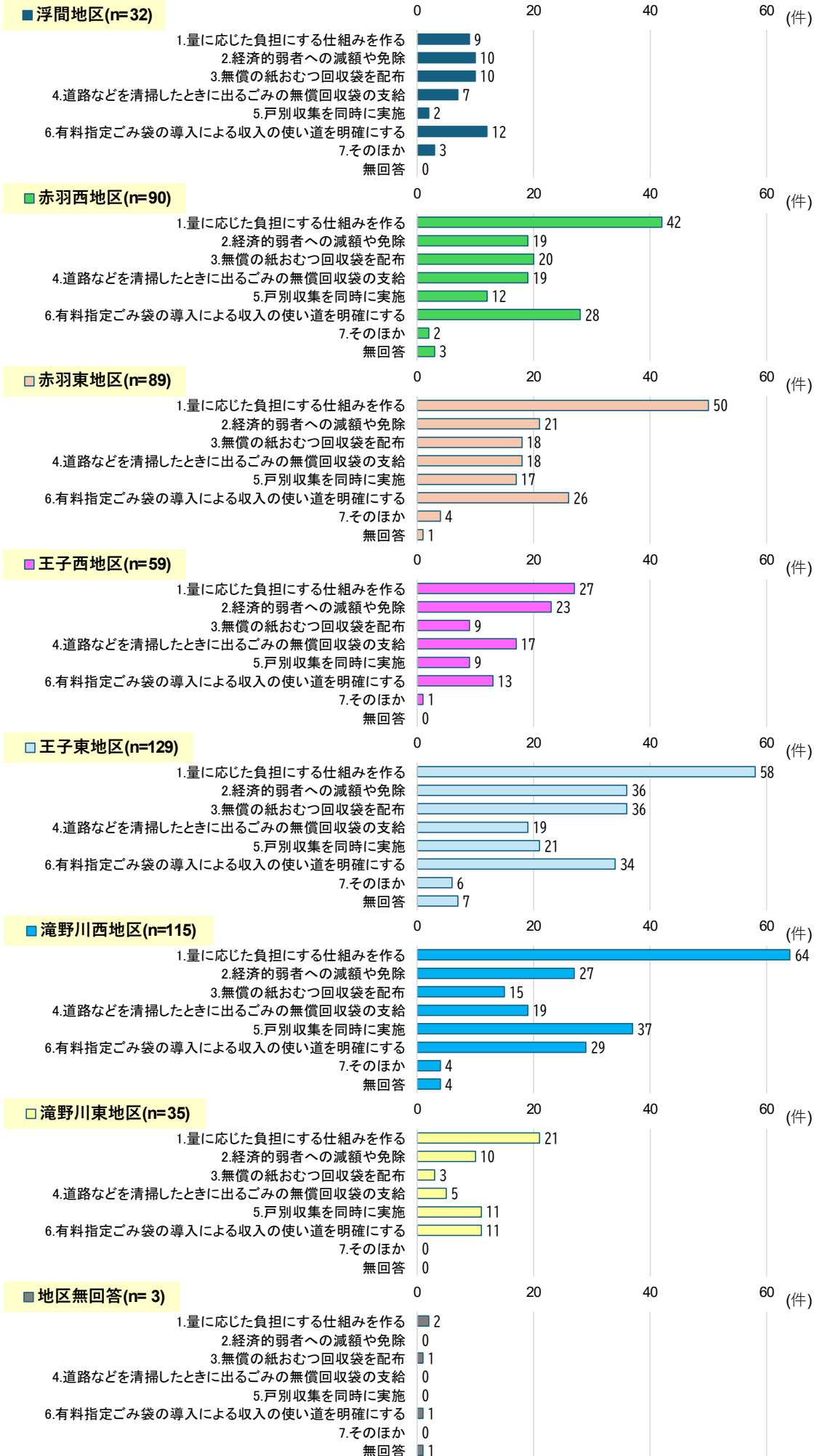
<令和4年度調査比較>



<年代別>

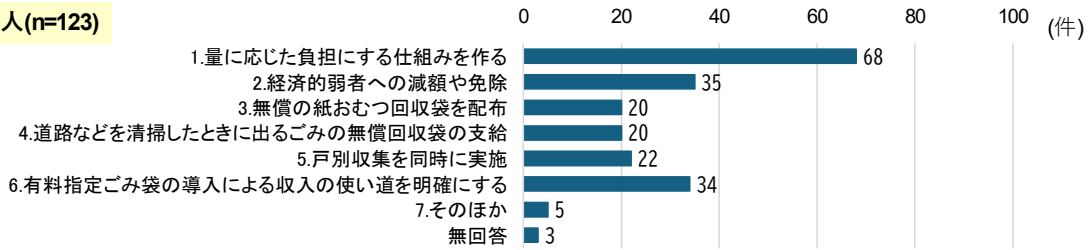


<地区別>

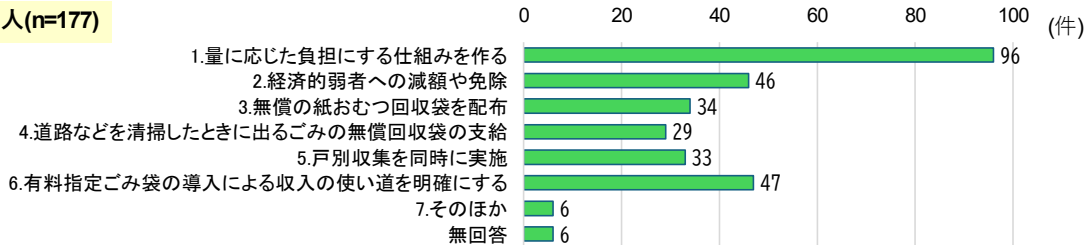


<世帯人数別>

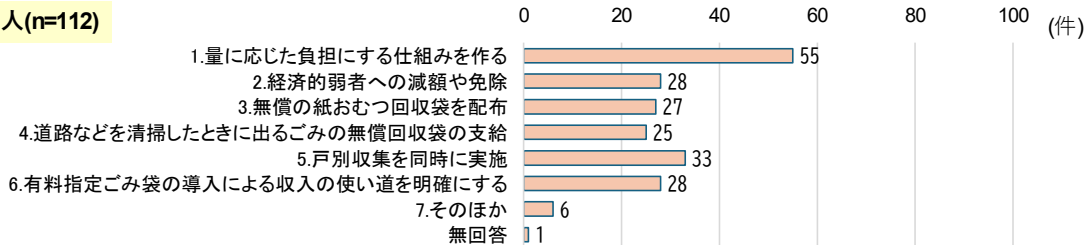
■ 1人(n=123)



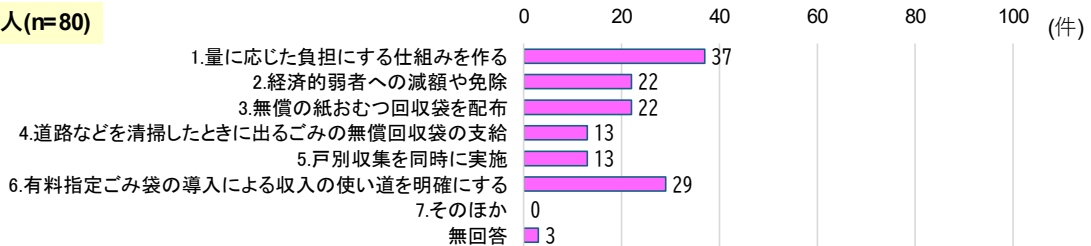
■ 2人(n=177)



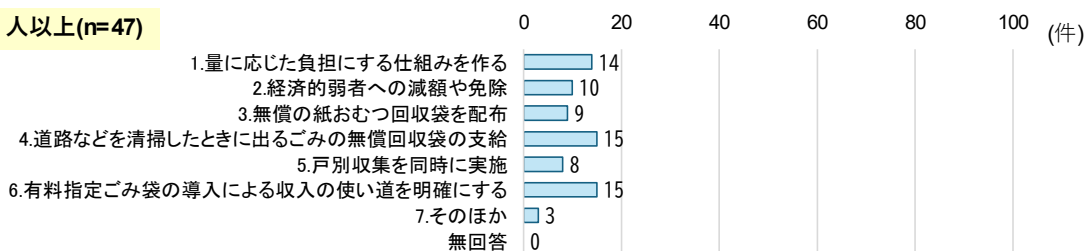
□ 3人(n=112)



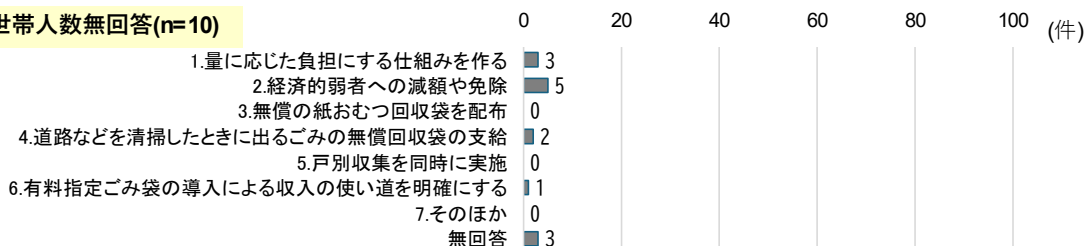
■ 4人(n=80)



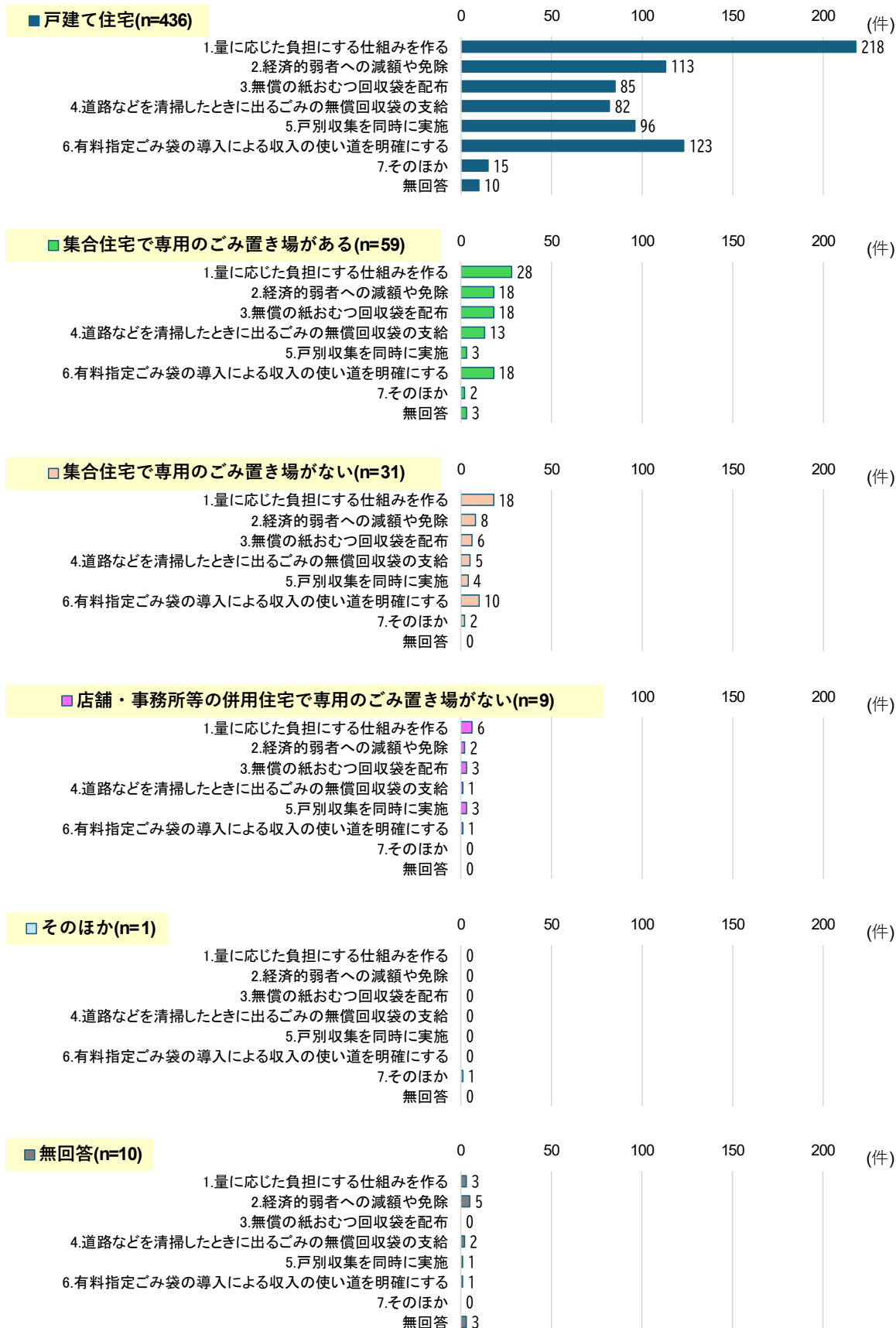
□ 5人以上(n=47)



■ 世帯人数無回答(n=10)



<住居形態別>



問 10-2. 有料指定ごみ袋の導入で収入が発生した場合は、何に使うと良いと思いますか。(MA)

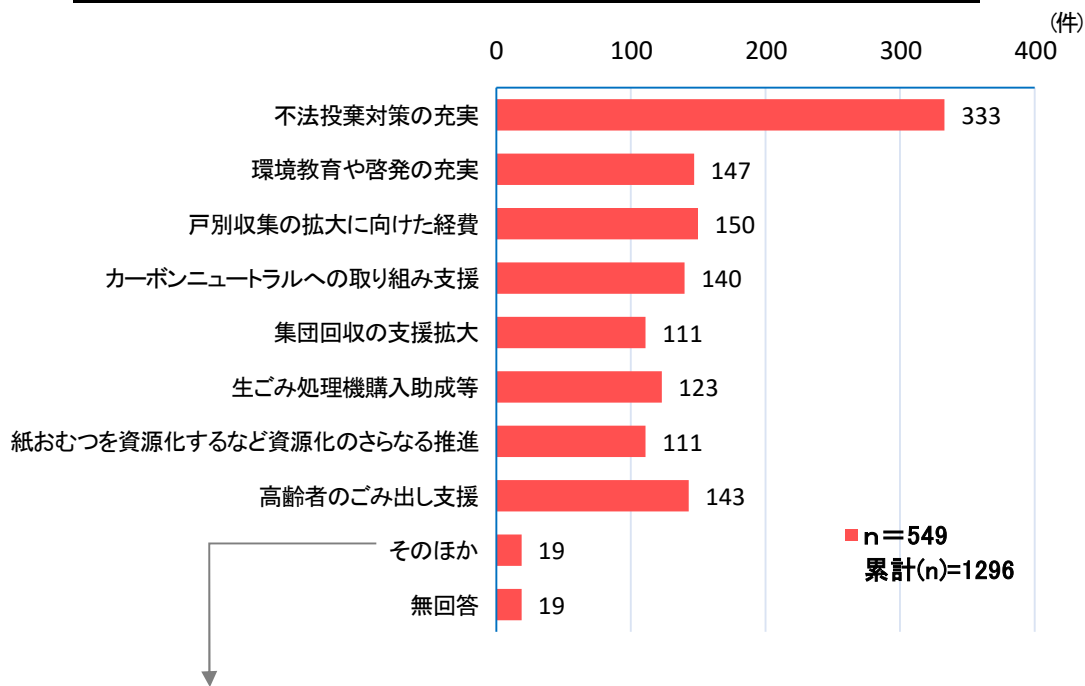
問 10-1 と同じく、問 9 で有料指定ごみ袋の“導入に賛成”(1. 賛成または 2. 条件によっては賛成) と回答した 549 人が回答対象で、うち 530 人が回答している。「3 つまで選ぶ」が回答条件で 1 人あたり約 2.4 回答となっている。回答者率は、549 人に対する回答した割合を算出している。

「不法投棄対策の充実」が 60.7% (333 件) で最も高い割合で回答されている。次いで「戸別収集の拡大に向けた経費」が 27.3% (150 件)、「環境教育や啓発の充実」 26.8% (147 件) の順になっている。

令和 4 年度の前回調査と比べると、今回は「不法投棄対策の充実」が 55.8% から 60.7% に割合を上げている。「戸別収集の拡大に向けた経費」が 18.4% から 27.3% に、「環境教育や啓発の充実」が 21.4% から 26.8% に、「生ごみ処理機購入助成等」が 18.3% から 22.4% に、それぞれ回答割合が増えている。

地区別にみると「赤羽西地区」「赤羽東地区」「王子東地区」「滝野川西地区」で「不法投棄対策の充実」が各地区の約 6 割を占めている。

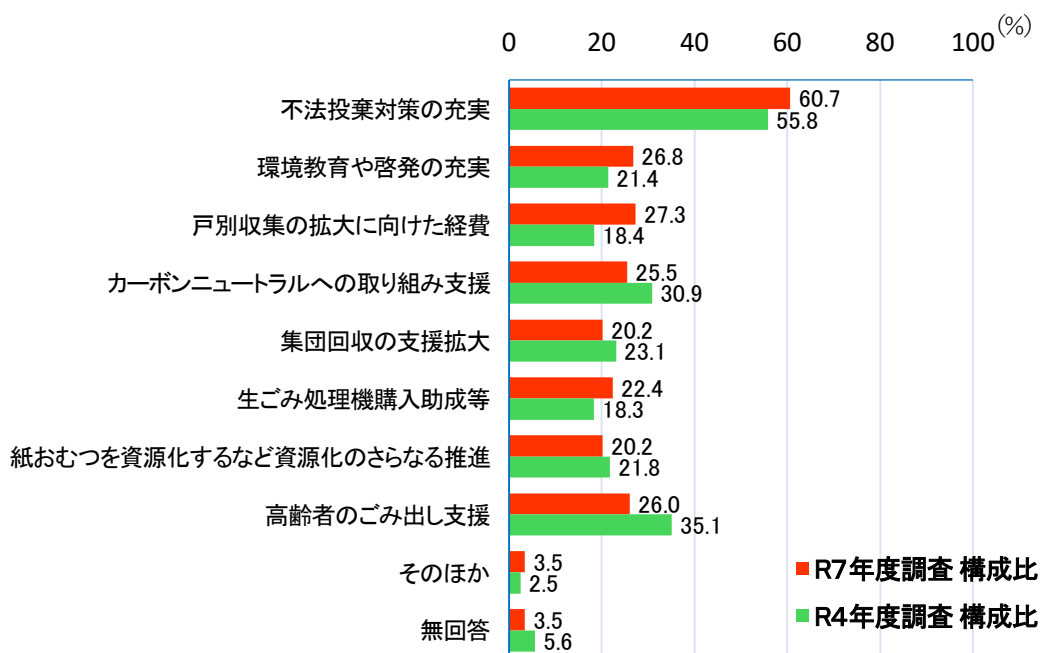
No.	選択肢	回答者数(件)	回答者率(%)
1	不法投棄対策の充実	333	60.7
2	環境教育や啓発の充実	147	26.8
3	戸別収集の拡大に向けた経費	150	27.3
4	カーボンニュートラルへの取り組み支援	140	25.5
5	集団回収の支援拡大	111	20.2
6	生ごみ処理機購入助成等	123	22.4
7	紙おむつを資源化するなど資源化のさらなる推進	111	20.2
8	高齢者のごみ出し支援	143	26.0
9	そのほか	19	3.5
	無回答	19	3.5
	合計	1296	236.1



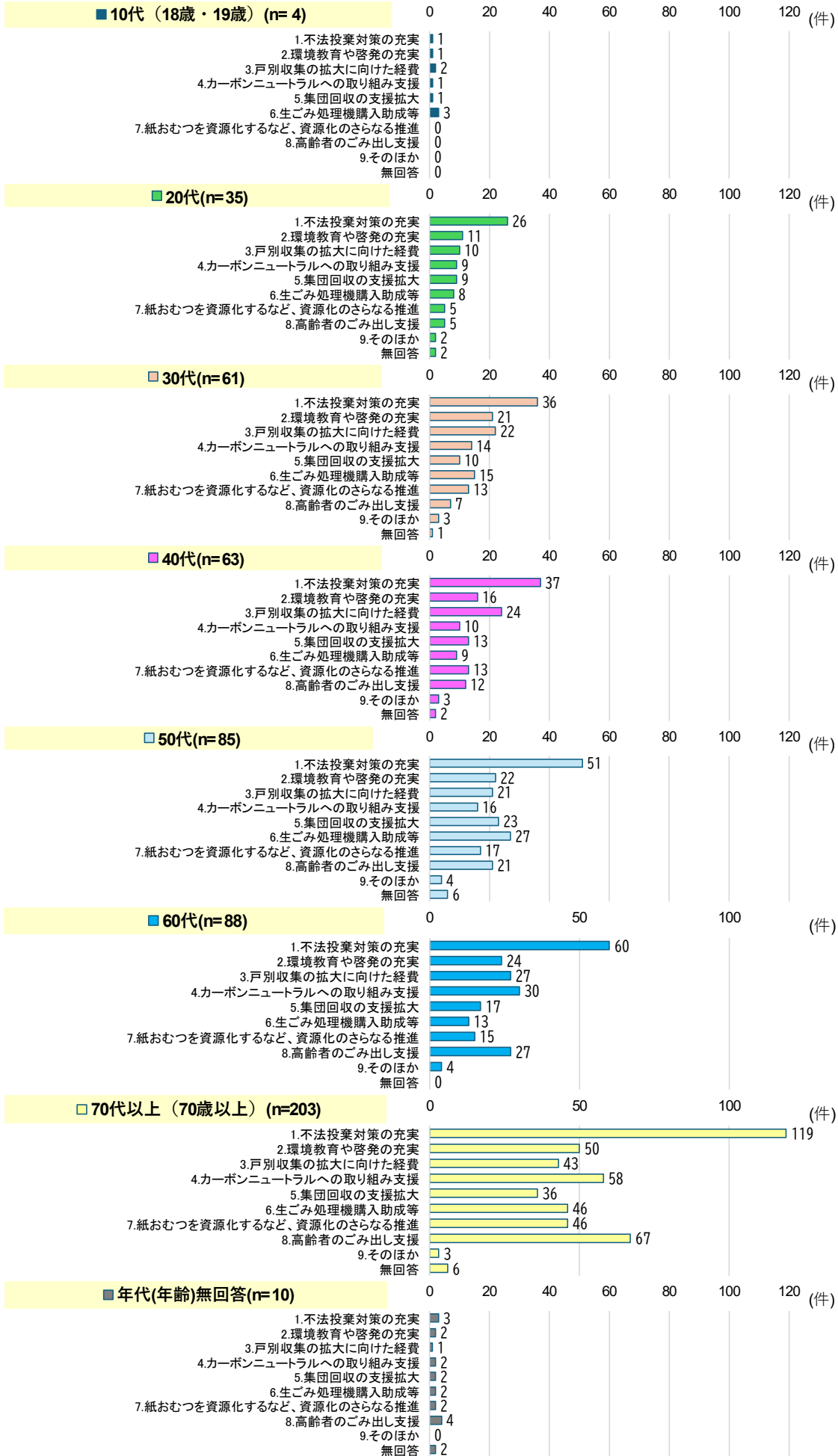
(そのほか) の内容

- ・回収業者の労働環境の改善
- ・回収日の増加
- ・リチウム電池の回収費
- ・清掃課の収入
- ・カラス対策
- ・粗大ごみ回収代を安くする
- ・区職員の待遇改善
- ・焼却場の改修費
- ・外国人指導・教育
- ・回収業者の労働条件改善
- ・ごみ収集ボックスの設置費用
- ・将来の環境対策への投資
- ・分別しない人の摘発や監視
- ・清掃員の労働条件改善
- ・クリーン活動への支援
- ・生ごみの資源化促進全般

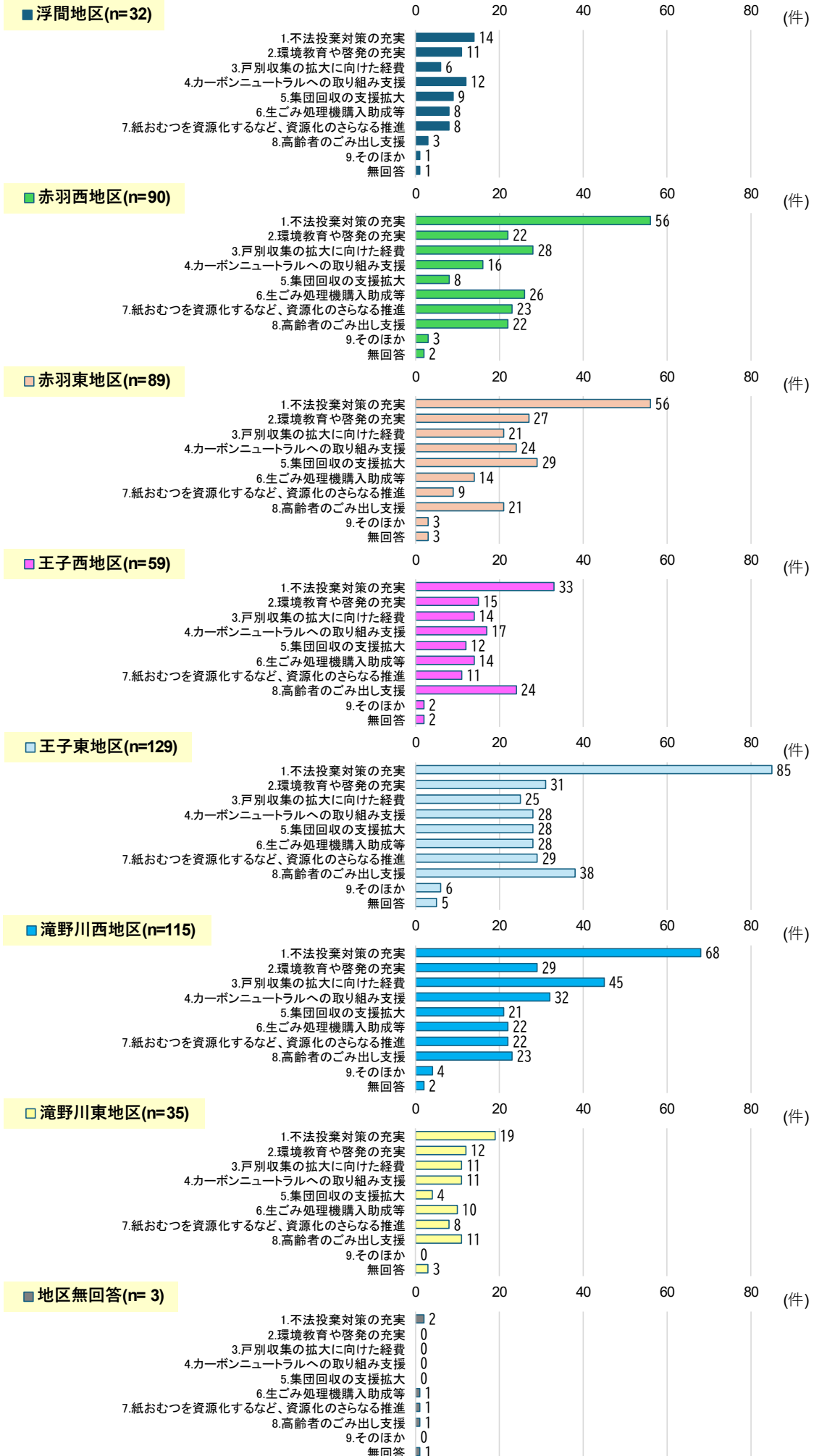
<令和4年度調査比較>



<年代別>

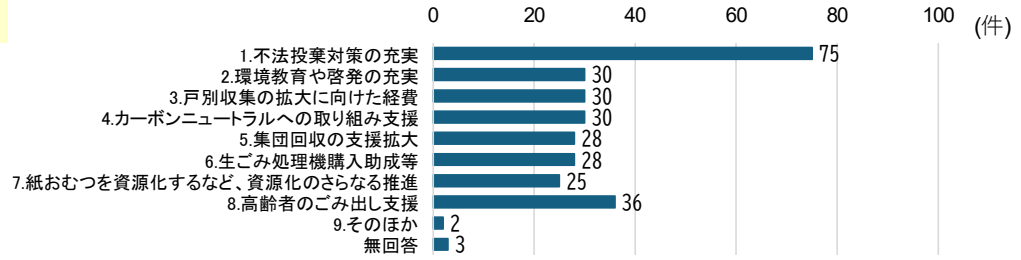


<地区別>

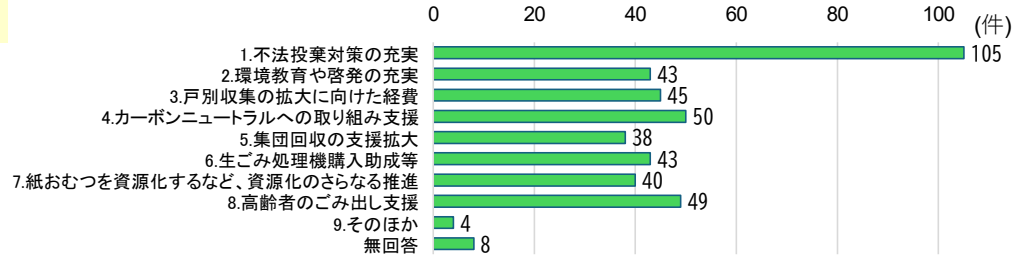


<世帯人数別>

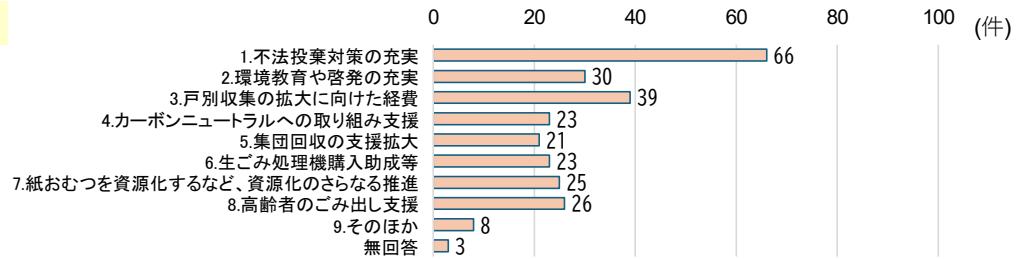
■ 1人(n=123)



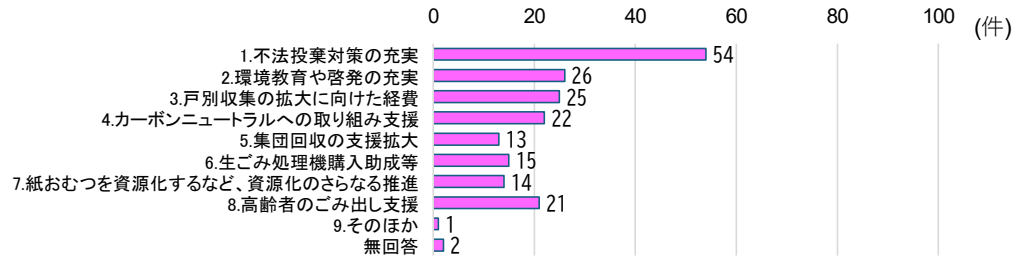
■ 2人(n=177)



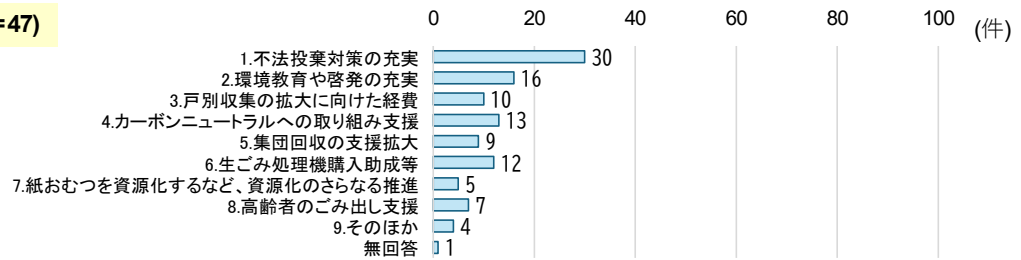
■ 3人(n=112)



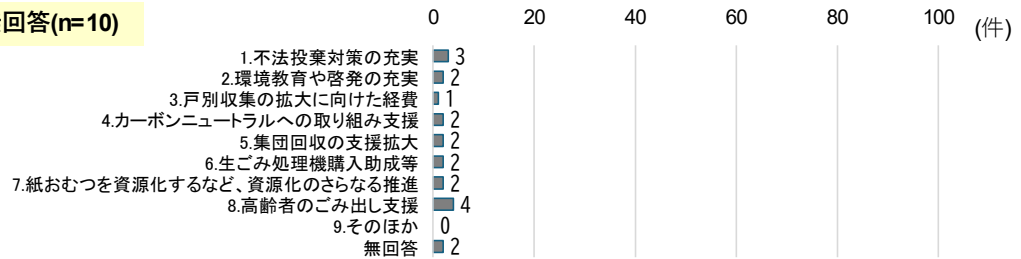
■ 4人(n=80)



■ 5人以上(n=47)

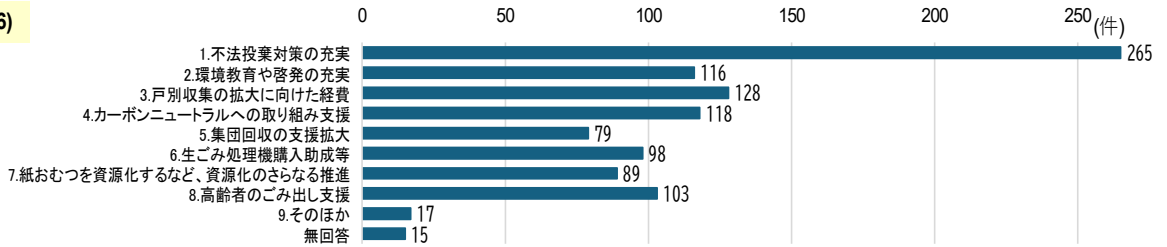


■ 世帯人数無回答(n=10)

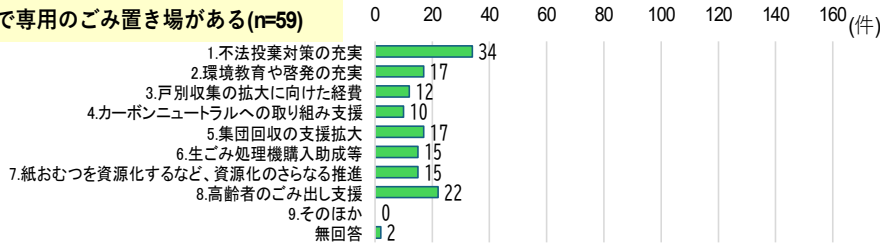


<住居形態別>

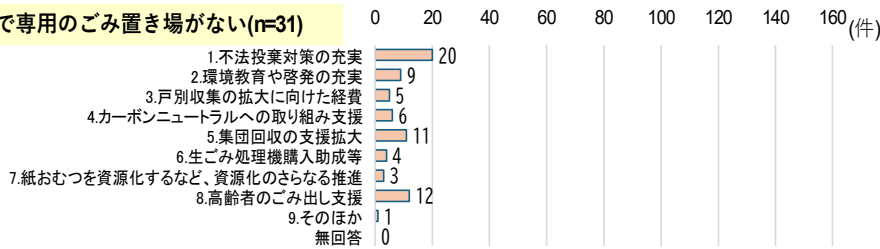
■ 戸建て住宅(n=436)



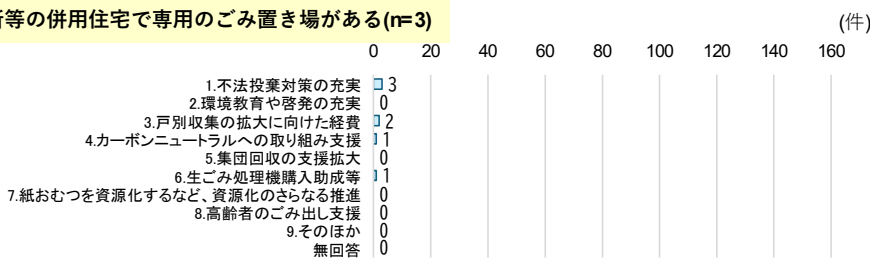
■ 集合住宅で専用のごみ置き場がある(n=59)



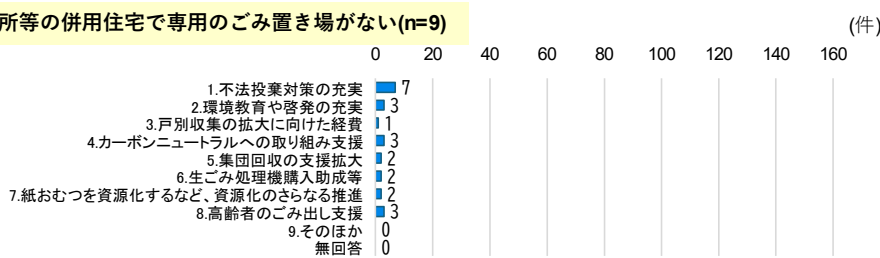
□ 集合住宅で専用のごみ置き場がない(n=31)



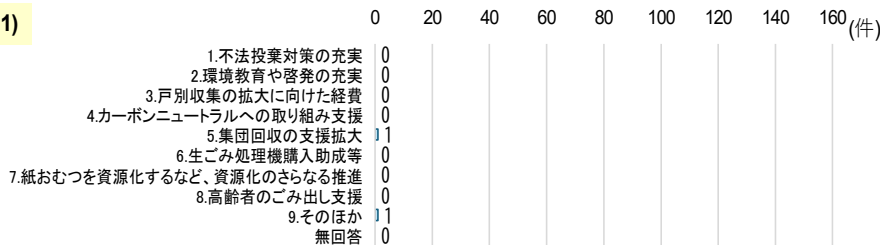
□ 店舗・事務所等の併用住宅で専用のごみ置き場がある(n=3)



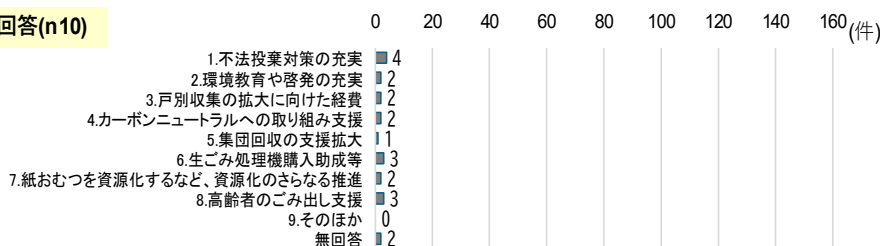
■ 店舗・事務所等の併用住宅で専用のごみ置き場がない(n=9)



□ その他(n=1)



■ 住居形態無回答(n=10)



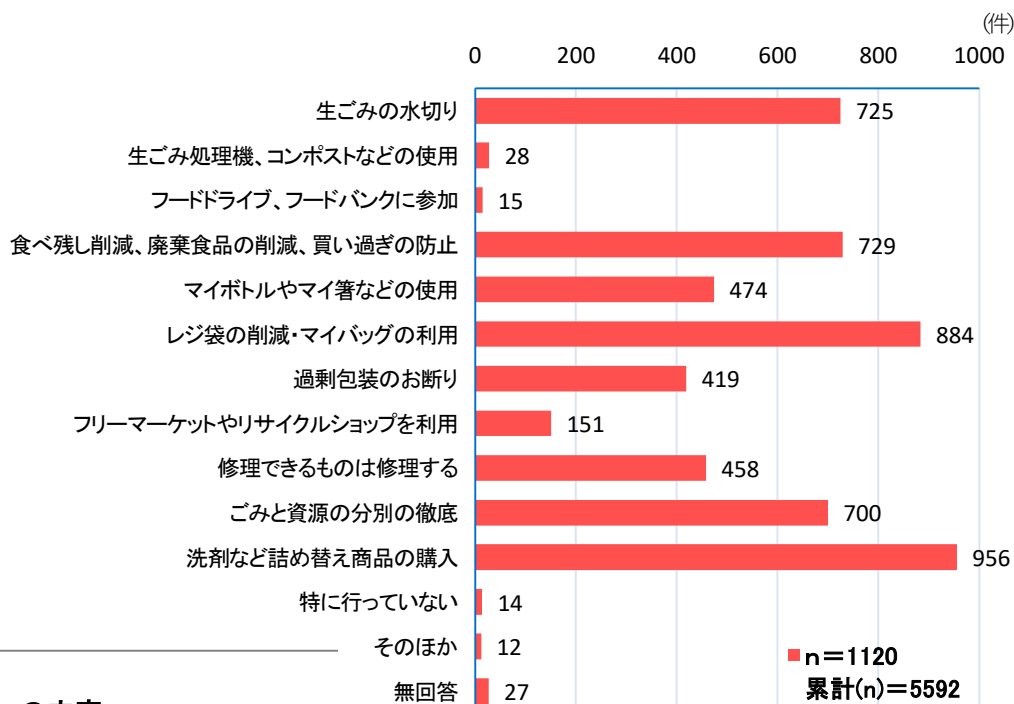
問 11. あなたのご家庭でごみを減らすために行っていることはありますか。(MA)

家庭でごみを減らすために行っていることについては、「洗剤など詰め替え商品の購入」が85.4%と最も高い割合になっている。次いで「レジ袋の削減・マイバッグの利用」が78.9%、「食べ残し削減、廃棄食品の削減、買い過ぎの防止」が65.1%の順に回答割合が多い。

令和4年度の前回調査と比べて、最も回答割合が上昇した選択肢は「マイボトルやマイ箸などの使用」で16.5%割合を伸ばしている。他にも「修理できるものは修理する」が7.8%、「ごみと資源の分別の徹底」が11.6%、「洗剤など詰め替え商品の購入」が8.5%と、それぞれ割合を上げている。一方「食べ残し削減、廃棄食品の削減、買い過ぎの防止」は3.2%、「レジ袋の削減・マイバッグの利用」は1.4%、「生ごみ処理機、コンポストなどの使用」は1.2%で割合が下がっている。

年代別にみると、「70代以上」の「生ごみの水切り」は77.2%で高い割合になっている。「フリーマーケット（含むアプリ）・リサイクルショップ利用」は「60代」以上で1割未満の低い割合になっている。

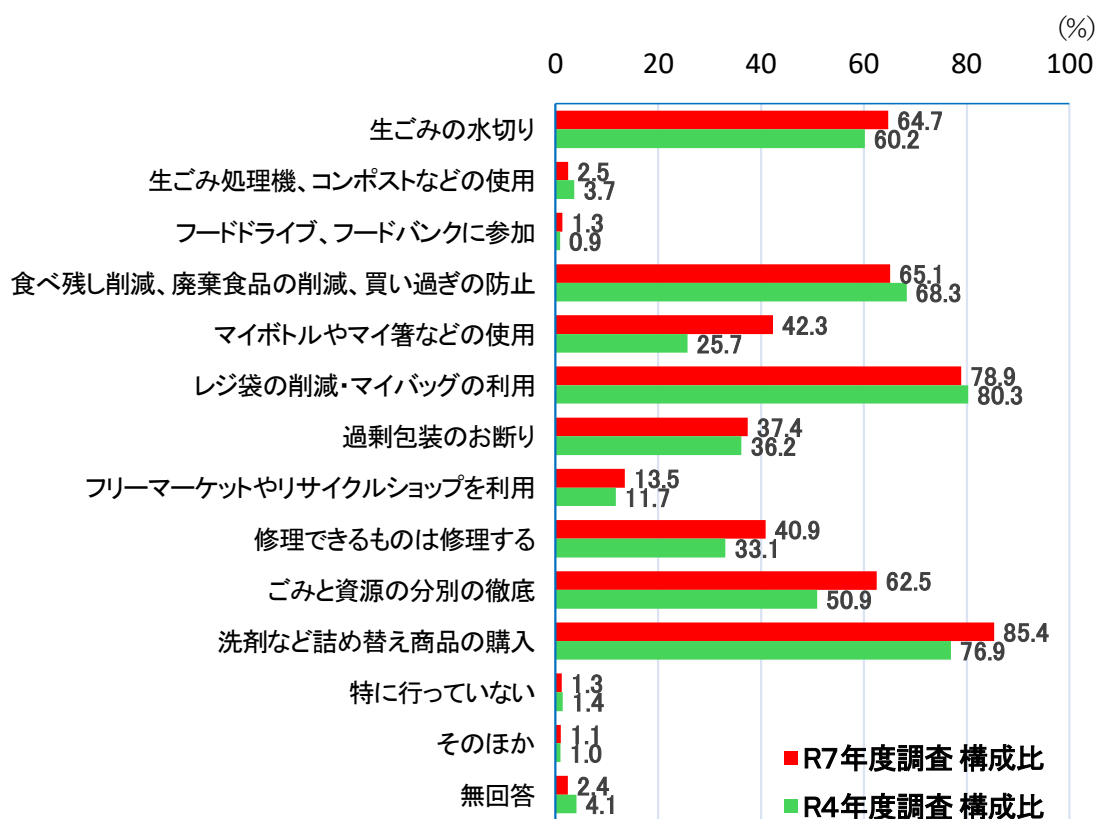
No.	選択肢	回答者数(人)	回答者率(%)
1	生ごみの水切り	725	64.7
2	生ごみ処理機、コンポストなどの使用	28	2.5
3	フードドライブ、フードバンクに参加	15	1.3
4	食べ残し削減、廃棄食品の削減、買い過ぎの防止	729	65.1
5	マイボトルやマイ箸などの使用	474	42.3
6	レジ袋の削減・マイバッグの利用	884	78.9
7	過剰包装のお断り	419	37.4
8	フリーマーケットやリサイクルショップを利用	151	13.5
9	修理できるものは修理する	458	40.9
10	ごみと資源の分別の徹底	700	62.5
11	洗剤など詰め替え商品の購入	956	85.4
12	特に行っていない	14	1.3
13	そのほか	12	1.1
	無回答	27	2.4
	合計	5592	499.3



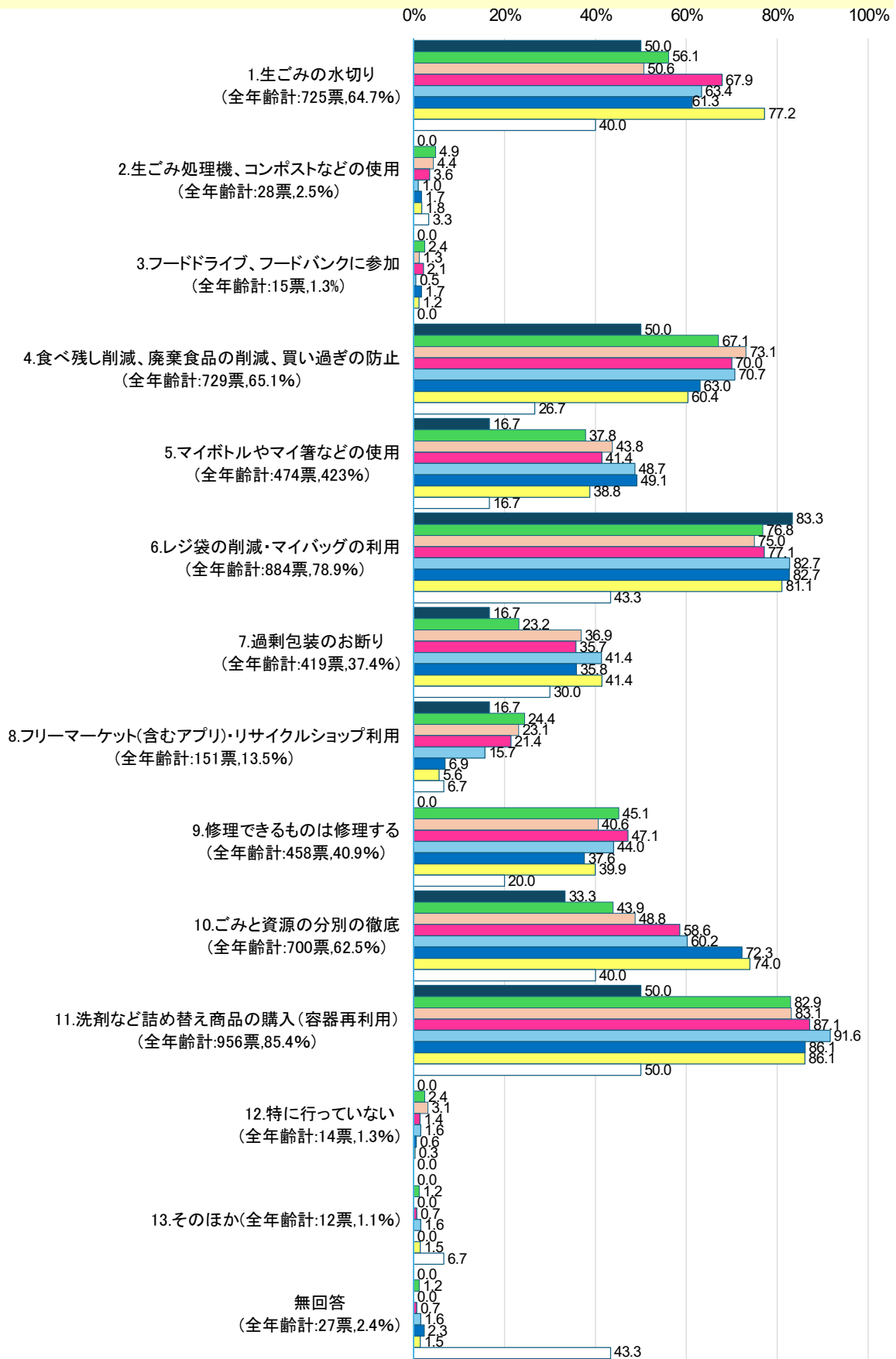
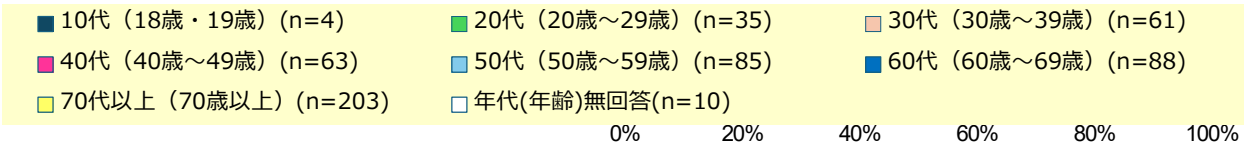
(そのほか) の内容

- ・生ごみは細かく切って捨てている。
- ・ネットショッピングを減らして梱包材のごみを減らしている。
- ・レジ袋をくり返し利用し、傷んできたらごみ袋として利用している。
- ・濃縮洗剤を使っている。
- ・果物を皮ごと食べるようにしている。
- ・全て食材を食べる様にしている。残さない。

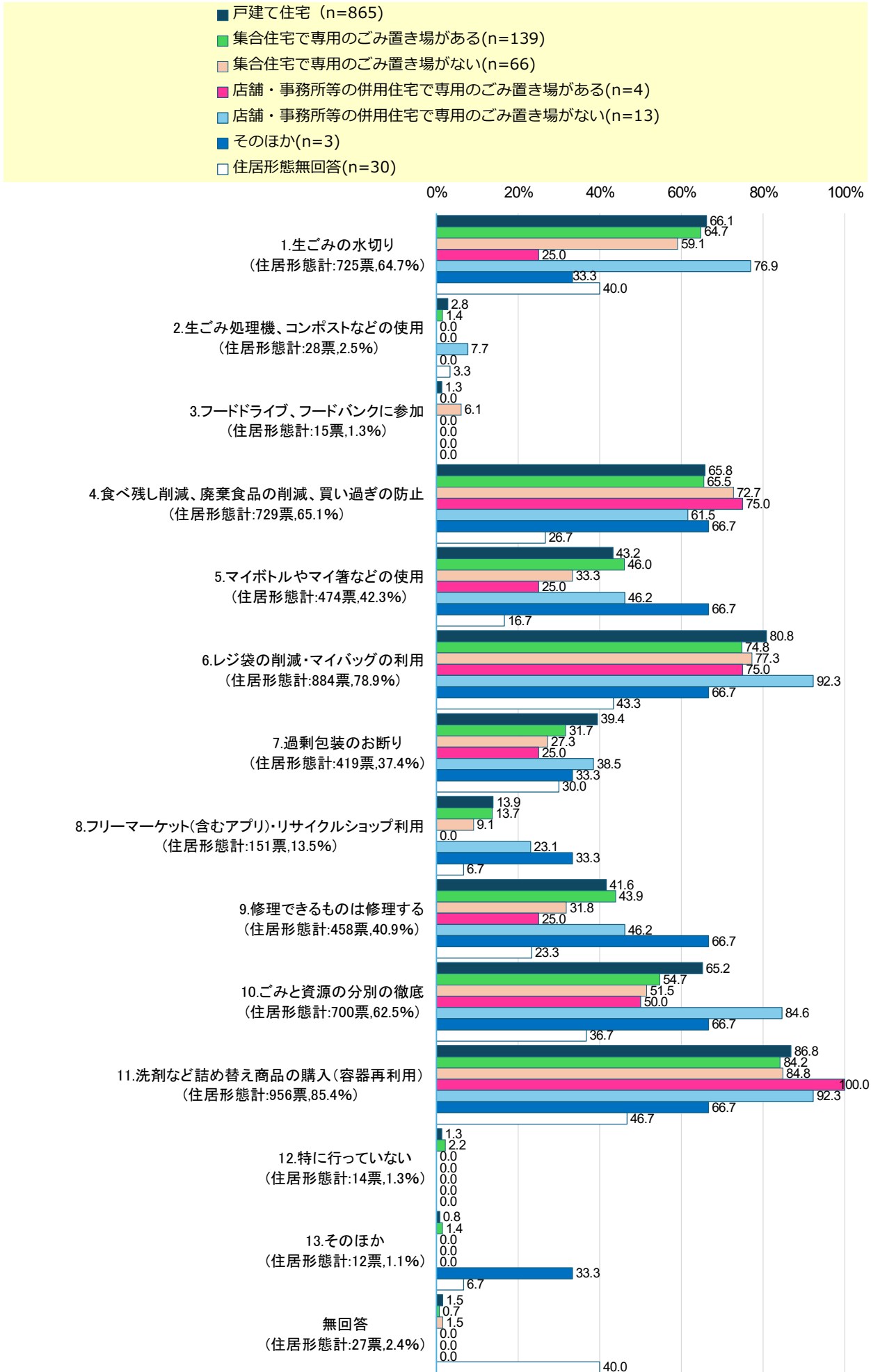
<令和4年度調査比較>



<年代別>



<住居形態別>



問 12. 区が行っている取り組み(ごみ減量・リサイクル)について、あなたが知っているものを選んでください。(MA)

区が行っている取り組みについては、「プラスチックの資源回収」が75.9%で最も高い割合になっている。次いで「集団回収(びん, 缶, 古紙, 古布)の支援」の71.1%となっている。

令和4年度の前回調査と比べると、「雑がみ回収」の回答者率が前回28.2%から今回53.4%と最も割合を伸ばしている。次いで「集団回収(びん, 缶, 古紙, 古布)の支援」の前回が54.5%から今回71.1%に上がっている。一方、前回調査から回答割合が下がっているのは「フリーマーケットの支援」が前回29.1%から今回16.1%に減少し、「サンクルポストによる回収」も前回42.1%から今回32.0%に下がっている。なお、今回調査では「リチウムイオン電池等の回収」「プラスチックの資源回収」「生ごみ処理機購入費用助成」を選択肢に追加した。

年代別にみると、回答者割合(回答者数÷各年代回答者数×100)は19項目(「知っているものはない」と「そのほか」を除く)中で9項目「70代以上」が最も高い割合になっている。

地区別にみると、19項目中8項目で「滝野川東地区」の回答割合が最も高くなっている。

世帯人数別にみると、「3人」世帯が19項目中8項目で回答割合が最も高くなっている。「2人」世帯も19項目中7項目で回答割合が最も高くなっている。

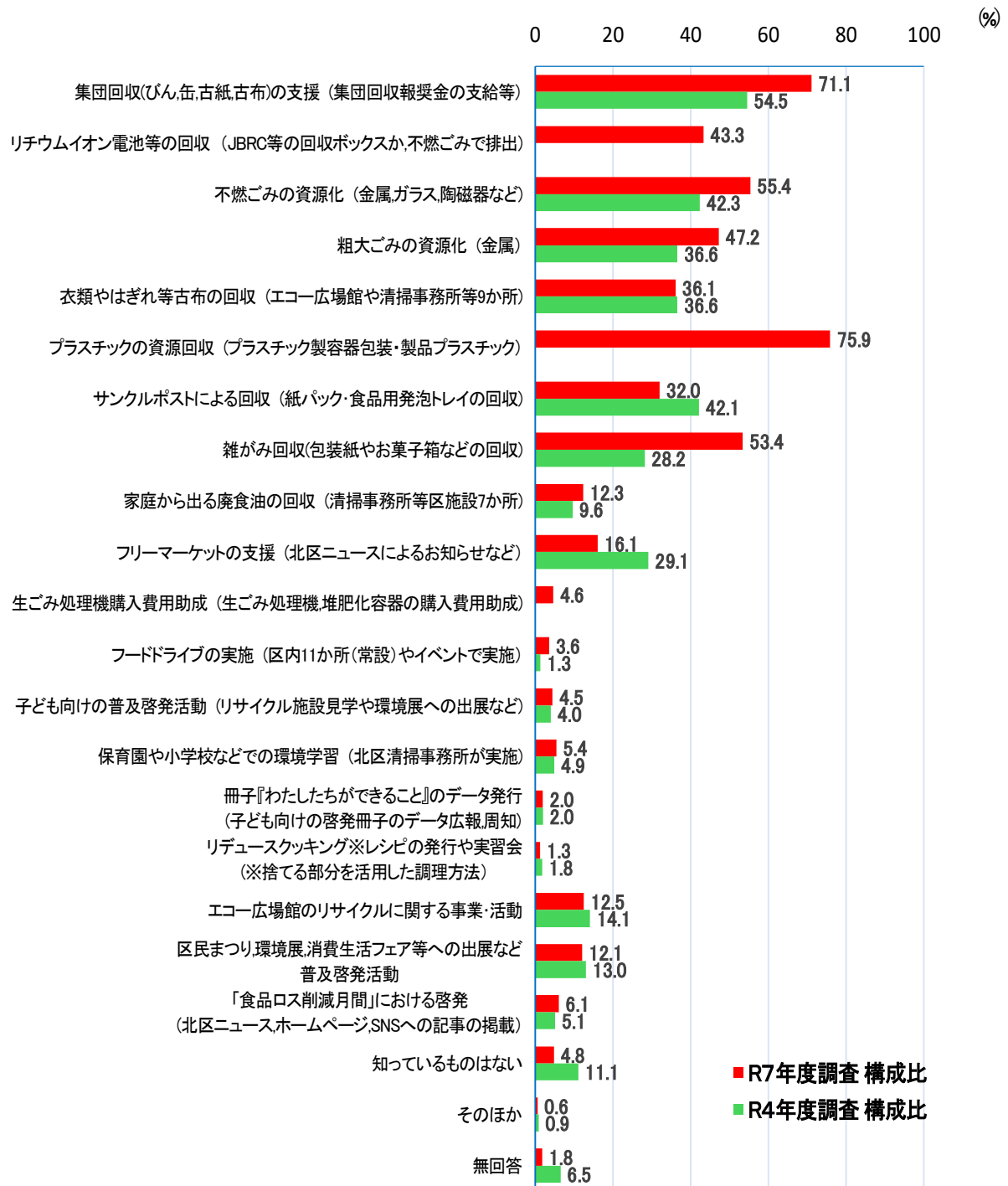
No.	選択肢	回答者数(人)	回答者率(%)	0	200	400	600	800	1000 (件)
1	集団回収(びん, 缶, 古紙, 古布)の支援 (集団回収報奨金の支給等)	796	71.1	796					
2	リチウムイオン電池等の回収 (JBRC等の回収ボックスか, 不燃ごみで排出)	485	43.3	485					
3	不燃ごみの資源化(金属, ガラス, 陶磁器など)	620	55.4	620					
4	粗大ごみの資源化(金属)	529	47.2	529					
5	衣類やはぎれ等古布の回収 (エコ広場館や清掃事務所等9か所)	404	36.1	404					
6	プラスチックの資源回収 (プラスチック製容器包装・製品プラスチック)	850	75.9	850					
7	サンクルポストによる回収 (紙パック・食品用発泡トレイの回収)	358	32.0	358					
8	雑がみ回収 (包装紙やお菓子箱などの回収)	598	53.4	598					
9	家庭から出る廃食油の回収 (清掃事務所等区施設7か所)	138	12.3	138					
10	フリーマーケットの支援 (北区ニュースによるお知らせなど)	180	16.1	180					
11	生ごみ処理機購入費用助成 (生ごみ処理機, 堆肥化容器の購入費用助成)	52	4.6	52					
12	フードドライブの実施 (区内11か所(常設)やイベントで実施)	40	3.6	40					
13	子ども向けの普及啓発活動 (リサイクル施設見学や環境展への出展など)	50	4.5	50					
14	保育園や小学校などでの環境学習 (北区清掃事務所が実施)	61	5.4	61					
15	冊子『わたしたちができること』のデータ発行 (子ども向けの啓発冊子のデータ広報, 周知)	22	2.0	22					
16	リデュースクッキング※レシピの発行や実習会	14	1.3	14					
17	エコ広場館のリサイクルに関する事業・活動	140	12.5	140					
18	区民まつり, 環境展, 消費生活フェア等への出展など 普及啓発活動	135	12.1	135					
19	「食品ロス削減月間」における啓発 (北区ニュース, ホームページ, SNSへの記事の掲載)	68	6.1	68					
20	知っているものはない	54	4.8	54					
21	そのほか	7	0.6	7					
	無回答	20	1.8	20					
	合計	5621	501.9	n=1120 累計(n)=5621					

※リデュースクッキング: 捨てる部分を活用した調理方法

(そのほか) の内容

- ・生ごみ処理機購入したかったが北区では助成金が出ない事を知ってあきらめた。
- ・ほとんど知らない。少なからず自分が住んでいる地域では、これらの活動はほとんど認知されていないと感じる。
- ・北区はリチウムイオン、電池など危険物を捨てる方法がない。

<令和4年度調査比較>



<年代別> 赤字が年代別で最も回答割合が高い年代

(単位:%)

	10代 (18歳・19歳) (n=6)	20代 (n=82)	30代 (n=160)	40代 (n=140)	50代 (n=191)	60代 (n=173)	70代以上 (70歳以上) (n=338)
1.集団回収(びん、缶、古紙、古布)の支援 (集団回収報奨金の支給等)	16.7	50.0	57.5	62.9	73.8	74.6	85.8
2.リチウムイオン電池等の回収 (JBRC等の回収ボックスか、不燃ごみで排出)	16.7	35.4	38.1	34.3	35.6	47.4	55.3
3.不燃ごみの資源化 (金属、ガラス、陶磁器など)	33.3	39.0	47.5	44.3	52.4	58.4	70.1
4.粗大ごみの資源化 (金属)	16.7	31.7	36.9	39.3	42.9	53.2	59.8
5.衣類やはぎれ等古布の回収 (エコ広場館や清掃事務所等9か所)	16.7	26.8	29.4	27.9	38.2	44.5	41.1
6.プラスチックの資源回収 (プラスチック製容器包装・製品プラスチック)	33.3	56.1	65.0	75.7	79.1	78.6	84.9
7.サンクルポストによる回収 (紙パック・食品用発泡トレイの回収)	16.7	20.7	28.8	31.4	36.6	37.6	32.5
8.雑がみ回収 (包装紙やお菓子箱などの回収)	16.7	36.6	45.0	47.9	49.7	57.2	65.7
9.家庭から出る廃食油の回収 (清掃事務所等区施設7か所)	16.7	8.5	5.0	8.6	11.5	15.0	17.2
10.フリーマーケットの支援 (北区ニュースによるお知らせなど)	33.3	12.2	12.5	14.3	13.1	16.8	20.7
11.生ごみ処理機購入費用助成 (生ごみ処理機、堆肥化容器の購入費用助成)	16.7	4.9	5.6	5.0	3.7	2.9	4.7
12.フードドライブの実施 (区内11か所(常設)やイベントで実施)	0.0	1.2	1.9	5.0	3.7	3.5	4.1
13.子ども向けの普及啓発活動 (リサイクル施設見学や環境展への出展など)	0.0	1.2	5.0	4.3	3.1	6.4	5.0
14.保育園や小学校などでの環境学習 (北区清掃事務所が実施)	0.0	3.7	8.1	6.4	3.7	4.6	5.9
15.冊子『わたしたちができること』のデータ発行 (子ども向けの啓発冊子のデータ広報、周知)	0.0	3.7	1.3	2.1	1.0	2.3	2.4
16.リデュースクッキングレシピの発行や実習会 (捨てる部分を活用した調理方法)	0.0	2.4	0.0	2.1	0.5	0.6	1.8
17.エコ広場館のリサイクルに関する 事業・活動	0.0	8.5	6.9	12.9	11.0	14.5	16.6
18.区民まつり、環境展、消費生活フェア等への 出展など普及啓発活動	0.0	7.3	6.9	12.1	8.4	16.8	16.0
19.「食品ロス削減月間」における啓発 (北区ニュース、ホームページ、SNSへの記事の掲載)	0.0	1.2	5.0	6.4	3.1	6.4	9.5
20.知っているものはない	33.3	17.1	9.4	5.7	2.1	2.9	1.8
21.そのほか	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	1.2	0.9
無回答	0.0	1.2	0.6	0.0	1.6	0.0	1.2

<地区別> 赤字が地区別で最も回答割合が高い地区

(単位:%)

	浮間地区 (n=66)	赤羽西地区 (n=182)	赤羽東地区 (n=170)	王子西地区 (n=107)	王子東地区 (n=259)	滝野川西地区 (n=263)	滝野川東地区 (n=65)
1. 集団回収(びん、缶、古紙、古布)の支援 (集団回収報奨金の支給等)	63.6	70.3	77.1	78.5	66.0	68.8	83.1
2. リチウムイオン電池等の回収 (JBRC等の回収ボックスか、不燃ごみで排出)	50.0	46.2	38.8	43.0	42.9	40.7	52.3
3. 不燃ごみの資源化 (金属、ガラス、陶磁器など)	50.0	61.0	52.9	56.1	51.7	54.4	69.2
4. 粗大ごみの資源化 (金属)	40.9	50.5	45.3	46.7	45.2	47.1	58.5
5. 衣類やはぎれ等古布の回収 (エコー広場館や清掃事務所等9か所)	28.8	37.4	34.7	29.9	28.2	44.1	49.2
6. プラスチックの資源回収 (プラスチック製容器包装・製品プラスチック)	65.2	78.6	75.3	72.0	77.6	76.0	78.5
7. サンクルポストによる回収 (紙パック・食品用発泡トレイの回収)	36.4	29.7	27.6	29.9	33.6	33.5	35.4
8. 雑がみ回収 (包装紙やお菓子箱などの回収)	43.9	54.9	47.1	50.5	54.4	58.6	52.3
9. 家庭から出る廃食油の回収 (清掃事務所等区施設7か所)	9.1	11.5	10.6	10.3	12.0	12.2	23.1
10. フリーマーケットの支援 (北区ニュースによるお知らせなど)	18.2	16.5	13.5	15.0	17.0	14.8	20.0
11. 生ごみ処理機購入費用助成 (生ごみ処理機、堆肥化容器の購入費用助成)	6.1	3.3	4.1	1.9	6.2	4.2	6.2
12. フードドライブの実施 (区内11か所(常設)やイベントで実施)	4.5	3.3	1.8	3.7	3.9	3.4	6.2
13. 子ども向けの普及啓発活動 (リサイクル施設見学や環境展への出展など)	4.5	4.4	2.9	5.6	5.4	4.2	4.6
14. 保育園や小学校などでの環境学習 (北区清掃事務所が実施)	3.0	7.1	5.3	7.5	5.8	4.2	4.6
15. 冊子『わたしたちができること』のデータ発行 (子ども向けの啓発冊子のデータ広報、周知)	1.5	1.6	1.2	3.7	2.3	1.9	1.5
16. リデュースクッキングレシピの発行や実習会 (捨てる部分を活用した調理方法)	3.0	1.6	0.6	0.9	0.8	1.1	1.5
17. エコー広場館のリサイクルに関する 事業・活動	7.6	12.1	14.7	10.3	7.7	20.2	6.2
18. 区民まつり、環境展、消費生活フェア等への 出展など普及啓発活動	6.1	13.2	11.2	16.8	13.5	9.9	10.8
19. 「食品ロス削減月間」における啓発 (北区ニュース、ホームページ、SNSへの記事の掲載)	7.6	3.8	5.9	7.5	8.5	5.3	3.1
20. 知っているものはない	9.1	2.2	6.5	2.8	6.6	4.6	1.5
21. そのほか	0.0	1.1	1.8	0.0	0.4	0.4	0.0
無回答	6.1	1.1	0.6	0.9	1.5	2.3	1.5

<世帯人数別> 赤字が世帯人数別で最も回答割合が高い世帯人数

(単位:%)

	1人 (n=254)	2人 (n=339)	3人 (n=219)	4人 (n=169)	5人以上 (n=108)
1.集団回収(びん、缶、古紙、古布)の支援 (集団回収報奨金の支給等)	66.9	76.1	74.4	65.1	75.0
2.リチウムイオン電池等の回収 (JBRC等の回収ボックスか、不燃ごみで排出)	43.3	47.2	47.5	34.9	38.9
3.不燃ごみの資源化 (金属、ガラス、陶磁器など)	53.9	62.5	57.5	50.9	44.4
4.粗大ごみの資源化 (金属)	42.5	55.2	54.8	38.5	32.4
5.衣類やはぎれ等古布の回収 (エコ広場館や清掃事務所等9か所)	35.0	38.3	39.3	32.0	35.2
6.プラスチックの資源回収 (プラスチック製容器包装・製品プラスチック)	66.9	80.8	81.3	72.8	79.6
7.サンクルポストによる回収 (紙パック・食品用発泡トレイの回収)	27.6	34.5	34.7	33.1	32.4
8.雑がみ回収 (包装紙やお菓子箱などの回収)	50.8	58.7	56.6	47.3	50.0
9.家庭から出る廃食油の回収 (清掃事務所等区施設7か所)	11.4	12.1	14.6	10.7	13.0
10.フリーマーケットの支援 (北区ニュースによるお知らせなど)	12.6	16.2	21.9	18.9	8.3
11.生ごみ処理機購入費用助成 (生ごみ処理機、堆肥化容器の購入費用助成)	0.8	6.2	6.4	4.1	4.6
12.フードドライブの実施 (区内11か所(常設)やイベントで実施)	1.2	3.8	4.6	3.0	6.5
13.子ども向けの普及啓発活動 (リサイクル施設見学や環境展への出展など)	2.8	5.3	5.5	5.9	1.9
14.保育園や小学校などでの環境学習 (北区清掃事務所が実施)	3.1	6.8	5.5	9.5	0.9
15.冊子『わたしたちができること』のデータ発行 (子ども向けの啓発冊子のデータ広報、周知)	2.0	3.2	1.8	1.2	0.0
16.リデュースクッキングレシピの発行や実習会 (捨てる部分を活用した調理方法)	2.0	1.5	0.0	1.2	0.9
17.エコ広場館のリサイクルに関する 事業・活動	9.4	14.5	14.6	13.0	9.3
18.区民まつり、環境展、消費生活フェア等への 出展など普及啓発活動	10.2	14.2	13.2	10.7	11.1
19.「食品ロス削減月間」における啓発 (北区ニュース、ホームページ、SNSへの記事の掲載)	4.3	10.0	6.4	3.6	1.9
20.知っているものはない	7.9	3.5	3.7	4.7	5.6
21.そのほか	0.8	0.9	0.5	0.0	0.0
無回答	0.8	1.2	1.4	0.0	0.0

<住居形態別> 赤字が住居形態別で最も回答割合が高い住居形態

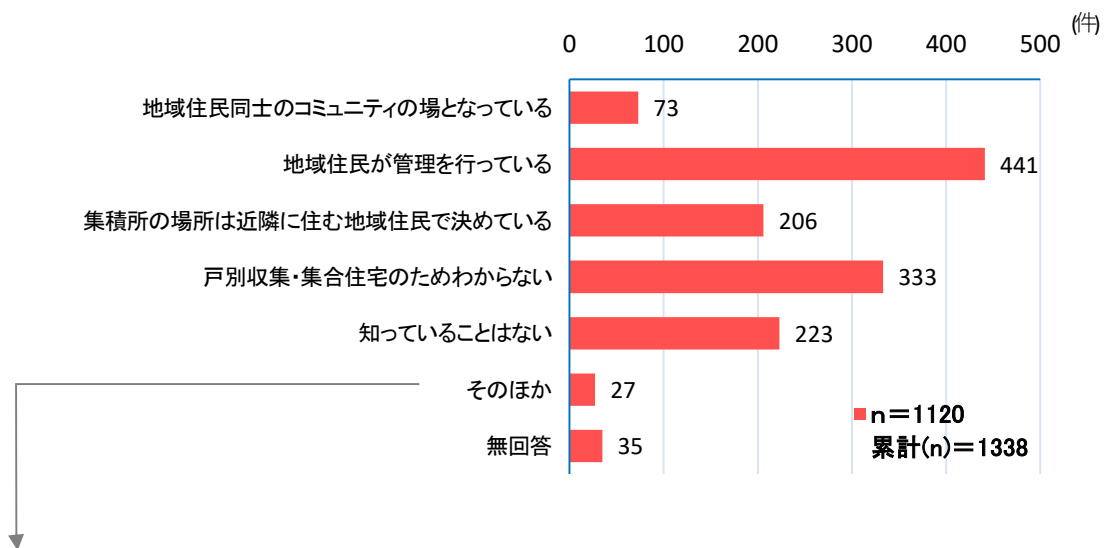
(単位:%)

	戸建住宅 (n=865)	集合住宅		店舗・事務所等の併用住宅		その他	
		専用のごみ置き場がある (n=139)	専用のごみ置き場がない (n=66)	店舗・事務所等 で専用のごみ置き場がある (n=4)	店舗・事務所等 で専用のごみ置き場がない (n=13)	そのほか (n=3)	
1. 集団回収(びん、缶、古紙、古布)の支援 (集団回収報奨金の支給等)	74.0	64.0	63.6	25.0	76.9	33.3	
2. リチウムイオン電池等の回収 (JBRG等の回収ボックスか、不燃ごみで排出)	44.6	38.8	40.9	50.0	53.8	0.0	
3. 不燃ごみの資源化 (金属、ガラス、陶磁器など)	57.5	48.9	51.5	50.0	61.5	33.3	
4. 粗大ごみの資源化 (金属)	48.8	41.7	37.9	50.0	53.8	66.7	
5. 衣類やはぎれ等古布の回収 (エコ広場館や清掃事務所等9か所)	37.9	34.5	24.2	25.0	38.5	33.3	
6. プラスチックの資源回収 (プラスチック製容器包装・製品プラスチック)	78.8	69.8	62.1	50.0	84.6	33.3	
7. サンクルポストによる回収 (紙パック・食品用発泡トレイの回収)	33.6	30.2	25.8	0.0	38.5	0.0	
8. 雑がみ回収 (包装紙やお菓子箱などの回収)	56.0	50.4	31.8	50.0	61.5	66.7	
9. 家庭から出る廃食油の回収 (清掃事務所等区施設7か所)	13.3	7.9	4.5	25.0	23.1	0.0	
10. フリーマーケットの支援 (北区ニュースによるお知らせなど)	17.2	9.4	19.7	0.0	0.0	33.3	
11. 生ごみ処理機購入費用助成 (生ごみ処理機、堆肥化容器の購入費用助成)	5.0	1.4	4.5	0.0	7.7	0.0	
12. フードドライブの実施 (区内11か所(常設)やイベントで実施)	4.3	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	
13. 子ども向けの普及啓発活動 (リサイクル施設見学や環境展への出展など)	5.0	1.4	3.0	0.0	7.7	33.3	
14. 保育園や小学校などでの環境学習 (北区清掃事務所が実施)	5.8	3.6	6.1	0.0	7.7	0.0	
15. 冊子『わたしたちができること』のデータ発行 (子ども向けの啓発冊子のデータ広報、周知)	2.0	2.2	3.0	0.0	0.0	0.0	
16. リデュースクッキングレシピーの発行や実習会 (捨てる部分を活用した調理方法)	0.9	1.4	3.0	25.0	0.0	0.0	
17. エコ広場館のリサイクルに関する事業・活動	13.5	10.1	7.6	0.0	15.4	0.0	
18. 区民まつり、環境展、消費生活フェア等への 出展など普及啓発活動	13.4	5.8	10.6	0.0	15.4	0.0	
19. 「食品ロス削減月間」における啓発 (北区ニュース、ホームページ、SNSへの記事の掲載)	6.1	5.0	7.6	0.0	15.4	0.0	
20. 知っているものはない	4.2	9.4	4.5	0.0	7.7	33.3	
21. そのほか	0.5	0.7	0.0	0.0	0.0	33.3	
無回答	0.7	1.4	1.5	0.0	0.0	0.0	

問 13. あなたが北区のごみ集積所について知っていることはありますか。(MA)

区のごみ集積所について知っていることについては、「地域住民が管理を行っている」が39.4%で最も高い割合になっている。次いで「戸別収集・集合住宅のためわからない」が29.7%となっている。

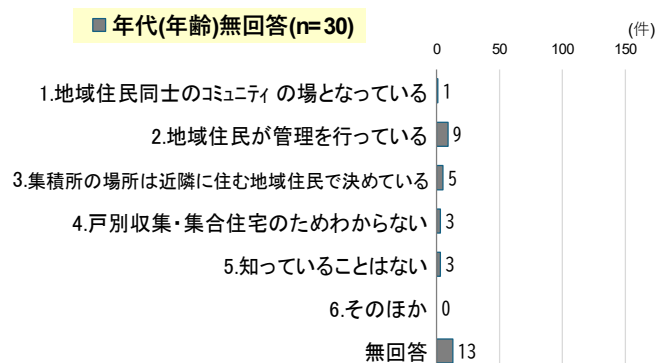
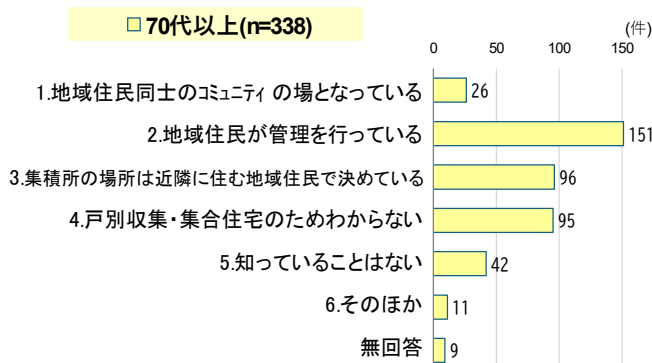
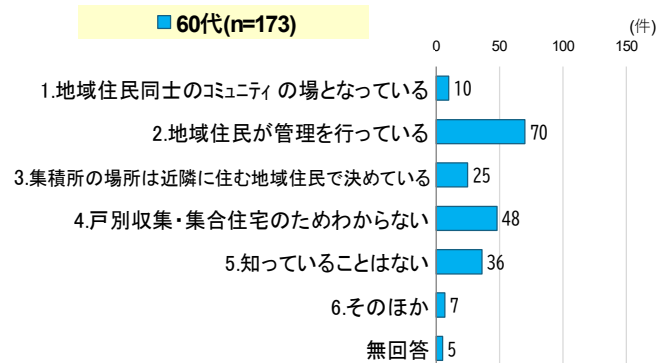
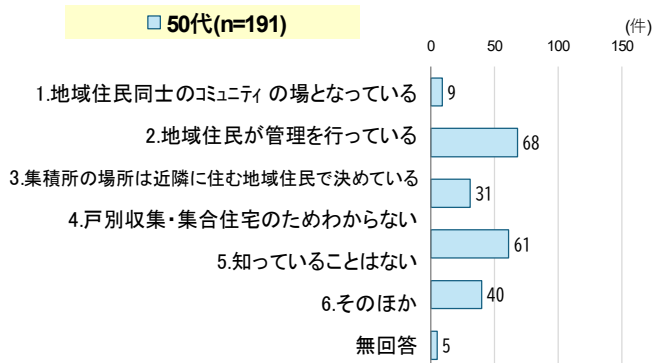
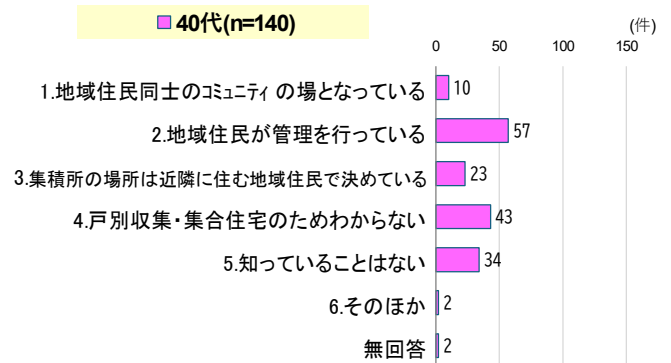
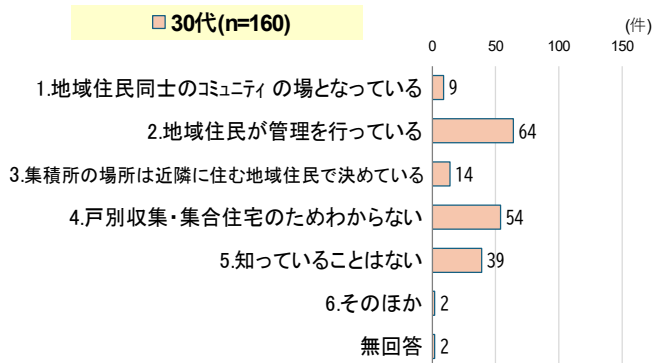
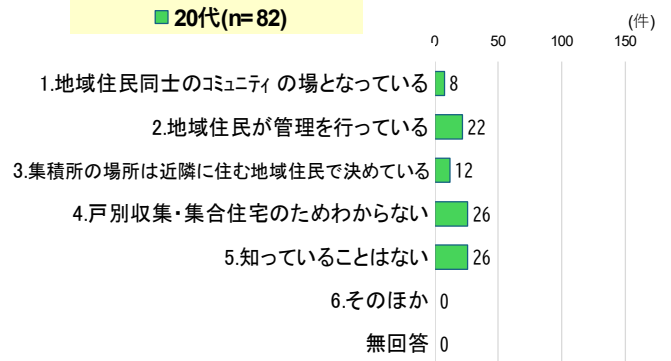
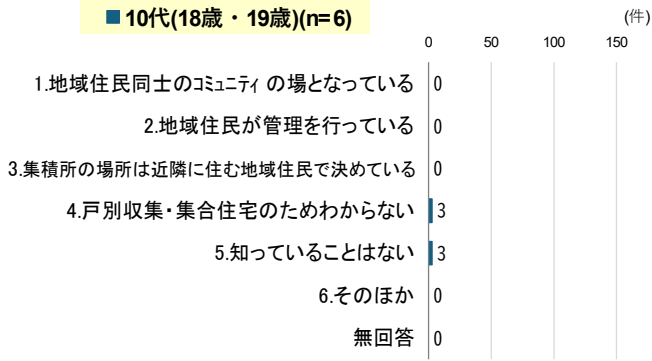
No.	選択肢	回答者数(人)	回答者率(%)
1	地域住民同士のコミュニティの場となっている	73	6.5
2	地域住民が管理を行っている	441	39.4
3	集積所の場所は近隣に住む地域住民で決めている	206	18.4
4	戸別収集・集合住宅のためわからない	333	29.7
5	知っていることはない	223	19.9
6	そのほか	27	2.4
	無回答	35	3.1
	合計	1338	119.5



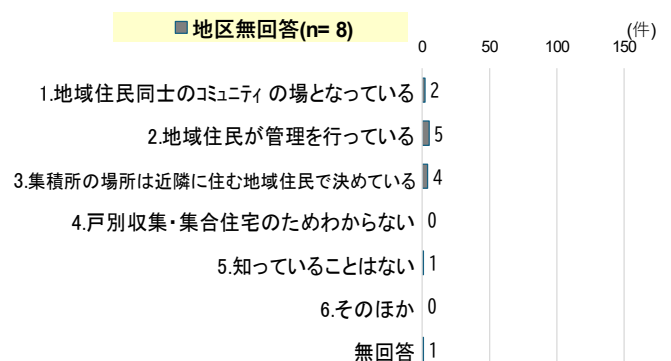
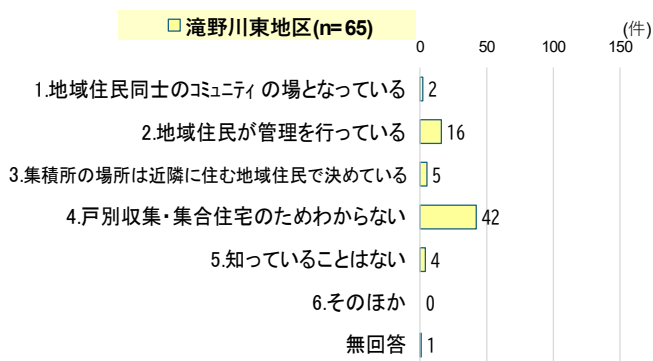
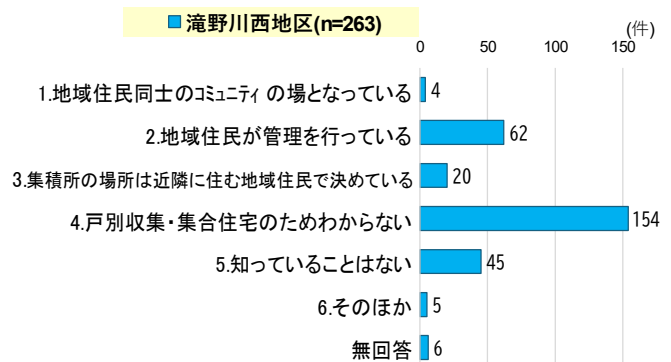
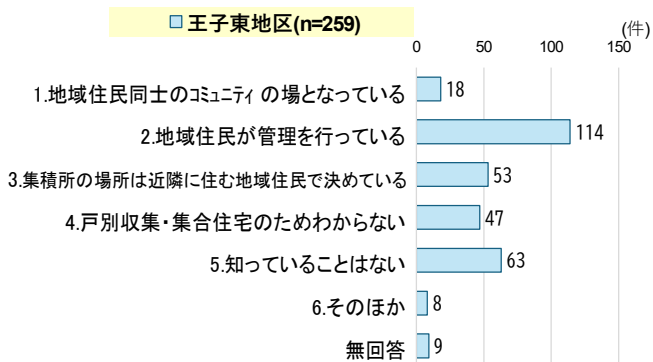
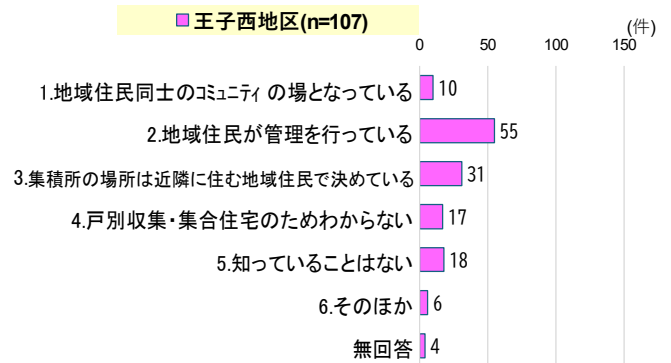
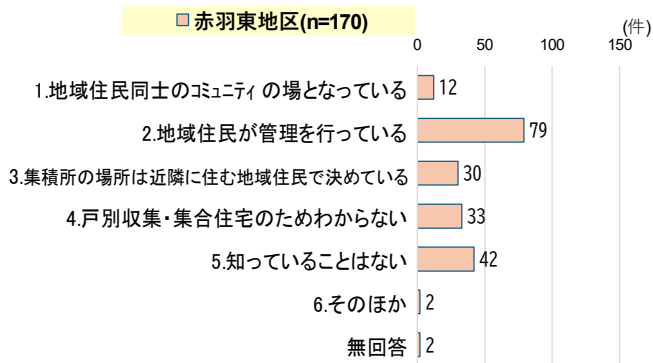
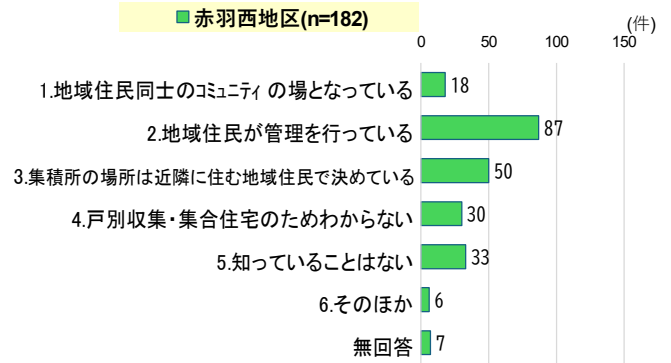
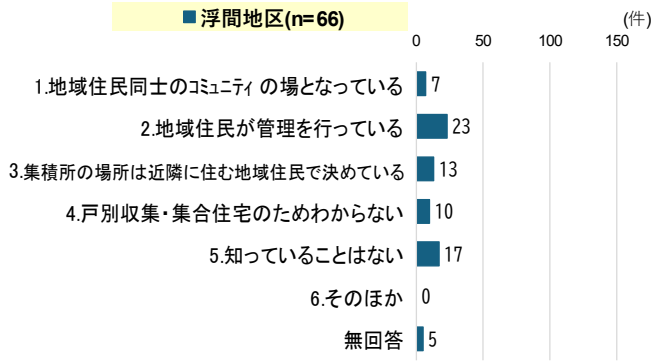
(そのほか) の内容

- ・団地なので職員か誰かが管理している。
- ・カン・ビン・ベットの集積所が定められていることだけ知っている。
- ・戸別収集なので詳しいことは知らない。
- ・集積所管理の辞退が続き、町会役員に負担が集中している事がある。
- ・集積場所の近所の方に後始末などで迷惑をかけている。
- ・昔から同じ場所という事は知っている。
- ・回収しやすい場所になっているだけで地域住民が決めた場所ではない場合もある。
- ・当番制でやっている。
- ・自宅前が集積所になっているので後処理は丸投げされていると思っている。
- ・我が家の前だが我が家が管理してるみたいになっている。
- ・マンションの横に戸建住宅とマンションのゴミを集めている。正直そこに出してよいのか?という違和感と疑問がある。

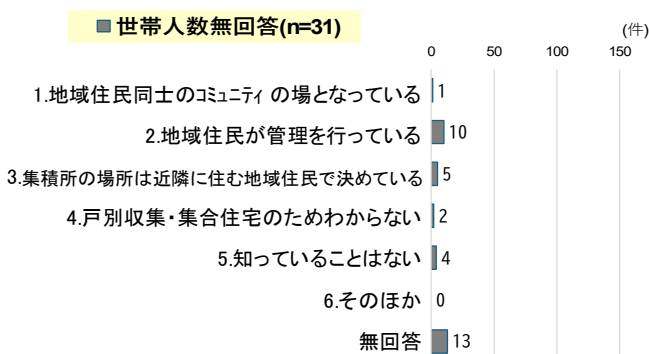
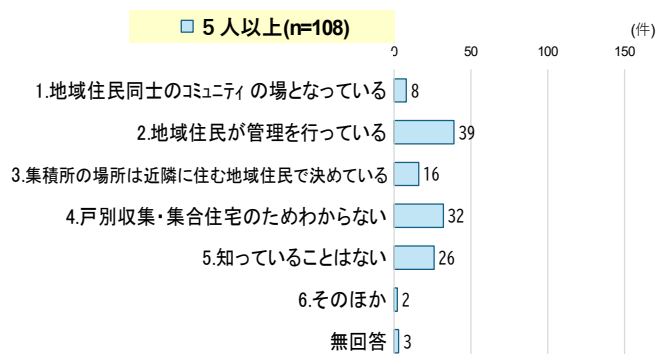
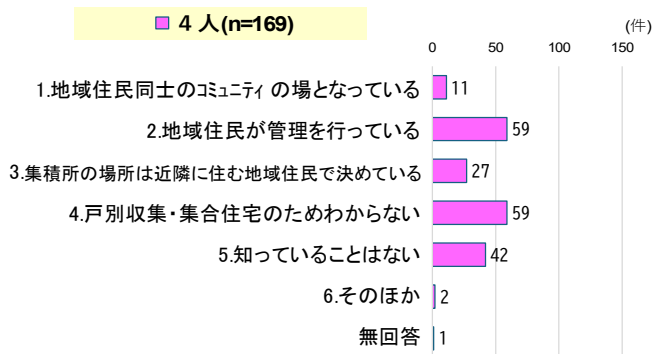
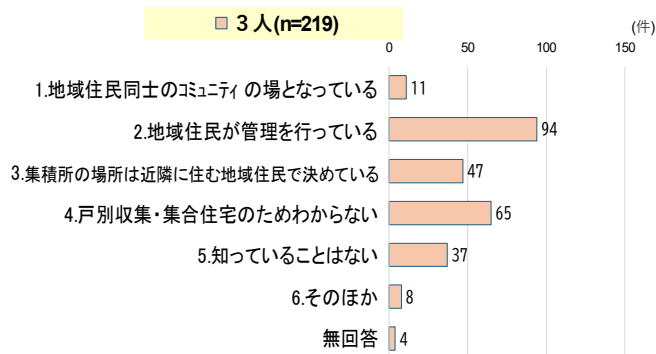
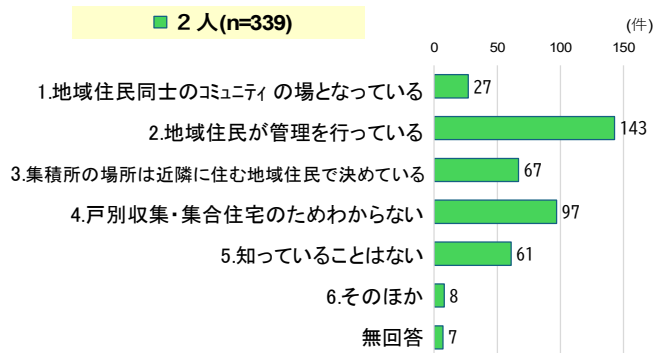
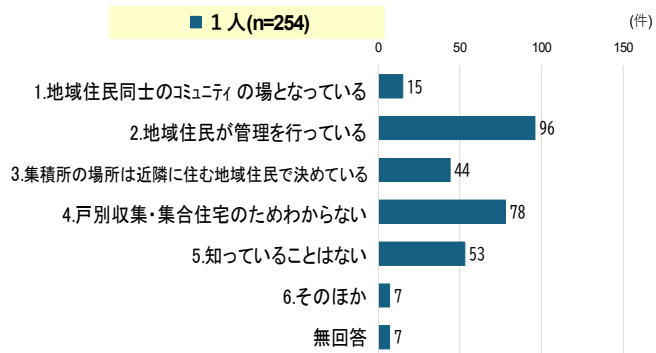
<年代別>



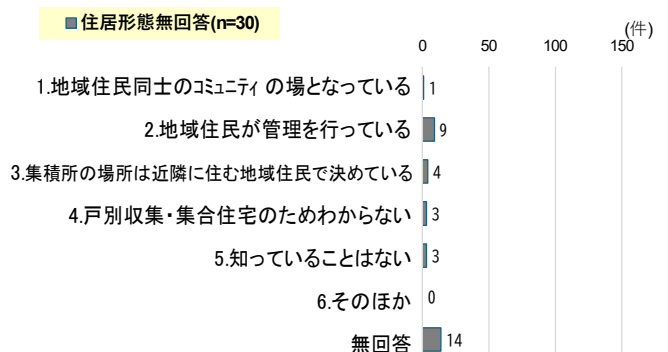
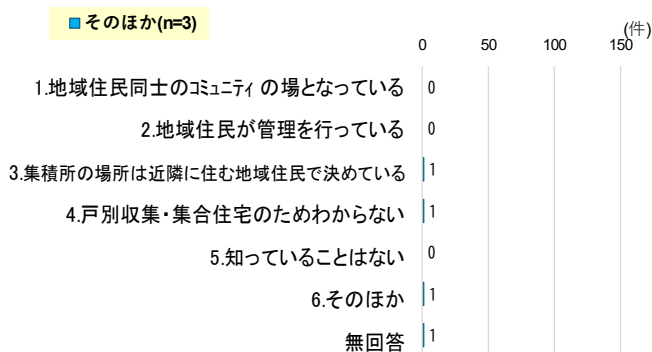
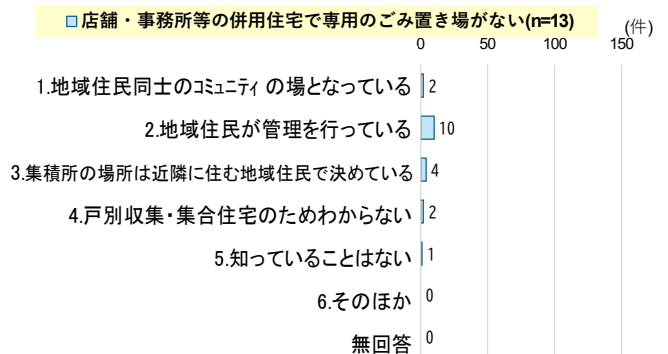
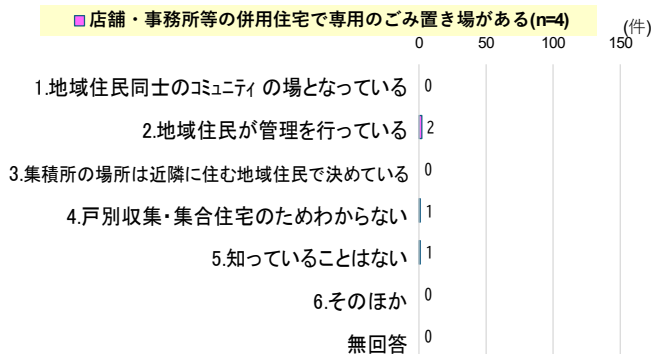
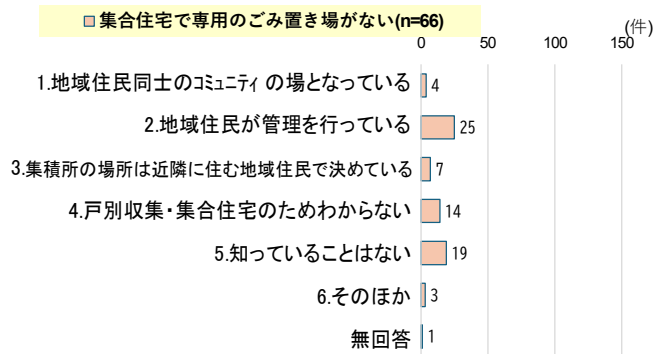
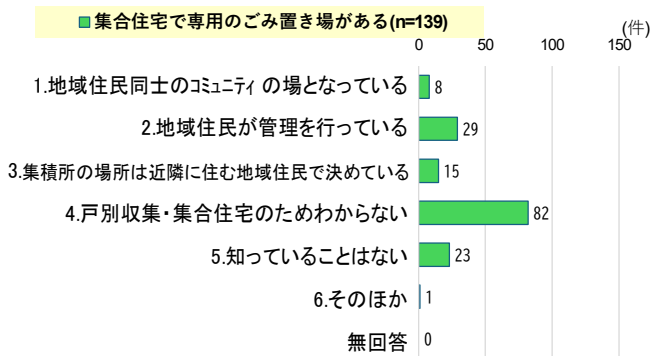
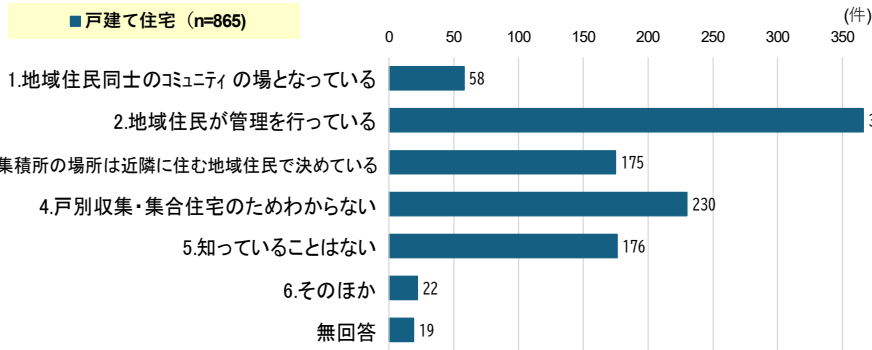
<地区別>



<世帯人数別>



<住居形態別>



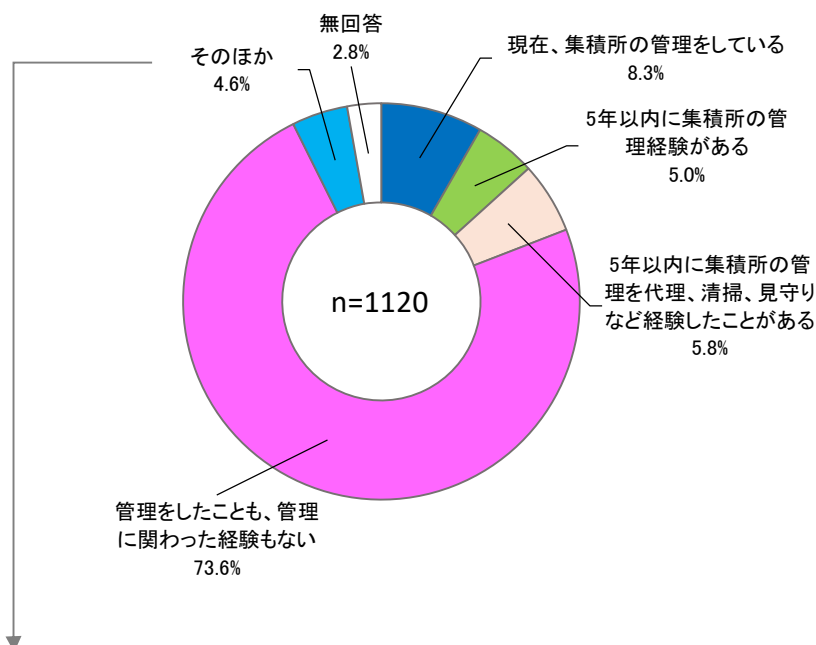
問 14-1. あなたは直近 5 年以内に北区でごみ集積所の管理をした経験がありますか。(S A)

北区でごみ集積所の管理をした経験があるかについては、「管理をしたことも、管理に関わったこともない」73.6% (824 件) で特に多くなっている。“ごみ集積所の管理をした経験がある”は、「現在、集積所の管理をしている」「5年以内に集積所の管理経験がある」「5年以内に集積所の管理を代理、清掃、見守りなど経験したことがある」を合わせて19.1% (214 件) となっている。

年代別にみると、“ごみ集積所の管理をした経験がある”の割合は年代が上がるにしたがって増える傾向がある。

地区別にみると、“ごみ集積所の管理をした経験がある”は、「地区無回答」が37.5%で最も高い割合になっている。次いで「赤羽西地区」が30.7%、「王子西地区」が27.1%になっている。

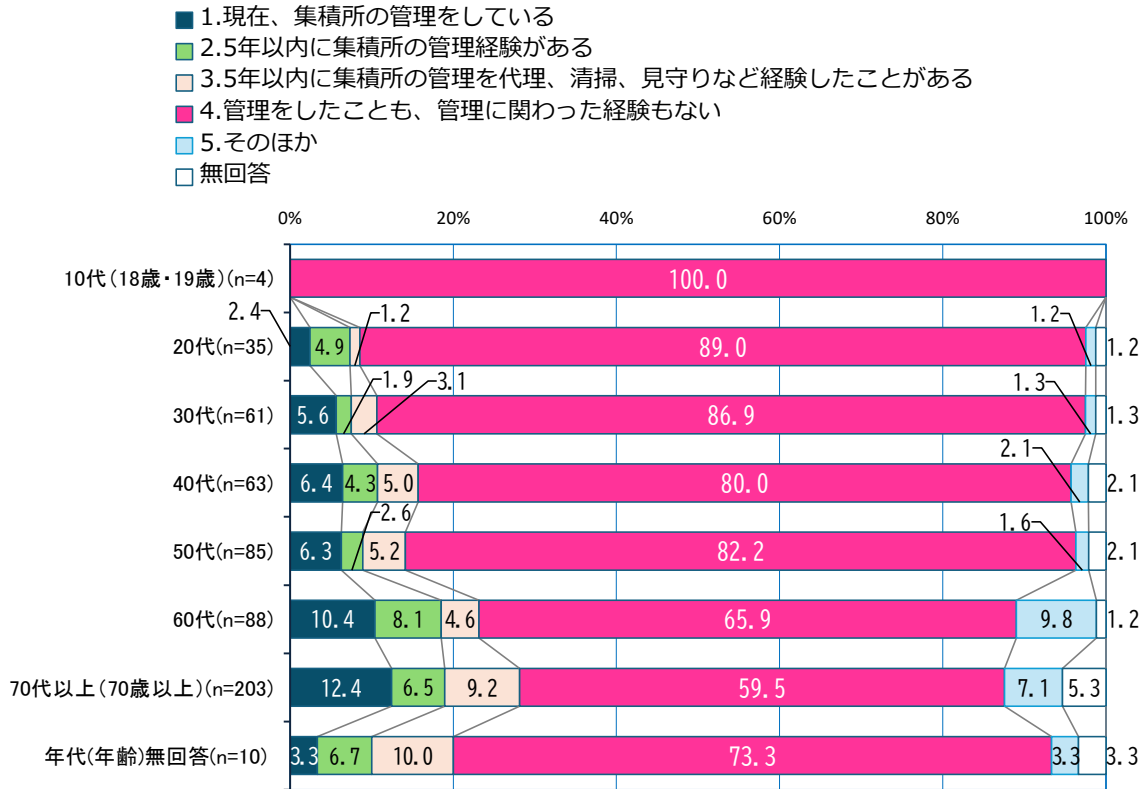
No.	選択肢	回答者数(人)	構成比(%)
1	現在、集積所の管理をしている	93	8.3
2	5年以内に集積所の管理経験がある	56	5.0
3	5年以内に集積所の管理を代理、清掃、見守りなど経験したことがある	65	5.8
4	管理をしたことも、管理に関わった経験もない	824	73.6
5	そのほか	51	4.6
	無回答	31	2.8
	全体	1120	100.0



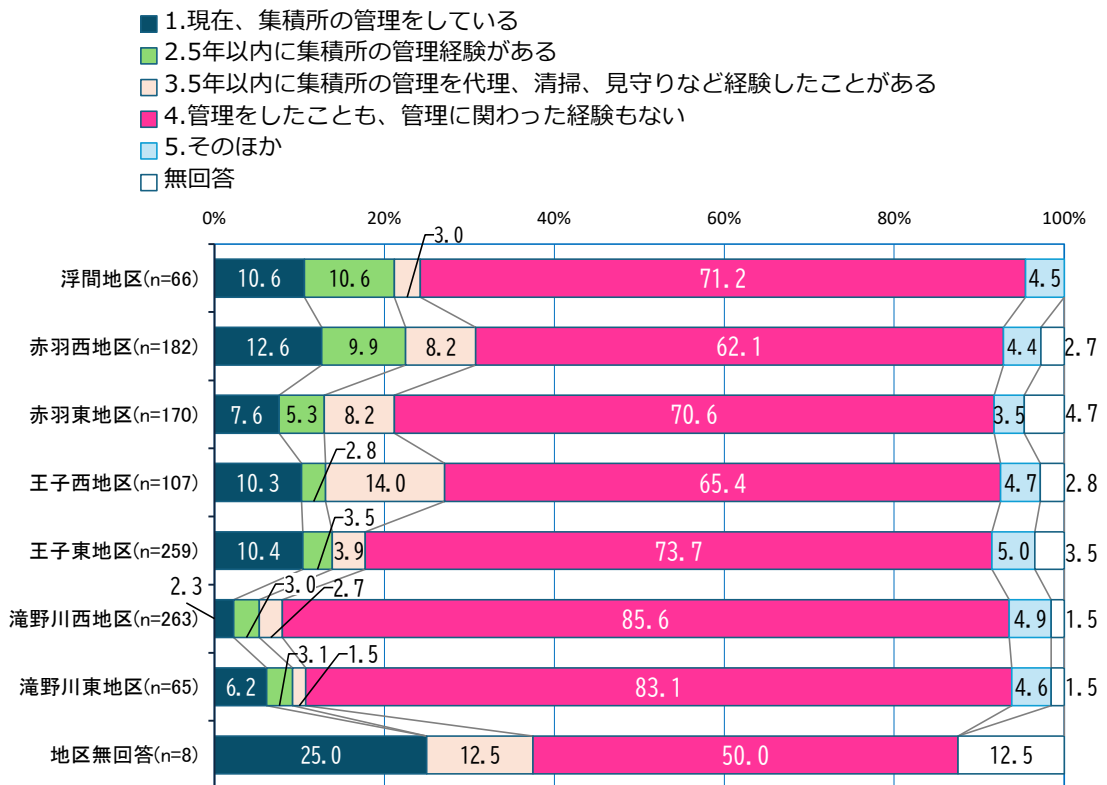
(そのほか) の内容

- ・戸別収集のため管理することはない。
- ・マンション単体の収集なので管理することはない。
- ・10年くらい前にやっていた。
- ・気が付いたら手伝います。
- ・ビン、缶、ペットボトルの管理を地域でやっているのだからそれには協力している。
- ・自主的に掃除はしているが管理者になったことはない。

<年代別>



<地区別>

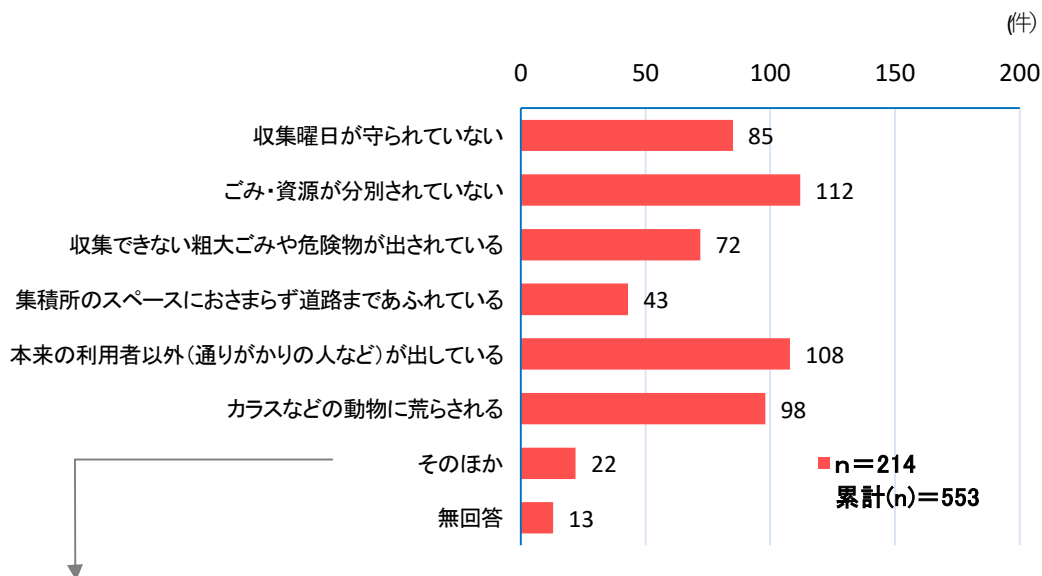


問 14-2. 【問 14-1 で 1. ~ 3. のごみ集積所の管理の経験がある方または管理に関わったことがある方】集積所管理の経験で気になったことは何ですか。(MA)

ごみ集積所の管理をした経験がある回答者 214 人が対象の設問で、集積所管理の経験で気になったことについて回答するものである。「ごみ・資源が分別されていない」が 52.3%で最も高い割合になっており、次いで「本来の利用者以外が出している」が 50.5%になっている。

地区別にみると、「赤羽西地区」「赤羽東地区」「王子東地区」で回答が多くなっている。

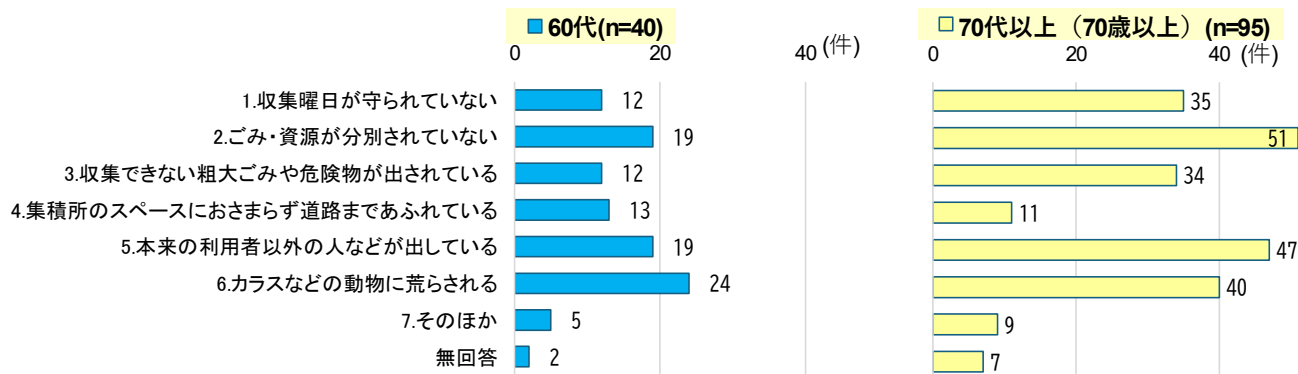
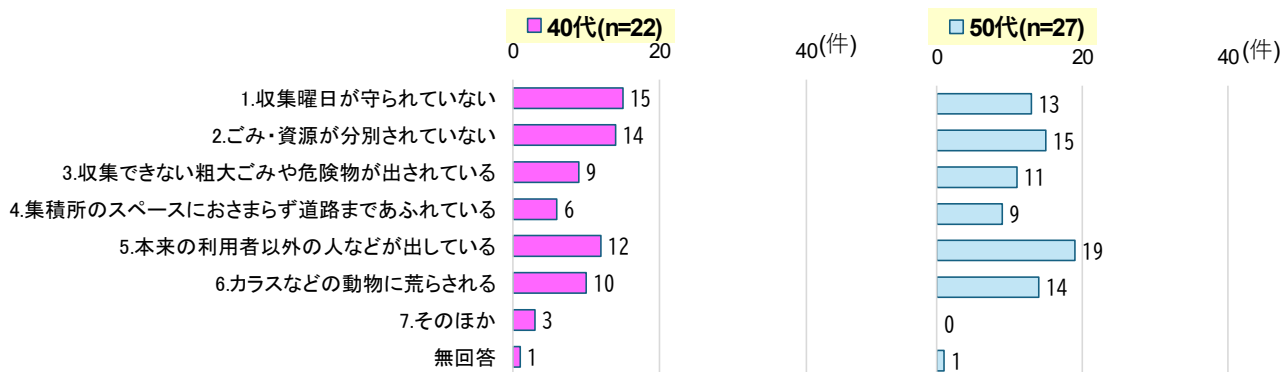
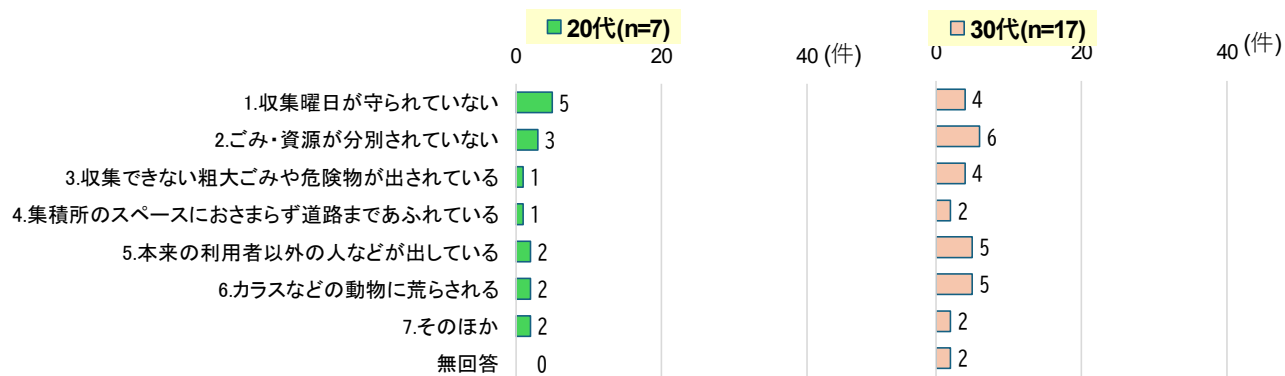
No.	選択肢	回答者数(人)	回答者率(%)
1	収集曜日が守られていない	85	39.7
2	ごみ・資源が分別されていない	112	52.3
3	収集できない粗大ごみや危険物が出されている	72	33.6
4	集積所のスペースにおさまらず道路まであふれている	43	20.1
5	本来の利用者以外(通りがかりの人など)が出している	108	50.5
6	カラスなどの動物に荒らされる	98	45.8
7	そのほか	22	10.3
	無回答	13	6.1
	合計	553	258.4



(そのほか) の内容

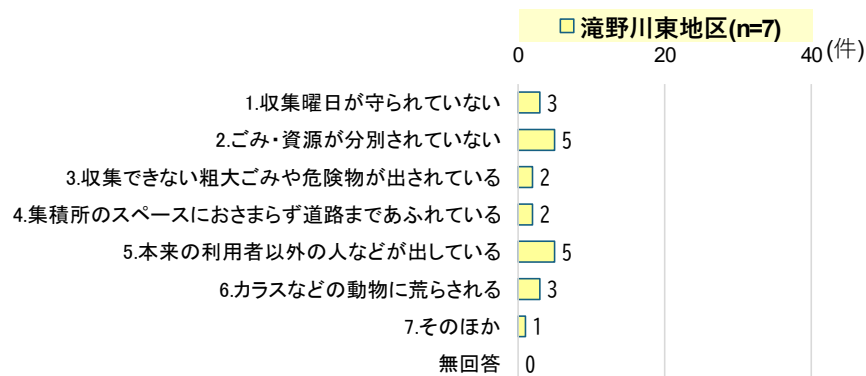
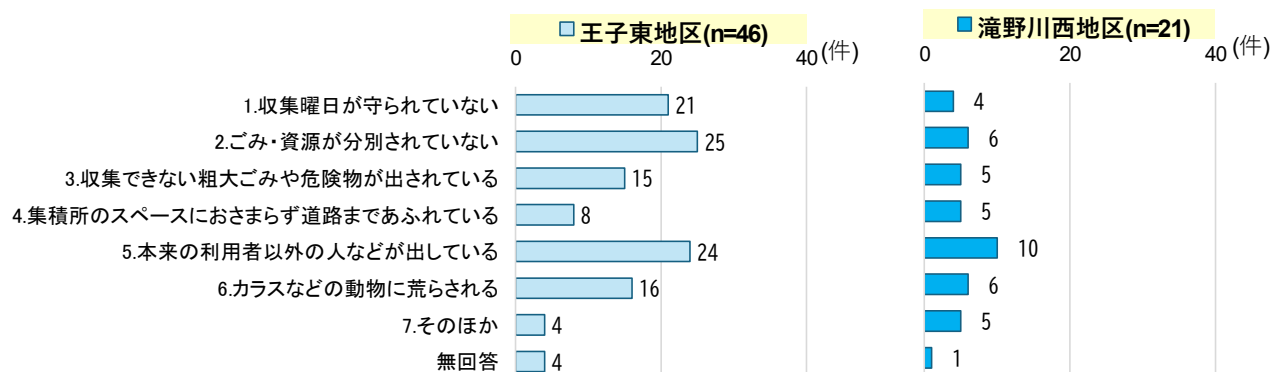
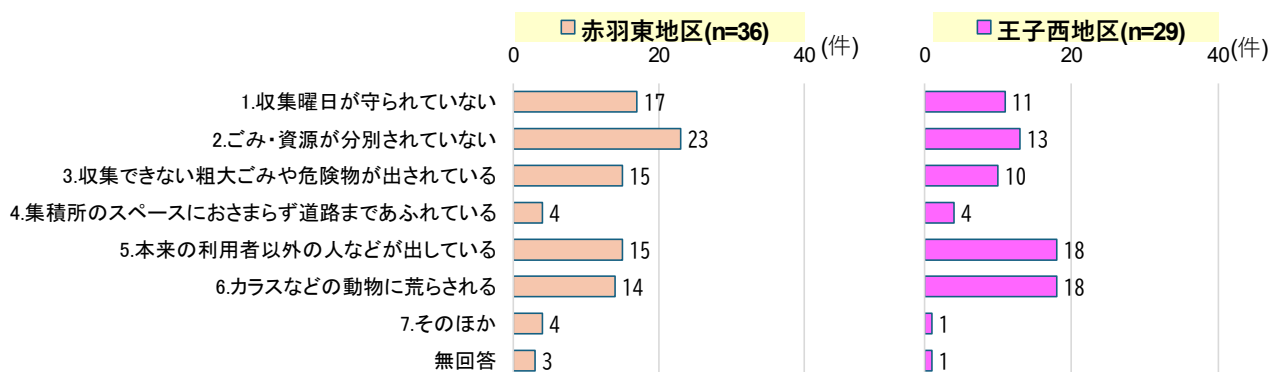
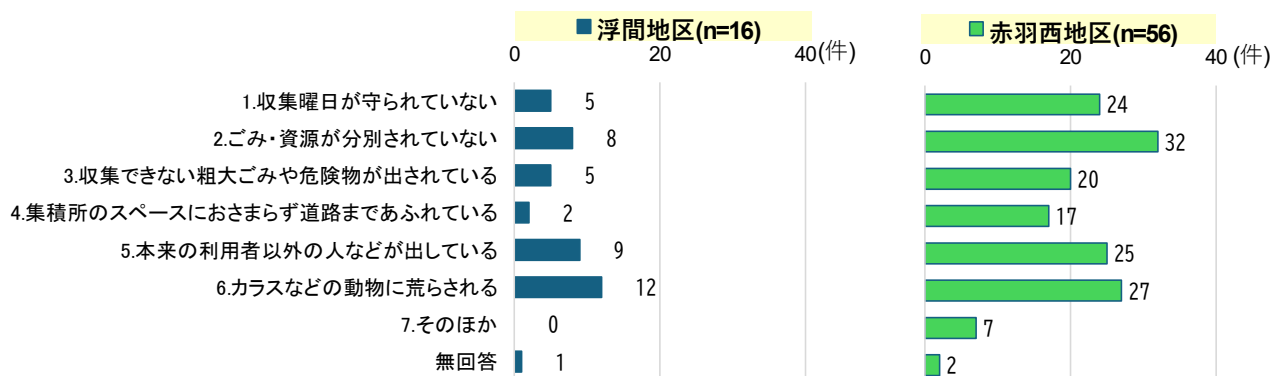
- ・ビン・缶・ペットボトル収集終了後に出す人がいる。
- ・町会の集団回収に協力的でない家がある。
- ・近年新築のアパートマンションが増えたため網掛けのマナーが劣化している。
- ・ビン・缶、ペットボトル夜中に出すので入れ方が雑でうるさい。
- ・業者が缶をもって帰ってしまうので困っている。
- ・資源物を持ち去る人がいる。(特に紙類)
- ・全員ではないが外国人が入居したりで守られない事が多くなったりする。
- ・夜遅くに捨てに来ると捨てる音が気になる。臭いが気になる。自宅の前に知らない人が来るのが不快。防犯的にも心配。使わない時のコンテナが邪魔。
- ・資源ゴミ窃盗、不法投棄、ゴミに関わるトラブルが多過ぎる。
- ・スプレー缶の捨て方が気になる。

<年代別>



*10代は n=0 のためグラフ省略

<地区別>

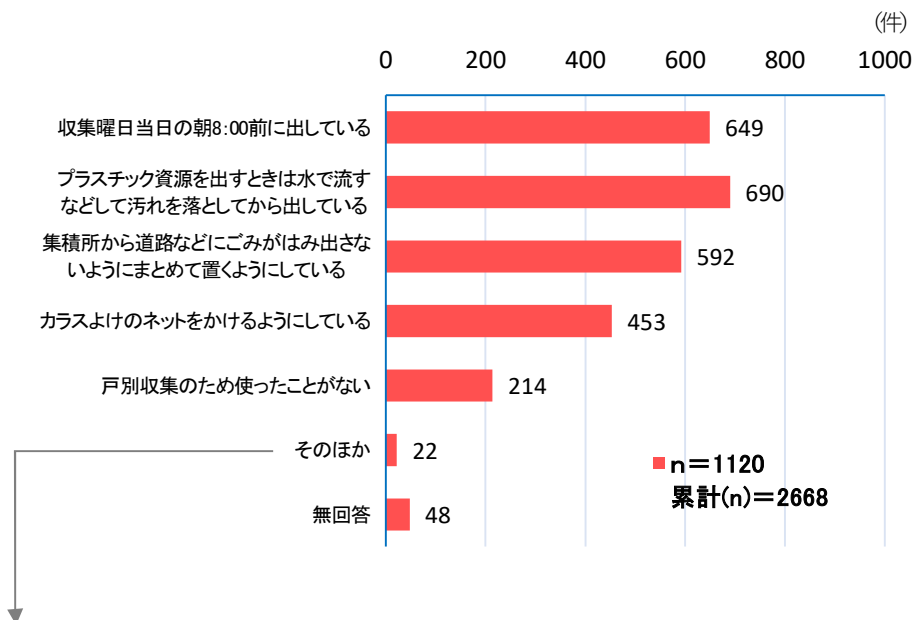


問 15. あなたが“ごみ集積所”を使うときに気をつけていることはありますか。(MA)

ごみ集積所を使うときに気をつけていることについては、「プラスチック資源を出すときは水で流すなどして汚れを落としてから出している」が 690 件 (61.6%) で最も多く回答されている。次いで、「収集曜日当日の朝 8:00 前に出している」が 649 件 (57.9%) となっている。

年代別にみると、「20 代」では、「集積所から道路などにごみのはみ出さないようにまとめて置くようにしている」が 46 件 (56.1%) で最も多く回答されている。「30 代」では、「収集曜日当日の朝 8:00 前に出している」が 86 件 (53.8%) で最も多く回答されている。「40 代」より上の年代では「プラスチック資源を出すときは水で流すなどして汚れを落としてから出している」が最も多く回答されている。

No.	選択肢	回答者数	構成比
1	収集曜日当日の朝 8:00 前に出している	649	57.95
2	プラスチック資源を出すときは水で流す	690	61.61
3	集積所から道路などにごみのはみ出さない	592	52.86
4	カラスよけのネットをかけるようにしている	453	40.45
5	戸別収集のため使ったことがない	214	19.11
6	そのほか	22	1.96
	無回答	48	4.29
	合計	2668	238.2



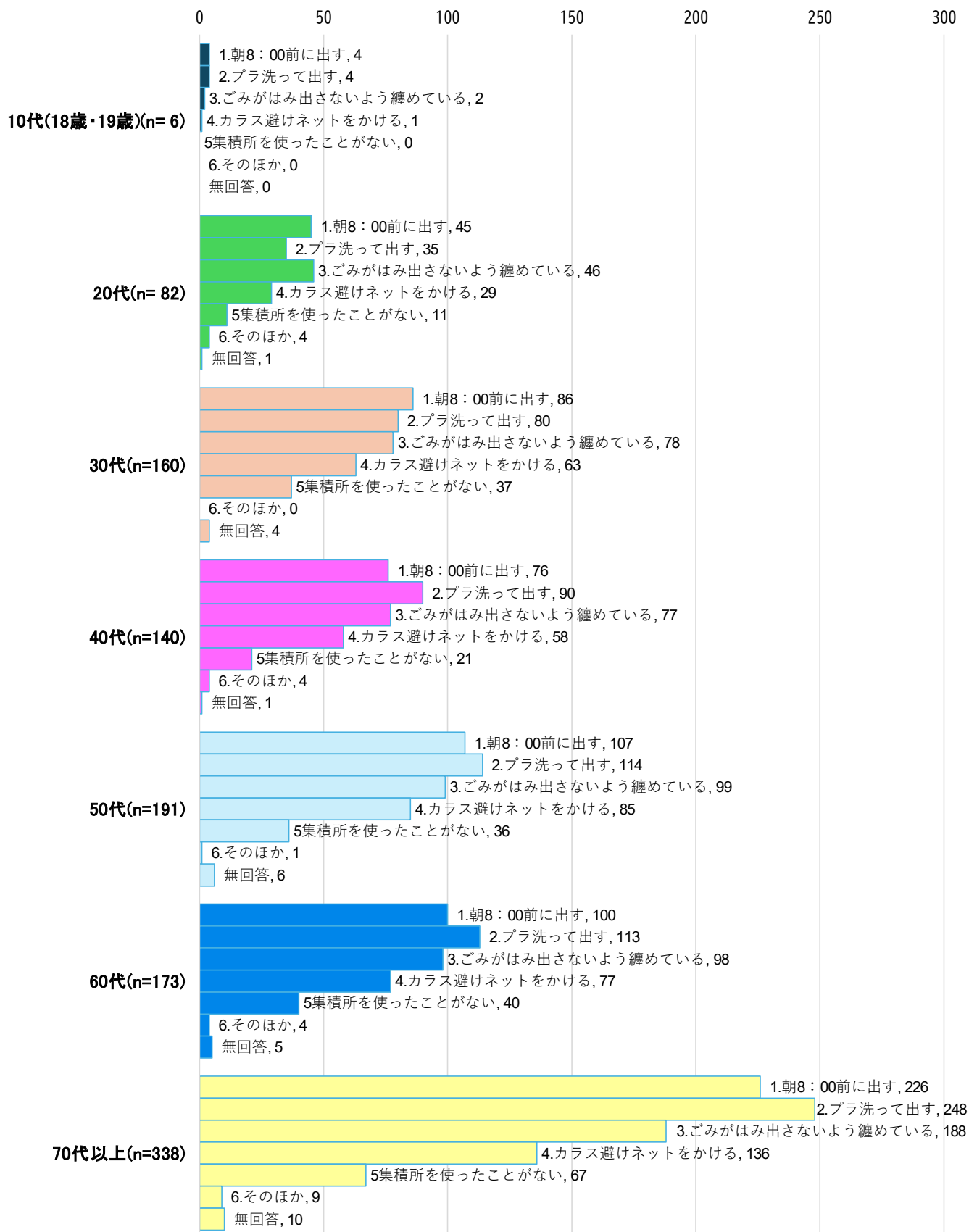
(そのほか) の内容

- ・猫やカラスに汚されないようにコンテナ(ゴミ箱)に入れて出しています。
- ・マンションなので集積所使用していない。
- ・カラス避け対策にプラスチックのゴミ箱に入れている。
- ・収集作業員さんのことを考えて、ごみを詰めこみすぎないようにしている。
- ・作業員の方が収集日にごみを持ち上げた時に、重くなりすぎないように工夫してごみをまとめている。
- ・戸別収集だけプラスチックごみは水で流して出している。
- ・雨が降った後や降っている時は紙類の資源ごみは出さないようにしている。

<年代別>

- 1.収集曜日当日の朝8:00前に出している
- 2.プラスチック資源を出すときは水で流すなどして汚れを落としてから出している
- 3.集積所から道路などにごみのはみ出さないよう纏めている
- 4.カラスよけのネットをかけるようにしている
- 5.戸別収集のため使ったことがない(滝野川地区など)
- 6.そのほか
- 無回答

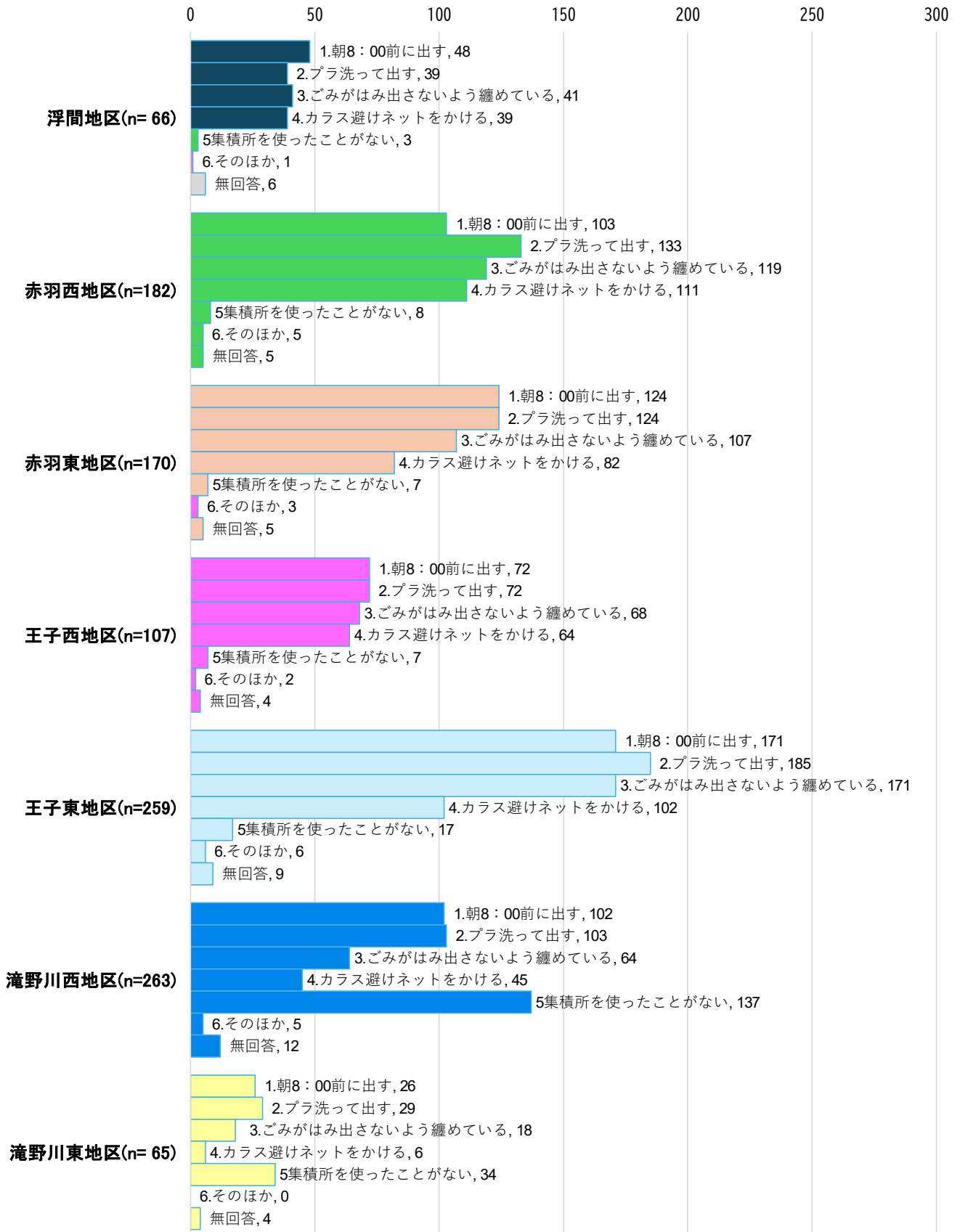
(単位：件)



<地区別>

- 1.収集曜日当日の朝8:00前に出している
 - 2.プラスチック資源を出すときは水で流すなどして汚れを落としてから出している
 - 3.集積所から道路などにごみのはみ出さないよう纏めている
 - 4.カラスよけのネットをかけるようにしている
 - 5.戸別収集のため使ったことがない(滝野川地区など)
 - 6.その他
- 無回答

(単位：件)



問 16. そのほか、ごみ減量・リサイクルに関する施策への、ご意見や困っていることなどのご要望がございましたらご自由にご記入ください。

自由記述への回答は回答者 1,120 件中 261 件あった。「特になし」なども含む)

内容によって下記に分類した。複数の内容について記述されているものも多くあり、1つの記述を分割して掲載している。そのため、件数の合計は 261 件にはならない。また、「特になし」や「意見はありません」等は除いている。

【記述内容の分類】

- ・集合住宅（アパート・マンション）に関する意見 (17 件)
- ・外国籍の区民への対応に関する意見 (32 件)
- ・ごみ回収方法、頻度、時間、場所、減量などに関する意見 (33 件)
- ・資源ごみ・古布・雑がみなどについて (14 件)
- ・プラスチックごみと分別方法について (57 件)
- ・有料指定ごみ袋について (14 件)
- ・粗大ごみ・危険物・電池・残土など (27 件)
- ・集積所、持ち去り、不法投棄などについて (50 件)
- ・その他 (52 件)

*1つの記述で複数項目に渡り記述されている回答は分割してカウントしている。(以下記載も分割掲載している)

*同じ内容の回答は掲載を省略しているため(カッコ)内の件数と掲載件数は一致しない。

・集合住宅（アパート・マンション）に関する意見（17 件）

記述内容	年代	地区
集合住宅の方々がごみを整えて出していない。	40 歳代	王子東
アパート等の集合住宅には各々でごみ収集場所を作って欲しい。	70 歳以上	赤羽西
近くにあるアパートの人達のごみ分別が出来ていない。	40 歳代	赤羽東
近くのマンションがごみの出し方がいい加減なのでカラスが荒らして困る。	60 歳代	滝野川西
近所のマンションでいつもごみが散乱しているので注意してほしい。	70 歳以上	王子東
集合住宅のごみ収集場に、外部の人が捨てている事がある。	50 歳代	王子東
マンションの引っ越し時期になると大きなキャリア、不要家電がずっと何日間も放置されていることがある。	60 歳代	赤羽東
地域でごみの出し方が荒れている所が気になる。(おそらく民泊でのアパート貸出)ごみ分別、リサイクルが守られていない。取り締まりができないものか。また、転入時にごみ出しルールの説明が行き届くと良いと思う。	30 歳代	滝野川西
集合住宅が集積所の前にあるため曜日に関係なくごみが出され、風、カラスでごみが住宅入口、道路に散乱する状況です。	50 歳代	王子東
指定日以外のごみ出し(若者、集合住宅) 直近、自宅のとなりの家の通路に人間が大をしていた。	50 歳代	滝野川西
隣がシェアハウスになっていて、ルールを守らない。時々注意しているが入る人が替わるので守らない。管理人の所在がわからない。いいかげんな経営のようである。厳重注意を期待している。	70 歳以上	滝野川西
近所にはアパート多いのですが独身者の方が多いためか、夜にごみを出していたり、分別をしていない人が多いようです。	60 歳代	赤羽東
町内のアパート住民は入れ替わり外国人の入替り等で網の外にごみを置いたり指定日以外にごみを置いたりこれが一番大変で、善意の集積場所提供者に迷惑をかける。アパートの管理人、不動産管理会社がしっかり教育してから入居させてほしい。	70 歳以上	赤羽東
我が家の前はごみ収集場所。斜め前のコーポ 10 世帯以上ある住人のごみ出しが酷い。ラベルも取らずに出している。大家も一緒に棟に住んでいるが、言っても無関心。そのくらいの規模ならば専用の収集場所を作るべきだと思う。家賃をもらっているくせに、ごみだけは我が家の前に出させるのに納得出来ない。	50 歳代	王子西
近隣の集合住宅ではごみ集積所を所有していないこともあり、直接区の集積所を使用している戸数が多いので、ごみの量が多い。ルールを守れていない人も多い。夜間出す人も多いせいか、他の地域から持ってきている人もいる。自分の出したごみは自分で管理するようにした方が分別なども進むと思う。	50 歳代	赤羽東

・外国籍の区民への対応に関する意見（32件）

記述内容	年代	地区
外国人が増えルールの理解が出来ていない。 多国籍に対応した案内が必要なのかも知れないと感じます。	50歳代	浮間
おそらく外国籍の方が近所の方が管理して下さっている集積所に曜日を無視してごみを放置する。	20歳代	赤羽東
外国人にルールを守れる案内が分かりやすい様にしてほしい。	70歳以上	王子東
外国人に対してのルールを説明することは大事。 （証明書発行の際に伝える！）日本語学校の授業で伝える。	40歳代	滝野川東
集積所に大きく要件を明示してほしい。外国人にわかるように。	70歳以上	赤羽東
外国人の人にもっとしっかりとごみの出し方の指導をしてほしい。	50歳代	赤羽東
となりの外国人が、トマト缶を洗わずに出している。	50歳代	滝野川西
特にリサイクルや粗大ごみなど出し方の分からない人（特に外国人）には日本語以外の冊子やチラシ等で周知徹底して欲しい。	70歳以上	王子西
近年外国人が多くマナーが悪い。不動産の管理人がごみとリサイクル品の教育をしてほしい。	70歳以上	滝野川東
（王子地区）外国人のごみマナーが悪い。	50歳代	赤羽西
隣のマンションは管理人がいなく住民も外国の人で、いつもカラスがごみをあさっています。一日も早くごみの無い日がきてほしいです。	70歳以上	滝野川東
外国人住居者が誤ったごみ出しをし、放置されたままのごみが近くにある。男性の集団であるため怖くて注意できない。	30歳代	滝野川西
リサイクルBOXにごみを捨てる人がいる。外国人のごみに対する認識の相違。そもそもごみを分別する能力がない。	50歳代	赤羽西
海外の方は分別ができていない。燃えるごみよりもプラが多い。どのくらい周りも分けて捨てているのかと思うほど分別が出来ていない。	40歳代	赤羽東
外国人（日本語、英語ではなしても分からないフリをする）の事業者への指導をして欲しい。不法投棄事業者へは罰則を与えるべき。（事業の収益は本国とのビザなどの関係で成り立っていることがほぼ100%であると見えるので）事業をできる場所を限定することでごみの散乱が半分以上のケースで防げると感じている。	40歳代	王子東
外国人の方のごみ出しがルール通りに行っておらず、道にごみが散らかっているので車が出られない。	20歳代	浮間
外国人に対して、英文・中文・ベトナム語などの案内を看板でも貼り紙でも示したらいいと思う。	60歳代	王子西
隣のマンションの住人が外国の方が多く、前日からごみを出したり汁漏れして汚したりと我が家の方に押し付けるように置くので迷惑している。	70歳以上	王子東
外国人の入替り等で網の外にごみを置いたり指定日以外にごみを置いたりこれが一番大変である。善意の集積場所提供者に迷惑をかける。アパートの管理人、不動産管理会社がしっかり教育してから入居させてほしい。	70歳以上	赤羽東
東十条は環七の高架下や京浜東北線の線路沿いに布団やキャリーケースなどの粗大ごみが散乱している。街並みが汚らしくなり、嫌だと思っています。防犯カメラの設置やインド語などの冊子を配布するなど対策をお願いします。	40歳代	王子東
外国人の認知度が低いと思われるので地域やチラシを何らかのやり方でてっぺいする。罰則を作る。	40歳代	王子東
「北区の家庭ごみ・資源の分け方出し方に」の冊子を活用しております。外国の方向けのこのような冊子があったら理解もしやすいかもしれないですね。ごみ出しに慣れていない国の方も多いのではないかと思えます。ごみ分別でトラブルになってストレスを感じてしまうのは気の毒ですしせっかく日本に来てくださったのだから住みやすくしてあげたいです。思いついたのですが私たちが頂いている冊子の中に外国の方向けのページをつくれれば日本人も外国人も一緒に活用できるし近所の人にわからない所を尋ねやすくなるのではないかと思います。そうすればトラブルも減り仲良くできるかもしれないですね。	70歳以上	浮間
最近中国系のマンションのごみの出し方が非常識すぎるので、ルールを守ってほしい。明らかに粗大ごみのものを燃えるごみに出し、シールを貼られてもそのまま放置。分別もされず、そのまま放置されているのをよく見かける。出した本人は分かっている何ヶ月と粗大ごみ放置する神経疑う。対策してほしい。治安が悪くなったと感じる。	40歳代	滝野川西
外国人住人向けの案内をしてほしい。個別の言語での案内・掲示が難しいのであれば、北区ホームページサイトへのリンク先（2次元バーコードなど）を掲示するだけでも良いのではないかと。	50歳代	赤羽西

記述内容	年代	地区
北区に30年以上住んでいます。最近では中東系外国人の方や、韓国語、中国語を話す方をよく見るようになりまし。細かなルールを決めて縛るのではなく、大まかなルールの中で、ごみ減量やリサイクルに繋がる行動を行う人に何らかのメリットを与えた方が効果的だと思います。あれをやれ、これをやれと、命令や推奨をしても従う訳がありません。当人に有益なことが起こらないからです。指定のごみ袋を強制して他の手段を奪うくらいなら、指定ごみ袋を使うと貴方にはこれほどの得があると割引などで示すべきだし、強制して行動を起こさせるより、何か報酬を与えて行動を促した方が効果的だと思います。特に、指定ごみ袋の強制には猛反対します。他の自治体で指定ごみ袋の買い溜めが起これ住民のごみ出しを行えなくなったニュースを以前見たからです。ごみ出しの手段の一つに絞ることは強く反対します。	30歳代	王子東
外国人が車で大量のごみを捨てている事がある。大量なので道路へはみ出しりしている。もうそこでは捨てられないので少し離れた場所へわざわざ行くしかない。ナンバーを控え、区に言ったが改善はされていない。厳罰化を望みます。	30歳代	赤羽東
地域でごみの出し方が荒れている所が気になる（おそらく民泊でのアパート貸出）分別、リサイクルが守られていない箇所の取り締まりができないものか。	30歳代	滝野川西
外人が多くなった原因でルールを守らない奴がおおくなり困っているのにごみ袋有料化したらそいつらがまたルールを無視してごみ出しをするのが目に見えている。	30歳代	赤羽西
外国人の方が目に見えて増えるにつれ、集積所への粗大ごみの不法投棄をあちこちで見かけるようになりました。数年前に比べ道も汚くなっています。全て外国人の方のせいではないかもしれませんが、日本語がわからないと言って無視する方も多いです。日本人だけでなく外国人の方にも最低限のルールは徹底させてください。	40歳代	王子東
外国人やアパート住民（一部設けてないところ）、粗大ごみなどありとあらゆるルールは無視されている。	50歳代	赤羽西

・ごみ回収方法、頻度、時間、場所、減量などに関する意見（33件）

記述内容	年代	地区
収集する時間が遅い。(13:00)	50歳代	王子東
回収の時間がバラバラでいつまでに出したら回収されるのか不明確である。	20歳代	王子東
曜日別の収集時間が分かると良い！遅くに出す人がいるので！	60歳代	赤羽東
収集の時間が遅い	70歳以上	無回答
エコー広場などでの回収に参加したくても遠い所にあるので協力できないのが残念です。	70歳以上	滝野川西
新聞、雑誌、本の資源ごみ回収に玄関前に出しておく、区の回収車が来る前に違法業者が来て(ワゴン車で)持ち去ってしまっていて困っている	50歳代	滝野川西
他の地域のごみをもって来る人がいる。特に仕事先からもって来る。	70歳以上	王子東
ごみ集積車が終わっても後から出す人がいます。困ります。	70歳以上	王子東
不燃ごみが回収されなかった時の理由を明記してください。	60歳代	浮間
ごみが溜まってしまうので回収日を増やして欲しいです。(特に可燃ごみ)	20歳代	滝野川西
ごみの回収時間がバラバラで早い時は8:00、遅い時は昼過ぎ、時間を明確にしてほしい。	20歳代	滝野川東
時間が定着していない。あまり早く出すとカラス等がちらかすので困る。	70歳以上	滝野川西
時々収集日の前日に出す人がいる。	60歳代	王子東
集積所への回収日、時間を増やして欲しい。	40歳代	王子東
回収8時前は早すぎる30分遅らせたなら非常に助かる。	40歳代	王子東
生ごみ処理機がどのような物かを知りたい。処理機を各家庭へ普及させて減量するようになれば良いと思う。その際、購入費用を助成すると良いと思う。	70歳以上	赤羽西
ごみ減量を心がけている家庭でも家族の多い家では量が多くなるのは仕方がないと思います。	70歳以上	王子西
収集曜日、回収が2回になって欲しい。	50歳代	滝野川東
プラごみの回収が週1なので、可燃ごみと同じ週2だと嬉しい。普段家庭で排出するごみはプラごみが多いということが、プラごみ収集の日が作られて改めて知ることが出来た。	30歳代	赤羽東
燃えるごみの日を1日増やしてほしい。他区では週3日のところもある。	30歳代	王子東

記述内容	年代	地区
時々、利用者以外の方が、収集出来ないごみを出されている。	50 歳代	王子東
雑紙とプラスチックの回収は毎週火曜日です。わたしはきちんと 8 時前に指定場所に出しています。しかし、回収されない時があります。特に雨の日。確実に回収していただかないと、せっかく分別し 8 時前に指定場所に出しても、すべてが無駄になります。確実に回収してください。	50 歳代	王子東
様々な制約があることは理解しますが、年末年始の回収もあると助かります。	30 歳代	滝野川西
夜間回収の実施。戸別回収の 1 回の回収数(袋の数)を制限する。分別しない者への罰則(罰金)を強化する。	30 歳代	滝野川東
いつもありがとうございます。現在、ごみの集積所担当しております。電信柱にごみの収集日のお知らせがつけてあるのですが、簡単でいいので『ごみ収集日を守ってご利用下さい』等だけのお知らせ？的なものがあると助かるかな？と思っています。宜しくお願い致します。	60 歳代	赤羽西
ごみの出し方、収集に関して、できれば年 1 回ほど、冊子、チラシ等でごみを出すときのルールなどを啓蒙してほしい。	70 歳以上	浮間
ごみ出し時に近隣の目を気にするのが人間というものです。戸別収集をすることで人の目を気にして減量やリサイクルにも良い作用が生まれ、『自分のごみ捨て場』という責任感も生まれやすいためごみに関わるトラブルも大幅に減るでしょう。	40 歳代	赤羽西
資源ごみは、1 日に 2 回収集に来てくれるのだが、午前 8 時前に 1 回あるので最初に出せない時がある。2 回目に来てくれるか不安になることがある。	50 歳代	赤羽西
収集場所前の家に住んでいます。間違えて夜から出して居る人が居てカラスが散らかします。8 時に出して燃えるごみは 13 時に回収は遅いと思います。	40 歳代	赤羽東
ごみは夜何時から出していいかわからない。当番の人がビン・カンの回収ボックスを出してなくて捨てに行ったら捨てられなかった。夏ごみ置き場にハエがたくさん飛んでいるのをなんとかして欲しい。ごみを捨てたくても上に覆うネットにハエがたくさんついていてネットをさわるのが気持ち悪い。	40 歳代	赤羽東
町会の資源回収が月 1 回で重くて無理なので、せめて月 2 回にして欲しい。	50 歳代	赤羽東
収集日を守ら随時ごみ出しが一向に是正されないので戸別収集にした方が良いと思います。	70 歳以上	赤羽西

・資源・古布・雑がみなどについて (14 件)

記述内容	年代	地区
牛乳パック大きさなどメーカーによって違うし対象かもはっきりしない。	70 歳以上	滝野川西
ペットボトルの収集はつぶして出してほしい。	30 歳代	赤羽西
大別すると 1.可燃、2.不燃、3.プラ、段ボール等の 3 種に分別。にしている。サンクルポストを知らなかった。(39 ヶ所)	70 歳以上	滝野川東
戸別収集エリアだが、段ボール回収だけ何故か来ない。	30 歳代	滝野川西
服、ぬいぐるみを気軽に寄付できる場所があれば寄付したい。	30 歳代	赤羽西
缶を指定場所に置かない人がいる。	60 歳代	王子東
どのような形でリサイクルされていくのか、どのようにリユースするのか説明を広めてほしい。	70 歳以上	王子東
古紙の出し方が、箱を潰さずに中に詰め込んでいたり、ティッシュの箱に使用済みのティッシュを詰め込んでいたり、袋にまとめないでいろいろなものを放置したりする人がいるのが大変不愉快だし迷惑。誰が出したのか分かるようにできないものか。	70 歳以上	王子東
古布のリサイクルを行いたいと感じます。清掃事務所が近くにありますが、中でリサイクル物品を集めているような案内は見かけません。入りやすい雰囲気作りをして、リサイクル物品を持ち込みやすい施設となるとよいと思います。	40 歳代	王子東
資源ごみの日に古布も回収してほしい。	30 歳代	滝野川西
古紙を分別しているのですが、紙袋以外使えないと言われて紙袋は入手出来ないの困っています。普通のごみ袋に紙と書いて使える様にして欲しいです。紙袋が手に入らないと分別は出来なくなります。	60 歳代	赤羽西
缶、ペットボトル、金属などいつでも回収ボックスがあるとありがたいです。集合住宅は、いつでも何でも捨てられるスペースがある。	60 歳代	浮間
資源ごみは、1 日に 2 回収集に来てくれるのだが、午前 8 時前に 1 回あるが最初に出せない時があるので、2 回目に来てくれるか不安になることがある。	50 歳代	赤羽西
不要な服がたくさんあり可燃物として出していますが、簡単に再利用できたらいいなあと思います。	40 歳代	赤羽東

・プラスチックごみと分別方法について（57件）

記述内容	年代	地区
プラスチック分別については、できる限り汚れを落としているつもりですが、あまりにも厳密に指示されると（例えば歯みがきのチューブはハサミで切って中を洗ってなど）可燃ごみになってしまうので、ある程度は清掃局の方でやっていただけると制度としても有効になると思います。	70歳以上	王子東
プラ回収日が週1で少ない。ほぼプラごみなので。	40歳代	赤羽東
ペットボトル蓋やラベルが付いたまま剥がされていないことが多い。	70歳以上	王子東
プラスチック類、最近多いので週2回にしていきたい。	70歳以上	滝野川東
プラスチック資源の回収が始まったことは知っているのですが、回収用のネットが設置されていないため、回収に出せず結局燃えるごみに入れてしまっています。（食品のトレイはスーパーに出していますが、カップやペットボトルのラベル、お弁当の蓋などは可燃ごみにしてしまっています。）瓶・缶・ペットボトル等と同じようにネットを前日に設置していただくことはできないのでしょうか。	30歳代	滝野川西
プラごみ等集積BOX等所が欲しい。今はペット・瓶・缶だけです。	70歳以上	滝野川西
たまごパックシールなどはハサミで切り取っているが、剥がせるとよい。野菜・食品などのシールが剥がせるようにしてほしい。	70歳以上	浮間
別ける種類が多くて、時々悩みます。プラスチックなどは洗って出していますが、レトルト製品のカレー袋などは洗っても臭いが落ちないので可燃ごみに出しています	70歳以上	滝野川西
洗剤やレトルトの袋はどの程度まで汚れを落としたりよいか悩む	70歳以上	滝野川西
友人でプラごみの事を知らない人がいてびっくりしました。もっとしっかり知らせた方がよい。週1では少ない2回にして欲しい。	70歳以上	赤羽西
プラスチックを出すようになってから（軽いので）風が強い時（夜から出すのか）歩道にちらかってしまう。それが気になって片づける。高齢なので疲れてしまって困っています。	70歳以上	王子西
プラごみの分別が厳しすぎる。（ラベルはがす）	40歳代	滝野川西
収集日でない日でもペットボトル・缶・瓶、ごみを出している事が不快。町会の長や清掃局に伝えても改善しない。	50歳代	赤羽東
プラスチックでリサイクルセンターの回収である素材（弁当箱など）の分別がはっきりわからない。	70歳以上	滝野川西
プラスチックを洗って綺麗にして出すが、それで水質汚染になるのではないか。	50歳代	王子西
食料品を中心に過剰包装がまだ多い。	70歳以上	王子東
プラごみを資源ごみとして分別したいが、洗浄の手間がかかりほとんど出せないで、生ごみと一緒に出してしまっている。	50歳代	王子東
プラスチック類が生ごみとして捨てられていることが多い。汚れがひどい物は生ごみへ。となると分別する手間を考え分別しないのではないかと？汚れていても資源化できないものか？また、プラスチックはかさばるため週1回の回収は少ないと思う。これも生ごみとして捨てられる原因では？	60歳代	赤羽西
可燃ごみが週2回（火・金）ですが雑誌等リサイクルする物が多い為に1回のごみが少なくなった。その分プラスチック週1回（土）とても多くなり、プラの菓子袋等2重包装など少なくしてほしい。	70歳以上	滝野川東
プラスチック回収は、ごみ減量に効果があったと思います。	50歳代	滝野川西
プラスチックごみの出し方がわからず数回清掃事務所に電話しました。今もまだ何とかして欲しいのはプラスチックごみに紙のシールが貼ってあるのでそれをはがすのか結構大変です。はがれない時はハサミで切って捨てますが高齢者には危ない作業（手を切ったりするかもしれません）だと思います。できれば紙ではなくプラスチックのシールにして欲しいです。シールの業者さんも生活があるのでシールの素材を変えればいいのではないのでしょうか？また、DMなどが入っている透明の袋はベタベタしたのりがついていますが、これは切ったほうがいいのでしょうか？（封をするために使われている接着剤です）豊島区と同じように古布も集積所で回収してほしいです。また、廃油ももっと色々な所で回収してほしいです。（廃油回収の場所が遠くて不便です）	60歳代	王子西
最近、紙ごみ・プラスチックごみも別日になって、よいことだと思います。	50歳代	滝野川西
プラスチックの回収が週1回では少ない。量が多くなっている。	70歳以上	王子西
プラごみ、ピンはどこまで洗えば良いのか分からず、可燃・不燃ごみに捨ててしまうことがあります。プラごみは、お惣菜の容器のスーパーのシールが剥がせない、ピンは油の容器の場合、などです。	40歳代	王子東
私はごみを減らしたいとは思っているのですが分別は徹底しているつもりです。でも他の人の話を聞くとあまりちゃんとしていない人もいますね…容器を洗うのが面倒くさいとか水道代が勿体ないとかで…	30歳代	滝野川西

記述内容	年代	地区
プラスチックは燃えるごみで良いと思う。co2削減の為の分別回収なのだとしたら、リサイクルにこそ手間と排気ガス（co2など）を排出するものであり、プラスチックはそのまま燃やせば火力が上がって、焼却には程よい燃料になるというのも聞き覚えがある。ごみの減量や環境配慮は必要だが、本当に効率的で有用なりサイクルの処理方法が確立するまでは、現状の燃やす処理で充分だと思う。	30 歳代	滝野川西
可燃ごみを減らすためにプラスチックごみを収集日に積極的に出しているのですが、自分の仕分けが正しいのか気になっています。プラの表示で選別はしているのですが、プラごみに出すようになってからよくある分別の間違いや勘違い、問題点など発信していただけるとありがたいです。	50 歳代	滝野川西
ごみを分別せずに出したり、化粧水の容器を空き瓶に出したり、洗剤のプラスチック容器をペットボトルに出したり、容器を洗わずに出したり、ビニール袋に入れたまま出したりといろいろと出し方が間違っている人が多いので、出し方のイラストなど回収ボックスにプリントしたり、わずかでも改善できることがあればいろいろと実行されたいと思います。	50 歳代	王子西
プラスチックごみを収集してから、集積所の生ごみが減った。	70 歳以上	赤羽東
プラスチックは以前のように燃えるごみにして欲しい。	50 歳代	赤羽東
プラスチックの回収について、明確に理解されてない人が濯がずにそのまま入れてある。対象外のプラスチックまで入れてしまっている。また臭いに困っている。それであれば可燃ごみにして欲しい。	40 歳代	赤羽東
分別の徹底	70 歳以上	王子東
誰にでもわかりやすい分別のポスター(多言語)を作成してほしい	50 歳代	滝野川西
有料袋導入は基本賛成ですが、あわせて分別の細かいルール徹底を希望。	50 歳代	赤羽東
浮間では現在の分別でうまくいっていると思います。現在の分別方法の考え方で今後も進めていただけることを望んでいます。	70 歳以上	浮間
分別方法がよくわからないので困っている。	70 歳以上	滝野川西
石からできた紙など新素材が色々出てきているので材質別の分別方法も知りたい。ABS樹脂だとか。「可燃ごみに金属入れないで」と言いながら、かなりの金具がついているカバンが「可燃ごみ」なのは意味が解らない。いっそ「40種分別」を短期間導入すれば今の分別をきちんとやってくれるんじゃないかしら。でも外国人にきちんと説明できるかどうかむずかしそうだな～。ごみの減量は捨てる時からでなくて、買う・もらうなど入手する前にもう始まっていることを皆が知るべきだと思う。	無回答	無回答
今後は分別も気を付けたいと思います。ありがとうございます。	60 歳代	滝野川西
燃えるごみよりもプラが多い。どのくらい周りも分けて捨てているのかと思うくらい分別が出来ていないイメージ。海外の方の分別ができていないことが多いように感じる。	40 歳代	赤羽東
近所の数か所の集積所でごみが分別されていない事や、回収の曜日がわかっていない人が(たぶんお若い方)多く感じます。	50 歳代	王子東
要望ではないが、分別はしたいが分別が多すぎて分別したごみを置く自宅内のスペースの確保がうまくできず、断念していること。	40 歳代	王子東
プラと金属など混合製品の分別に迷う。	50 歳代	滝野川西
金属とプラスチックでできているものの廃棄を迷う。	50 歳代	滝野川西
分別方法の分かりやすさと視覚的ガイドの充実 色分けやイラスト付きの分別表を配布。	50 歳代	浮間

・有料指定ごみ袋について（14件）

記述内容	年代	地区
有料化は絶対に反対します。有料化をするなら減税するべき。	50歳代	滝野川西
指定ごみ袋だとお店などでもらった紙袋やビニール袋を使えなくなりかえってごみを増やすことになるので止めてほしい。うちではトイレトペーパーが入った大きめの袋もごみを入れて再利用している。	60歳代	滝野川西
有料指定ごみ袋に反対。最初は安くても次第に値段を上げてくる。有料ごみ袋の収入で施策をやるのではなく、北区の予算全体からムダを洗い出して問10-2の施策をやれば良いと思う。区民の負担を増やすことはやめてほしい。	50歳代	滝野川西
ごみ袋の有料化はおかしい。なんでも区民からお金をとるのではなく、違う方法を考えてほしい。	50歳代	赤羽東
有料ごみ袋を導入するようになると、不法投棄が増える気がする。最近、粗大ごみを集積所じゃない所に置いてある(放置している)。	50歳代	王子西
自身が出す集積所は問題がないが、道を歩いていると分別ルールやごみ出しマナーがなっていない所をよく見ます。時には厳しい指導があっても良いと感じます。有料ごみ袋導入は基本賛成ですがあわせて分別や資源の分かりやすい細かいルール徹底を希望します。	50歳代	赤羽東
ごみ袋有料化だけはやめてほしい！！	40歳代	滝野川西
うちの集積所に勝手に捨てていく人がいる。こういう人は有料指定ごみ袋など買わないと思う。有料ごみ袋反対です。	40歳代	滝野川西
自宅の前はイチョウ並木になっていて枯葉を集めてごみに出しています。その場合はどうなるのでしょうか？有料にするのですか？それならイチョウの木を伐採してください。掃除するのが大変で困っています。	50歳代	滝野川西
有料指定ごみ袋は、なるべく安くするべき。それくらいできるはず。	30歳代	王子東
有料指定ごみ袋の収入を利用して収集ボックスを設置すれば、道路の汚れなども軽減され、管理人の負担軽減につながると考えています。	30歳代	王子東
有料化はやめてください。外人が多くなった原因でごみ出しルールを守らない奴がおおくなり困っているのにごみ袋有料化したらそいつらがまたルールを無視してごみ出しをするのが目に見えるからです。あとこんなに物価高でみんな困っているのに北区はごみ袋有料化して苦しめたいのですか？ごみ袋がめっちゃ安かったらいいが、高くする気満々なのが目に見えていますよね？リサイクル課さんがもっとやらなければならない事あると思うのですが。	30歳代	赤羽西
回収が有料化するのは仕方ないと思うが、量による料金の増減はして欲しい。	60歳代	王子西
有料指定ごみ袋にするならプライバシーに配慮した中が見えない袋が望ましい。	30歳代	赤羽西

・粗大ごみ・危険物・電池・残土など（27件）

記述内容	年代	地区
粗大ごみの処理券の基準が全くわからない。もっとわかりやすくしてほしい。	70歳以上	赤羽東
粗大ごみに出すまでの日程が長い。予約日が遠い。	40歳代	赤羽西
リチウム電池が困っています。冊子を読むと回収しないとあります。	50歳代	赤羽西
リチウムイオン電池の処理方法がわからない。 粗大ごみで使えるものは積極的にリサイクルして欲しい。	50歳代	滝野川西
リチウム電池機器について、どこで回収されているかわかりません。	60歳代	赤羽東
粗大ごみを出したいが、やりかたがめんどうで家に捨てたいものがたまっている。お金がかかるのは理解できるので、簡単にしてほしい。	50歳代	赤羽東
粗大ごみの事(申し込み)の出し方が、めんどうだと思います。	70歳以上	赤羽西
体力が無いので、粗大ごみを玄関先まで出すのが困難です。	70歳以上	滝野川西
使用済みの乾電池の回収する場所を増やしてほしい。	無回答	赤羽西
リチウムイオン電池の回収ボックスを増やす。ごみ焼却場の火災問題は重大です。リチウムイオン電池製造者の責任を問う。最後まで責任を取る必要がある。購入者にしっかり説明すべき。国は企業に甘い。	70歳以上	王子東
植木鉢の土などを回収してほしい	70歳以上	王子東
粗大ごみをリユースしたいと思うがどのように手続きをしたらよいかとなかなか利用できない。初めて使う人用に利用方法を分かりやすくしてほしい。	60歳代	王子東
区で収集できないものは、できないと明確にしてください(HPなどに記載)	40歳代	滝野川西
電池の回収を常設の場所を増やす。月1回収の日を作る。	40歳代	滝野川西
電池、リチウムイオン電池の回収BOXを増やして欲しいです。	60歳代	滝野川東
ガーデニングをしているのですが、古い土の回収がなくて困っています。有料でもいいので、粗大ごみの1項目にってもらうなど、是非古い土の回収をお願いします。	60歳代	王子東
リチウムイオン電池の回収方法の告知をもう少し徹底して欲しい。	50歳代	滝野川西
園芸土の回収を希望。他の区で実施されていた。有料でもよいので。	50歳代	滝野川西
リチウムイオン電池を捨てられない。	30歳代	滝野川東
電池の回収場所などを増やして欲しい。	50歳代	滝野川西
先日、ブラウン管テレビを廃棄するのに区で対応していないので困った。業者に依頼すると軽トラ一台分の費用が請求されてしまう。区で回収をしない物が無いようにしてほしい。	60歳代	滝野川西
リサイクルマークの無いリチウムイオン電池の廃棄方法が、北区ホームページに記載された事に今日まで気が付かなかった。しっかり周知をしてほしい。	60歳代	王子西
充電式の電化製品、消火器の廃棄方法がわからない。家に溜まる一方	60歳代	王子西
今流行りのリチウムイオンバッテリー(リサイクルマークなし)の回収方法をわかりやすく明示してほしい。調べたら割れ物と同じように分けて不燃で出せると分かったが、分かりにくいと感じた。	40歳代	赤羽西
リチウム電池の捨て方がよく分からない。	60歳代	赤羽西
リチウムイオン電池の廃棄の仕方が全く分からない。近所の人知らない。	50歳代	赤羽東

・集積所、持ち去り、不法投棄などについて（50件）（抜粋）

記述内容	年代	地区
ごみ集積所の管理に住民が気付かない	40 歳代	王子東
集積所である町内会館まで、若干距離があるので集積所をいくつか作ると高齢者は助かると思います。	70 歳以上	王子東
集積所にカラス除けのネットが無い	70 歳以上	王子東
カラスが増える時期があるので、ステッカーを配ってくださると助かる。	40 歳代	滝野川東
収集場所に多言語の掲示物を用意してほしい。コンテナを出すとき等に掲示するか収集場所に常設して掲示できるように。	60 歳代	滝野川西
ごみの収集日が書かれた看板が何年も前から無いまま。	50 歳代	王子西
現在びん・缶・ペットボトルの BOX 管理をしているが、その中に食べ終わった弁当のバックや時には犬のフンが入った袋を入れる人がいます。	60 歳代	滝野川西
戸別収集にしないと関係ない人が通りすがりにごみを置いて行ったりする。	50 歳代	滝野川東
自転車をすてていく人がいて困ったことが 2・3 回ある。	70 歳以上	王子東
決まった日に収集場所にごみを出していますが膝が悪いので大変です、1 人暮らしなので出来る限り頑張ります。段々と厳しくなるとは思いますが、その辺も考えていただいたらうれしいです	70 歳以上	浮間
不燃ごみの回収日や空缶の集積箱から無断で持ち去る人を何回も見かける。特に不燃ごみの袋をあけて金属や使いそうな物を使えそうな物をあさっている。不快に感じる。	60 歳代	王子東
集積所へ不法投棄された大型キャリーケースや、家電製品を見かけたことがあります。防犯カメラを付ける（ダミーも可、点滅している作動しているようにみえるもの）等対策を検討されてもよろしいかと思います。ポスター（不法投棄は犯罪、5 年以下懲役もしくは 1000 万以下の罰金に科される）を集積所にかかげるのもよろしいかと思います。	40 歳代	浮間
可燃ごみの日は通勤の時、カラスがごみをあさっているのを通るのが怖い時がある。カラス対策があればいいのと思う。	30 歳代	王子東
収集回収の近くのお宅の協力が成り立っています。	70 歳以上	王子西
自身が出す集積所は問題がないが、道を歩いていると分別ルールやごみ出しマナーがなっていない所をよく見ます。時には厳しい指導があっても良いと感じます。	50 歳代	赤羽東
ごみ収集 BOX があると、よりよいのかなあと考えることはあります。	20 歳代	赤羽東
瓶・缶の集積所でルールを守らない人がいて集積所辞退になった事例があった。集積日以外の日に瓶・缶を勝手に置いていく事が続いたためと聞く。他町会の集積所に持ち込んでいる事例がある。他町会へ相談するも集積所の受け手が決まらないらしい。	60 歳代	滝野川西
誰が出したのかわからないので片付けが大変。	60 歳代	王子西
当番制で清掃をしているが使用者以外のごみ出しに困っている。	60 歳代	王子西
集積所の掃除が当番制のため高齢者には負担に感じます。集積所の掃除は戸建て 7 軒が当番制でネットとビン、缶のカゴは自宅で管理しています。ネットは 1 週間に 2 回（前日に出して当日片付けを自宅からほうき持参して掃除した後バケツに水を入れ運び流して終了です。ビン、缶のカゴは（前日に並べ収集後家に持ち帰ります）。	70 歳以上	王子東
商店街の飲食店のごみ収集場所にカラスが来て不衛生な事を見る事がある。	60 歳代	赤羽東
できれば集積所は区で管理してほしい	30 歳代	王子西
夏は、空き缶の排出が多く、空き缶集積用の折り畳みコンテナが一杯になってしまうので、コンテナの数を 1 から 2 に増やして欲しい。	60 歳代	王子東
夜中に近隣の飲食店が大量の酒のボトルを廃棄している。もっと廃棄ルールを掲示して欲しい。	50 歳代	王子東
缶やペットボトルの容器がすぐいっぱいになり、管理する方が大変。	50 歳代	王子東
最近は見かけないですが、カラスがごみを散らかしてしまっていたので、ネットをかけることや、出す際の工夫は各家庭がすべきなのかなと思いました。	30 歳代	滝野川西
引越しして来た人が、自分の集積所がわからない。	40 歳代	王子西
狭い道路地区の回収については、もう少し大きな通りまで持って来させるようなことをしても良い。ありがたいのですが今は便利すぎると思います。	30 歳代	王子東
民泊が近くにできたからか、ごみ収集の曜日に関係ないごみが集積所に放置されていることが増えた気がする。また、集積所の管理について、地域住民に任せきりな印象がある。	30 歳代	王子東
今はまだ歩いて収集場所に持って行かれる	60 歳代	赤羽東

記述内容	年代	地区
浮間地区は不法投棄が目立つ	40 歳代	浮間
近隣の人ではないが自転車でゴミを運んでいる。なんだかなあと思ってしまう。北区の区民であると思うので見ても言えない。	60 歳代	浮間
不燃ゴミをあさって持ち去りする人を減らせるのか。これについては色々な意見があると思いますが戸別収集の為、敷地内に入ってゴミ袋を開けて持ち去りをされるので、不法侵入にあたいするのではとも考えています。	50 歳代	王子東
資源ゴミの持ち去りがあります。	50 歳代	赤羽東
リサイクルの空缶（特にアルミ缶）等を集積場所から区委託業者が回収運搬するまでの間に、不法に持ち去る人がいるので、警察・防犯協会や自治会等で監視活動を強化して欲しい。	70 歳以上	滝野川西
収集日に出した缶を大量に持ち帰る人がいる	30 歳代	王子東
東十条地区で、古紙や金属ゴミを持ち去る輩が恒常的にいる。古紙については北区防犯パトロールと書かれた黄色のジャンパーを着た男が火曜日午前7時前後に自転車で持ち去る。一度バンをかけたなら『町会の古紙回収』と名乗った。しかしその男は他の地区でも古紙を持ち去っている。つまり、ウソをついている。 隔週木曜日の不燃ゴミ収集日、2回連続で、ゴミとして出したフライパンを、数分後に持ち去る老人がいた。ご近所さんに聞いたら、毎回出没しているようです。こちらも一度バンをかけたなら、逆ギレされた。こういう人は地域にとって百害であり、治安上も懸念されるので、警察とも連携して厳しく取り締まってほしい。	50 歳代	王子東
不燃ゴミなど、きちんと袋に入れ集積所に出すが、何者かが必ず袋を破いて中身を物色されている。	50 歳代	王子東
持ち去り監視の徹底 せっかく整理してだしても持ち去り屋に取られると意欲をなくす。	70 歳以上	王子東
缶・ビン・ペットボトル回収の時に朝方や夜に持ち去りが多くあり、貼り紙をするなど対策をしているが、効果が少ない。	60 歳代	滝野川西
集団回収（ビン・缶）は不法に持ち去ってしまう人がいる。対策してほしい。	30 歳代	赤羽西

・そのほか（52件）（抜粋）

記述内容	年代	地区
東京のごみ処理場（捨て場）が少なくなった事をアピールしてください。分別が出来ていない人の為に資源の少ない日本をアピールしてください。	無回答	王子西
自動販売機は増えるのにリサイクルボックスは減っている。	40 歳代	浮間
日々、ごみの回収を頂きありがとうございます。ごみの回収はインフラ事業であり長期にわたって安全に健全に行って頂く必要があると考えています。そのため、ごみ袋の有料化等は必要かと思っておりますので、明確な理由やビジョンを持って行って頂ければ幸いです。	30 歳代	王子東
ごみの減量、リサイクルについて区民の意識がさらに高まるように啓発活動（こどもから大人も対象に行う・リサイクル施設の見学など）を充実する。実際にリサイクル施設を見学することで具体的なリサイクルへのイメージが広がる。町会単位でも取り組めるよう援助があると良い。食品ロスへの啓発も充実してほしい。	70 歳以上	王子東
足立区などで実施している持込み回収（一人当たりの回数制限ありか、有料回収）を導入してほしいです。	50 歳代	浮間
ランドセルや制服など、きれいなものは校内にリサイクルコーナーを作って、再利用されると良いと思う。	60 歳代	王子東
処分するのがもったいないことがあり、近くにコーナーでもあれば物々交換的な所があるといいなあと思う。	40 歳代	滝野川東
「リサイクル」と言われてもどこでどのようにされているどのようなものになっているか動画等でしっかりと見せてほしい。ごみの出し方についても某芸人さんの発信のように分かりやすく届きやすく説明があると良いと思う。	30 歳代	滝野川西
今現在のルールは甘いと思っています。	50 歳代	浮間
1人1人の意識が大事だと思います。これから夏場になって生ごみなどの臭いがきになります。しっかり洗うなど気をつけて出したいと思います。	50 歳代	滝野川東
戸別回収にしてもらってとてもたすかっている。近所で集団回収の友人の家はごみのトラブルでとても悩んでいて大変そう。	60 歳代	王子東
全体的にごみ減量・リサイクルに関する情報提供が不足していると思う。	70 歳以上	滝野川西
不燃ごみ（危険物含）の回収をもう少し多くしてほしい。（現行月2回）	70 歳以上	滝野川西
ごみ回収の方々には、感謝です	70 歳以上	王子東
アンケートが細かすぎる。ごみ収集有料化を検討していると思われるが、要点を明確に問う方が良くと思われる。	70 歳以上	滝野川西
いつもありがとうございます。	30 歳代	滝野川西
必要以上のものを買わない意識を持つ。最後まで使い果たす習慣をつける。	70 歳以上	王子東
生ごみ処理機購入費用助成について初めて知りました。北区ニュース等でもっと PR してください。	20 歳代	赤羽西
菓子類の過剰包装が目立つ。包装は派手で中身は少ない。メーカーに対し過剰包装削減を要望する。取組みが出来ているところには助成金を出すなどの対策を行う。本当は国にレベルで行う必要がある。	70 歳以上	赤羽東
朝8時を過ぎますと、収集車を誘導する「ハイ！ハイ！」という声掛が雨の日もこの猛暑の中でも聞こえてきます。こちらが玄関先におりますと、職員さんのほうから「おはようございます！」と元気に声をかけてくれます。プラごみの時の女性職員さんの明るい声で「おはようございます！」という声が家の中にも聞こえてくると大変気持ち良く朝のさわやかさを感じます。心から「ご苦労様です！有難うございます！」と心に感謝の思いが湧いてきます。このお仕事に携わっておられる皆様方に、この場をお借りして心からの感謝をお伝えしたく書かせて頂きました。いつも有難うございます。	70 歳以上	滝野川西
毎日ありがとうございます。昨今、油物を出す人が少なくなってカラスがいなくなりました。前よりは、キレイになってきました。たまには粗大ごみを出す人がいます。多分粗大ごみを出す人は同じ人かなと思います。ちょっと券代が大変なのかなあと思う時があります。車で持って来るのかなあと思います。通り道かもしれませんが置いていきます。収集車が時々回って持って行ってくれます。ありがとうございます。	70 歳以上	赤羽西
アライグマが嫌う臭いを教えてください。	70 歳以上	浮間
現状維持でお願いしたい。	50 歳代	滝野川西
いつもありがとうございます。今後とも宜しく願いいたします。	50 歳代	赤羽東
いつも、よくやってくれている。	40 歳代	滝野川西
生ごみ乾燥機を購入した。	60 歳代	滝野川東

記述内容	年代	地区
このアンケートを回答するにあたり知らない事が多かった。	70 歳以上	滝野川西
ごみ減量したいなら、人類をもっと減らすべき。	40 歳代	赤羽東
コンポストの普及	40 歳代	王子西
住民に負担の少ない対策、施策の展開をお願いします。	60 歳代	滝野川西
昼頃になると必ずごみ収集車が自宅前の道路に路駐して休憩しています。ごみ収集車が後ろを開けたまま、エンジンをつけたままです。本当に迷惑です。	30 歳代	赤羽西
ごみ収集は、一部でも直営を維持したほうがよい。	50 歳代	赤羽西
ご近所の交流がないので、ごみ捨てを個人でやらざるを得ないと思った。	20 歳代	赤羽西
わからないことが多いので、もっと目にとまるようなお知らせがほしいです。	40 歳代	赤羽西
私は赤羽エコ広場館に救われた者です。赤羽エコ広場館で衣類や雑貨の回収・販売を行っていた頃、子供の服やおもちゃなどを頻繁に購入しておりました。金銭的に余裕がなかったため、まだ使用できるものを安価で手に入れられる場所はとても貴重でした。またエコ広場館は訪れる方たちとの交流の場でもありました。まだ小さかった子供達を可愛がっていただき情報交換の場でもありました。その場所が無くなってしまったのは地域の損失と考えます。富士見台のエコ広場など、まだ存続している場所があるのは存じておりますが、赤羽のエコ広場館のような場所は他にありません。勤めていらした方々にはとてもお世話になりました。またあのような場所を作っていただくことを強く望みます。	30 歳代	赤羽東
いつもありがとうございます。これからもよろしくお願いします。	20 歳代	赤羽東
ゴミ減量やフードロス削減のために対策しているがスーパーマーケットの鮮魚、特に刺盛りの過剰な盛り付け（大根のつまなど）には大変困っている。 各個人でもアンケート提出しているが国や自治体レベルでルールを決めてほしいです。	50 歳代	滝野川西
ごみが多すぎる！	50 歳代	赤羽東
None (特になし)	60 歳代	王子東
The system of Japan is too much good so suggestion shouldn't be needed. (日本のシステムは非常に優れているため、提案は必要ないはずです。)	20 歳代	王子東
Thank u for this kind of info. (このような情報に感謝します)	50 歳代	赤羽西

3. まとめ

(1) 調査方法と回答状況について

本調査は18歳以上の区民を対象に3,000通の調査票を郵送にて配布し、郵便とWEB回答にて回収している。回答数は1,120件で回収率は37.3%である。1,120件のうちWEB回答は437件で回答者の39.0%がWEB回答を利用している。

地区別にみると、7地区の回収率は41.5%~32.2%となっており、地区ごとの大きな隔たりはない。

年代別にみると、70代以上からの回答が338件で全体の30.2%を占めているが、人口構成と比べて大きな乖離はない。一方、WEB回答の割合は10代~40代で60%を超えているが、50代で44.0%、60代で23.7%、70代で11.5%と低く年代間での差が表れている。

世帯人数別にみると、2人世帯からの回答が30.3%、1人世帯からの回答が22.7%で合わせると全体の半数を超える。

住居形態別にみると、戸建て住宅居住者からの回答が865件(77.2%)である。

全体として、地区別、年代別に均等な回答票数が確保できている。

(2) 資源の出し方・捨て方について

問1では、資源となる「雑がみ」、「プラスチック」、「古布」の排出の仕方について回答を求めている。このうち、「可燃ごみ・不燃ごみ」として排出している割合は「雑がみ」が33.3%、「プラスチック」が27.6%と3割前後であるのに対し、「古布」が63.5%と高い割合となった。

年代別にみると、「雑がみ」と「プラスチック」は年代が上がるに連れて「可燃ごみ・不燃ごみ」に出すという回答割合が減る傾向があるが、「古布」については、年代による大きな差はない。

地区別にみると、「雑がみ」と「プラスチック」には地区別の特徴はほとんどないが、「古布」は滝野川東地区で「集団回収」に排出している割合が26.2%と他の地区を上回る割合が回答している。

「古布」が今回の調査対象品目の中でごみに出される割合が最も多い結果となった。問16の自由記述の回答には「資源ごみの日に古布も回収してほしい」や「他区と同じように古布を集積所で回収してほしい」といった意見があり、区民が利用しやすい回収方法を求める声が見られた。また、問16の自由記述の中には、「不要な服がたくさんあり可燃物として出しているが、簡単に再利用できたらいい」等の意見も見られた。区の拠点回収や集団回収などの資源回収活動について引き続き周知を行うとともに、民間事業者による資源回収等、様々な主体の資源回収活動についても今後周知を検討する必要がある。

問2は、ごみと資源の分別方法を調べる手段に関する問いである。前回の令和4年度調査、今回調査ともに「北区のチラシ」と「冊子(家庭ごみ・資源の分け方出し方)」が多く回答されている。また、ホームページで確認したという回答割合は、前回調査に比べ割合が増えている。令和5年度から区内全域で回収が始まったプラスチックや、リチウムイオン電池の回収等、話題となった情報を検索する際にホームページが閲覧されていたものと考えられる。今後もホームページをはじめとしたデジタル媒体については、区民への情報提供の重要なツールとして効果的な活用を検討する。

また、問16自由記述の中で「外国人には日本語以外の冊子やチラシ等で周知徹底して欲しい。」「外国人に対して、英文・中文・ベトナム語などの案内を看板でも貼り紙でも示したらいいと思う。」などの意見が多くあがっている。現在も外国籍の区民に向けて、6か国語版の「家庭ごみ・資源の分け方出し方外国語版チラシ」でごみの出し方や分別の周知をおこなっているが、今後はデジタル媒体も含めた周知啓発活動に取り組んでいく。

(3) 集団回収について

問3と問4は「集団回収」に関する設問である。「主体的に参加している」から「ときどき参加している」までを合わせて32.1%が“集団回収に参加している”と回答している。これは令和4年度の調査と比べて増加している。「活動しているか知らない」や「知っているが参加していない」の割合は前回調査より減少しており、集団回収事業への認知度が向上している傾向が見られる。「活動しているか知らない」の回答者を年代別にみると若い世代ほど認知度が低いことが分かる。現状より集団回収事業の認知度を向上させるためには、若い世代への周知が必要である。

問4の「集団回収に参加しやすくするためにどのような点を改善したらよいか」では、「回収日等を知らせる活動を増やす」への回答が最も多く、令和4年度の前回調査でも同様であった。加えて、「回収“回数”を増やす」「回収“場所”を増やす」の回答割合が上昇している。回収の機会が増えることで、集団回収活動の利用のきっかけに繋がると考えられる。今後、集団回収に参加する区民を増やせるよう、環境ポータルサイトや北区ニュース等で、集団回収活動の内容等周知啓発を検討する。

(4) 食品ロス削減について

問5-1は6つの「食品ロス削減への取り組み」についての問で、回答状況は6項目のうち(ア)「食べきれないほど買わない」、(イ)「買い物前に食品の在庫を調べる」、(ウ)「食材が長持ちする保存方法にしている」、(オ)「てまえどり」の4項目は“取り組んでいる”とした回答が多く、比較的实践している取組みであると推察される。一方で、(エ)「フードシェアリングサービスの利用」と(カ)「フードドライブ・フードバンクの利用」の2項目で“取り組んでいる”とした回答が少なかった。

問5-2は、“取り組んでいない”理由の記述を求めている。問5-1で“取り組んでいる”が多かった4項目を実践していない理由として、「面倒」「気にしていない」などの回答が多く、食品ロス削減の取組みとして認知しているが、実践していない状況が読み取れる。“取り組んでいる”が多かった2項目では、問5-2の理由として「知らない」「言葉を聞いたことがない」などの回答が多く、認知度が低いことが伺える。問5-1及び5-2の結果から、食品ロス削減の取組みを推進するためには、2つのアプローチが必要と考える。1つは認知度が低い取組みに対して普及啓発を強化し、認知度を上げていくことである。もう1つは比較的认知されている取組みに関して、食品ロス削減の意義や効果についてあらためて周知を図り、行動変容に繋げる啓発を行うことである。各取組みの認知度や普及状況にあわせて周知方法や啓発活動を検討する必要があると考える。

問6は飲食店で実施している食品ロス削減への取組みについての問いである。(ア)「外食時に食べきれない量を注文する」は、約9割が“取り組んでいる”または“時々取り組んでいる”と回答している。(イ)「食事会では“3010運動”を心掛けている」は、「わからない」とした回答が多く、また「無回答」も多い傾向である。これは問5-1の(エ)(カ)と同様、取組みが認知されていないと推察できる。一方で、(ウ)「あまったらできる限り持ち帰る」は約半数が“取り組んでいる”または“時々取り組んでいる”と回答している。

問7は「食品ロス削減」に取り組んでいる飲食店の積極的利用についての設問で、「特に意識しない」が459件(41.0%)で最も多い回答となっている。しかし、「積極的に利用したい」(23.8%)及び「金額が同じなら優先して利用する」(20.8%)のあわせて44.6%が“金銭的負担がなければ積極的に利用する”と回答しており、「特に意識しない」の回答割合を上回る結果となっている。年代別にみると20代の“利用したい”の回答が最も多く、30代、4代も比較的多く回答されており、若い世代が“利用したい”傾向が伺える。若い世代だけでなく、幅広い年齢層に対し、飲食店等で実施している食品ロス削減への取組みに関心が向けられるような啓発活動を進めていくことが必要である。

(5) 収集方法について

問8-2は、希望するごみの収集方法についてごみの排出場所の管理も想定して回答する設問である。結果は「自分が集積所を管理してもよいので集積所で収集するのがよい」119件(10.6%)、「自分は集積所の管理ができないけれど集積所で収集するのがよい」531件(47.4%)、「戸別収集がよい」431件(38.5%)となっている。また、管理の可否に関わらず“集積所収集がよい”と回答したのは650件(58.0%)であった。なお、令和4年度調査では、集積所収集と戸別収集の2選択肢であり、集積所収集が931件(60.7%)、戸別収集が499件(32.5%)と、今回調査とほぼ同様の割合であった。

問8-3は問8-2で回答した収集方法を選んだ理由として記載されている518件の記述内容を分類し、各収集方法で記述内容の傾向を分析した。

「管理してもよいので集積所収集がよい」及び「管理できないけれど集積所収集がよい」を合わせた“集積所収集がよい”を選択した理由として記載されている248件の内訳は、「現状維持」73件(29%)が最も多く、次いで「低コスト・収集作業の簡便さ」59件(24%)が多く挙がっていた。また、「戸別収集がよい」とする理由270件の内訳は「排出者意識の向上(自分のごみに責任を持つようになる)」84件(31%)が最も多く、次いで「負担軽減(家の前に出すのが楽)、集積所管理負担の軽減」77件(29%)、「現状維持」39件(14%)が多く回答されていた。いずれの収集方法についても、現状維持を理由とした記載が一定程度見受けられた。

まずは、さらなるごみの減量化を推進していくとともに、ごみ収集に関する区民ニーズを把握し、効果の検証等を十分に行う必要がある。その上で、地域の特性や社会情勢の変化をふまえ、効果的・効率的な収集方法の検討が必要である。

(6) 有料指定ごみ袋の導入について

問9「有料指定ごみ袋の導入について」は、令和4年度の前回調査の際も同様に設けている。「賛成」「条件によっては賛成」を合わせた“賛成”が49.0%で、前回調査(44.5%)に比べ割合がやや増えた一方、「導入すべきでない」は今回調査で36.4%となり(前回36.3%)、回答割合に変化が見られなかった。

年代別にみると10代、60代、70代以上で、“賛成”がやや多い結果となった。

問10-1は、「有料化で特に配慮して欲しいこと」についてで、問9で“導入に賛成”と回答した方を対象としている。前回調査と同様、「量に応じた負担にする仕組みを作る」が最も多く回答されている。

問10-2は有料化によって発生した収入の使い道についてであるが、「不法投棄対策の充実」が最も多く回答され、不法投棄対策への関心の高さが表れている。

また、問16の施策への自由記述のうち有料指定ごみ袋に関する回答の中には、導入に反対する意見や、導入の際に量に応じた負担や負担軽減を求める回答が見られた。「有料指定ごみ袋」の導入については、住民の理解を得ることが不可欠であり、目的と意義だけでなく、収益の用途を明確にし、住民に広く丁寧に周知する必要がある。

(7) ごみ減量・リサイクルについて

問11の「家庭でごみを減らすために行っていること」の集計結果では「洗剤など詰め替え商品の購入」や「レジ袋の削減・マイバックの利用」などが多く回答されている。前回調査と比べると「マイボトルやマイ箸の利用」が25.7%から42.3%(16.6%増)、「ごみと資源の分別の徹底」が50.9%から

62.5%（11.6%増）と割合を増やしている。「ごみと資源の分別の徹底」や「生ごみの水切り」なども回答割合が増えており、ごみ減量の意識向上が伺える結果となった。

問 12 の「区が行っている取り組み」についての問では、令和 5 年度から区内全域で開始した「プラスチックの資源回収（プラスチック製容器包装・製品プラスチック）」が最も多く回答されている。ついで、「集団回収(びん、缶、古紙古布)の支援」など、資源回収に関する取組みに票が集まっている。一方で、“周知、啓発に関する取組み”への回答は少ない。ただ、前回調査と比較して「知っているものはない」の回答割合は減少している点、また、複数回答可の問で 1 人あたりの回答選択数が増えている点から、“ごみ減量・リサイクル”施策への関心は前回調査に比べやや高まっていると推察される。

（8）ごみ集積所について

問 13 は「ごみの集積所について知っていること」の問で、「知っていることはない」と回答したのは回答者数 1,120 人中 223 人で 19.9%となっている。年代別では、10 代及び 20 代では「知っていることがない」との回答が最も多かった。

問 14-1 は「集積所管理の経験」についてで「直近 5 年以内に北区でごみ集積所の管理をした経験がある」が合計で 214 件となっており、約 5 人に 1 人が「管理経験あり」と回答している。年代別では 50 代までは管理経験がある人の割合が少なく 15%程度となっているが、60 代以上では 25%程度まで上昇し、年代を重ねるごとに管理経験者の割合が増える傾向である。集積所管理を高齢者が多く担っている状況が読み取れる。

問 14-2 は、「集積所管理で気になったこと」についての問で、「ごみ・資源の分別がされていない」や「本来の利用者以外（通りがかりの人など）が出している」などが多く回答されている。年代別にみると、問 14-1 で「集積所の管理経験がある」とした回答者が当設問の回答対象となっているため、60 代以上からの回答が多い。地域別にみると、「浮間地区」「王子西地区」「赤羽西地区」で前述の 2 項目以外に「カラスなどの動物に荒らされる」が高い割合で回答されている。

問 15 では回答者全体に対し「ごみ集積所を使う時に気をつけていること」についての問で、「プラスチック資源を出すときは水で流すなどして汚れを落としてから出している」が最も多く回答されており、「収集日当日の朝 8:00 に出している」などルールを守っているという回答も多く見られる。年代別の回答傾向に差は見られない。

今後、集積所管理者の高齢化やごみの出し方のルール周知等の課題に対し、集積所管理の経験がない区民でも自分事として認識できるような、理解や協力を促す啓発活動の検討が必要である。

4. 別添資料（アンケート調査票）

令和7年7月吉日

ごみ減量・リサイクルに関する区民アンケート調査のお願い

日頃より北区の清掃リサイクル事業にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

区では、令和7年3月に策定した「北区一般廃棄物処理基本計画 2025～ごみゼロの未来にむけ、みんなでつくる資源循環のまち～」に基づき、ごみの減量に取り組んでいます。

今回のアンケートで皆様からいただいたご意見は、今後区が取り組むべき施策を検討するための基礎資料とさせていただきます。

なお、調査対象者は満18歳以上の区民の方から3,000人を無作為に選ばせていただいております。個々のご回答やプライバシーに関わる内容が公表されることは一切ありません。

ご多用中のところ誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

インターネット回答のご案内

このアンケートはPCやスマートフォンからも回答ができます。

- スマートフォンやタブレット端末は、右の二次元コードからログインページにアクセスできます。



ログインページ <https://www.gr-eco.co.jp/ktk7/>

ログインページが表示されたら

- 右下の調査票番号(ID)とパスワード(PW)を入力してログインをクリック（半角数字）

ログインページイメージ

調査票番号 (ID)

パスワード (PW)

ログイン

調査票番号 (ID)

パスワード (PW)

※ インターネットにより回答していただいた方は、郵送による回答の必要はありません。

※ このアンケートは無記名式で「調査票番号(ID)」 「パスワード(PW)」 は宛名と関連付けられていません。
調査票番号は2重回答を点検するためのもので個人情報はありません。

アンケート票で回答する場合(郵便回答)

- 次ページの〔回答方法〕〔記入例〕をご覧ください。

【問い合わせ先】

北区担当課：生活環境部リサイクル清掃課 アンケート担当 03 (3908) 8538

委託先事業者：株式会社グリーンエコ 東京事務所 03 (6807) 7710

※このアンケート調査は、北区が上記事業者に業務を委託し実施しています。

回答期限：令和7年8月4日（月）

《回答方法》

- ・該当する番号を選び、点線枠内に✓か○を記入してください。
- ・「そのほか」を選ばれた場合は、その内容などを(カッコ)内に記入してください。
- ・記入が完了した調査票は同封の返信用封筒に入れて投函してください。(切手不要)
- ・調査票や返信用封筒に、ご住所・お名前は記入しないでください。

《記入例》

あなたはごみ資源集積所の管理をした経験がありますか。(1つを選ぶ)

<input type="checkbox"/>	1	現在、集積場の管理をしている
<input type="checkbox"/>	2	過去5年の間に集積場の管理をしたことがある
<input checked="" type="checkbox"/>	3	管理をしたことも、管理をしたこともない
<input type="checkbox"/>	4	戸別収集なので管理をしたことはない
<input type="checkbox"/>	5	どちらとも言えない(回答したくない)
<input type="checkbox"/>	6	そのほか()

《用語解説》

集団回収

町会・自治会・マンション管理組合など任意の団体が、家庭からでる資源(古紙・缶・びん・古布)を集め、自ら契約した資源回収業者に引き渡す活動です。区は資源の回収量に応じて報奨金の支給などを行っています。



サンクルポスト (拠点回収ボックス)

区内の施設等39か所に設置している、紙パック・食品用発泡トレイの回収ボックスです。

雑がみ

紙袋・パンフレット・チラシ・ティッシュペーパーの箱・お菓子の箱・ラップ等の芯・封筒・値札などの紙です。

古布

主に衣料品や寝具などの布製品で、ハンカチ、タオル、バスタオルなどで、再利用やリサイクルを目的として回収されています。

戸別収集




各家庭が自宅の敷地内(道路に面した場所)にごみを出し、1棟ごとに収集する方法です。戸別収集はごみ出しの負担軽減、分別率向上、ごみ減量などのメリットがあります。

3010運動

会食時の食べ残しを減らすためのキャンペーンで<乾杯後30分間>は席を立たずに料理を楽しみ、<お開き10分前>になったら「自分の席に戻って再度料理を楽しみましょう」と呼びかけて、食品ロスを削減する取り組みです。

◆ご家庭での資源の出し方・処理方法について◆

問1 あなたは、「雑がみ」、「プラスチック」、「古布」を主にどのように処分していますか。
 あてはまる枠内に✓か○を記入してください。 (それぞれ1つを選ぶ)

		区のプラスチック回収	拠点回収ボックス (サンクルポスト) P2に説明あり	小売店の回収ボックス	区の古紙回収	集団回収	可燃ごみ 不燃ごみ	フリーマーケット(アプリ含む) リサイクルショップ	その他
(ア) 雑がみ (P2に説明あり) 	-	-	-	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 6	-	<input type="checkbox"/> 8	
8. その他の具体的な内容 → ()									
(イ) プラスチック  (卵のパックやペットボトルのラベル、 洗剤のボトルなどの包装材) (プラスチックだけでできているコップや 定規などの製品)	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	-	-	<input type="checkbox"/> 6	-	<input type="checkbox"/> 8	
8. その他の具体的な内容 → ()									
(ウ) 古布 (P2に説明あり) 	-	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	-	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 6	<input type="checkbox"/> 7	<input type="checkbox"/> 8	
8. その他の具体的な内容 → ()									

問2 あなたが、ごみ資源の分別の方法をどうやって調べたか教えてください。
 あてはまる項目の点線枠内に✓か○を記入してください。 (いくつ選んでも可)

<input type="checkbox"/> 1 北区のチラシ 	<input type="checkbox"/> 2 役所・清掃事務所に 電話、窓口で聞いた 	<input type="checkbox"/> 3 冊子 家庭ごみ・資源の 分け方出し方 	<input type="checkbox"/> 4 北区 ホームページ 
<input type="checkbox"/> 5 北区ホームページ上 のチャットボット 	<input type="checkbox"/> 6 北区ニュース 	<input type="checkbox"/> 7 SNS 	<input type="checkbox"/> 8 家主 近所の人 
<input type="checkbox"/> 9 収集作業員 	<input type="checkbox"/> 10 その他 ()		

◆集団回収について◆

(P2 に説明あり)

問3 あなたは、町会・自治会等で行っている集団回収に参加していますか。
あてはまる項目の点線枠内に✓か○を記入してください。(1つを選ぶ)

<input type="checkbox"/> 1	主体的に参加している	<input type="checkbox"/> 2	参加している
<input type="checkbox"/> 3	ときどき参加している	<input type="checkbox"/> 4	知っているが参加していない
<input type="checkbox"/> 5	自分の地域では実施していない	<input type="checkbox"/> 6	活動をしているかわからない 集団回収を知らない

問4 集団回収に参加しやすくするためには、どのような点を改善する必要があると思いますか。
あてはまる項目の点線枠内に✓か○を記入してください。(いくつ選んでも可)

<input type="checkbox"/> 1	回収回数を増やす	<input type="checkbox"/> 2	回収場所を増やす
<input type="checkbox"/> 3	報奨金を増やす	<input type="checkbox"/> 4	事務作業を軽減する
<input type="checkbox"/> 5	回収日等を知らせる活動を増やす	<input type="checkbox"/> 6	集団回収を知らない
<input type="checkbox"/> 7	そのほか ()		

◆食品ロスについて◆

近年、食品ロス（本来食べられるのに捨てられてしまう食品のこと）を削減するため、行政・事業者などにおいても様々な取り組みが進められています。

問5-1 あなたは、ご家庭で「食品ロス削減」に取り組んでいますか。
あてはまる項目の点線枠内に✓か○を記入してください。(それぞれ1つを選ぶ)

	取り組んでいる	時々 取り組んでいる	取り組んで いない	わからない
(ア) 食べきれないほど買わない	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4
(イ) 買い物前に食品の在庫を調べる	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4
(ウ) 食材が長持ちする保存方法にしている	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4
(エ) フードシェアリングサービス※1 を利用	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4
(オ) てまえどり※2 (すぐ使う商品は手前のものをとる)	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4
(カ) フードドライブ・フードバンクに寄付	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4

※1 廃棄されてしまう商品を消費者のニーズとマッチングさせることで食品ロスの発生や無駄を減らす仕組み

※2 購入してすぐに食べる場合に、商品棚の手前にある商品等、販売期限の近い商品を選ぶ

問5-2 問5-1 で(ア)~(カ)までに「 取り組んでいない」と回答した方は、取り組んでいない理由をご記入ください。

問6 あなたは飲食店で取り組んでいる「食品ロス削減」対策を利用して、「食品ロス削減」に取り組んだことがありますか。

あてはまる項目の点線枠内に✓か○を記入してください。 (それぞれ1つを選ぶ)

	取り組んでいる	時々取り組んでいる	取り組んでいない	わからない
(ア) 外食時に食べきれぬ量を注文する	1	2	3	4
(イ) 食事会では“3010運動”を心掛けている (P2に説明あり)	1	2	3	4
(ウ) あまったらできる限り持ち帰る	1	2	3	4

問7 あなたは「食品ロス削減」に取り組んでいる飲食店を、積極的に利用したいと思いますか。あてはまる項目の点線枠内に✓か○を記入してください。 (1つを選ぶ)

1 積極的に利用したい
2 金額が同じなら優先して利用する
3 特に意識はしない (食品ロス削減の取組は飲食店の選択に影響しない)
4 これまでより金額がかかるなら利用したくない
5 利用するのが消極的になる
6 そのほか()

全国の自治体で実施あるいは検討されている、ごみの減量化に有効とされる施策についておたずねします。

◆収集方法について◆

現在、北区では家庭ごみは集積所での収集を原則としています。一方、滝野川地区は自宅前の決められた場所で収集する「戸別収集」を行っています。

戸別収集は、分別意識の向上、排出抑制効果、不法投棄対策や高齢者等の持ち出し負担軽減など一定の効果が見込まれますが、収集には多くの費用がかかります。

問 8-1 あなたのお住まいでは、どのようにごみ収集がされていますか。

点線枠内に✓か○を記入してください。

(1つを選ぶ)

<input type="checkbox"/>	1	集積所収集	(家庭から出るごみを決められた場所(集積所)に出し、まとめて収集する方法)
<input type="checkbox"/>	2	戸別収集	(P2に説明あり)
<input type="checkbox"/>	3	集合住宅ごとの収集	(アパートやマンション専用のごみ置き場があり、集合住宅ごとに収集する方法)

問 8-2 あなたの現在の収集方法を問わず、すべての方にお伺いします。

あなたは、今後どのようにごみ収集するのがよいと思いますか。

点線枠内に✓か○を記入してください。

なお、ごみを出す場所の管理も想定して回答してください。

(1つを選ぶ)

<input type="checkbox"/>	1	自分が集積所を管理してもよいので、 <u>集積所で収集</u> するのがよい
<input type="checkbox"/>	2	自分は集積所の管理はできないけれど、 <u>集積所で収集</u> するのがよい
<input type="checkbox"/>	3	自宅前の <u>収集場所の届出と管理</u> をしてもよいので、 <u>戸別で収集</u> するのがよい

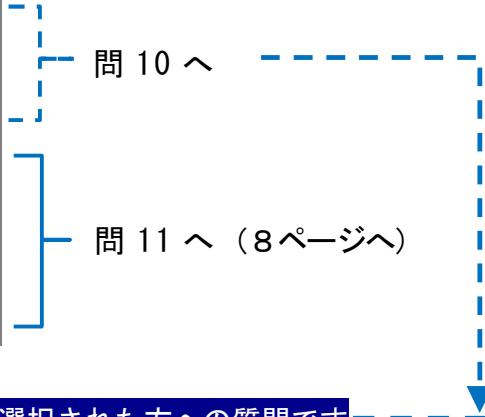
問 8-3 問 8-2 で回答した理由を記入してください。

◆有料指定ごみ袋の導入について◆

東京都内の30市町村（令和7年6月1日現在）では、家庭ごみについて、住民が有料の指定ごみ袋を購入してごみを出すことで、家庭ごみの減量に一定の効果がみられています。

問9 あなたは有料指定ごみ袋の導入についてどのように思いますか。 （1つを選ぶ）

- 1 賛成
- 2 条件によっては賛成
- 3 導入すべきではない
- 4 わからない
- 5 そのほか()



問9で「導入に賛成」（1.または2.の回答）を選択された方への質問です

問10-1 有料指定ごみ袋を導入するとしたら、特に優先して配慮してほしいことは何ですか。 （2つまで選ぶ）

- 1 量に応じた負担にする仕組みを作る
（ごみを出す量が少ない人は負担が少なく、多く出す人は負担が多くなるような仕組み）
- 2 経済的弱者への減額や免除
- 3 無償の紙おむつ回収袋を配布
（乳幼児、障害者、高齢者など紙おむつを使用する家庭への負担軽減）
- 4 道路などを清掃したときに出るごみの無償回収袋の支給
- 5 戸別収集を同時に実施
- 6 有料指定ごみ袋の導入による収入の使い道を明確にする
- 7 そのほか()

問10-2 有料指定ごみ袋の導入で収入が発生した場合は、何に使うと良いと思いますか。 （3つまで選ぶ）

- 1 不法投棄対策の充実
- 2 環境教育や啓発の充実
- 3 戸別収集の拡大に向けた経費
- 4 カーボンニュートラル*への取り組み支援
- 5 集団回収の支援拡大
- 6 生ごみ処理機購入助成等
- 7 紙おむつを資源化するなど、資源化のさらなる推進
- 8 高齢者のごみ出し支援
- 9 そのほか()

※温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすること
二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることを意味します。

◆ごみの減量・リサイクルの取り組みについて◆

問 11 あなたのご家庭でごみを減らすために行っていることはありますか。(いくつ選んでも可)

1 生ごみの水切り	2 生ごみ処理機、コンポストなどの使用
3 フードドライブ、フードバンクに参加	4 食べ残し削減、廃棄食品の削減、 買い過ぎの防止
5 マイボトルやマイ箸などの使用	6 レジ袋の削減・マイバッグの利用
7 過剰包装のお断り	8 フリーマーケット(アプリ等含む)や リサイクルショップを利用
9 修理できるものは修理する	10 ごみと資源の分別の徹底
11 洗剤など詰め替え商品の購入 (容器再利用)	12 特に行っていない
13 そのほか ()	

問 12 区が行っている下記の取り組み(ごみ減量・リサイクル)について、あなたが知っているものを選んでください。(いくつ選んでも可)

1 集団回収(びん、缶、古紙、古布)の支援	(集団回収報奨金の支給等)
2 リチウムイオン電池等の回収	(JBRC 等の回収ボックスか、不燃ごみで排出)
3 不燃ごみの資源化	(金属、ガラス、陶磁器など)
4 粗大ごみの資源化	(金属)
5 衣類やはぎれ等古布の回収	(エコ広場館や清掃事務所等 9 か所)
6 プラスチックの資源回収	(プラスチック製容器包装・製品プラスチック)
7 サンクルポストによる回収	(紙パック・食品用発泡トレイの回収)
8 雑がみ回収	(包装紙やお菓子箱などの回収)
9 家庭から出る廃食油の回収	(清掃事務所等区施設 7 か所)
10 フリーマーケットの支援	(北区ニュースによるお知らせなど)
11 生ごみ処理機購入費用助成	(生ごみ処理機、堆肥化容器の購入費用助成)
12 フードドライブの実施	(区内 11 か所(常設)やイベントで実施)
13 子ども向けの普及啓発活動	(リサイクル施設見学や環境展への出展など)
14 保育園や小学校などでの環境学習	(北区清掃事務所が実施)
15 冊子『わたしたちができること』のデータ発行	(子ども向けの啓発冊子のデータ広報、周知)
16 リデュースクッキングレシピの発行や実習会	(リデュースクッキング捨てる部分を活用した調理方法)
17 エコ広場館のリサイクルに関する事業・活動	
18 区民まつり、環境展、消費生活フェア等への出展など普及啓発活動	
19 「食品ロス削減月間」における啓発	(北区ニュース、ホームページ、SNS への記事の掲載)
20 知っているものはない	
21 そのほか ()	

◆ごみ集積所について◆

問 13 あなたが北区のごみ集積所について知っていることはありますか。 (いくつ選んでも可)

1	地域住民同士のコミュニティの場となっている
2	地域住民が管理を行っている
3	集積所の場所は近隣に住む地域住民で決めている
4	戸別収集・集合住宅のためわからない
5	知っていることはない
6	そのほか()

問 14-1 あなたは直近 5 年以内に北区でごみ集積所の管理をした経験がありますか。 (1つを選ぶ)

1	現在、集積所の管理をしている
2	5年以内に集積所の管理経験がある
3	5年以内に集積所の管理を代理、清掃、見守りなど経験したことがある
4	管理をしたことも、管理に関わった経験もない
5	そのほか()



王子・赤羽地区は、地域にお住まいの方々が「ごみ集積所」の管理をおこなっています。

4 5 を選んだ方は問 15 へ進む

問 14-1 で 1. ~ 3. のごみ集積所の管理の経験がある方または管理に関わったことがある方にうかがいます。

問 14-2 集積所管理の経験で気になったことは何ですか。 (いくつ選んでも可)

1	収集曜日が守られていない
2	ごみ・資源が分別されていない
3	収集できない粗大ごみや危険物が出されている
4	集積所のスペースにおさまらず道路まであふれている
5	本来の利用者以外(通りがかりの人など)が出している
6	カラスなどの動物に荒らされる
7	そのほか()

問 15 に進む

-----<三つ折り>-----

-----<三つ折り>-----

～ご協力ありがとうございました～

- ◎ご記入いただきましたアンケート調査票は、三つ折りなどにして、同封されている返信用封筒に入れ、ポストにご投函ください。(切手は不要)
- ◎このアンケートは無記名アンケートです。お名前・ご住所などを記入する必要はありません。
- ◎インターネットで回答いただいた方は、このアンケート用紙の郵送は不要です。

北区のごみ減量・リサイクルに関する
アンケート調査 結果報告書

刊行物登録番号
8-3-008

令和8年3月発行

【発行】 東京都北区生活環境部リサイクル清掃課
〒114-0002 東京都北区王子 1-12-4 TIC 王子ビル
電話 03 (3908) 8538 (代表)